

**NETIMPRESS air**

**CAN Flash Programmer & Logger**  
**操作マニュアル**  
**(プログラマ編)**

## 改訂履歴

版	発行日付	変更内容
第 1 版	2015.04.06	新規発行
第 2 版	2016.01.25	注意書きを修正 スタンドアロン操作にシーケンス制御と SBD 信号の制御モード変更を追加 エラーコードを修正

## &lt; ご注意 &gt;

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について、ご不審な点やお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 本製品を運用した結果の内容の影響については、(3)項にかかわらず、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本書に記載されている会社名・製品名は、各社の登録商標、または商標です。

© 2015 DTS INSIGHT CORPORATION. All rights reserved

Printed in Japan

## はじめに

「NETIMPRESS air 操作マニュアル(プログラマ編)」(以下、本マニュアル)は、以下について示したドキュメントです。

- ・ 各種設定及び操作方法
- ・ ソフトウェアのインストール手順と使用方法
- ・ 使用する際の注意事項

NETIMPRESS air シリーズ製品で、プログラミング環境の構築・実行する際にお読みください。

また、本マニュアルで使用している画面は、Windows 7 環境で作成しています。他の環境をお使いの場合、表示や操作手順が異なる場合があります。



本マニュアルにおける「プログラミング」とは、対象マイコン内蔵フラッシュメモリ、または、対象マイコンに接続されている外部フラッシュメモリへのデータ書き込みのことをさしています。

## アイコンについて

本ガイドで使用しているアイコンには、以下の意味があります。



特に重要な情報を記載しています。操作する際は十分に注意してください。



操作を進める上で役に立つ情報やアドバイスなどの補足事項を記載しています。



本マニュアルのほかのページやほかのマニュアルなどの参照情報を記載しています。

## 用語一覧(1/2)

用語	説明
マイコンパック	弊社のホームページからダウンロード可能な、各種マイコンに対応したパラメータファイル等です。マイコンパックファイルは、zip 形式の圧縮ファイルになっています。マイコンパックのファイル構成は、パラメータファイル(拡張子.PRM)、PDF マニュアル、書き込み制御プログラム(拡張子.BTP)、readme ファイルなどです。(マイコンによりファイル内容が異なります)
バッファメモリ	NETIMPRESS air では、書き込み対象となるマイコンと同一メモリマップのバッファメモリを専用 SD カード上の各 YIM フォルダ内にもっています。マイコンのフラッシュメモリに書き込み時は、このバッファメモリ上のデータが書き込みされます。 NETIMPRESS air では、バッファメモリ上にユーザーのオブジェクトファイルをロード/セーブする機能があります。
定義体	専用 SD カードの各 YIM フォルダ内に、各種マイコンと通信するために持っている固有のプログラムです。
定義体ライセンス	定義体を YIM フォルダにダウンロードして使用するには、定義体ごとに専用 SD カードに、定義体ライセンスを追加する必要があります。 定義体ライセンスの追加に必要な、ライセンスファイル(拡張子.ALC)は、ご購入時に提供されるライセンスシートを使用して、弊社ホームページから製品登録を行うことで取得できます。 ライセンスファイルは、AZ990(NETIMPRESS air Connect)を使用して専用 SD カードに追加することができます。
ロガーライセンス	ロガー機能を使用するために必要なライセンスです。詳細は、操作マニュアルロガー編をご確認ください。
オブジェクトファイル	ユーザーがマイコンのフラッシュに書き込むためのプログラム/データファイルです。NETIMPRESS air では、バイナリ、インテル HEX、モトローラ S の形式に対応しています。
書き込み制御プログラム	一部のフラッシュマイコンでは、シリアル書き込みモードで動作する為のプログラム(ファームウェア)がマイコンに内蔵されていません。これらのマイコンを NETIMPRESS air で使用する場合は、NETIMPRESS air から書き込み制御プログラムをマイコンにダウンロードする必要があります。 これらのマイコンはライターモードで起動時にブートプログラムが実行され、この中で書き込み制御プログラムをダウンロードしています。ダウンロードする書き込み制御プログラムは、対応するマイコンのファイル(拡張子.BTP)を専用 SD カードの YIM フォルダ内にコピーして下さい。
WCP	書き込み制御プログラム(Write Control Program)の略称です。

カレントファイル	現在、作業中のファイルのファイル名がカレントファイル名です。ファイルロード時にカレントファイル名がセットされます。
----------	-----------------------------------------------------------

---

## 用語一覧(2/2)

---

用語	説明
プログラミング	ターゲットシステムへの書き込みを行うことです。
プログラミング条件	書き込みの環境をセットアップすることです。

## 目次

はじめに .....	2
アイコンについて .....	2
用語一覧(1/2) .....	3
用語一覧(2/2) .....	4
1. 概要・特長 .....	10
1.1. NETIMPRESS air シリーズの概要 .....	10
1.2. 通信環境 .....	11
1.3. プログラミング開始までの流れ .....	12
2. ハードウェア、ソフトウェアの確認(標準的な構成) .....	13
2.1. ハードウェア .....	13
2.2. ソフトウェア .....	14
2.2.1. ソフトウェアの使用環境 .....	14
3. ソフトウェアのセットアップ .....	15
3.1. ソフトウェアのインストール .....	15
3.1.1. AZ990(NETIMPRESS air Connect)のインストール手順 .....	16
3.2. USB 接続設定 .....	23
3.2.1. PC との接続 (AZ990: NETIMPRESS air Connect 設定) .....	23
3.2.2. USB 接続時にエラーが発生した場合の確認事項 .....	25
3.3. Wireless LAN 接続設定 .....	26
3.3.1. 接続環境と設定の確認 .....	26
3.3.2. Wireless LAN の設定を行う .....	27
3.3.3. PC との接続 (AZ990: NETIMPRESS air Connect 設定) .....	30
3.3.4. Wireless LAN 接続時にエラーが発生した場合の確認事項 .....	33
4. プログラミング環境のセットアップ .....	34
4.1. 定義体ライセンスの追加 .....	34
4.1.1. 専用 SD カードへの定義体ライセンス追加手順 .....	34
4.2. YIM フォルダの作成 .....	37
4.3. 各種設定ファイルのロード .....	40
4.3.1. 定義体ファイルのロード .....	40
4.3.2. パラメータファイルのロード .....	41
4.3.3. 各種バンドルファイルのロード .....	42
4.3.4. パラメータの設定 .....	43
4.3.5. オブジェクトファイル(書き込みファイル)のロード .....	44

4.4. ターゲットシステムとの接続.....	46
4.4.1. ターゲットプロンプトを使用して接続する場合.....	46
5. プログラミング実行.....	49
6. AZ990(NETIMPRESS AIR CONNECT)を使用する.....	51
6.1. 画面説明.....	52
6.1.1. 共通画面および Host Interface Configuration 画面.....	52
6.1.2. Specific Parameter 画面.....	54
6.1.3. Target Action 画面.....	55
6.1.4. air Information 画面.....	58
6.1.5. File Operation 画面.....	60
6.1.6. フォルダ・ファイルリスト画面.....	63
6.2. 操作方法.....	64
6.2.1. 定義体ライセンス追加.....	64
6.2.2. 定義体ライセンス読み出し.....	65
6.2.3. 定義体ライセンス情報の保存.....	66
6.2.4. YIM フォルダの作成.....	67
6.2.5. YIM フォルダの選択.....	69
6.2.6. YIM フォルダのコピー.....	73
6.2.7. YIM フォルダの削除.....	75
6.2.8. YIM フォルダのダウンロード.....	78
6.2.9. YIM フォルダのアップロード.....	80
6.2.10. 定義体ファイルダウンロード.....	82
6.2.11. パラメータファイルダウンロード.....	83
6.2.12. バッファメモリのクリア.....	84
6.2.13. オブジェクトファイルダウンロード.....	85
6.2.14. バンドルファイルダウンロード.....	86
6.2.15. 定義体ファイルアップロード.....	88
6.2.16. パラメータファイルアップロード.....	89
6.2.17. オブジェクトファイルアップロード.....	90
6.2.18. バンドルファイルアップロード.....	92
6.2.19. ファイルの削除.....	94
6.2.20. ファイルの全削除.....	98
6.2.21. ファイルのバッファメモリへのロード.....	99
6.2.22. バッファメモリへのファイルへのセーブ.....	101
6.2.23. Batch Download.....	103
6.2.24. ターゲットアクションの実行.....	106

6.2.25. Verify Mode の設定 .....	107
6.2.26. Sum Calc/Disp Mode の設定.....	108
6.2.27. バッファメモリのサム値表示 .....	109
6.2.28. CAN 通信設定.....	110
6.2.29. K-Line 通信設定.....	111
6.2.30. VBAT スレッシュホールド設定.....	112
6.2.31. フラッシュメモリ・バッファメモリ設定.....	113
6.2.32. 実行ログの記録設定.....	115
6.2.33. 実行ログの保存 .....	116
6.2.34. 実行ログをすべて保存.....	117
6.2.35. 実行ログの削除 .....	118
6.2.36. 実行ログをすべて削除.....	119
6.2.37. シリアル番号表示.....	120
6.2.38. バージョン表示 .....	121
6.2.39. Wireless LAN 設定 .....	122
6.2.40. 時刻の設定 .....	127
6.2.41. ファームアップデート.....	128
6.2.42. 専用 SD カードのフォーマット.....	129
6.2.43. 接続方式選択 .....	130
6.2.44. タイムアウト時間の設定.....	131
6.2.45. フォルダ・ファイルリストの検索 .....	132
6.2.46. フォルダ・ファイルリストの全表示.....	133
6.2.47. ドラッグ&ドロップによる YIM フォルダダウンロード .....	134
7. スタンドアロンで使用する .....	135
7.1. 操作 .....	136
7.1.1. ターゲットアクション実行操作 .....	137
7.1.2. MENU 項目実行操作 .....	141
7.1.3. Wireless LAN の設定を行う .....	144
7.2. 操作画面 .....	145
7.3. プログラミングを実行する .....	146
7.4. MENU 操作を行う .....	147
7.4.1. YIM フォルダを選択する.....	148
7.4.2. YIM フォルダを消去する.....	149
7.4.3. YIM フォルダをコピーする.....	151
7.4.4. YIM フォルダの情報を確認する .....	152
7.4.5. YIM フォルダへの操作を禁止設定にする.....	153



7.4.6.	バッファメモリにオブジェクトデータをロードする	154
7.4.7.	バッファメモリのデータをファイルに保存する	155
7.4.8.	バッファメモリの情報をクリアする	157
7.4.9.	バッファメモリのSUM 値を計算して出力する	158
7.4.10.	カレントフォルダ内のファイルを消去する	159
7.4.11.	ルートディレクトリのファイルを消去する	161
7.4.12.	カレントフォルダのパラメータを変更する	163
7.4.13.	カレントフォルダのパラメータを保存する	164
7.4.14.	SUM 計算/表示の方法を変更する	165
7.4.15.	ターゲットアクションのベリファイモードを変更する	167
7.4.16.	ワーニング出力の変更を行う	168
7.4.17.	実行ログのON/OFF 設定をする	171
7.4.18.	実行ログの自動消去時間を設定する	172
7.4.19.	実行ログファイルを消去する	174
7.4.20.	全ての実行ログファイルを消去する	175
7.4.21.	定義体ライセンスを追加する	176
7.4.22.	登録されている定義体ライセンス情報を確認する	177
7.4.23.	システムバージョンを確認する	179
7.4.24.	専用 SD カード/本体のシリアル番号を表示する	180
7.4.25.	専用 SD カードの空き容量を確認する	182
7.4.26.	専用 SD カードをクイックフォーマットする	183
7.4.27.	ロガー用ファームウェアのアップデートを行う	184
7.4.28.	PLD のアップデートを行う	185
7.4.29.	オプションモードを使用する	186
7.4.30.	SBD 信号の入出力モードを変更する	187
7.4.31.	Wireless LAN の IP アドレスを設定する	189
7.4.32.	Wireless LAN の MAC アドレスを確認する	191
7.4.33.	Wireless LAN の SSID を確認する	192
7.4.34.	Wireless LAN を ON/OFF 設定を行う	193
7.5.	シーケンス制御	194
7.5.1.	CSB フォーマット	195
7.5.2.	CSB ファイルの作成例	196
8.	APPENDIX	197
8.1.	フォルダ及びファイルの構成・仕様	197
8.1.1.	YIM フォルダ	199
8.1.2.	バンドルファイル	200

8.1.3. 実行ログ.....	206
8.1.4. ini ファイル .....	207
8.1.5. アップデートファイル.....	208
8.1.6. ライセンスファイル .....	208
8.2. エラーメッセージ一覧.....	209
8.2.1. 本体.....	209
8.2.2. AZ990.....	215

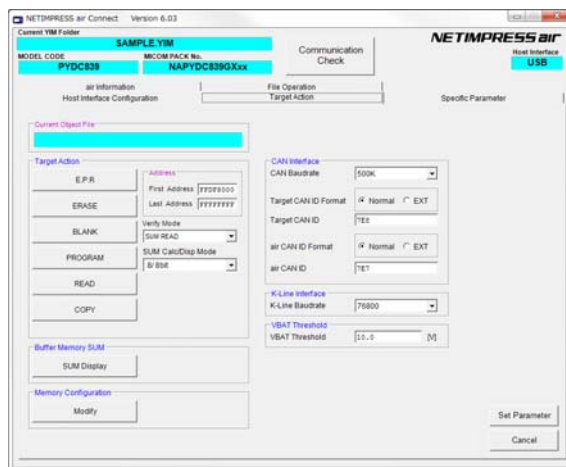
## 1.概要・特長

この章では、NETIMPRESS air シリーズ（以下、本機）の製品概要、プログラミング環境の構成、および、プログラミング開始までに必要な操作の流れについて説明します。

### 1.1. NETIMPRESS air シリーズの概要

NETIMPRESS air は ECU 開発・評価・フィールドサービスでご利用頂けるコンパクトな CAN Flash Programmer & Logger ツールです。USB を標準搭載しているので、PC から USB 経由で制御・実行できるほか、WLAN モデル（/W モデル）は、USB に加えて Wireless LAN を搭載しているため、ワイヤレス環境でも実行・制御することが可能です。

本機は、車載バッテリーからの電源供給(12V)で動作しますので、スタンドアロン環境（PC レス環境）でもプログラミングやロギングを実行することが可能です。



NETIMPRESS air Connect



NETIMPRESS air

本機に挿入する専用 SD カード内に、各種マイコンのプログラミング用のファームデータ（定義体）を追加することにより、各種デバイス（ECU）に対応することができます。

また、ロガー用ライセンスを追加することにより、SD カード内にロギングデータを保存することもできます。

PC に AZ990(プログラミング専用 PC ソフトウェア)、AZ992 (ロガー用専用 PC ソフトウェア) をインストールすれば、USB や WLAN 経由でプログラミングやロギングに関する実行・制御・条件設定などの操作が可能です。

また、設定条件等は専用 SD カード内に保存されますので、スタンドアロン(PC レス)でもご使用いただけます。

専用 SD カード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マイコン用プログラミングファームデータを格納する専用 SD カードです。本機に挿入することで各種デバイスへの書込みに対応することができます。</li> <li>● 定義体ライセンスを追加することで対応する通信プロトコルを拡張することが可能です。</li> <li>● 初期出荷時の専用 SD カードには定義体ライセンスが付加されておりません。ご使用の際には、定義体ライセンスの追加を必ず行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➡ 定義体ライセンスの追加方法については、本マニュアルにある、「4.1 定義体ライセンスの追加」を参照してください。</li> </ul> </li> <li>● 定義体ライセンスがサポートしている、同じシリーズのマイコンへのプログラミングは、弊社から別途提供しているマイコンパックを適用することによって対応可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➡ マイコンパックについては、本マニュアルにある、「4.3 各種設定ファイルのロード」を参照してください。</li> </ul> </li> <li>● 弊社提供の専用 SD カードをお使いください。専用 SD カード以外では正常に動作致しません。(市販の SD カードは使用できません。)</li> </ul>
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 1.2. 通信環境

ホスト PC と本機の通信には、USB 及び Wireless LAN を使用します。

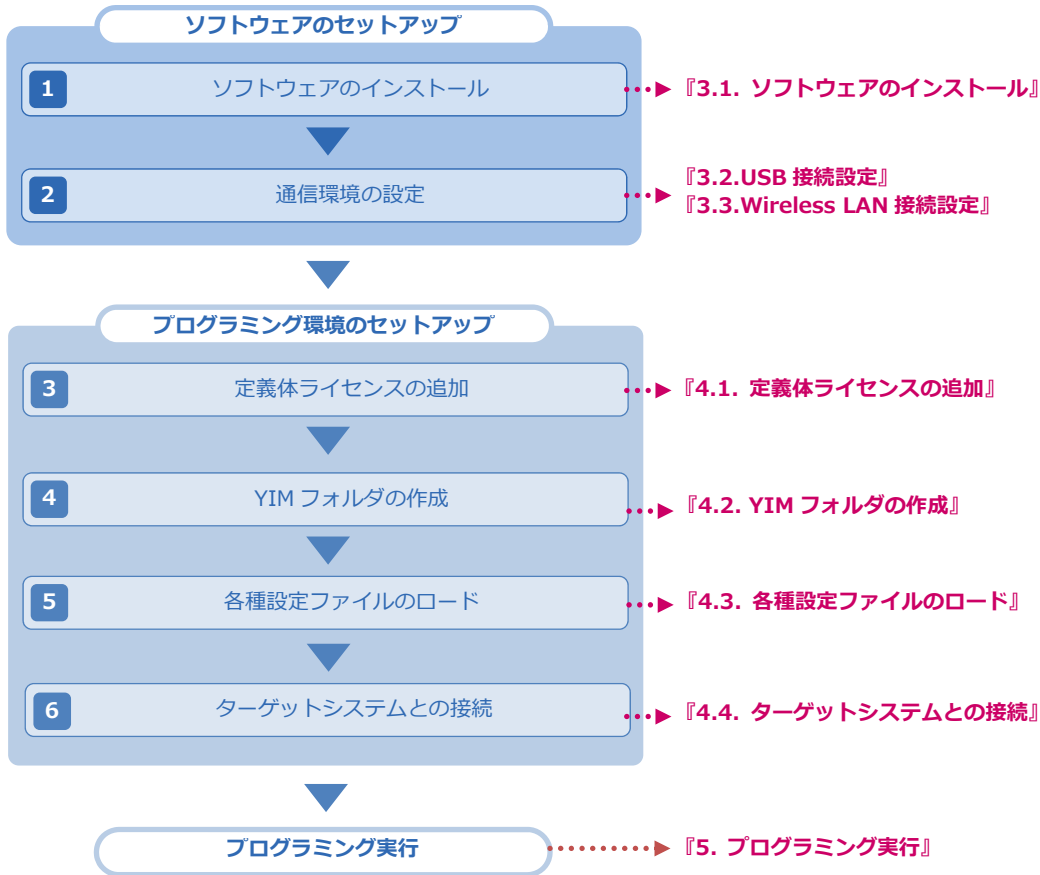
USB で使用する時は、専用のドライバが必要です。

Wireless LAN で使用する時は、アクセスポイントまたは Wireless LAN 接続可能なホスト PC が必要です。

## 1.3. プログラミング開始までの流れ

製品を購入してから、プログラミングを開始するまでの基本的な流れを以下に示します。

具体的な設定手順については、それぞれの参照先をご覧ください。



## 2. ハードウェア、ソフトウェアの確認(標準的な構成)

### 2.1. ハードウェア

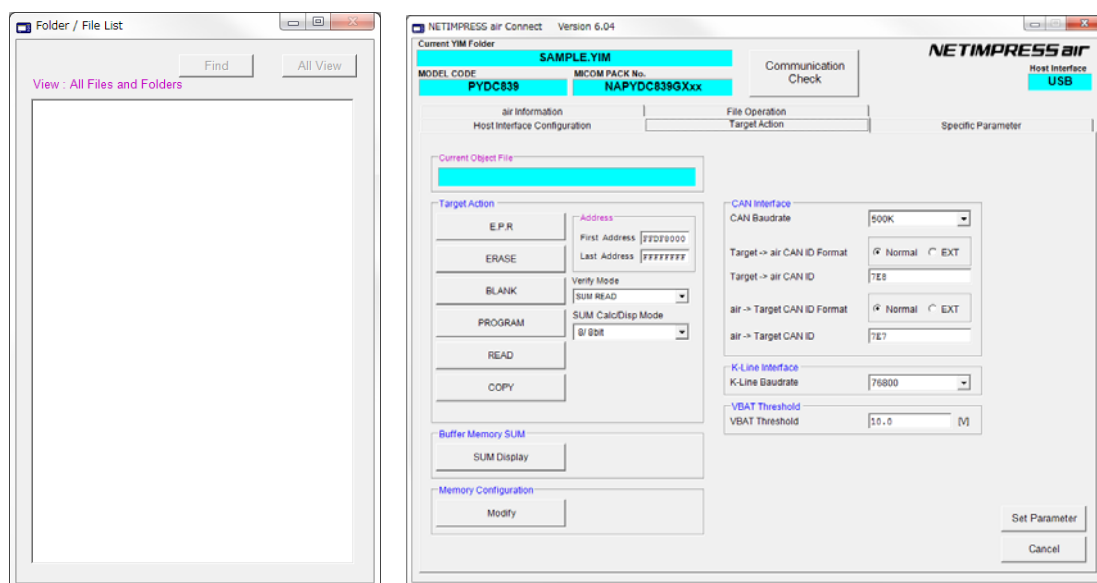
- NETIMPRESS air 本体(型番 AF930 or AF930/W)
- 専用 SD カード(型番 FX900)
- ターゲットプローブ / アダプタ  
お客様のご利用になるターゲット環境により異なります。
- ホスト PC  
Windows OS(Windows 7 32bit/64bit)に対応。
- USB ケーブル  
ホスト PC と直接接続して使用します。



USB を使用する場合は必ず、製品に付属の USB ケーブルを使用してください。

## 2.2. ソフトウェア

- AZ990 (NETIMPRESS air Connect)  
各種ファイルのダウンロード、プログラミングの実行、各種パラメータの設定をおこなう際に使用します。



### 2.2.1. ソフトウェアの使用環境

OS	Windows7 32bit 版 (Professional) もしくは 64bit 版(Professional) 日本語版、英語版
CPU	1GHz 以上
メモリ	1GByte 以上
モニタ	1024x768 以上
その他	.NET Framework 3.5 を使用 USB2.0 コネクタ(USB 接続時) Wireless LAN 環境(Wireless LAN 接続時)

## 3. ソフトウェアのセットアップ

### 3.1. ソフトウェアのインストール

プログラミング環境の構築にあたり、下記のソフトウェアを使用します。

- AZ990 (NETIMPRESS air Connect)

これらの、本機への各種設定をおこなうソフトウェアは弊社ホームページから提供しています。

下記の URL からダウンロード取得してください。

[https://www.dts-insight.co.jp/support/support\\_netimpress\\_air/?m=Document&item=1](https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress_air/?m=Document&item=1)



本マニュアルでは、最新版の AZ990 の使用を前提としています。古いバージョンをご使用の場合、画面構成が異なる箇所がありますので、上記リンクから最新版をダウンロード・インストールしてご使用下さい。

ソフトウェアは、自己解凍形式ファイルとなっていますので、ホスト PC 上で解凍の上、インストールを行ってください。ソフトウェアのインストールが完了すると、デフォルトでは、

Windows [スタート]メニュー - <すべてのプログラム> - <DTS INSIGHT Tools>

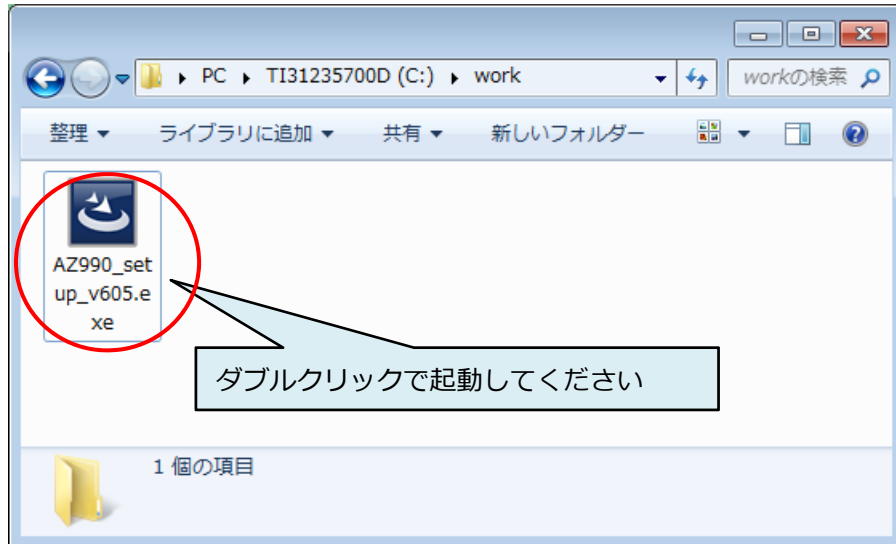
に、アイコンが登録されます。



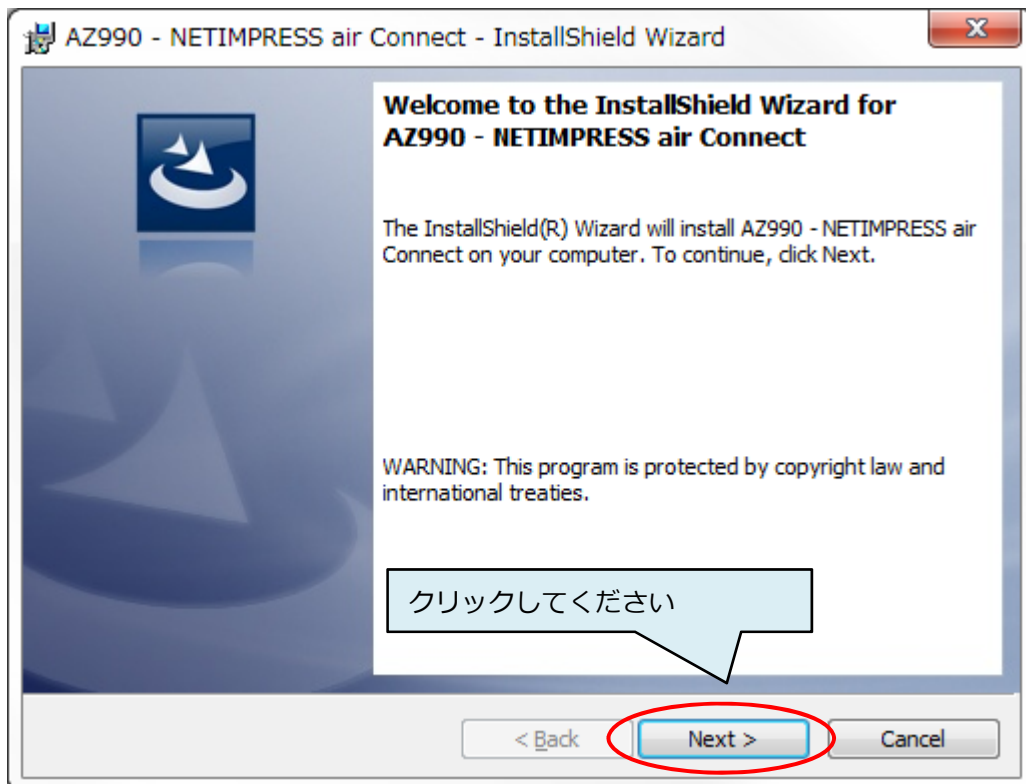
## 3.1.1. AZ990(NETIMPRESS air Connect)のインストール手順

インストールは管理者でログインした状態で行ってください。

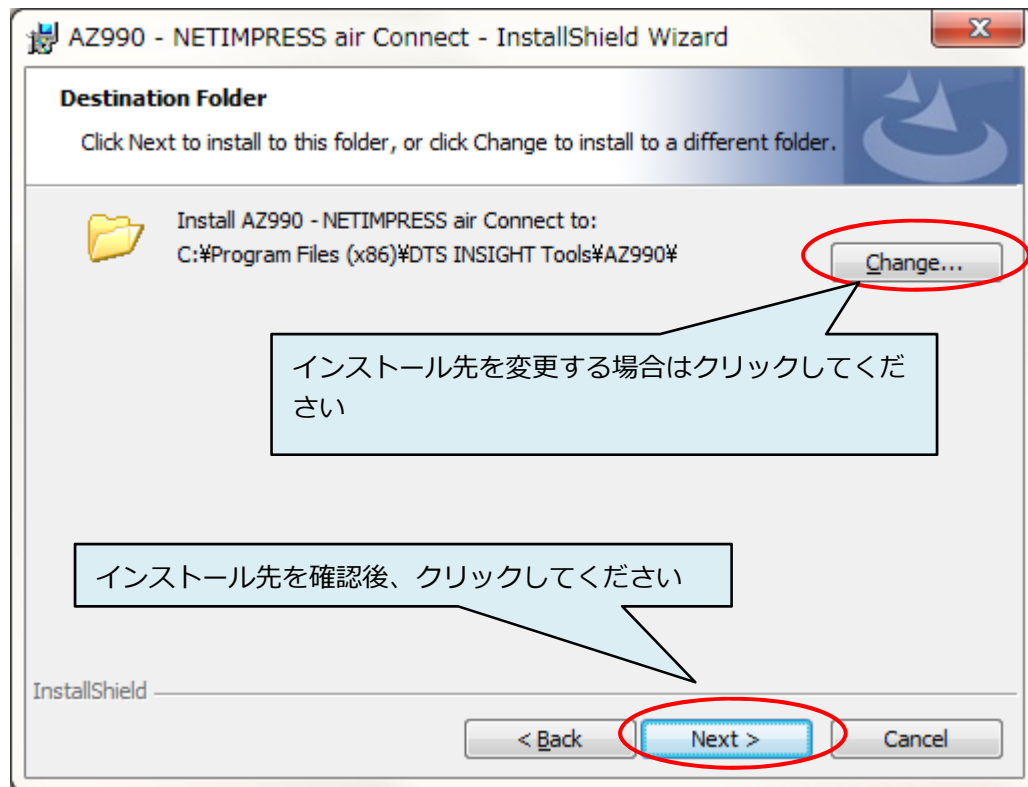
(1) AZ990\_setup\_vXXX.exe(XXX の部分はバージョン番号が入ります)を起動して下さい。



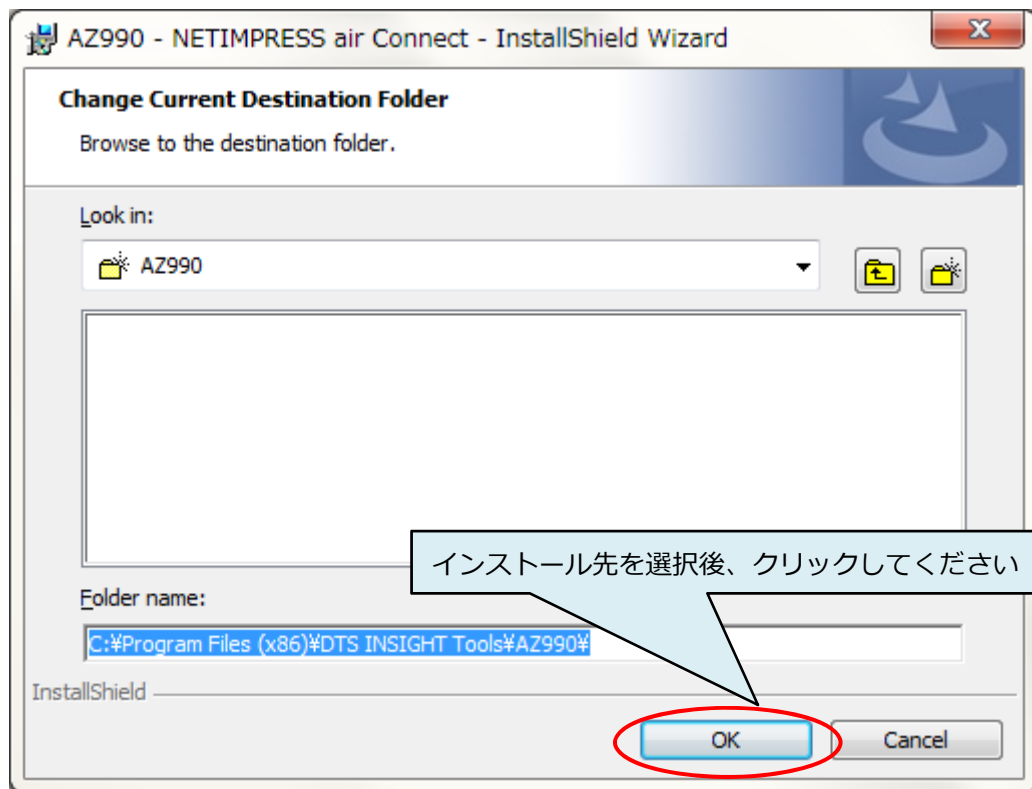
(2) AZ990\_setup\_vXXX .exe が起動すると下記画面が表示されますので“Next”をクリックしてください。



- (3) インストール先を確認し、“Next”をクリックしてください。  
インストール先を変更する場合は“Change”をクリックしてください。

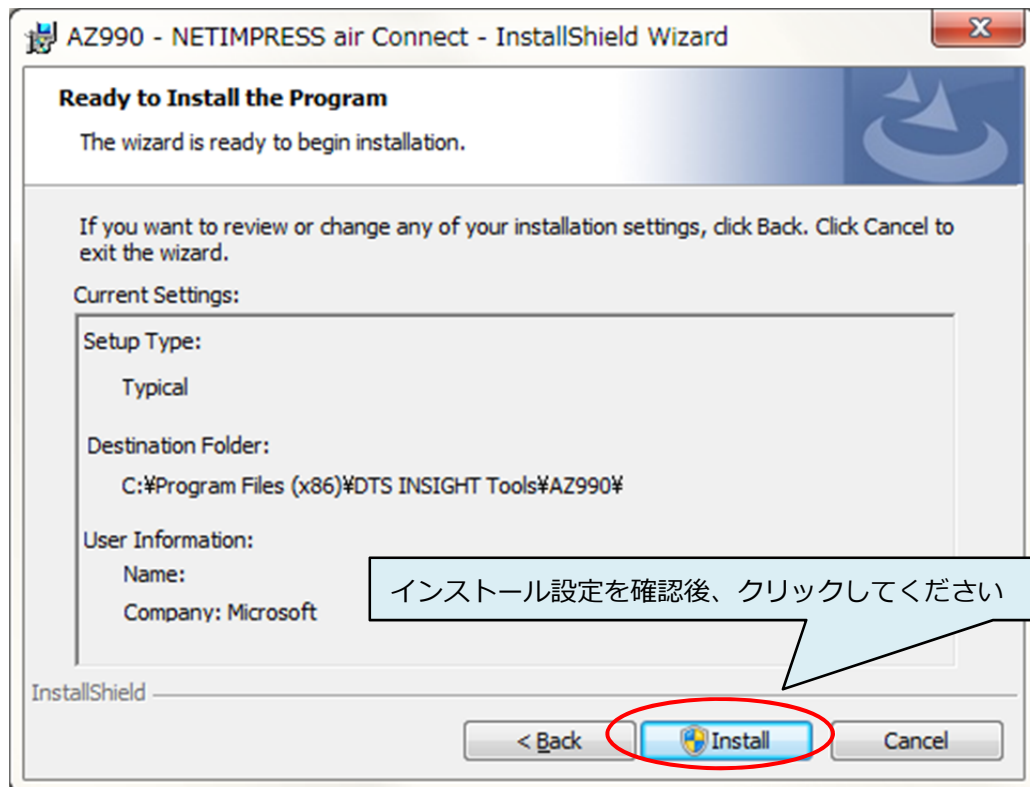


(4) インストール先を選択後“OK”をクリックしてください。(インストール先を変更する場合)

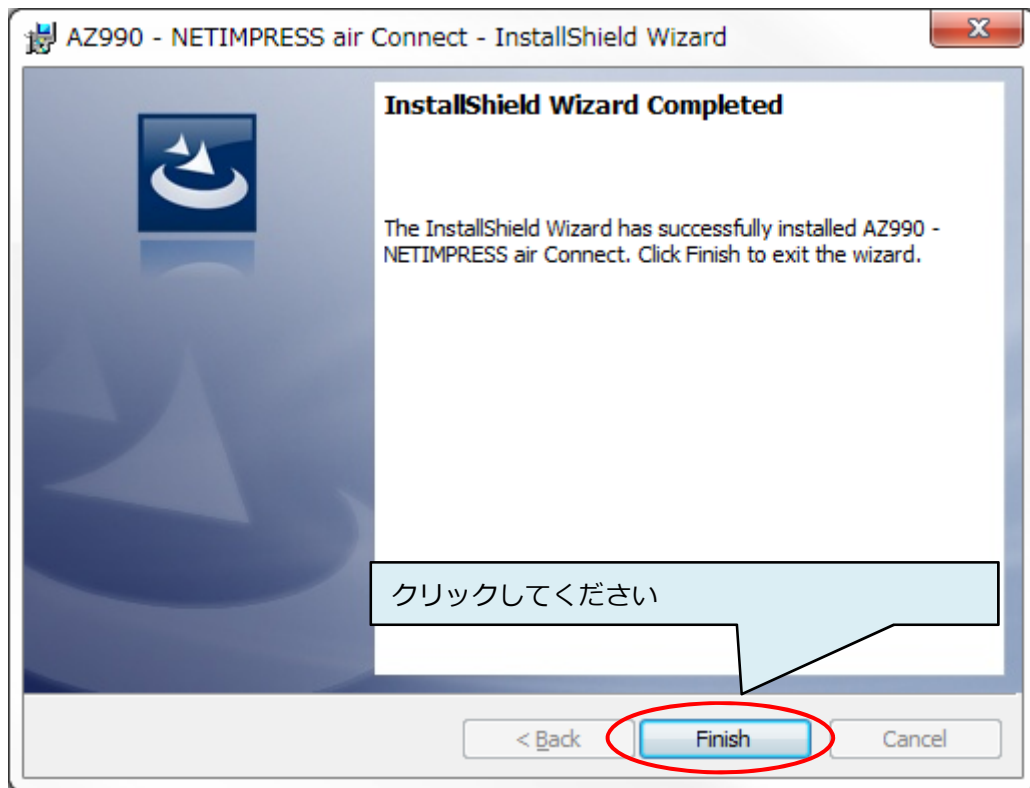


(5) インストール設定を確認し、“Install”をクリックしてください。

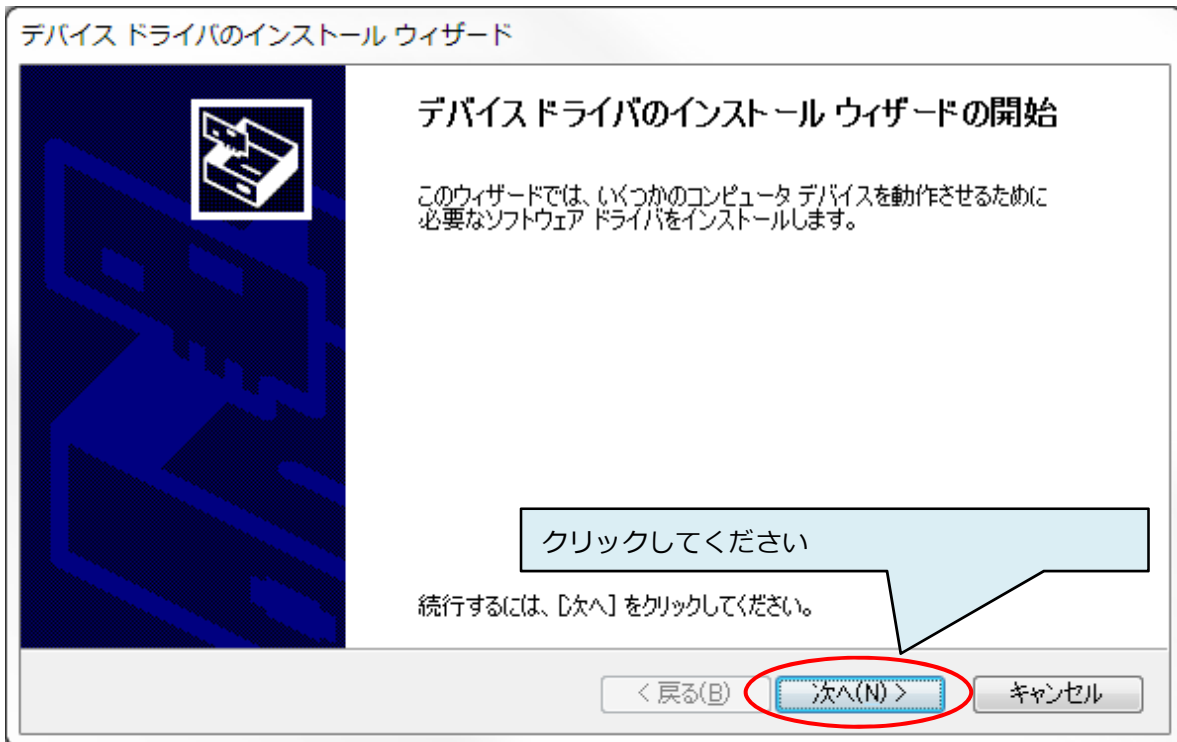
インストール中にユーザアカウント制御画面が表示された場合は、“はい”をクリックしてください。



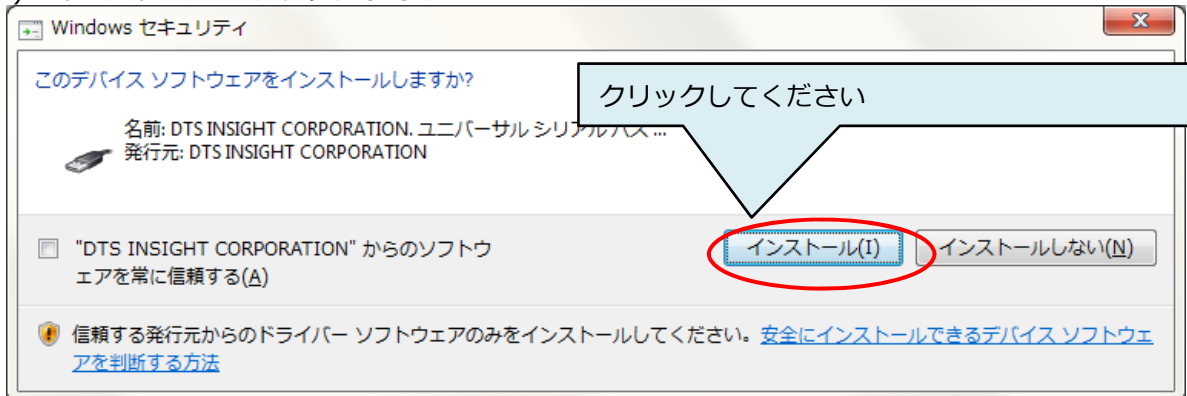
- (6) 以下の画面が表示されれば、AZ990(NETIMPRESS air Connect)のインストールは完了です。  
“Finish”をクリックすると、引き続き USB ドライバのインストールが開始されます。  
インストール中にユーザアカウント制御画面が表示された場合は、“はい”をクリックしてください。



(7) “次へ”をクリックしてください。



(8) “インストール”をクリックしてください。



- (9) 以下の画面が表示されれば、USB ドライバのインストールは完了です。  
“完了”をクリックしてください。



クリックしてください

## 3.2. USB 接続設定

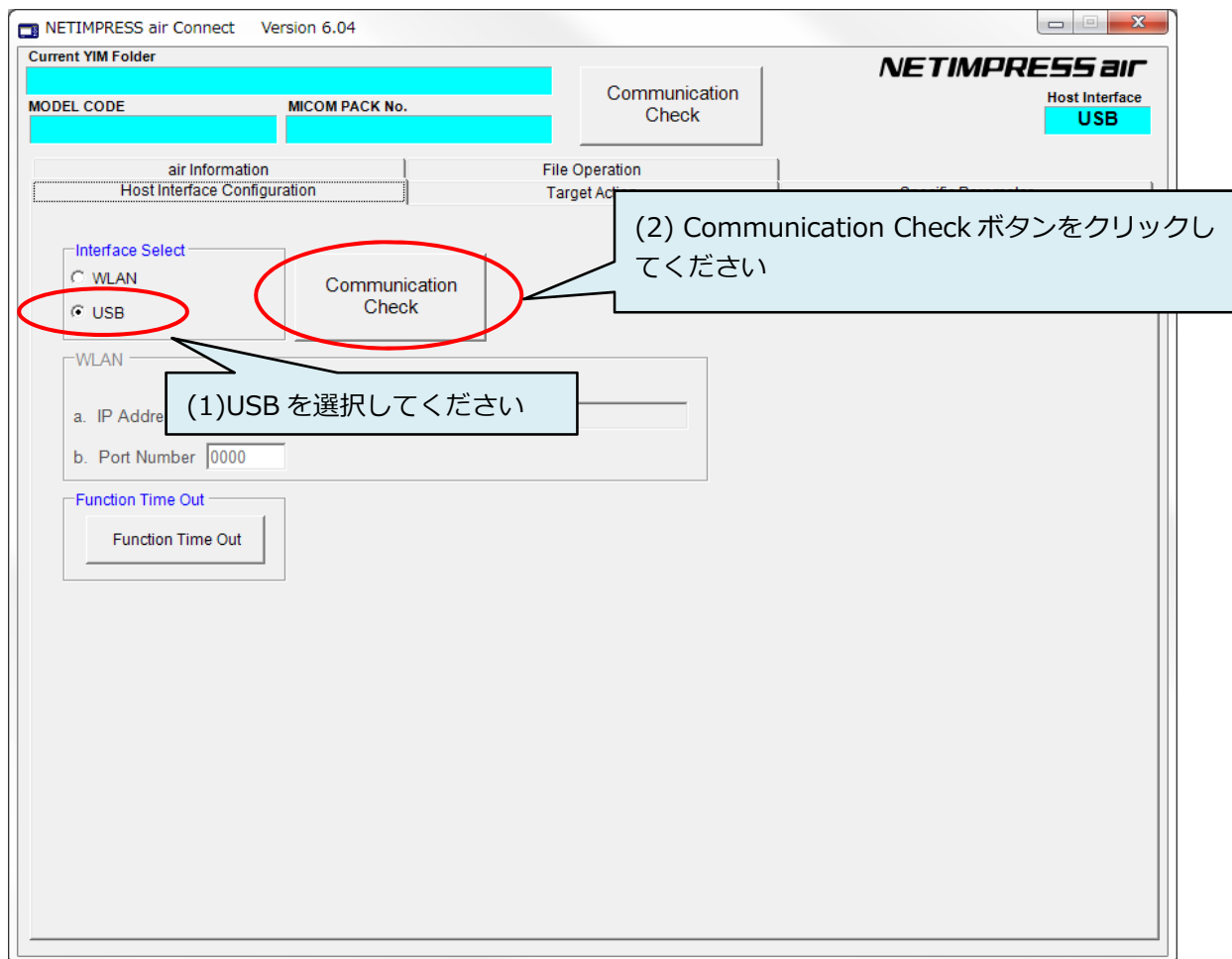
### 3.2.1. PC との接続 (AZ990: NETIMPRESS air Connect 設定)

本機を AZ990(NETIMPRESS air Connect)から制御する環境を設定します。

- (1) 本機に専用 SD カードを挿入してください。
- (2) 本機とホスト PC を USB で接続してください。
- (3) ホスト PC で、AZ990(NETIMPRESS air Connect)を起動します。

Windows [スタート]メニュー - <すべてのプログラム> - <DTS INSIGHT Tools> - <NETIMPRESS air Connect>

- (4) “Host Interface Configuration”タブで、“USB”を選択し、“Communication Check”ボタンをクリックしてください。

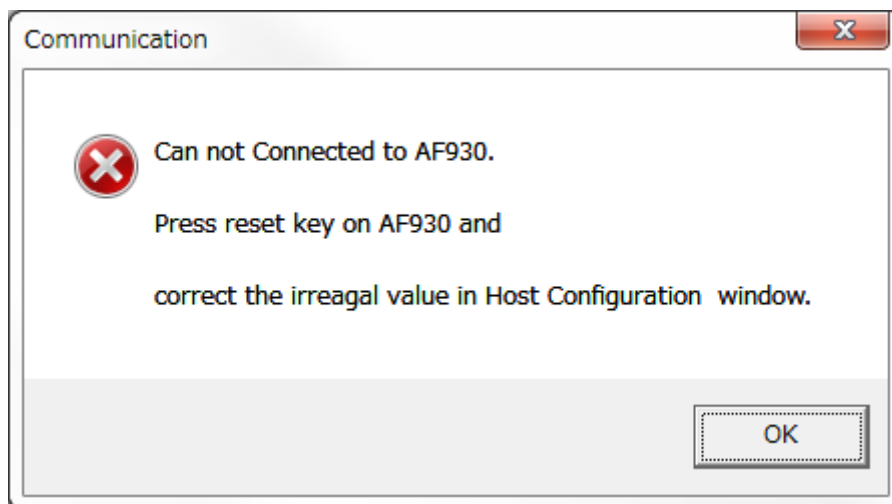




- (5) ホスト PC と本機の USB 通信が確立されると、以下の画面が表示されます。以降、ホスト PC から本機への制御が可能になります。



- !** 通信エラーにより、下記のダイアログウィンドウが表示された場合、ホスト PC と本機の接続が完了していません。接続の状態や設定を再度ご確認ください。



## 3.2.2. USB 接続時にエラーが発生した場合の確認事項

USB が接続されていますか？	<ul style="list-style-type: none"><li>● ホスト PC、および、本機のコネクタに USB ケーブルが間違いなく接続されている事を確認してください。 USB ハブを使用している場合は、ハブがホスト PC と接続されていることも確認してください。</li></ul>
ドライバが正常にインストールされていますか？	<ul style="list-style-type: none"><li>● ホスト PC に本機の USB ドライバが正常にインストールされているか確認してください。  ホスト PC と本機を USB ケーブルで接続後、ホスト PC で[コントロールパネル]-[システム]-[デバイス マネージャー]を開き、[ユニバーサル シリアル バス コントローラー]  内に、“ProgrammerUSB”という項目が存在することを確認してください。</li></ul>

## 3.3. Wireless LAN 接続設定


### 3.3.1. 接続環境と設定の確認

本機は、インフラストラクチャモード、アドホックモードの2通りの接続モードに対応しています。

インフラストラクチャモードで本機と接続する場合は、Wireless LAN アクセスポイントの用意と設定が必要になります。

アドホックモードで本機と接続する場合は、ホスト PC 側に Wireless LAN が接続できる環境が必要になります。

本機で設定可能な Wireless LAN 設定は以下の通りとなります。

通信方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インフラストラクチャ [初期値]</li> <li>● アドホック</li> </ul>
SSID	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 任意の英数字(1~32文字)を指定します。</li> <li>● netimpress [初期値]</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● なし [初期値]</li> <li>● WEP64</li> <li>● WEP128</li> <li>● WPA-PSK(TKIP)</li> <li>● WPA2-PSK(AES)</li> </ul> <p> 通信方法でアドホックを選択している場合は、WPA-PSK と WPA2-PSK はご使用できません。(設定は可能ですが、正常に通信することはできません。)</p>
WEP キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● WEP64 選択時は 5 文字の英数字を指定</li> <li>● WEP128 選択時は 13 文字の英数字を指定</li> </ul>
WPA / WPA2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 任意の英数字(8~63文字)を指定します。</li> <li>● WPA-PSK, WPA2-PSK を選択時に有効になります。</li> </ul>

### 3.3.2. Wireless LAN の設定を行う

下記手順に従い、本機への Wireless LAN 設定を行ってください。

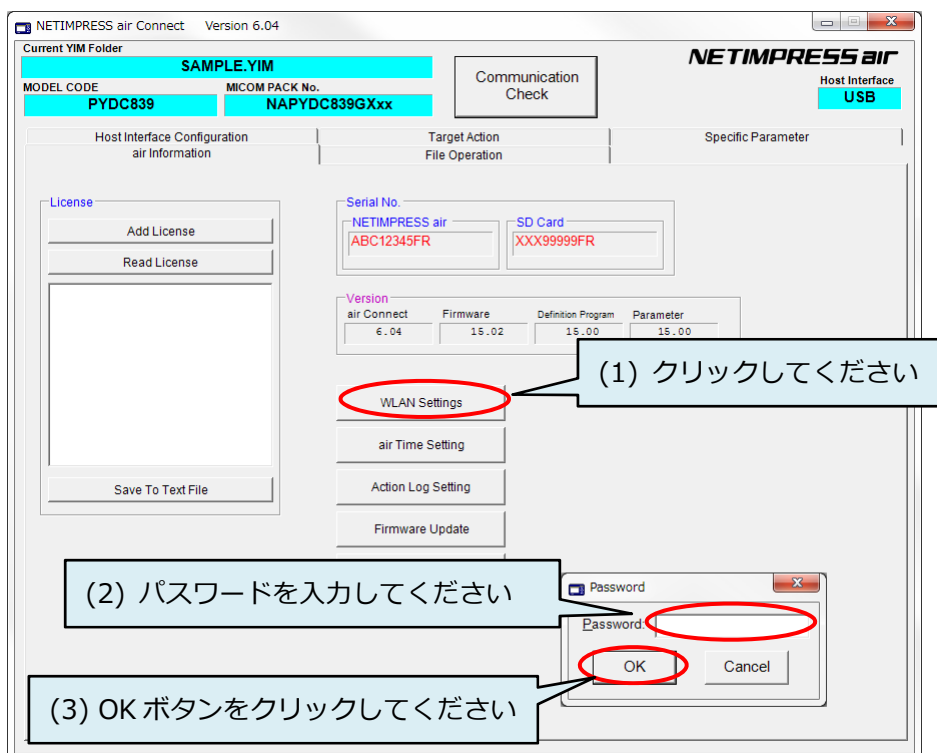
 NETIMPRESS air は、DHCP には対応していません。固定 IP アドレスを割り当ててご使用ください。

- (1) 本機に専用 SD カードを挿入してください。
- (2) 本機とホスト PC を USB で接続してください。
- (3) ホスト PC で、AZ990(NETIMPRESS air Connect)を起動します。

Windows [スタート]メニュー - <すべてのプログラム> - <DTS INSIGHT Tools> - <NETIMPRESS air Connect>

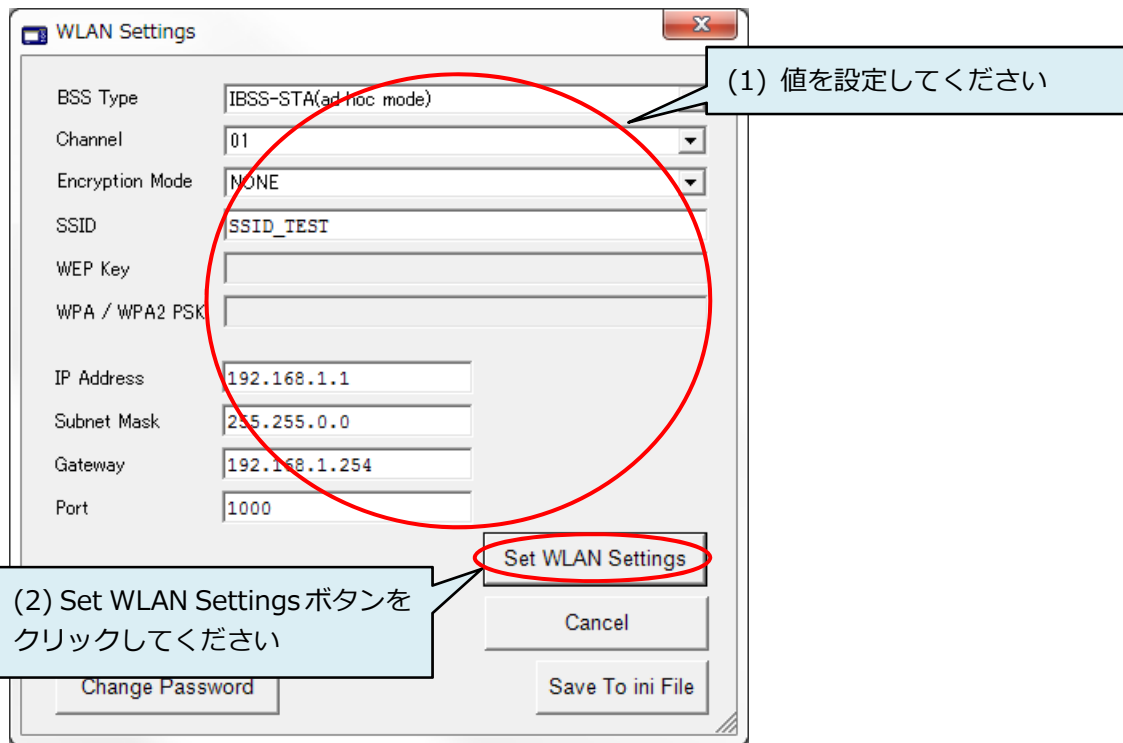
- (4) “Host Interface Configuration”タブで、“USB”を選択し、“Communication Check”ボタンをクリックします。
- (5) “air Information”タブの“Action Log Setting”ボタンをクリックします。

パスワード入力画面が表示されますので、Wireless LAN 設定画面を開くためのパスワードを入力し、“OK”ボタンをクリックします。初期パスワードは“AF200”です。また、入力したパスワードは“\*”で表示されます。



正しいパスワードを入力すると、Wireless LAN 設定画面が表示されます。

各項目の設定値を入力後、Wireless LAN 設定画面上の“Set WLAN Settings”ボタンをクリックします。



- ✓ ここで設定する本機の IP アドレスと、Wireless LAN で接続したいパソコンの IP アドレスを同一ネットワーク上に設定する必要があります。

IP アドレスは、ネットワークアドレス（上記の例でいうと 192.168.1 のところ）が同じでないと通信できません。ご注意ください。

Wireless LAN 設定画面の項目と意味は次のとおりです。

項目	意味	設定範囲
BSS Type	本機の Wireless LAN 接続タイプを設定します。	BSS-STA(infrastructure mode): インフラストラクチャモードでホスト PC と Wireless LAN 接続します。 IBSS-STA(ad hoc mode): アドホックモードでホスト PC と Wireless LAN 接続します。
Channel	Wireless LAN 通信に使用するチャンネルを設定します。	Ch1~Ch13

Encryption Mode	通信の暗号化モードを設定します。	<p>NONE: 暗号化を行いません。</p> <p>WEP-64: WEP64 による暗号化を行います。</p> <p>WEP-128: WEP128 による暗号化を行います。</p> <p>WPA-TKIP: WPA による暗号化を行います。</p> <p>WPA2-AES: WPA2 による暗号化を行います。</p>
SSID	SSID を設定します。	<p>BSS Type に BSS-STA(infrastructure mode)を設定している場合、接続するアクセスポイントの SSID を設定します。</p> <p>BSS Type に IBSS-STA(ad hoc mode)を設定している場合、本機の SSID を設定します。</p>
WEP Key	WEP キーを設定します。 Encryption Mode に WEP-64 もしくは WEP-128 を設定している場合のみ入力可能です。	<p>Encryption Mode に WEP-64 を設定している場合、5 文字の英数字を入力します。</p> <p>Encryption Mode に WEP-128 を設定している場合、13 文字の英数字を入力します。</p>
WPA / WPA2 PSK	WPA/WPA2 使用時のキーを設定します。 Encryption Mode に WPA-TKIP もしくは WPA2-AES を設定している場合のみ入力可能です。	8 ~ 63 文字の英数字を入力します。
IP Address	本機の IP アドレスを設定します。	xxx.xxx.xxx.xxx の形式で IP アドレスを入力します。
Subnet Mask	本機のサブネットマスクを設定します。	xxx.xxx.xxx.xxx の形式でサブネットマスクを入力します。
Gateway	本機のデフォルトゲートウェイを設定します。	xxx.xxx.xxx.xxx の形式でデフォルトゲートウェイを入力します。
Port	本機のポート番号を設定します。	0000~FFFF の 16 進数を入力します。

### 3.3.3. PC との接続 (AZ990: NETIMPRESS air Connect 設定)

本機を AZ990(NETIMPRESS air Connect)から制御する環境を設定します。

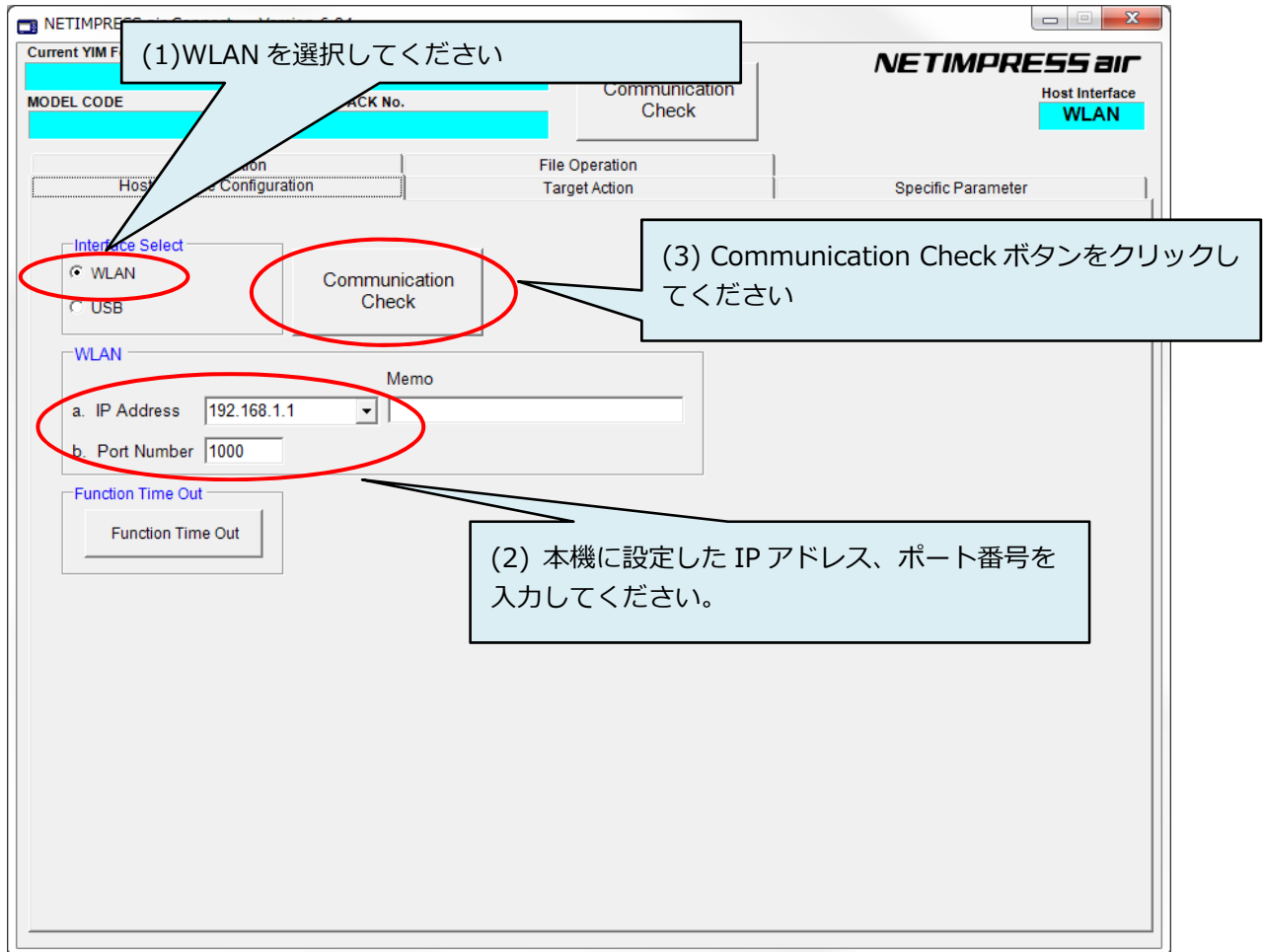
(1) ホスト PC と本機の Wireless LAN 設定を行います。

(2) ホスト PC で、AZ990(NETIMPRESS air Connect)を起動します。

Windows [スタート]メニュー - <すべてのプログラム> - <DTS INSIGHT Tools> - <NETIMPRESS air Connect>

(3) “Host Interface Configuration”タブで、“WLAN”を選択し、本機に設定した IP アドレス、ポート番号を入力してください。また、IP アドレスに紐付けたメモを保存したい場合は、メモも入力してください。

入力を終わったら、“Communication Check”ボタンをクリックしてください。

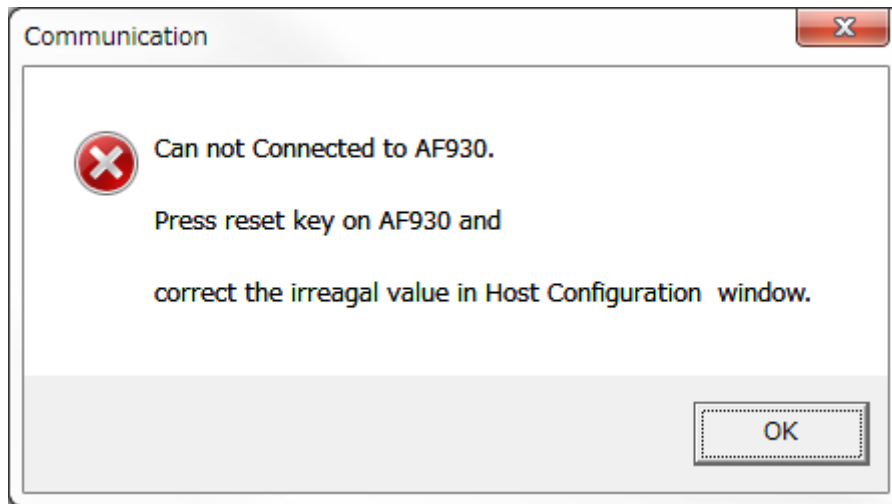


- (4) ホスト PC と本機間の Wireless LAN 通信が確立されると、以下の画面が表示されます。以降、ホスト PC から本機への制御が可能になります。








**!** 通信エラーにより、下記のダイアログウィンドウが表示された場合、ホスト PC と本機の接続が完了していません。接続の状態や設定を再度ご確認ください。



## 3.3.4. Wireless LAN 接続時にエラーが発生した場合の確認事項

<p>ホスト PC と本機は正しく Wireless LAN 接続されていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホスト PC、および、本機が Wireless LAN 接続されている事を確認してください。</li> </ul>
<p>IP アドレスは正しく設定されていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機に設定した IP アドレスが正しく入力されている事を確認してください。   本マニュアル「3.3.2 Wireless LAN の設定を行う」を参照してください。</li> <li>● ホスト PC や同じネットワークに接続している機器に設定されている IP アドレスと重複していないことを確認してください。</li> <li>● ホスト PC が IP アドレスを自動的に取得する設定(DHCP)になっている場合、本機と接続できません。ホスト PC には必ず固定の IP アドレスを設定してください。</li> <li>● サブネットマスクの設定に従った正しい IP アドレスをホスト PC、および、本機に設定して下さい。  サブネットマスクが 255.255.255.0 の場合、上位 24 ビットはホスト PC と本機で共通の値とする必要があります。</li> </ul>
<p>ポート番号は正しく設定されていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機に設定したポート番号が正しく入力されている事を確認してください。特に設定を行ってない場合は、デフォルト値の“1000”を入力してください。   本マニュアル「3.3.2 Wireless LAN の設定を行う」を参照してください。</li> </ul>
<p>サブネットマスクについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機のサブネットマスクのデフォルト値は 255.255.255.0 となっています。サブネットマスクは、ホスト PC 側の設定に合わせてください。サブネットマスクは「MENU:WLAN」の「SET WLAN IP ADDRESS」にて変更いただけます。   本マニュアル「7.4.30 Wireless LAN の IP アドレスを設定する」を参照してください。</li> </ul>

## 4. プログラミング環境のセットアップ

### 4.1. 定義体ライセンスの追加

プログラミング環境の対象マイコンに対応した定義体を使用するためには、定義体ごとに専用 SD カードに定義体ライセンスを追加する必要があります。

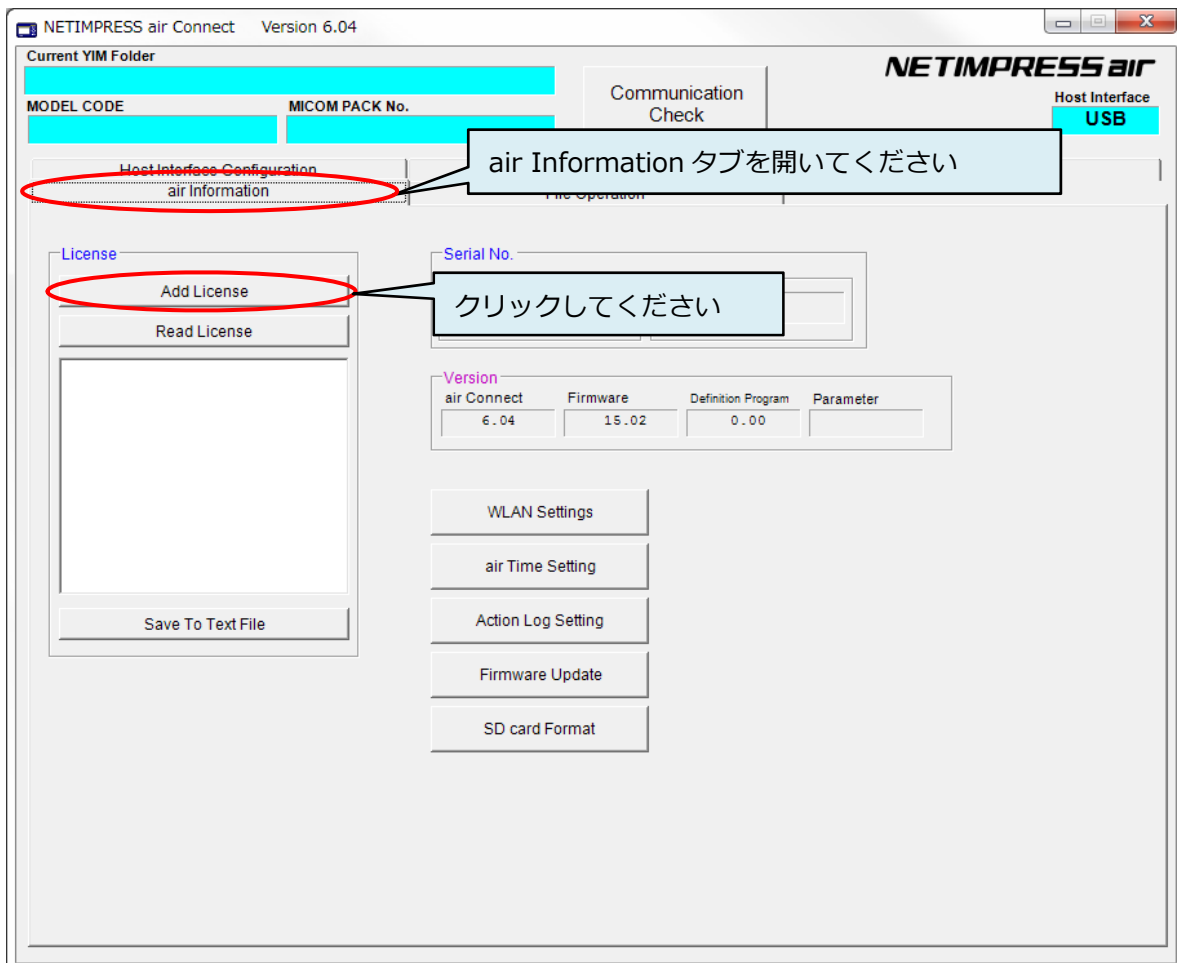
定義体ライセンスの追加に必要なライセンスファイル(拡張子.ALC)は、ご購入時に、弊社からホームページより取得します。

ライセンスファイル

- 拡張子は.ALC です。
- 弊社ホームページより取得します

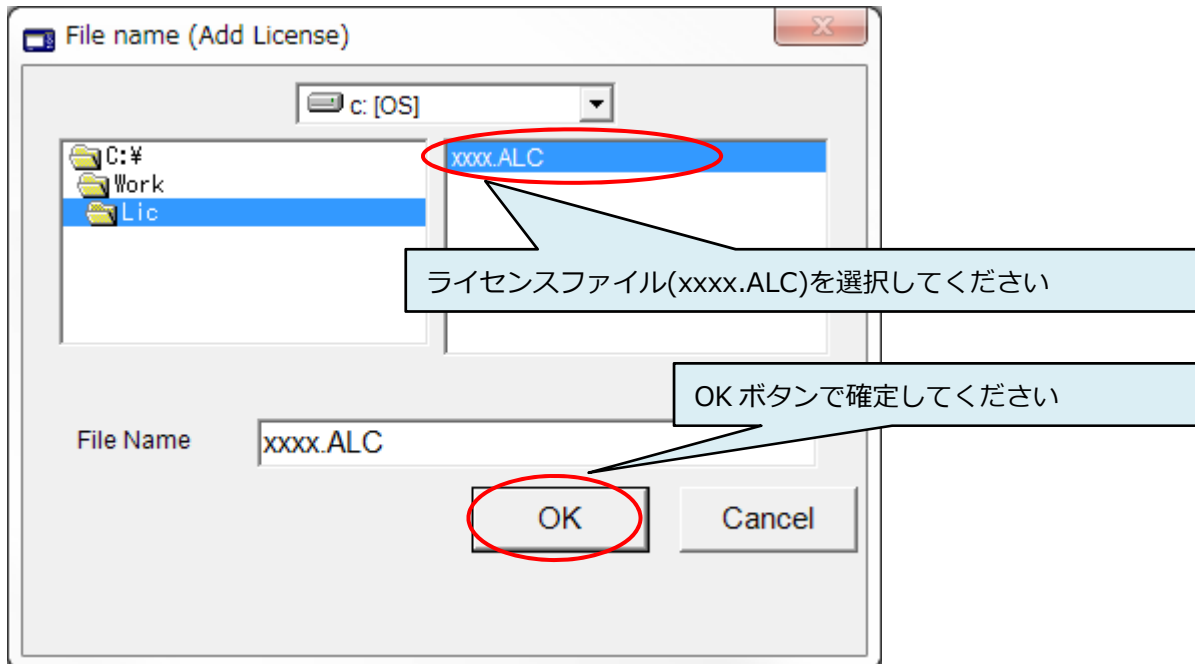
#### 4.1.1. 専用 SD カードへの定義体ライセンス追加手順

- (1) 取得したライセンスファイル(.ALC)を、ホスト PC のローカルフォルダにコピーします。
- (2) AZ990(NETIMPRESS air Connect)を起動して、本機に接続します。
- (3) “air Information”タブをクリックして開きます。  
“License”グループにある、“Add License”ボタンをクリックします。



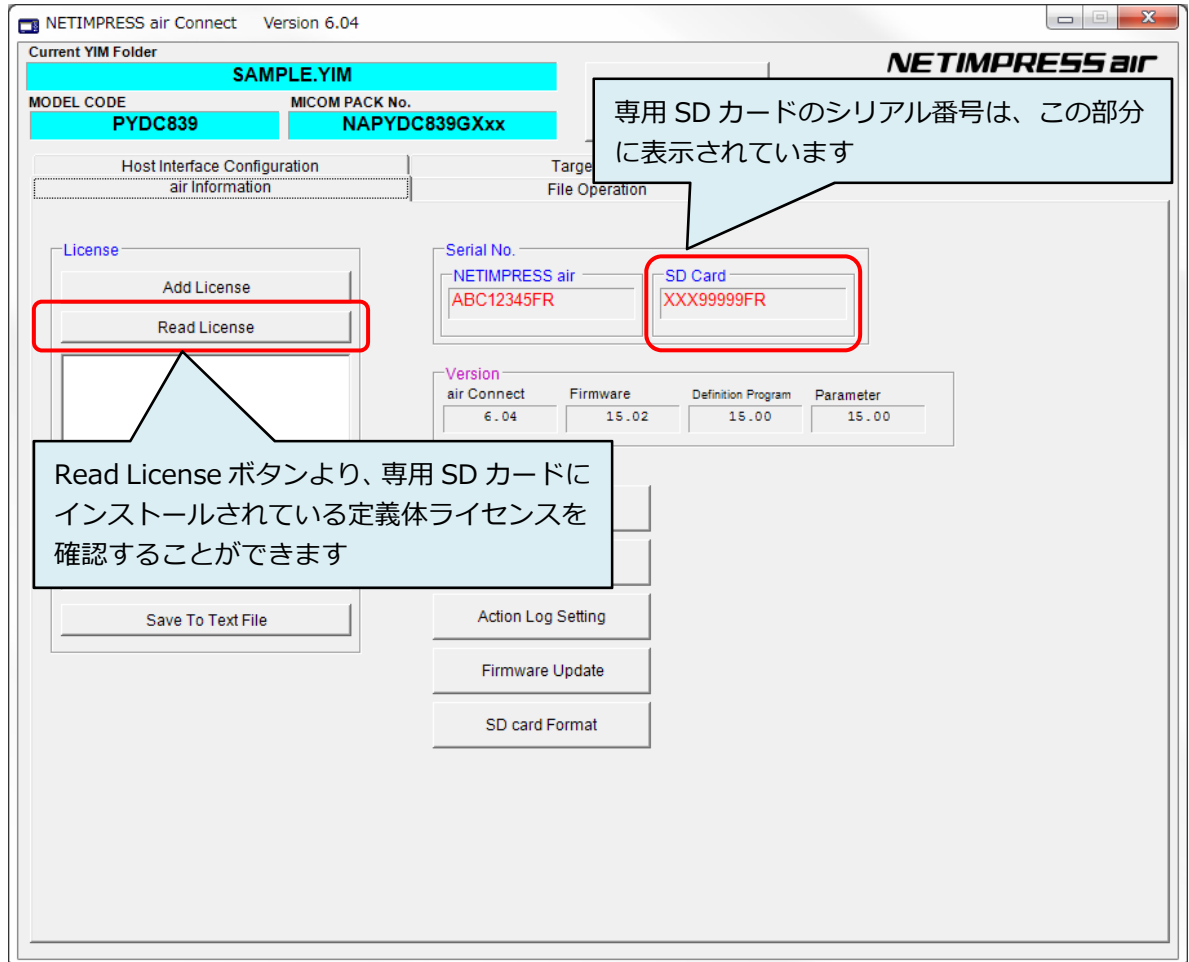
(4) (1)で準備したライセンスファイルを選択します。

“OK”ボタンを押すと、専用 SD カードに定義体ライセンスが追加されます。





ライセンスシートには、定義体ライセンスを適用する専用 SD カードのシリアル番号が印字されています。ライセンスシートに印字されているシリアル番号と、専用 SD カードのシリアル番号が一致していない場合には、定義体ライセンスを追加することができません。



スタンドアロン操作でも、定義体ライセンスの追加操作は可能です。

取得したライセンスファイルを専用 SD カードのルートに配置後、下記の手順で定義体ライセンスを追加します。

- 定義体ライセンス追加: 「MENU」 → 「LICENCE」 → 「ADD LICENCE」

本機のスタンドアロン操作では、下記の手順で、使用可能な定義体ライセンスと専用 SD カードのシリアル番号をご確認いただけます。

- 定義体ライセンス表示: 「MENU」 → 「LICENCE」 → 「READ LICENCE」
- 専用 SD カードのシリアル番号表示: 「MENU」 → 「VER/SERIAL」 → 「READ SERIAL NUMBER」

## 4.2. YIM フォルダの作成

プログラミングオブジェクトとプログラミング環境の設定は、専用 SD カードに配置する YIM フォルダ(拡張子.YIM)で管理します。

定義体ライセンス追加ができましたら、YIM フォルダを作成してプログラミング環境を設定します。

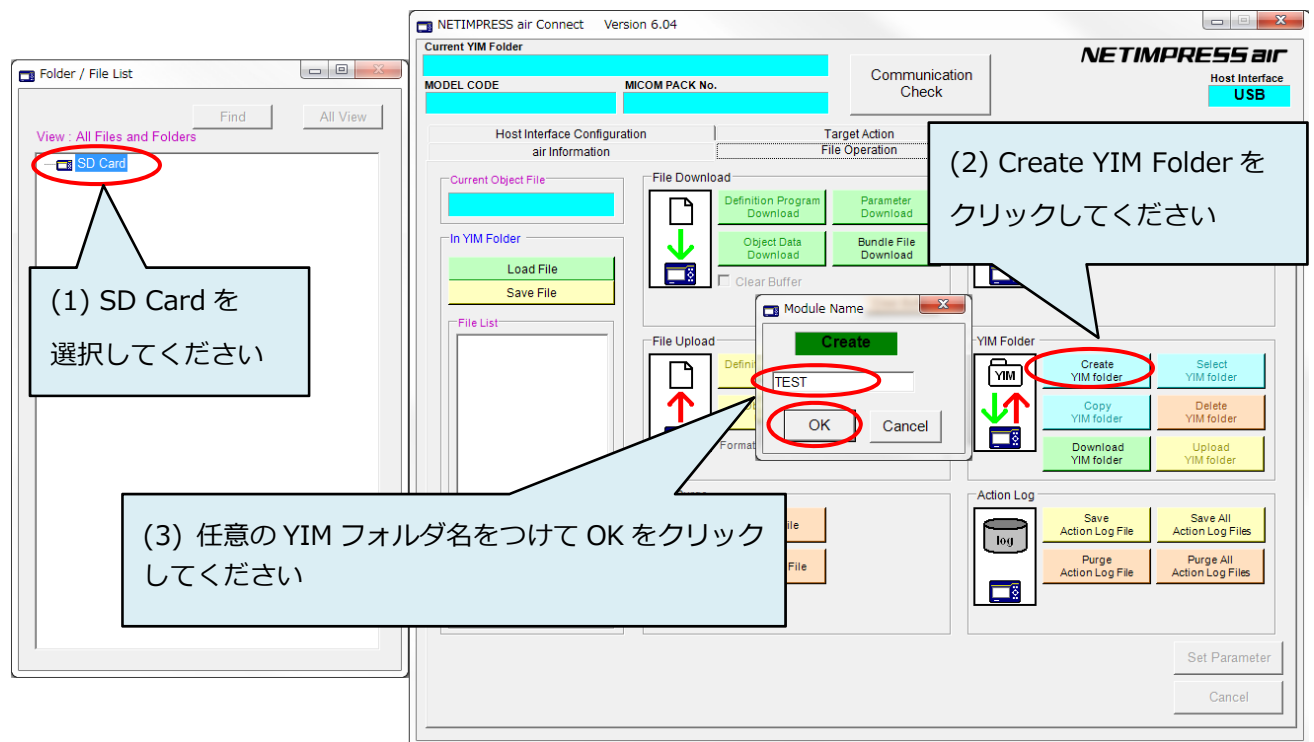
YIM フォルダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 拡張子は.YIM です。</li> <li>● 専用 SD カードのプログラミング環境を管理します。</li> </ul>
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------


➡ YIM フォルダの詳細については、本マニュアルの「8.1.1. YIM フォルダ」をご参照ください。

(1) AZ990(NETIMPRESS air Connect)のフォルダ・ファイルリスト画面内にある、“SD Card”をクリックして選択します。

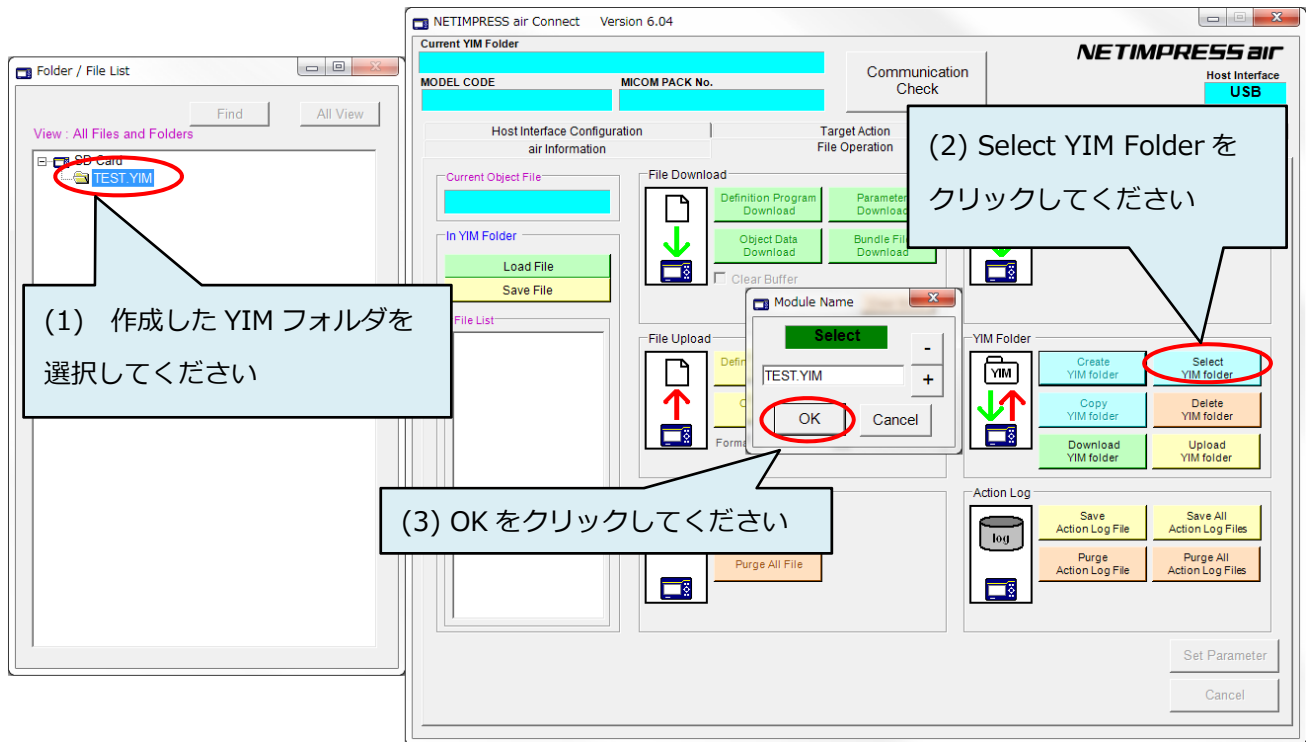
(2) メインウィンドウで、“File Operation”タブをクリックして開きます。

“Create YIM Folder”ボタンをクリックすると、新規に作成する YIM フォルダ名を設定するウィンドウが開きますので、任意の YIM フォルダ名を入力して“OK”ボタンをクリックします。



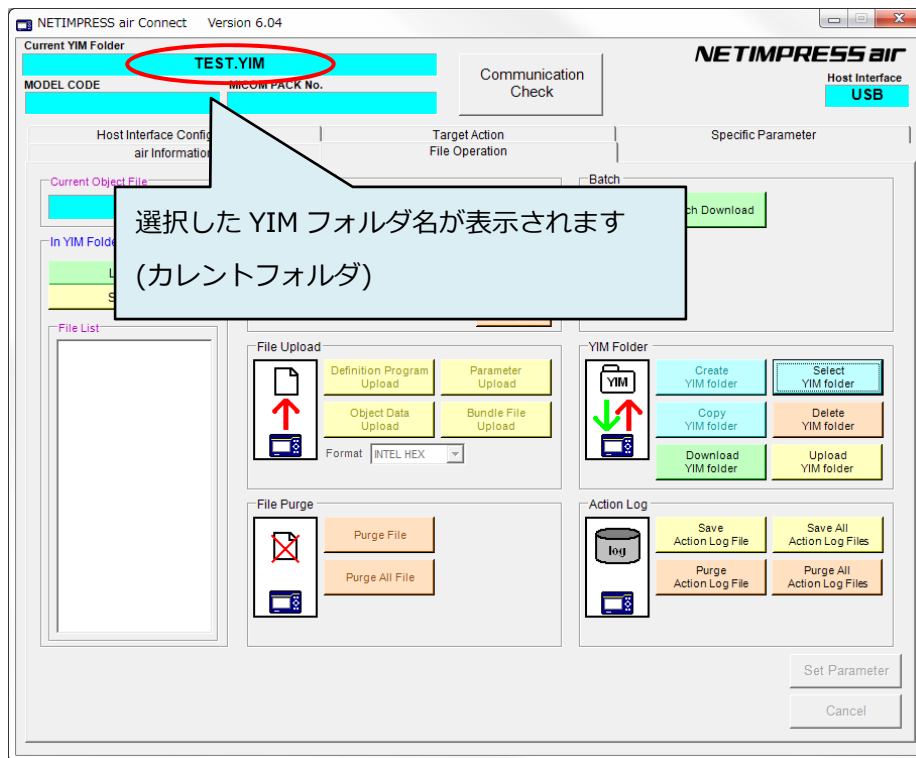
 フォルダ・ファイルリスト画面内を右クリックし、ポップアップメニューの「Create YIM folder」を選択して YIM フォルダを作成することもできます。

- (4) YIM フォルダを作成すると、フォルダ・ファイルリスト画面に、作成したフォルダが表示されます。  
 作成した YIM フォルダを選択して、メインウィンドウの“Select YIM Folder”ボタンをクリックします。  
 選択対象のフォルダ確認ウィンドウが表示されたら“OK”ボタンをクリックします。



- ✓ フォルダ・ファイルリスト画面で、作成した YIM フォルダをダブルクリックすることによって、YIM フォルダを選択することもできます。

- (5) (3)で選択した YIM フォルダがカレントフォルダとなり、AZ990(NETIMPRESS air Connect)最上部に YIM フォルダ名が表示されます。



## カレントフォルダ

- 各種ファイルのロードや、ターゲットアクションの実行をおこなう YIM フォルダです。
- 専用 SD カードに各種設定ファイルのロードをおこなった場合はカレントフォルダに展開されます。



### 4.3. 各種設定ファイルのロード

カレントフォルダに、プログラミング環境設定ファイルをロードします。

定義体ファイル(拡張子.CM)、および、マイコンパックの各種ファイルをご用意ください。マイコンパックは、下記の弊社ホームページからダウンロードいただけます。

[https://www.dts-insight.co.jp/support/support\\_netimpress\\_air/](https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress_air/)



無償保守サービスでは、マイコンパックのダウンロードはご購入後 3 か月間限定になっております。製品のご購入時に年間保守契約にご加入いただくことをお勧めしております。

マイコンパック	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種マイコンに対応したプログラミング環境設定用ファイルです。</li> <li>● 弊社ホームページよりダウンロード取得してください。（ダウンロードを行うにあたり製品の登録およびログインが必要になります。）</li> <li>● マイコンパックファイルは、圧縮ファイル(ZIP ファイル)になっています。ダウンロード後、Windows 上でファイルを解凍してください。</li> <li>● マイコンパックは、複数のファイルで構成されています。パラメータファイル(拡張子.PRM)、マニュアル、書き込み制御プログラム(拡張子.BTP)、readme ファイルなどが含まれます。（マイコンによりファイル内容が異なります）</li> </ul>
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 4.3.1. 定義体ファイルのロード

“File Operation”タブにある、“File Download”グループの“Definition Program Download”ボタンをクリックして、定義体ファイルをロードします。

定義体ファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 拡張子は.CM です。</li> <li>● 弊社ホームページから入手して下さい。</li> </ul>
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

(1) Definition Program Download をクリックしてください

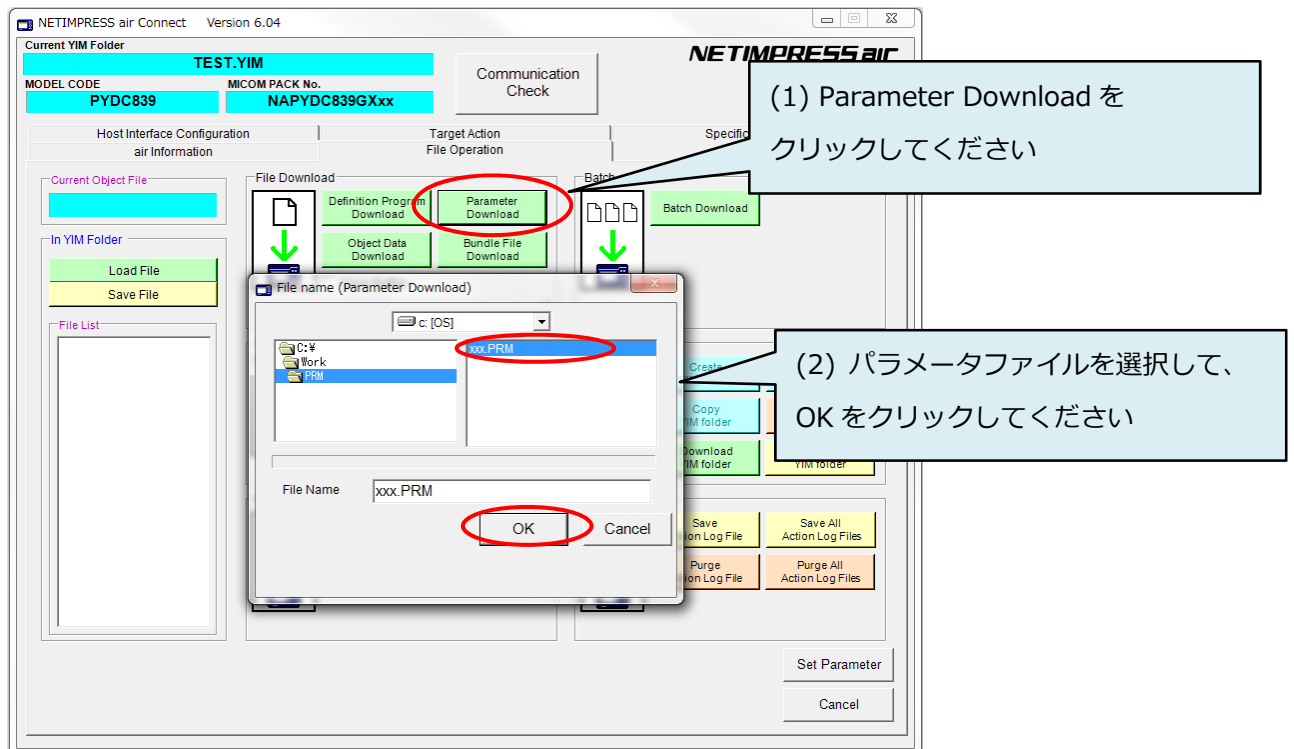
(2) 定義体ファイルを選択して、OK をクリックしてください

### 4.3.2. パラメータファイルのロード

“File Operation”タブにある、“File Download”グループの“Parameter Download”ボタンをクリックして、定義体ファイルをロードします。

#### パラメータファイル

- 拡張子は.PRM です。
- マイコンパックに同梱されています。
- ターゲットシステムのデバイス情報を含むパラメータテーブルファイルです。



### 4.3.3. 各種バンドルファイルのロード

“File Operation”タブにある、“File Download”グループの“Bundle File Download”ボタンをクリックして、必要なバンドルファイルをロードします。代表的なファイルとしては、KEY ファイル、AMK ファイル、BTP ファイルなどがあります。

バンドルファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定義体ファイル、パラメータファイル、プログラミングオブジェクトを除く、プログラミング環境を設定するファイルの総称です。</li> <li>● 弊社が提供するソフトウェアを使用して、お客様が作成したファイルも含まれます。(KEY ファイルなど)</li> </ul>
KEY ファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 拡張子は.KEY です。</li> <li>● デバイスのセキュリティチェックをおこなうためのファイルです。</li> <li>● AZ481(KEY ファイルジェネレータ)で作成します。</li> </ul>
AMK ファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 拡張子は.AMK です。</li> <li>● マイコンパックに同梱されています。</li> <li>● デバイスのセキュリティチェック用マスターキーファイルです。</li> </ul>
BTP ファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 拡張子は.BTP です。</li> <li>● マイコンパックに同梱されています。</li> <li>● デバイスの書き込み制御をおこなうプログラムファイルです。</li> </ul>

(1) Bundle File Download をクリックしてください

(2) Current Module を選択してください

(3) ファイルを選択してください

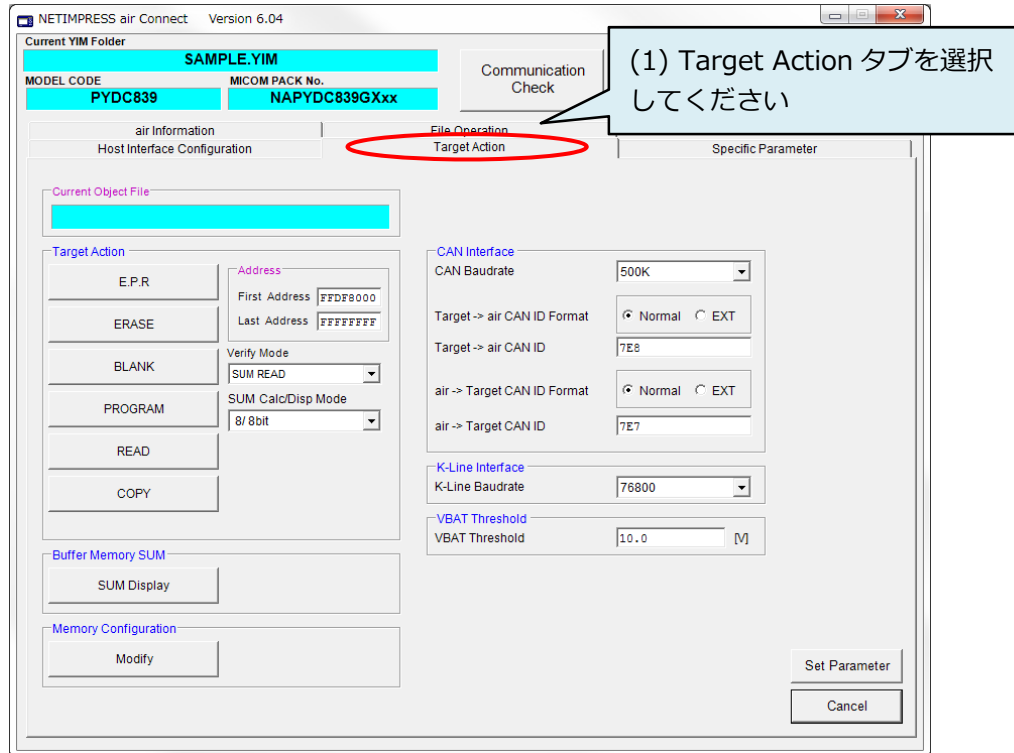
(4) OK ボタンをクリックしてください

#### 4.3.4. パラメータの設定

「4.3.2. パラメータファイルのロード」でロードしたパラメータファイルの設定は、代表的なパラメータを弊社で初期設定したものです。お客様のターゲットシステムに合わせて、変更が必要な場合があります。

各種パラメータの設定は、“Target Action”タブ画面でおこないます。

主に、CAN 通信設定、K-Line 通信設定、VBAT スレッシュホールド電圧などの設定などをおこないます。



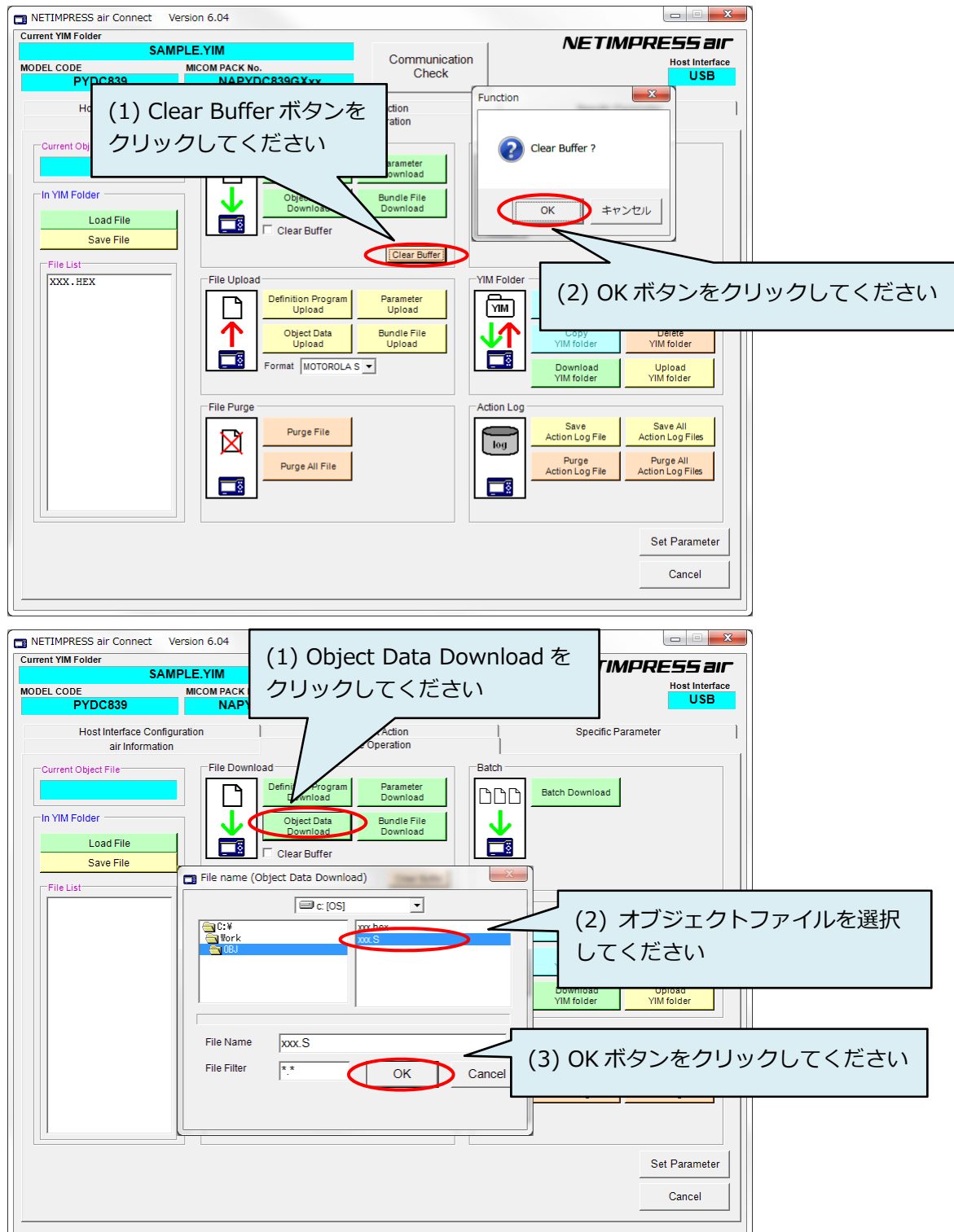
**!** パラメータテーブルの詳細につきましては、お使いになる定義体のマニュアル、および、マイコンパックのマニュアルをご確認ください。

### 4.3.5. オブジェクトファイル(書き込みファイル)のロード

“File Operation”タブ画面に移動し、“File Download”グループにある、“Clear Buffer”ボタンをクリックします。

バッファメモリのクリア確認画面が表示されたら、“OK”ボタンをクリックします。

次に、“File Download”グループの“Object Data Download”ボタンをクリックし、マイコンへの書き込みを行うオブジェクトファイルをロードします。ロード操作によって、専用 SD カード内のバッファメモリにデータが展開されます。



## バッファメモリ

- デバイスへ書き込むデータを保存する場所です。
- ロードされたオブジェクトファイルは、バイナリデータに変換され、バッファメモリに保存されます。
- バッファメモリは、専用 SD カード上に存在するため、本機の電源を OFF にしてもデータが保持されます。

以上でプログラミング環境の設定は終了です。

## 4.4. ターゲットシステムとの接続

本章では、本機とターゲットシステムの代表的な接続例を示します。



お客様のプログラミング環境によって、本機とターゲットシステムとの接続方法が異なります。

ご使用になる定義体、マイコンパック、アダプタのマニュアルを必ずご確認ください。

各種定義体、マイコンパックのマニュアルは、下記の弊社ホームページ URL からダウンロードいただけます。

[https://www.dts-insight.co.jp/support/support\\_netimpress\\_air\\_list/top/index.php?m=Search](https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress_air_list/top/index.php?m=Search)

各種ターゲットプローブの仕様は、「NETIMPRESS air ハードウェアマニュアル」の5章をご参照下さい。マニュアルは下記の弊社ホームページ URL からダウンロードいただけます。

[https://www.dts-insight.co.jp/support/support\\_netimpress\\_air/?m=Document&item=1](https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress_air/?m=Document&item=1)

### 4.4.1. ターゲットプローブを使用して接続する場合

- プローブの種類

お客様のターゲットボードに適したターゲットプローブを使用して、本機と接続してください。

AZ915	
AZ916	

- 結線

ご使用になるマイコンパックのマニュアルに記載されている、「ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ」をご確認頂き、ターゲットプローブとターゲットシステムの結線をおこなってください。

NAPYDC839G(UCOP)を使用した時の接続例:

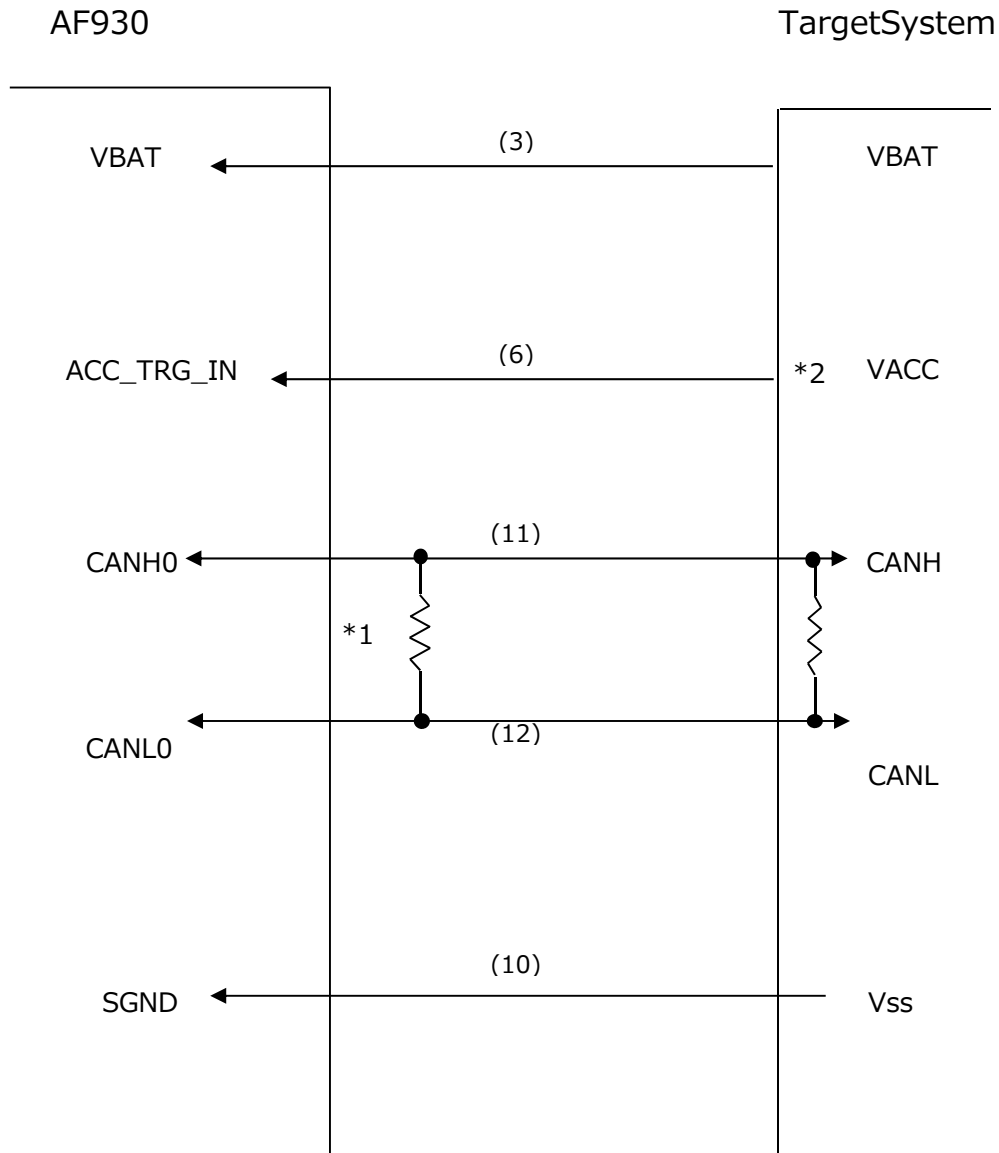
pin No	Signal Name	definition	I/O
1	RESERVED	予約済み信号線です。接続しないでください	-
2	RESERVED	予約済み信号線です。接続しないでください	-
(3)	VBAT	ユーザー電源入力 (air の駆動用電源)	I
4	RESERVED	予約済み信号線です。接続しないでください	-
5	RESERVED	予約済み信号線です。接続しないでください	-
(6)	ACC_TRG_IN	ACC トリガー信号 (VBAT レベル)	I
7	RESERVED	予約済み信号線です。接続しないでください	-
8	RESERVED	予約済み信号線です。接続しないでください	-
9	SBD	K-LINE 通信の入出力信号	I/O
⑩	SGND	シグナル GND	-
⑪	CANH0	CAN 通信用の CAN_High (High Speed CAN)。	I/O
⑫	CANL0	CAN 通信用の CAN_Low (High Speed CAN)。	I/O
13	RESERVED	予約済み信号線です。接続しないでください	-
14	RESERVED	予約済み信号線です。接続しないでください	-
15	RESERVED	予約済み信号線です。接続しないでください	-

○ は、必ず接続していただく信号線です。

( ) の信号線は、必要に応じてご利用ください。

○,( ) がついていない信号ピンは、絶対にターゲットシステム回路と接続しないで下さい。





< ターゲットシステムとの接続例 >

\* 1 AF930 はターミネータを内蔵していません。CAN バス両端に適切なターミネータを設置してください。

\* 2 r Entry 時に使用します。詳細は各定義体のマニュアルをご確認ください。

● **接続**

「ターゲットプローブの種類」と「結線」を確認し、本機とターゲットシステムを接続します。



電源の投入/遮断順序にご注意ください。

- 電源投入時 . . . 本機の電源が ON の状態で、ターゲットシステムの電源を ON。
- 電源遮断時 . . . ターゲットシステムの電源を OFF にしたあとに、本機の電源を OFF。

## 5. プログラミング実行

この章では、ターゲットシステムへのプログラミング実行手順について説明します。

(1) 本機と、ターゲットシステムを接続します。

正しく接続されていることを確認後、本機の電源を投入します。

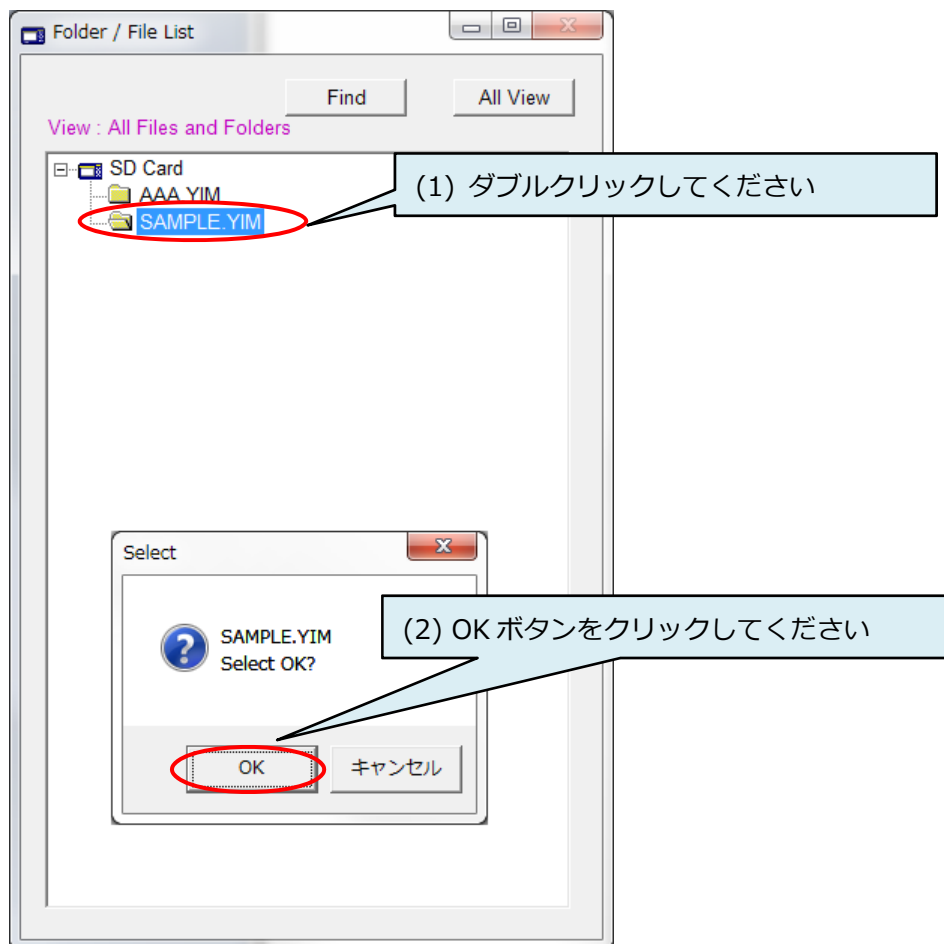
(2) ホスト PC と本機を Wireless LAN もしくは USB ケーブルで接続してから、AZ990(NETIMPRESS air Connect)を起動します。

AZ990 の設定が完了していれば、自動的に“Communication Check”が行われ、ホスト PC と本機が接続されます。

➡ 接続できない場合には、「3.2 USB 接続設定」、「3.3 Wireless LAN 接続設定」をご参照の上、設定を再度ご確認ください。

(3) YIM フォルダの選択

フォルダ・ファイルリスト画面で、プログラミング環境を設定した YIM フォルダをダブルクリックし、“OK” ボタンをクリックします。



(4) ターゲットシステムの電源を投入します。



電源の投入/遮断順序にご注意ください。

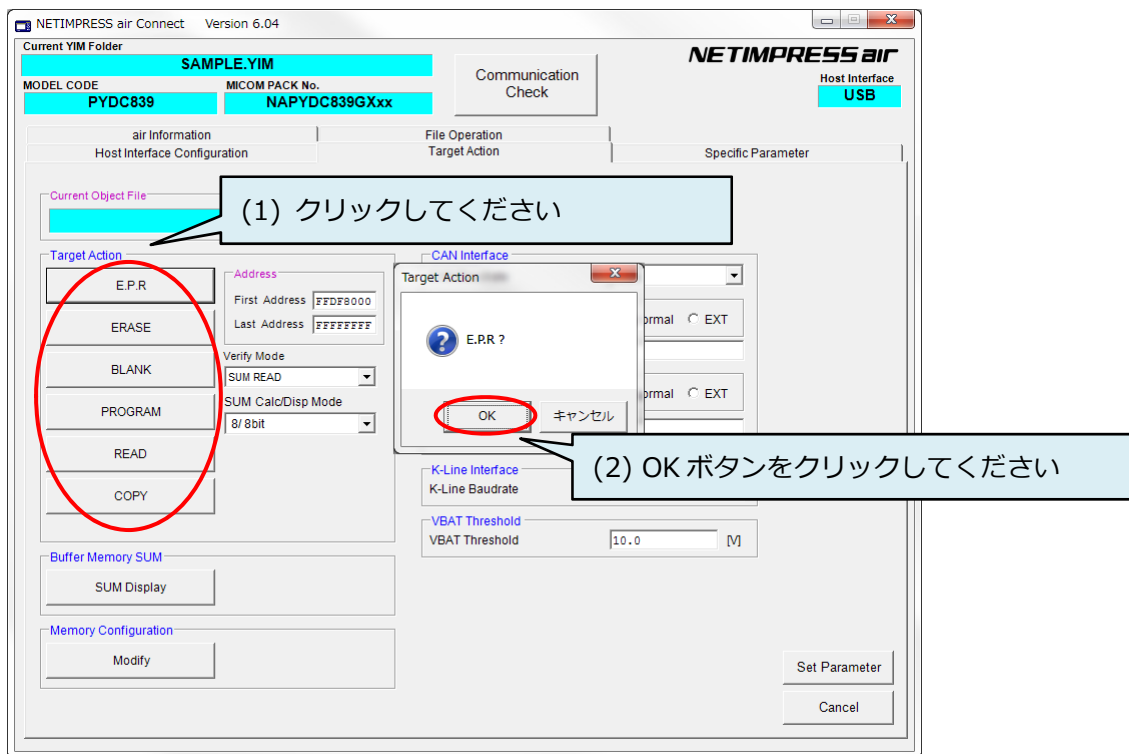
- 電源投入時・・・本機の電源が ON の状態で、ターゲットシステムの電源を ON。
- 電源遮断時・・・ターゲットシステムの電源を OFF にしたあとに、本機の電源を OFF。

(5) プログラミングの実行

“Target Action”タブ画面へ移動し、ターゲットアクションを実行し、プログラミングをおこないます。  
通常は、E.P.R.(Erase → Program → Read Verify)を実行します。



お使いになる定義体によって、ターゲットアクション機能の内容が異なる場合があります。各ターゲットアクション機能の詳細については、お使いになる定義体のマニュアルをご参照ください。



(6) プログラミングが完了したら、AZ990(NETIMPRESS air Connect)の右上にあるクローズボックスをクリックして、プログラムを終了します。

(7) ターゲットシステムと本機の電源を遮断します。



電源の投入/遮断順序にご注意ください。

- 電源投入時・・・本機の電源が ON の状態で、ターゲットシステムの電源を ON。
- 電源遮断時・・・ターゲットシステムの電源を OFF にしたあとに、本機の電源を OFF。

## 6. AZ990(NETIMPRESS air Connect)を使用する

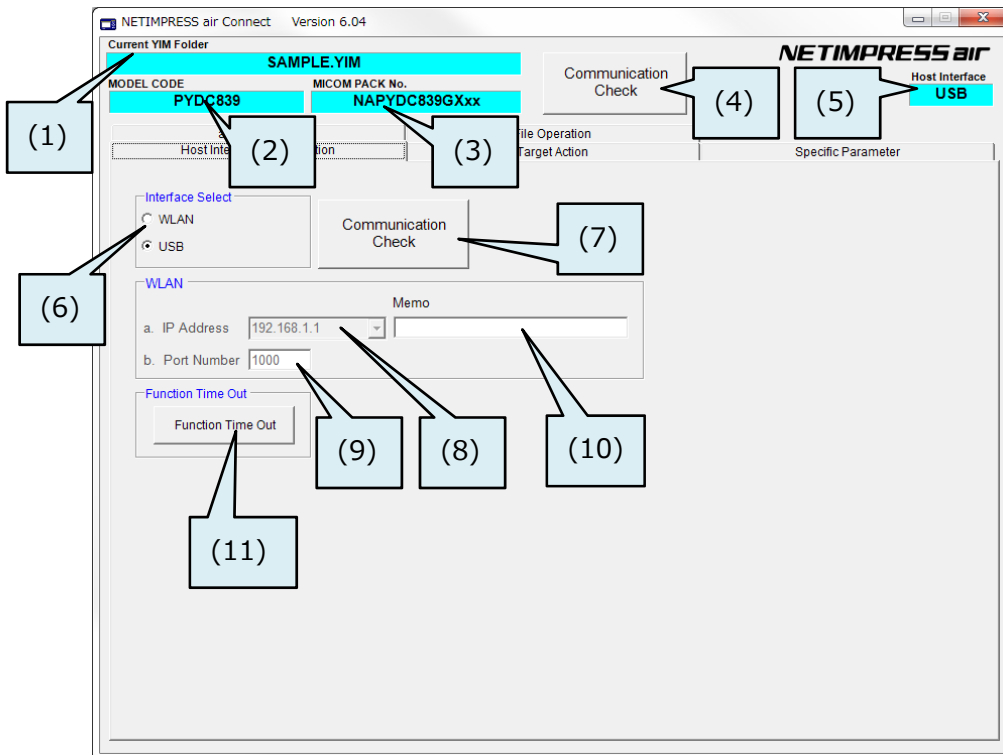
AZ990(NETIMPRESS air Connect)をご利用いただくことによって、各種ファイルのダウンロード、プログラミング環境設定、プログラミングの実行をおこなうことができます。

AZ990 の主な画面構成は、共通画面、5つのタブ画面、フォルダ・ファイルリスト画面で構成されています。

- 共通画面 . . . カレントフォルダ情報表示画面
- Host interface Configuration . . . プログラマとの接続画面
- Specific Parameter . . . パラメータ設定画面(非公開部分)
- Target Action . . . ターゲットアクション実行画面
- air Information . . . プログラマ情報画面
- File Operation . . . ファイル転送画面
- フォルダ・ファイルリスト画面

## 6.1. 画面説明

### 6.1.1. 共通画面および Host Interface Configuration 画面



(1) カレントフォルダ表示ボックス

現在選択されている YIM フォルダ名を表示します。

(2) Model Code 表示ボックス

現在使用している定義体ライセンス名を表示します。

(3) マイコンパック名表示ボックス

現在使用しているマイコンパック型名を表示します。

(4) Communication Check ボタン

本機と接続を行います。

(5) 通信経路表示ボックス

Wireless LAN で本機と接続する際に“WLAN”と表示します。

USB で本機と接続する際に“USB”と表示します。

(6) 通信路選択

ホスト PC と本機の通信路を選択します。

(7) Communication Check ボタン

本機と接続を行います。

(8) Wireless LAN IP アドレス設定ボックス

Wireless LAN 接続する本機の IP アドレスを設定します。

(9) Wireless ポート番号設定ボックス

Wireless LAN 接続する本機のポート番号を設定します。

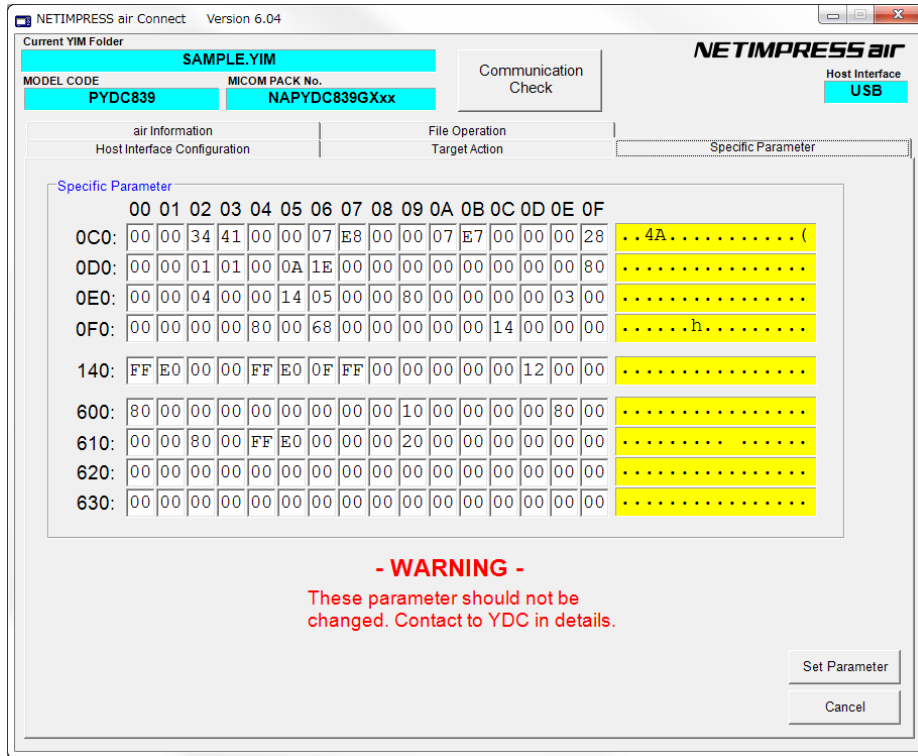
(10) メモ表示・設定ボックス

IP アドレスに紐づいたメモを表示または設定します。

(11) タイムアウト設定ボタン

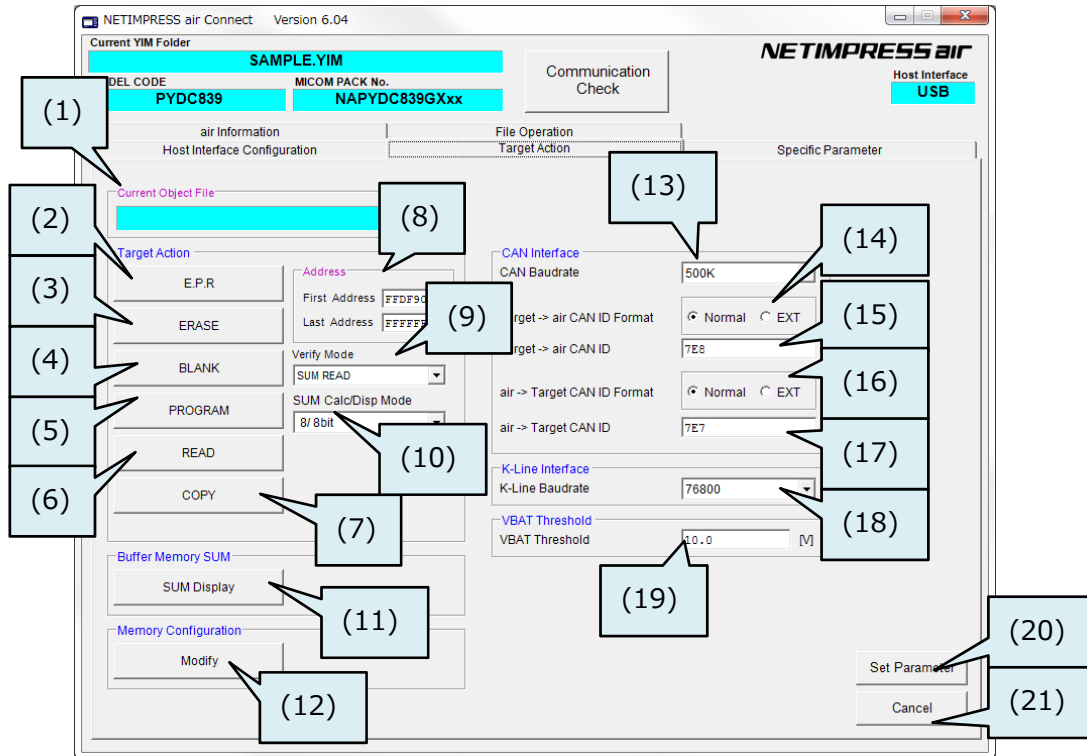
Target Action、Function のタイムアウト値を変更する際に使用します。

### 6.1.2. Specific Parameter 画面



本項に関する詳細は、弊社サポートセンタまでお問い合わせ下さい。

## 6.1.3. Target Action 画面



## (1) カレントファイル名表示ボックス

バッファメモリに展開されているオブジェクトファイル名が表示されます。

複数のオブジェクトファイルをバッファメモリに展開した場合、最後に展開されたオブジェクトファイル名が表示されます。

バッファクリア実行時、ターゲットアクションの Copy 実行時、カレントファイル名はクリアされます。

## (2) EPR 実行ボタン

ターゲットアクションの EPR を実行します。

## (3) ERASE 実行ボタン

ターゲットアクションの ERASE を実行します。

## (4) BLANK 実行ボタン

ターゲットアクションの BLANK を実行します。

## (5) PROGRAM 実行ボタン

ターゲットアクションの PROGRAM を実行します。



(6) READ 実行ボタン

ターゲットアクションの READ を実行します。

(7) COPY 実行ボタン

ターゲットアクションの COPY を実行します。

(8) ターゲットアクション実行アドレス設定ボックス

ターゲットアクションを実行するアドレス範囲を設定します。

(9) Verify Mode 選択ボックス

EPR および PROGRAM 実行時の Verify Mode を選択します。

(10) SUM 値計算・表示モード選択ボックス

SUM 値計算モードおよび表示モードを選択します。

(11) SUM 値計算ボタン

ターゲットアクション実行領域およびオブジェクト転送領域の SUM 値を計算し、表示します。

(12) フラッシュ ROM 構成設定ボタン

フラッシュ ROM の構成設定を行います。

(13) CAN 通信ボーレート設定ボックス

ターゲットアクション時の CAN 通信ボーレートを選択します。

(14) ターゲット CAN ID フォーマット

ターゲットアクション時のターゲット CAN ID フォーマットを選択します。

(15) ターゲット CAN ID 入力ボックス

ターゲットアクション時のターゲット CAN ID を入力します。

(16) プログラム CAN ID フォーマット

ターゲットアクション時の本機 CAN ID フォーマットを選択します。

(17) プログラム CAN ID 入力ボックス

ターゲットアクション時の本機 CAN ID を入力します。

(18) K-Line 通信ボーレート設定ボックス

ターゲットアクション時の K-Line 通信ボーレートを選択します。

(19) VBAT スレッシュヨルド設定ボックス

ターゲットアクション時の VBAT のスレッシュヨルド値を設定します。

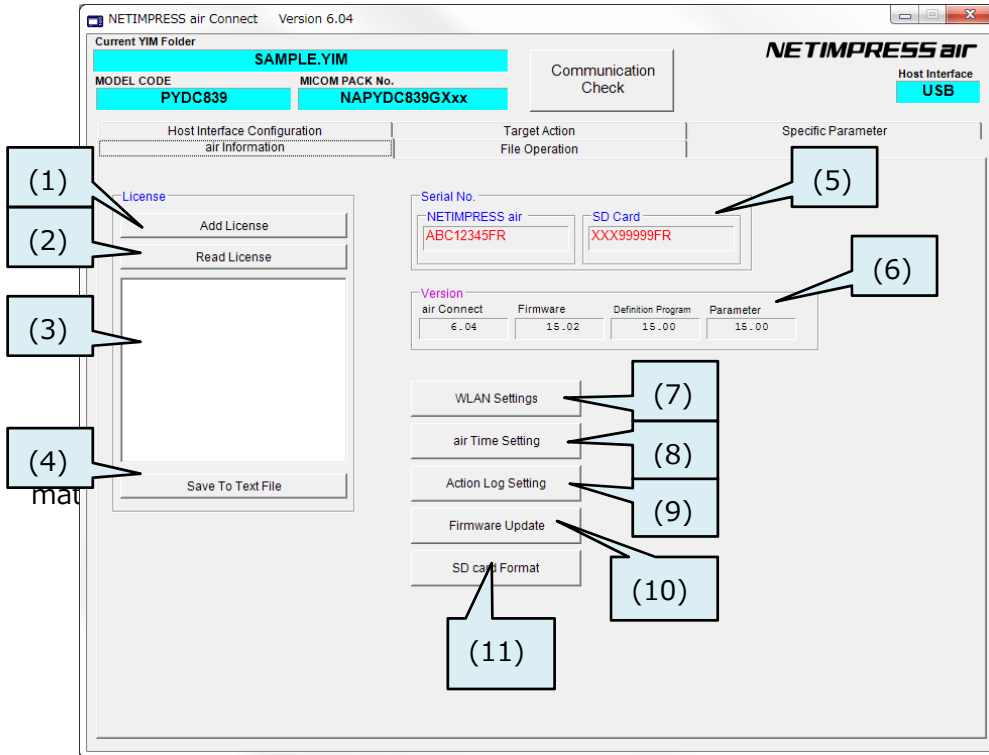
(20) Set Parameter ボタン

画面上で変更したパラメータを本機に転送します。

(21) Cancel ボタン

画面上で変更したパラメータを本機に転送せず、元のパラメータに戻します。

## 6.1.4. air Information 画面



## (1) 定義体ライセンス追加ボタン

専用 SD カードへの定義体ライセンス追加を行います。

## (2) 定義体ライセンス読み出しボタン

専用 SD カードに登録されている定義体ライセンスを読み出し、定義体ライセンス表示リストに表示します。

## (3) 定義体ライセンス表示リスト

専用 SD カードに登録されている定義体ライセンスを表示します。

## (4) 定義体ライセンス情報保存ボタン

定義体ライセンス表示リストに表示されている定義体ライセンス情報を、ファイルに保存します。

## (5) シリアル番号表示ボックス

各種シリアル番号を表示します。

## (6) バージョン表示

各種バージョンを表示します。

(7) Wireless LAN 設定ボタン

本機の Wireless LAN 設定を変更します。

このボタンはホスト PC と本機が USB 接続されている場合のみクリック可能です。

(8) 時刻設定ボタン

本機の時刻を変更します。

(9) ログ取得条件設定ボタン

ログの取得条件を設定します。

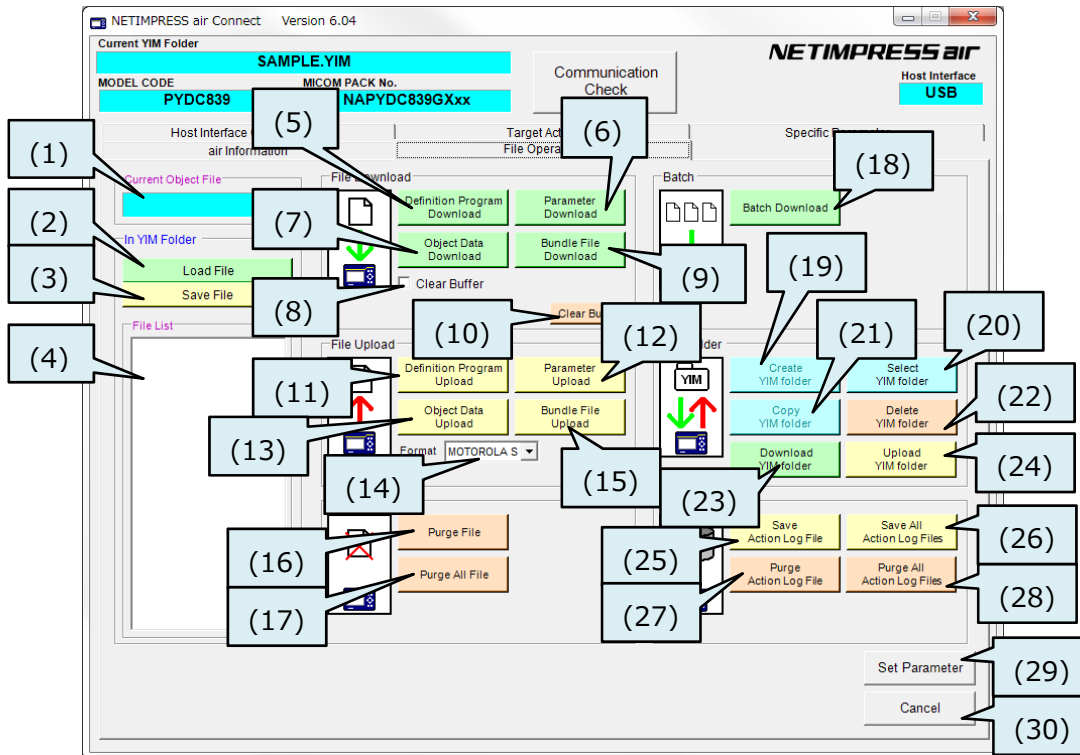
(10) ファームアップデートボタン

本機のファームウェアをアップデートします。

(11) 専用 SD カードフォーマットボタン

専用 SD カードを FAT32 形式でフォーマットします。

## 6.1.5. File Operation 画面



## (1) カレントファイル名表示ボックス

バッファメモリに展開されているオブジェクトファイル名が表示されます。

複数のオブジェクトファイルをバッファメモリに展開した場合、最後に展開されたオブジェクトファイル名が表示されます。

バッファクリア実行時、ターゲットアクションの Copy 実行時、カレントファイル名はクリアされます。

## (2) ファイルロードボタン

カレントフォルダ内にあるファイルをバッファメモリにロードします。

## (3) ファイルセーブボタン

バッファメモリの内容をカレントフォルダ内にファイルとしてセーブします。

## (4) カレントフォルダ内ファイル表示リストボックス

カレントフォルダに存在するファイルが一覧表示されます。

## (5) 定義体ダウンロードボタン

ホスト PC 上の定義体ファイルを本機にダウンロードします。

## (6) パラメータダウンロードボタン

ホスト PC 上のパラメータファイルを本機にダウンロードします。

(7) オブジェクトファイルダウンロードボタン

ホスト PC 上のオブジェクトファイルをバッファメモリにダウンロードします。

(8) 自動バッファクリア設定ボックス

オブジェクトファイルをバッファメモリにダウンロードする前に自動的にバッファメモリをクリアするかどうかを設定します。

(9) バンドルファイルダウンロードボタン

ホスト PC 上のファイルをカレントフォルダ内、または専用 SD カードのルートにダウンロードします。

(10) バッファクリアボタン

バッファメモリをクリアします。

(11) 定義体アップロードボタン

カレントフォルダにダウンロードされた定義体をホスト PC 上のファイルに保存します。

(12) パラメータアップロードボタン

カレントフォルダにダウンロードされたパラメータをホスト PC 上のファイルに保存します。

(13) オブジェクトファイルアップロードボタン

バッファメモリの内容をホスト PC 上のファイルに保存します。

(14) ファイルフォーマット設定コンボボックス

オブジェクトファイルをホスト PC 上に保存する際のファイルフォーマットを設定します。

(15) バンドルファイルアップロードボタン

カレントフォルダ内、または専用 SD カードのルートにあるファイルをホスト PC 上に保存します。

(16) ファイルパージボタン

カレントフォルダ内、または専用 SD カードのルートにあるファイルを削除します。

(17) ファイルオールパージボタン

カレントフォルダ内、または専用 SD カードのルートにあるファイルを全て削除します。

(18) バッチダウンロードボタン

ファイルの一括ダウンロードを実行します。

(19) YIM フォルダ作成ボタン

YIM フォルダを作成します。

(20) YIM フォルダ選択ボタン

カレントフォルダを選択します。

(21) YIM フォルダコピーボタン

カレントフォルダのコピーを行います。

(22) YIM フォルダ削除ボタン

YIM フォルダを削除します。

(23) YIM フォルダダウンロードボタン

ホスト PC 上の YIM フォルダを専用 SD カードにダウンロードします。

(24) YIM フォルダアップロードボタン

専用 SD カード内の YIM フォルダをホスト PC 上に保存します。

(25) ログファイルセーブボタン

専用 SD カード内の実行ログファイルをホスト PC 上に保存します。

(26) 全ログファイルセーブボタン

専用 SD カード内に存在する実行ログファイルを全てホスト PC 上に保存します。

(27) ログファイル削除ボタン

専用 SD カード内に保存されている実行ログファイルを削除します。

(28) 全ログファイル削除ボタン

専用 SD カード内に保存されている実行ログファイルを全て削除します。

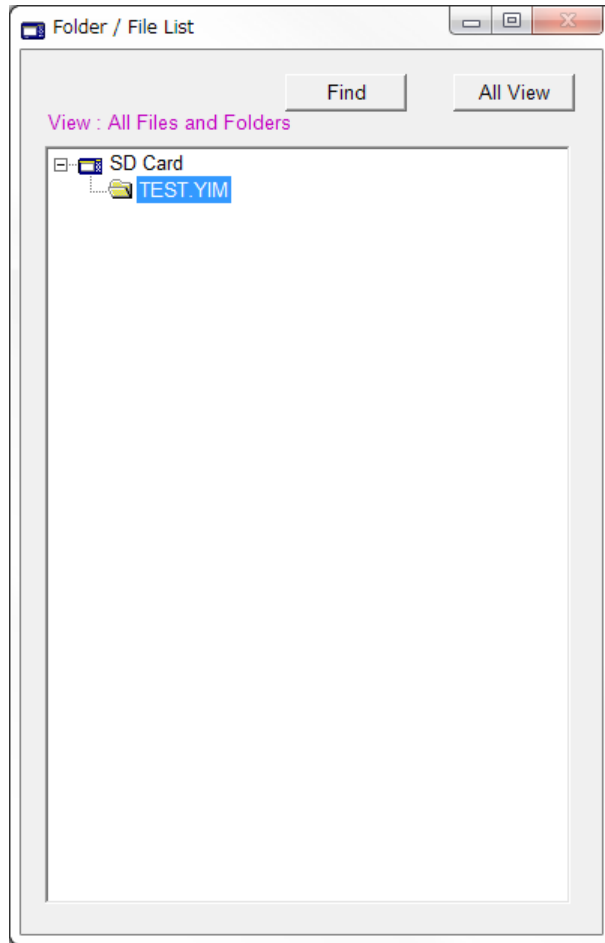
(29) Set Parameter ボタン

画面上で変更したパラメータを本機に転送します。

(30) Cancel ボタン

画面上で変更したパラメータを本機に転送せず、変更前に戻します。

### 6.1.6. フォルダ・ファイルリスト画面



#### (1) フォルダ・ファイルリスト

専用 SD カード内に存在する YIM フォルダおよびファイルを階層構造で表示します。  
カレントフォルダ以外の YIM フォルダ内のファイルは参照できません。

#### (2) 検索ボタン

フォルダ・ファイルリスト内のフォルダ・ファイルを検索する際に使用します。

#### (3) フォルダ・ファイル全表示ボタン

専用 SD カード内の全 YIM フォルダとファイルを表示する際に使用します。

(ただし、カレントフォルダ以外の YIM フォルダ内のファイルは表示されません。)



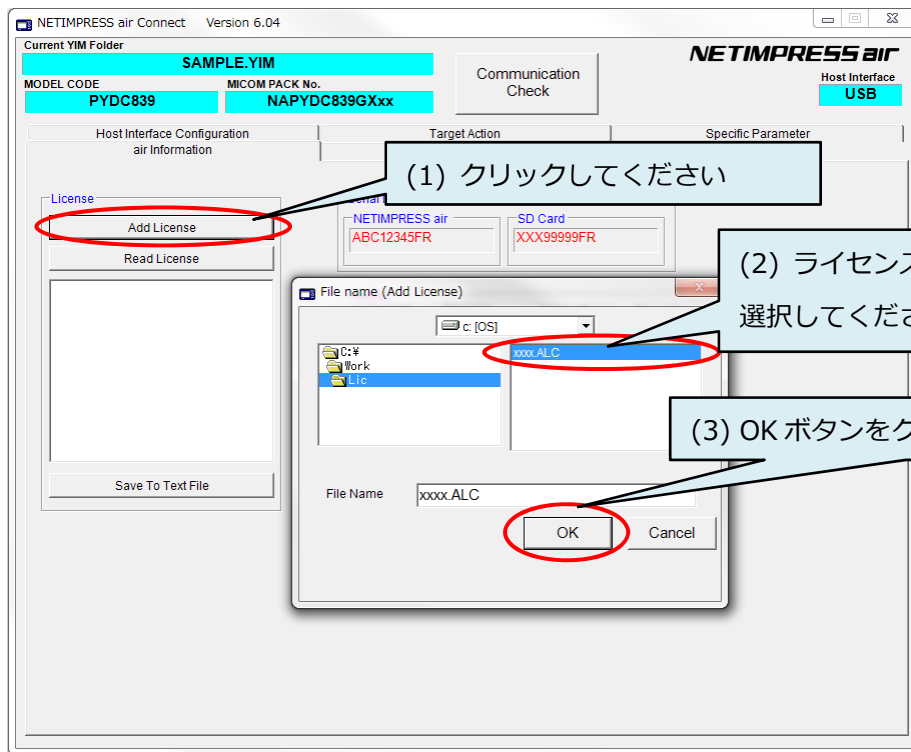
## 6.2. 操作方法

### 6.2.1. 定義体ライセンス追加

本機もしくは専用 SD カードに定義体ライセンス情報を追加します。

“air Information”タブの“License”グループにある、“Add License”ボタンをクリックします。

ライセンスファイル選択画面が表示されますので、追加したいライセンスファイル(\*.ALC)を選択後、“OK”ボタンをクリックします。定義体ライセンス追加を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

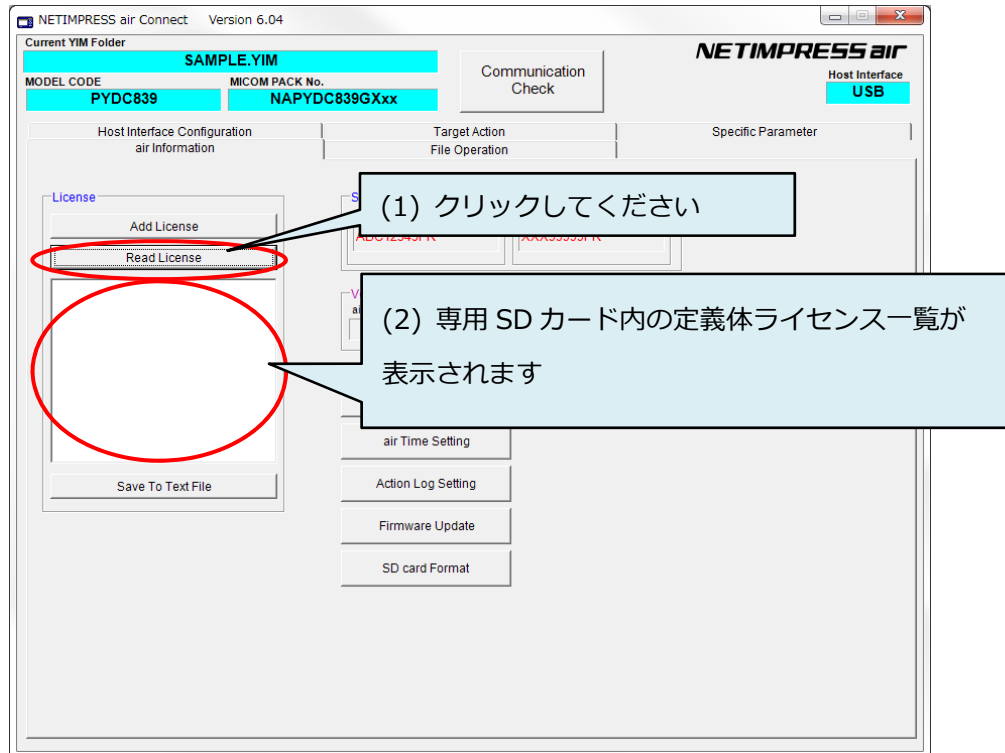


## 6.2.2. 定義体ライセンス読み出し

専用 SD カード内の定義体ライセンス情報を読み出し、表示します。

“air Information”タブの“License”グループにある、“Read License”ボタンをクリックします。

専用 SD カード内の定義体ライセンス情報が、定義体ライセンス表示リストに表示されます。

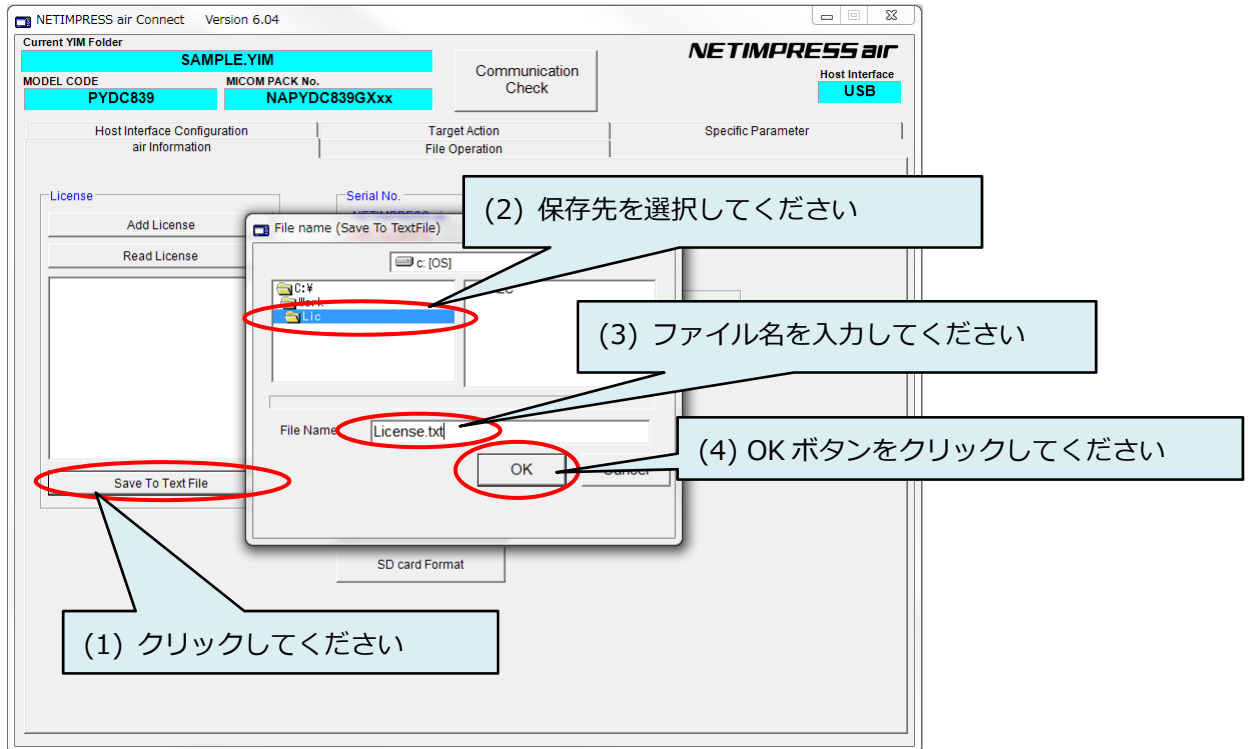


### 6.2.3. 定義体ライセンス情報の保存

読みだした定義体ライセンス情報をホスト PC 上にテキストファイルで保存します。

“air Information”タブの“License”グループにある、“Save To Text File”ボタンをクリックします。

ファイル保存画面が表示されますので、ファイルの保存先と保存するファイル名を設定後、“OK”ボタンをクリックします。ファイルの保存を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 6.2.4. YIM フォルダの作成

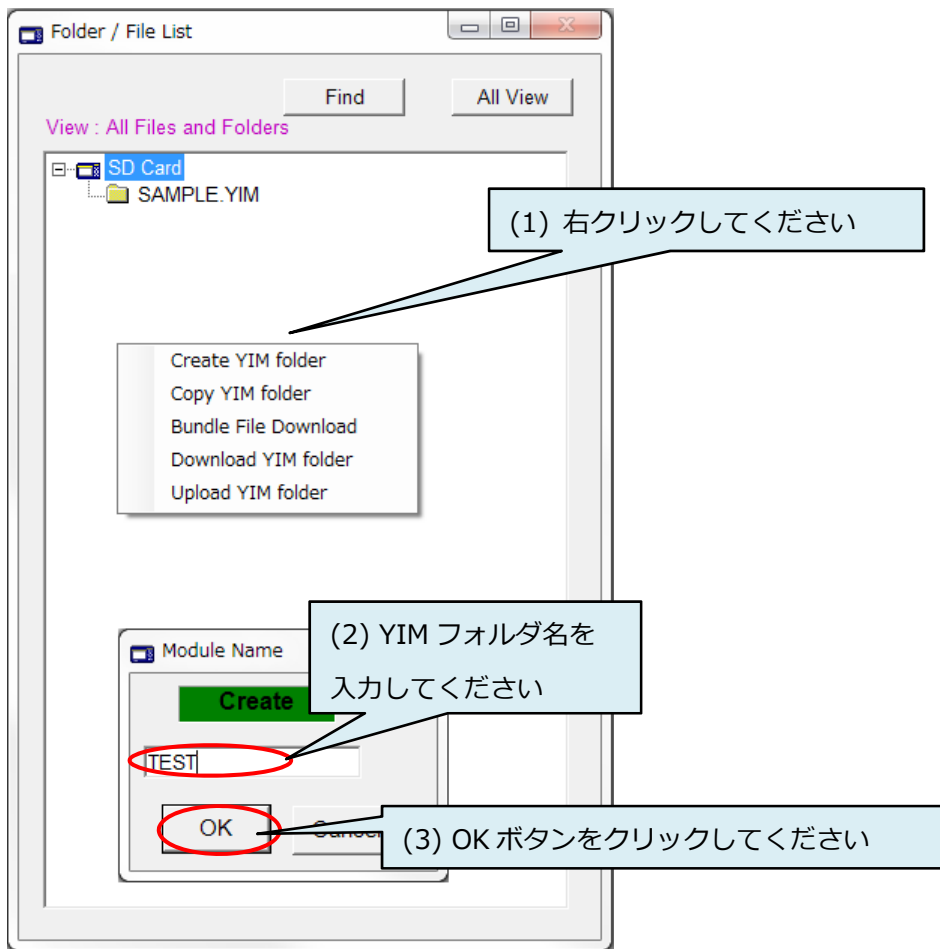
専用 SD カード内に YIM フォルダを新しく作成します。

YIM フォルダを作成するための操作方法は 2 つあります。

### 1 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面を右クリックし、表示されたメニューの“Create YIM folder”をクリックします。

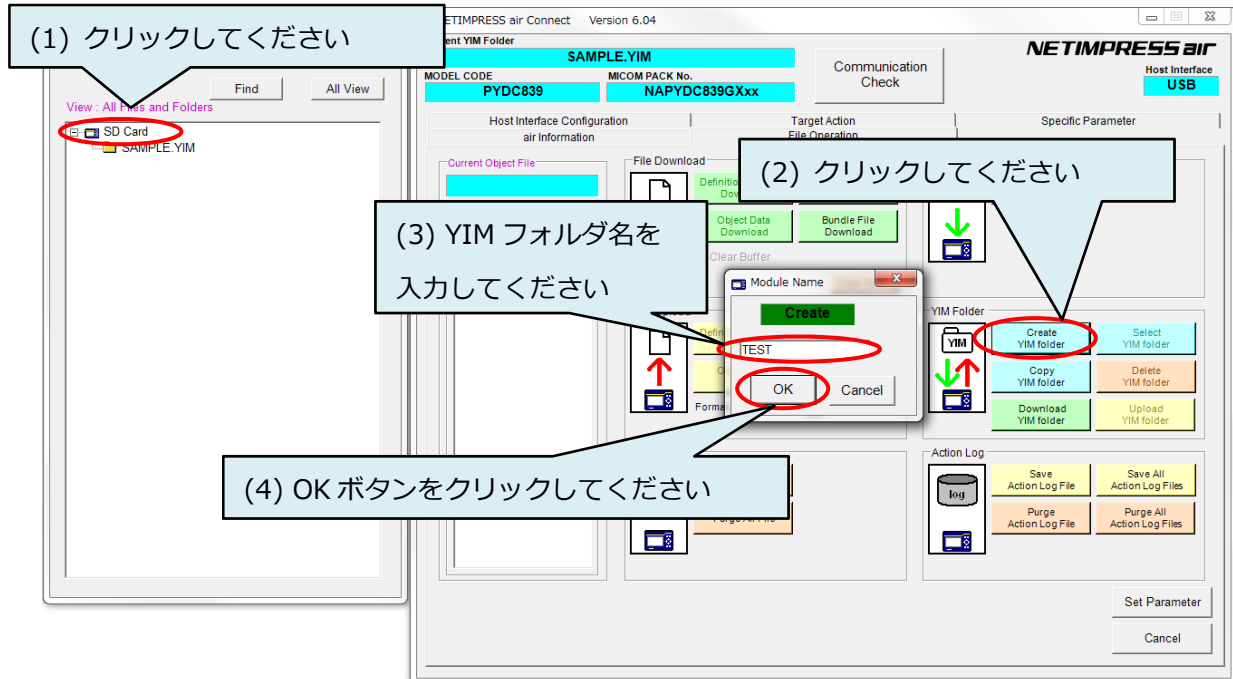
YIM フォルダ作成画面が表示されますので、作成したい YIM フォルダ名を入力後、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダ作成を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 2 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面の“SD Card”を選択後、“File Operation”タブの“YIM Folder”グループにある、“Create YIM folder”ボタンをクリックします。

YIM フォルダ作成画面が表示されますので、作成したい YIM フォルダ名を入力後、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダ作成を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 6.2.5. YIM フォルダの選択

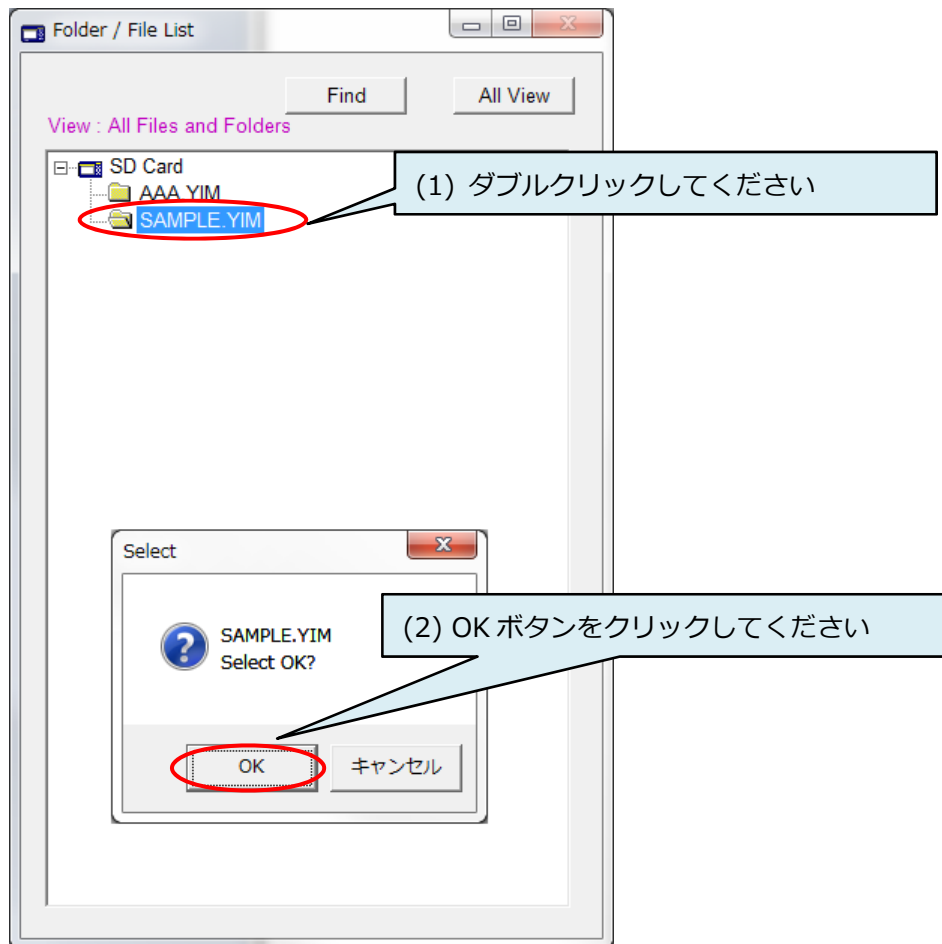
専用 SD カード内の YIM フォルダをカレントフォルダに選択します。

YIM フォルダを選択するための操作方法は 4 つあります。

1 つめの方法

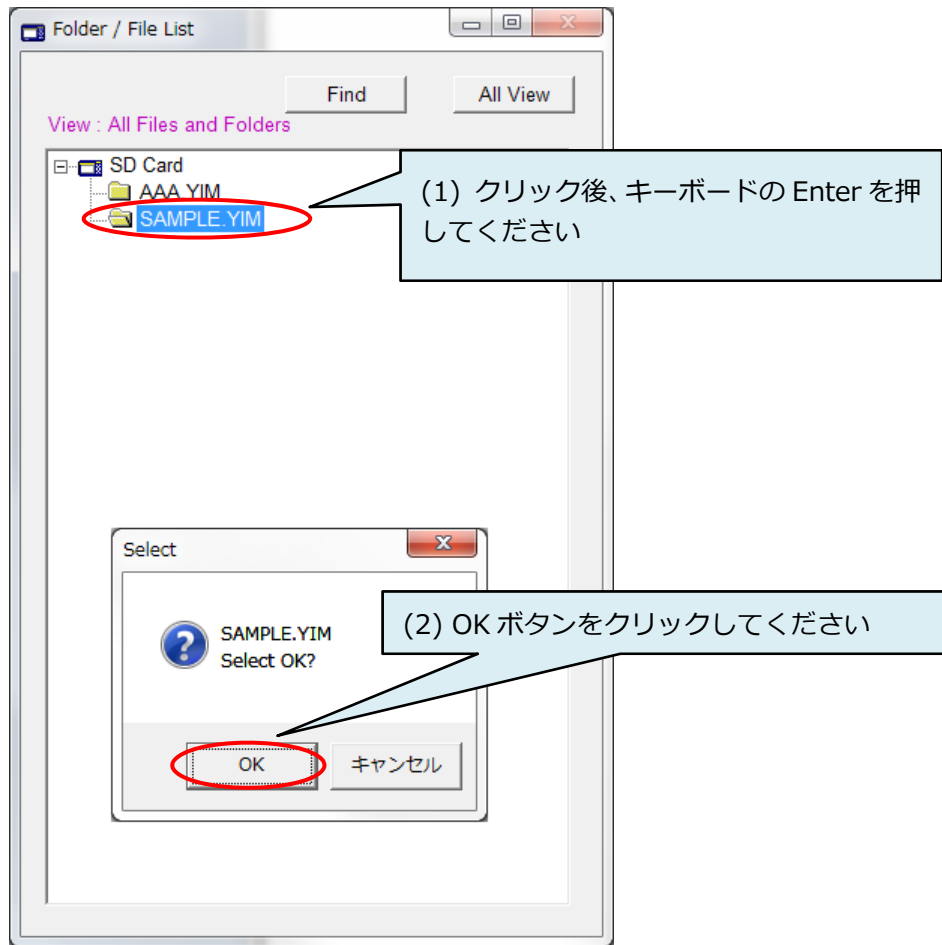
フォルダ・ファイルリスト画面で選択したい YIM フォルダをダブルクリックします。

確認画面が表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダ選択を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 2つめの方法

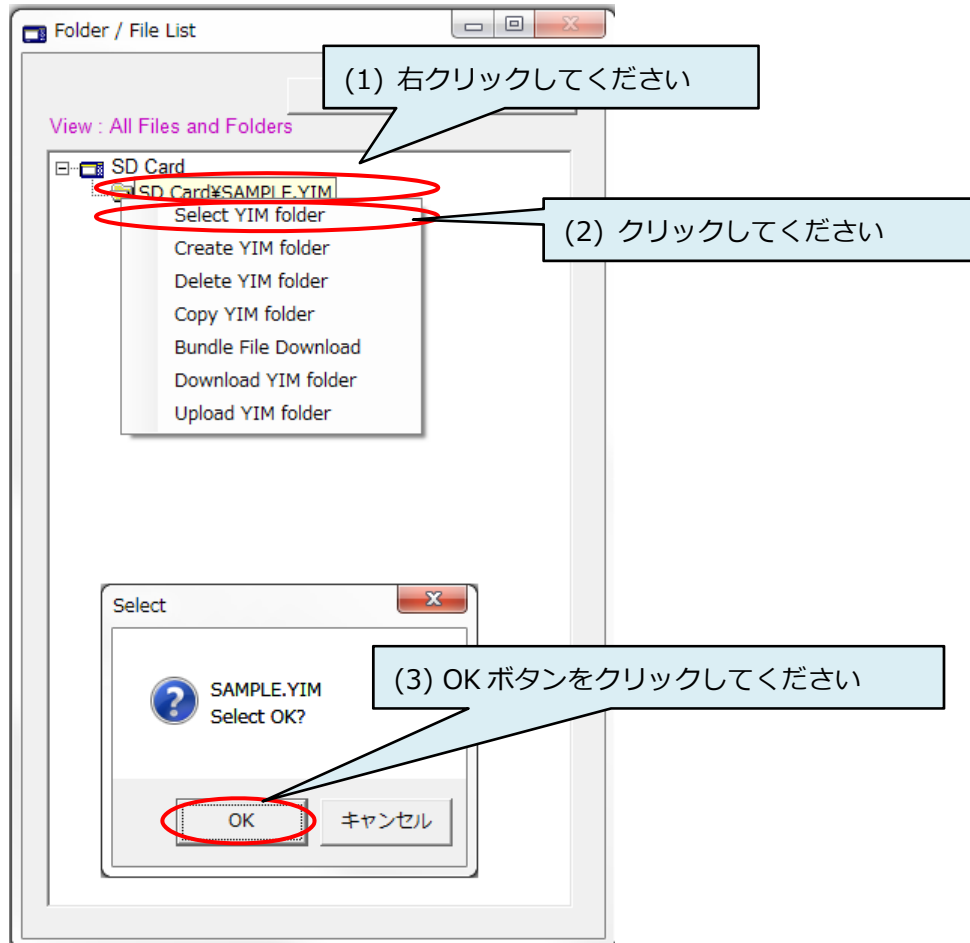
フォルダ・ファイルリスト画面で選択したいYIM フォルダを選択後、キーボードの Enter を押します。確認画面が表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダ選択を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 3 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面で選択したいYIM フォルダを右クリックし、表示されたメニューの“Select YIM folder”をクリックします。

確認画面が表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダ選択を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

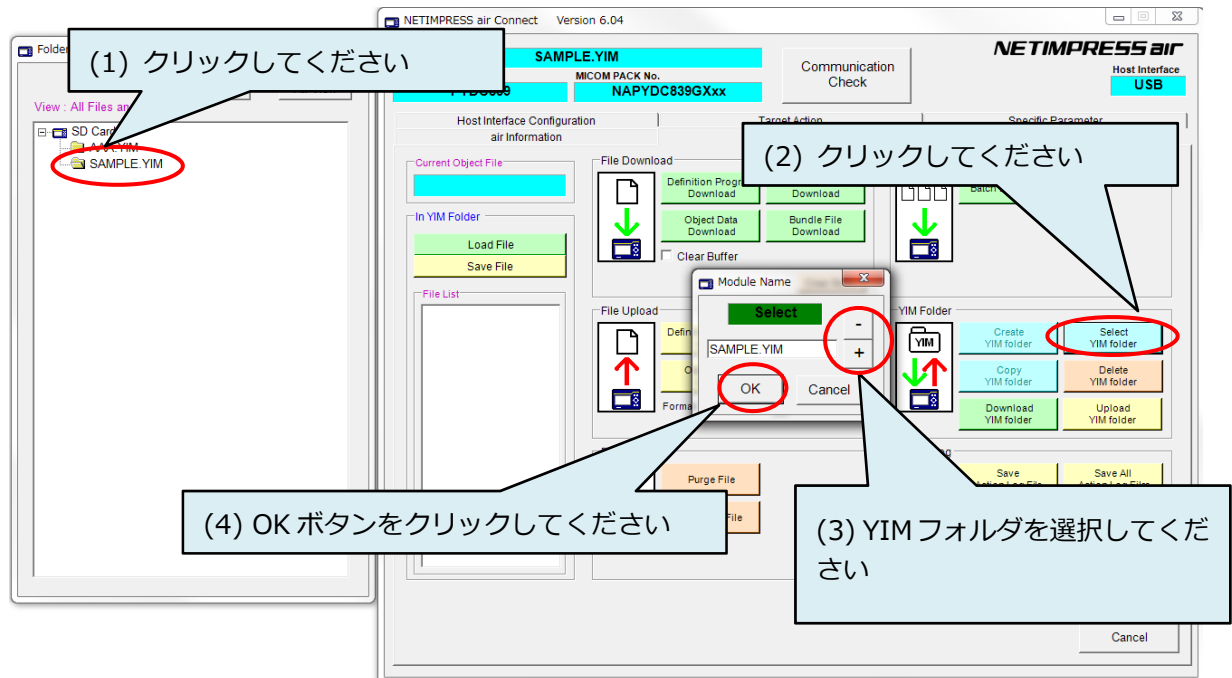




## 4 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面の YIM フォルダを選択後、“File Operation”タブの“YIM Folder”グループにある、“Select YIM folder”ボタンをクリックします。

YIM フォルダ選択画面が表示されますので、画面上の“+ボタン”、“-ボタン”で選択したい YIM フォルダを選択後、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダ選択を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 6.2.6. YIM フォルダのコピー

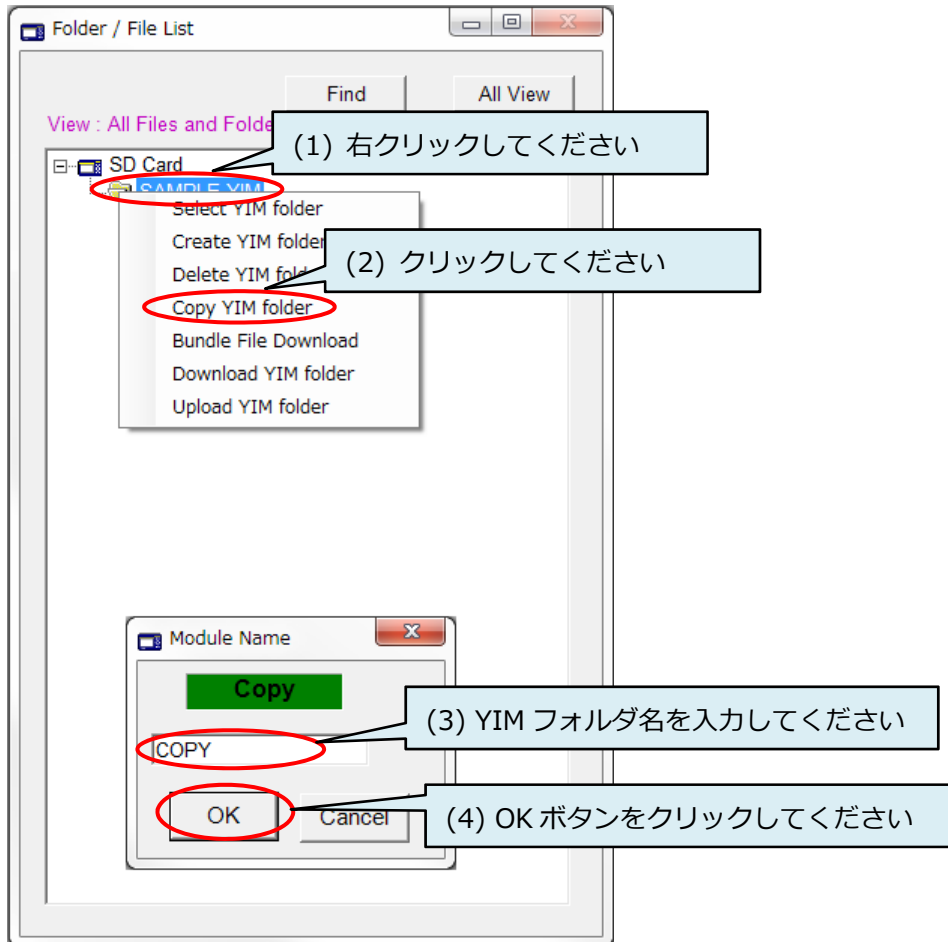
専用 SD カード内のカレントフォルダを別名で専用 SD カード内にコピーします。

YIM フォルダをコピーするための操作方法は 2 つあります。

1 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面でカレントフォルダを右クリックし、表示されたメニューの“Copy YIM folder”をクリックします。

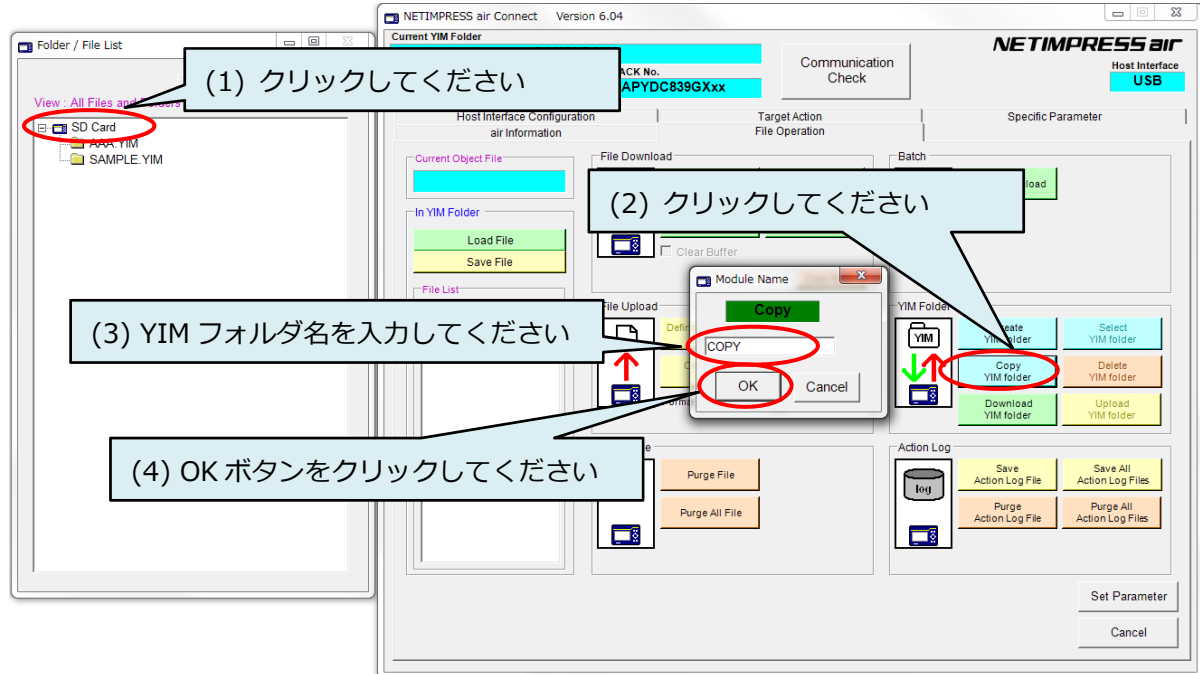
コピー先 YIM フォルダ名設定画面が表示されますので、コピー先の YIM フォルダ名を入力後、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダのコピーを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 2 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面の“SD Card”を選択後、“File Operation”タブの“YIM Folder”グループにある、“Copy YIM folder”ボタンをクリックします。

コピー先 YIM フォルダ名設定画面が表示されますので、コピー先の YIM フォルダ名を入力後、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダのコピーを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 6.2.7. YIM フォルダの削除

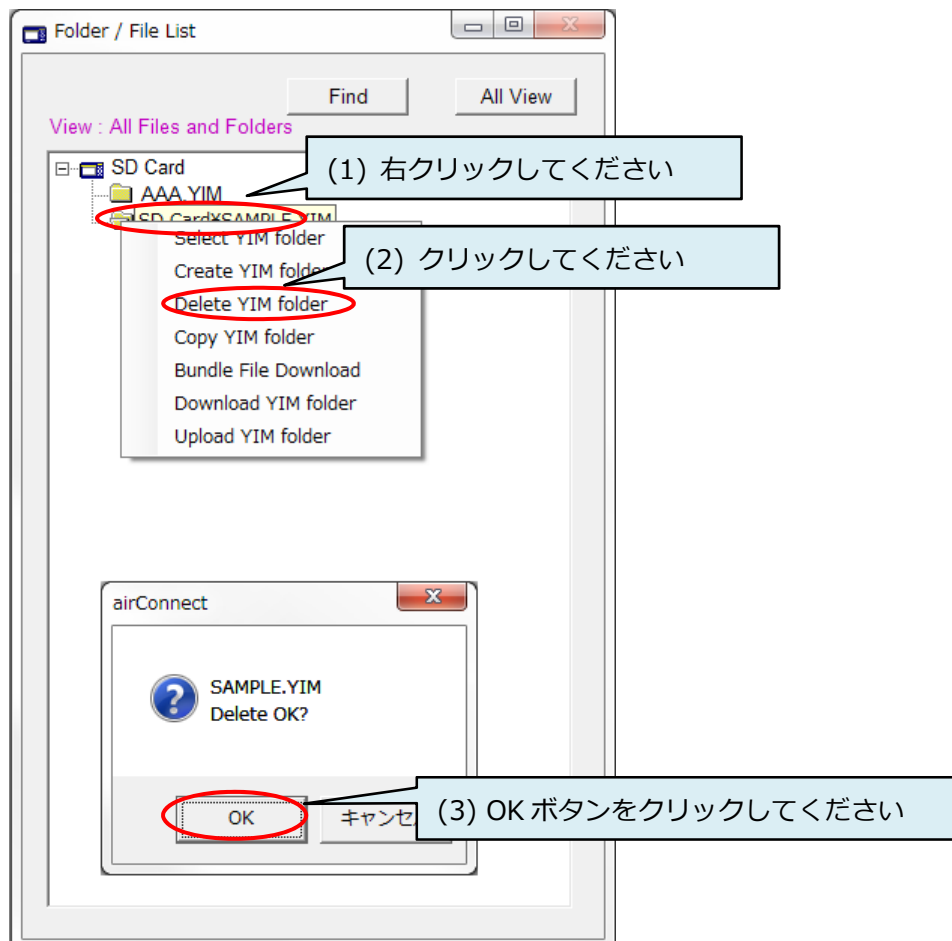
専用 SD カード内の YIM フォルダを削除します。

YIM フォルダを削除するための操作方法は 3 つあります。

### 1 つめの方法

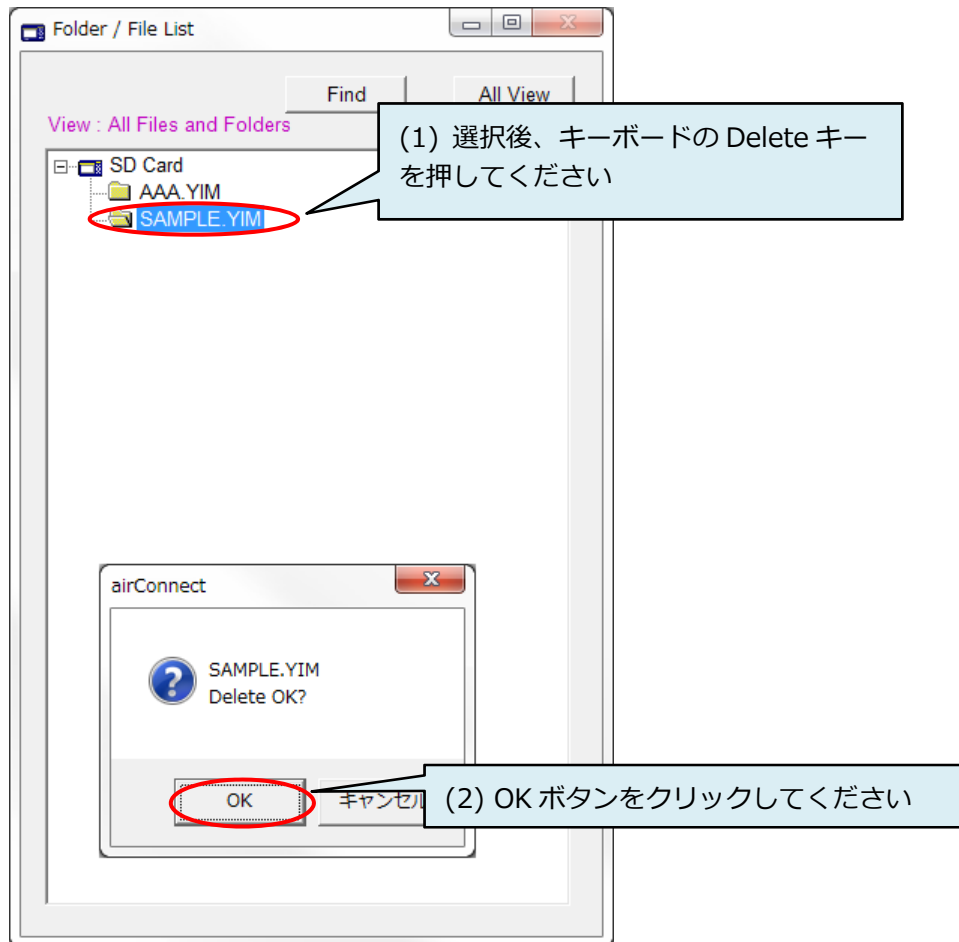
フォルダ・ファイルリスト画面で削除したい YIM フォルダを右クリックし、表示されたメニューの“Delete YIM folder”をクリックします。

確認画面が表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダの削除を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 2 つめの方法

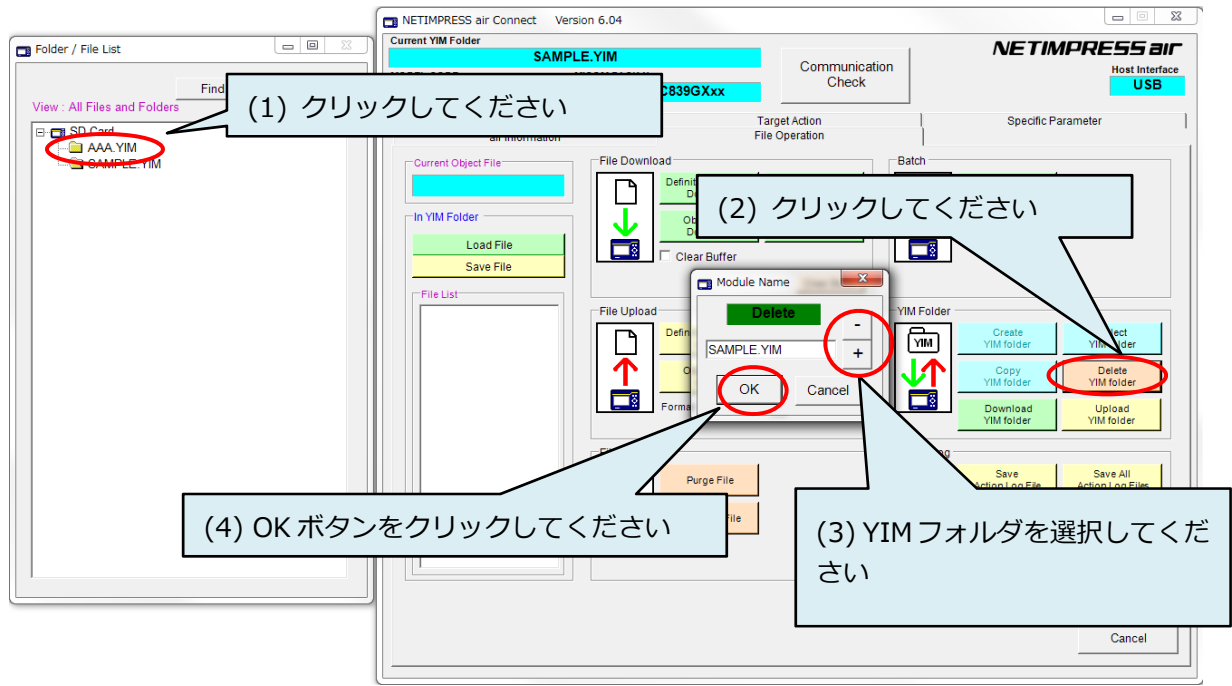
フォルダ・ファイルリスト画面で削除したいYIM フォルダを選択し、キーボードの Delete キーを押します。確認画面が表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダの削除を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 3 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面の YIM フォルダを選択後、“File Operation”タブの“YIM Folder”グループにある、“Delete YIM folder”ボタンをクリックします。

YIM フォルダ選択画面が表示されますので、画面上の“+”ボタン、“-”ボタンで削除したい YIM フォルダを選択後、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダの削除を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 6.2.8. YIM フォルダのダウンロード

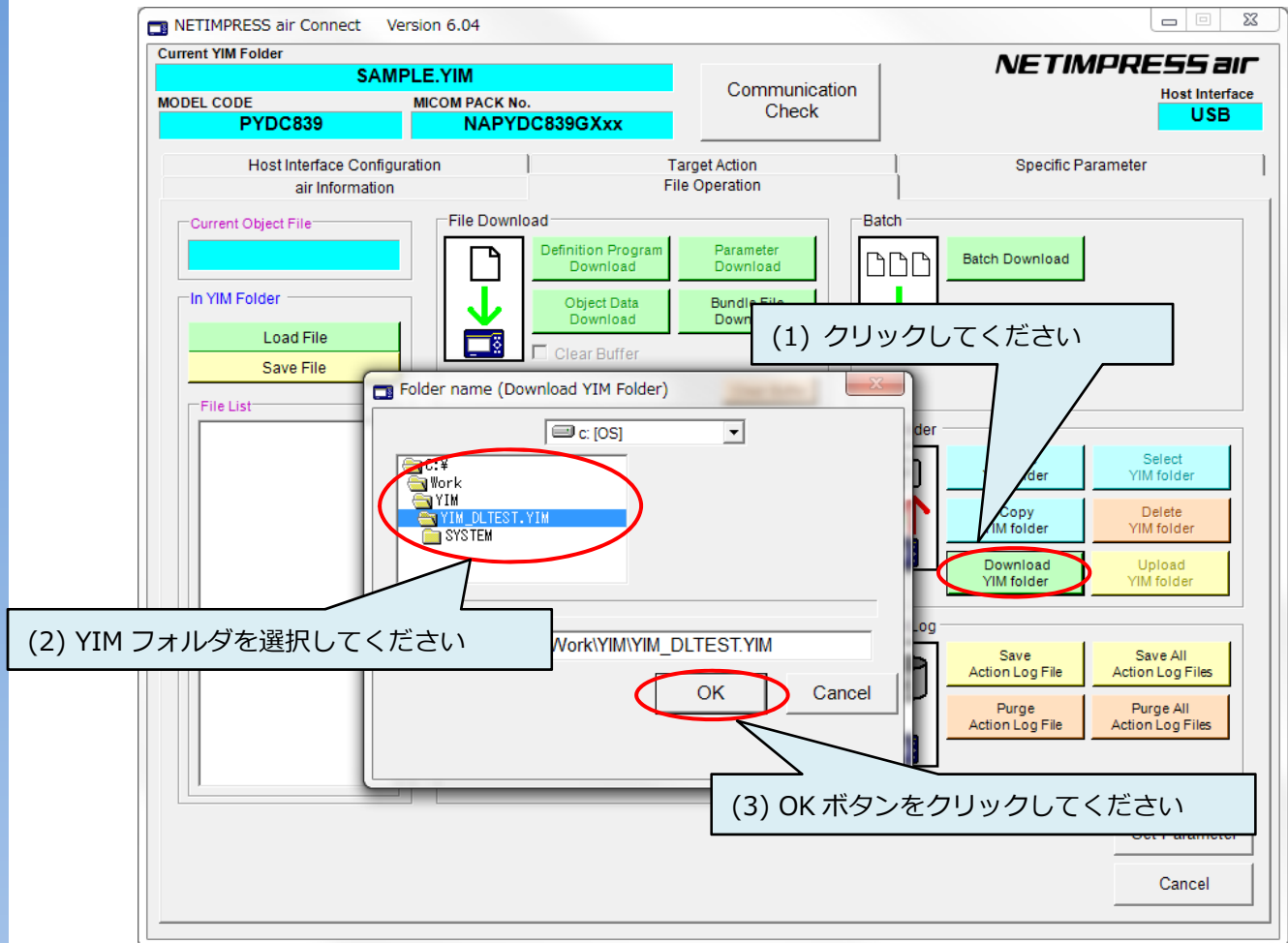
ホスト PC 上の YIM フォルダを専用 SD カード内にダウンロードします。

YIM フォルダをダウンロードするための操作方法は 2 つあります。

1 つめの方法

“File Operation”タブの“YIM Folder”グループにある、“Download YIM folder”ボタンをクリックします。

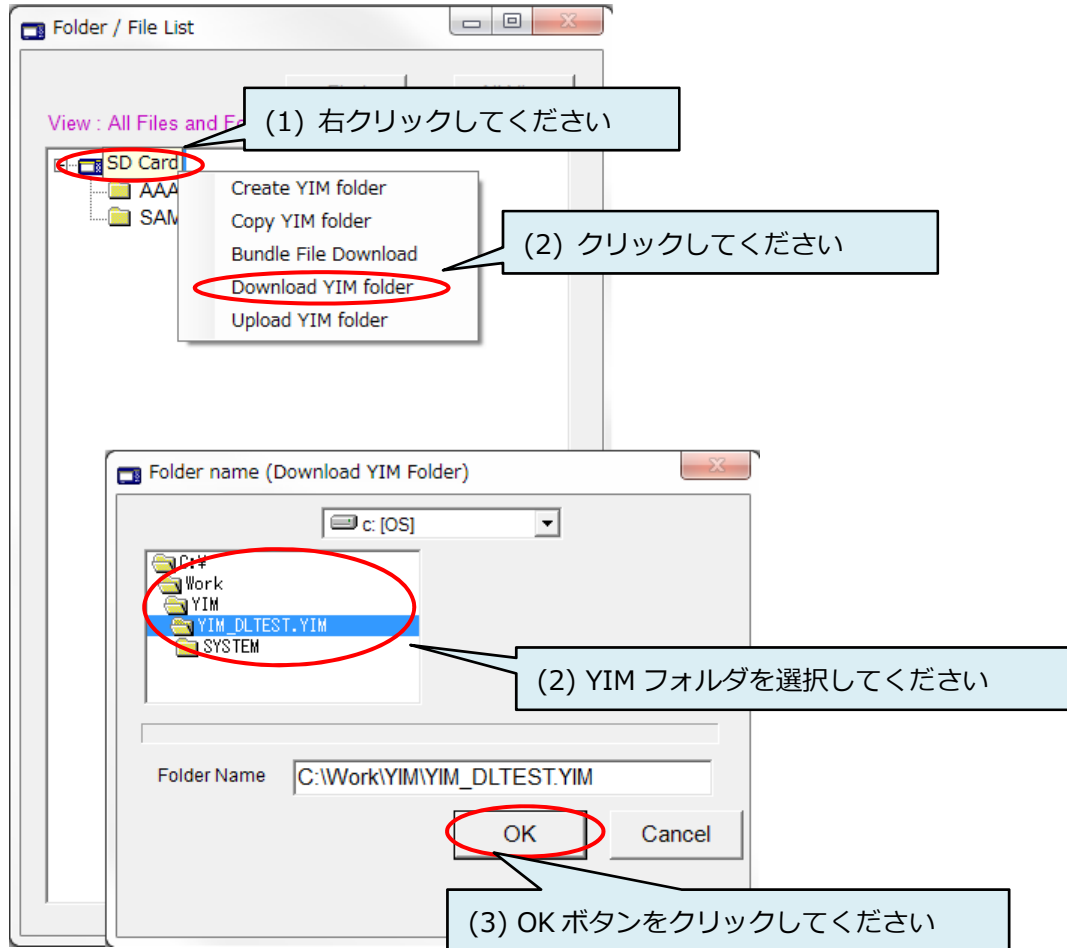
YIM フォルダ選択画面が表示されますので、ダウンロードしたい YIM フォルダを選択後、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダのダウンロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 2つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面で“SD Card”を右クリックし、表示されたメニューの“Download YIM folder”をクリックします。

YIM フォルダ選択画面が表示されますので、ダウンロードしたいYIM フォルダを選択後、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダのダウンロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。





## 6.2.9. YIM フォルダのアップロード

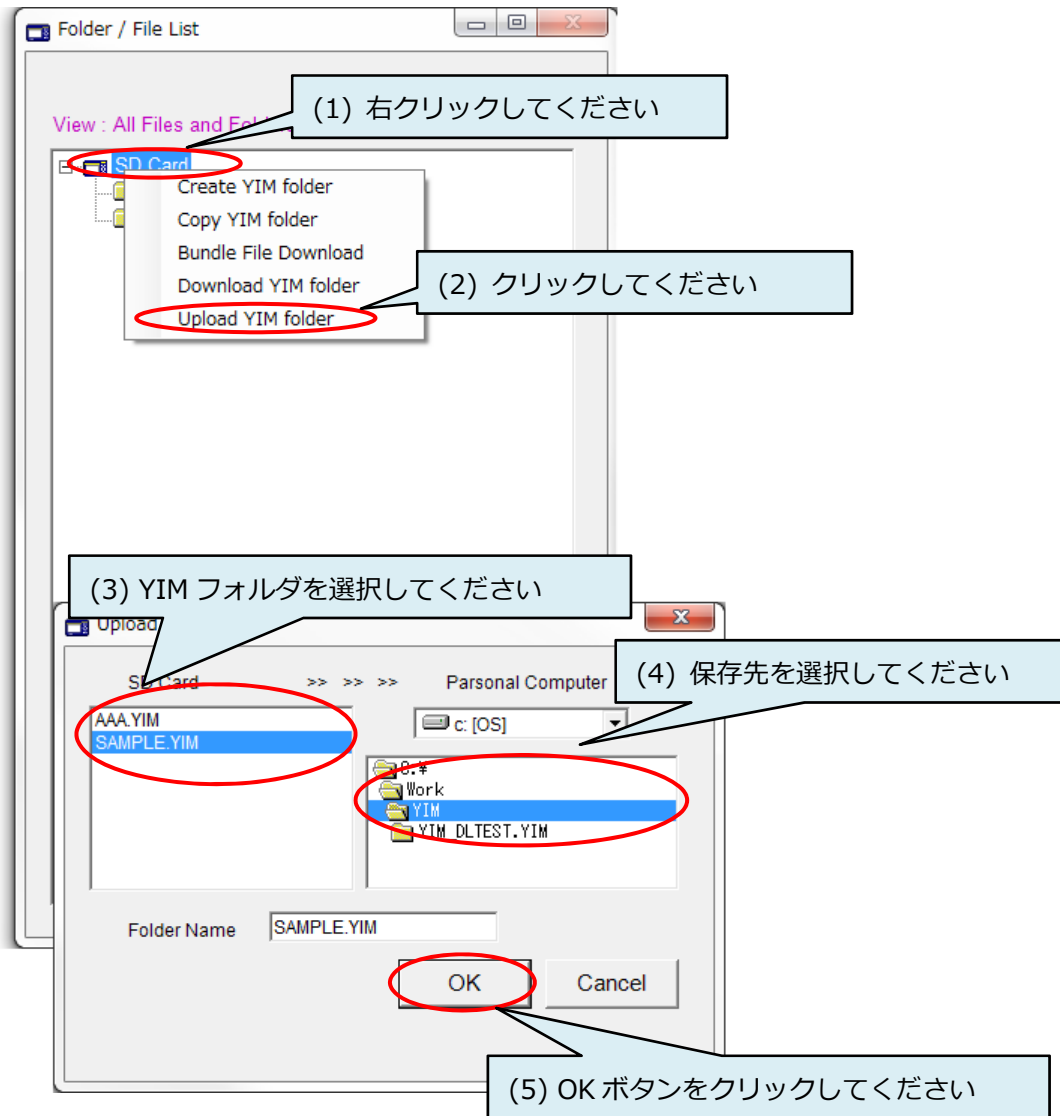
専用 SD カード内の YIM フォルダをホスト PC にアップロードします。

YIM フォルダをアップロードするための操作方法は 2 つあります。

1 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面で“SD Card”を右クリックし、表示されたメニューの“Upload YIM folder”をクリックします。

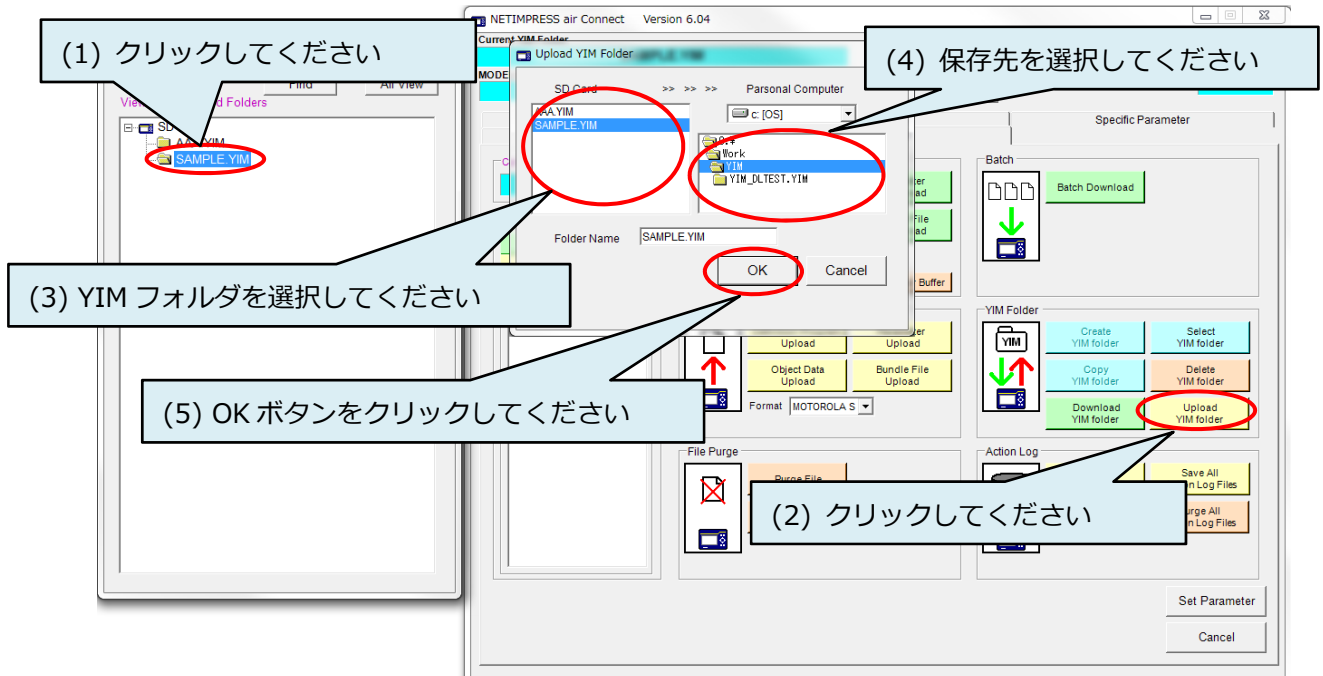
YIM フォルダ保存先選択画面が表示されますので、保存先を選択後、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダのアップロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 2 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面の YIM フォルダを選択後、“File Operation”タブの“YIM Folder”グループにある、“Upload YIM folder”ボタンをクリックします。

YIM フォルダ保存先選択画面が表示されますので、保存先を選択後、“OK”ボタンをクリックします。YIM フォルダのアップロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

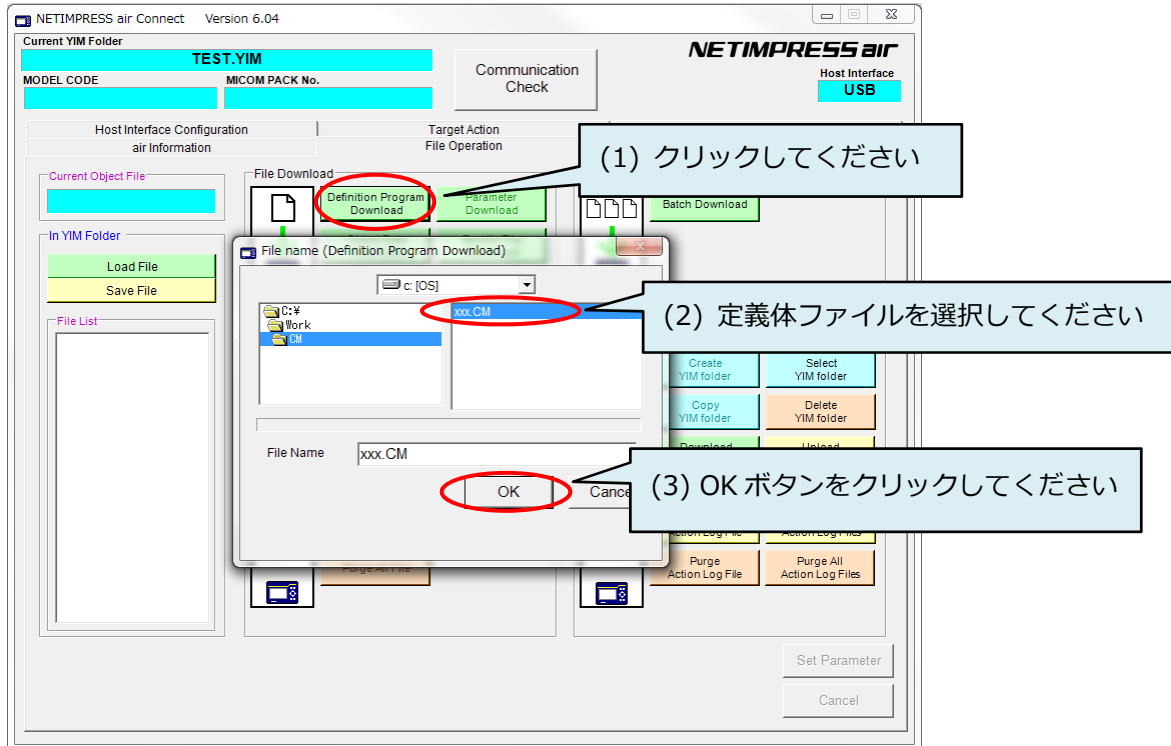


## 6.2.10. 定義体ファイルダウンロード

カレントフォルダに定義体ファイルをダウンロードします。

フォルダ・ファイルリスト画面のカレントフォルダを選択後、“File Operation”タブの“File Download”グループにある、“Definition Program Download”ボタンをクリックします。

定義体ファイル選択画面が表示されますので、ダウンロードしたい定義体ファイルを選択後、“OK”ボタンをクリックします。定義体ファイルのダウンロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

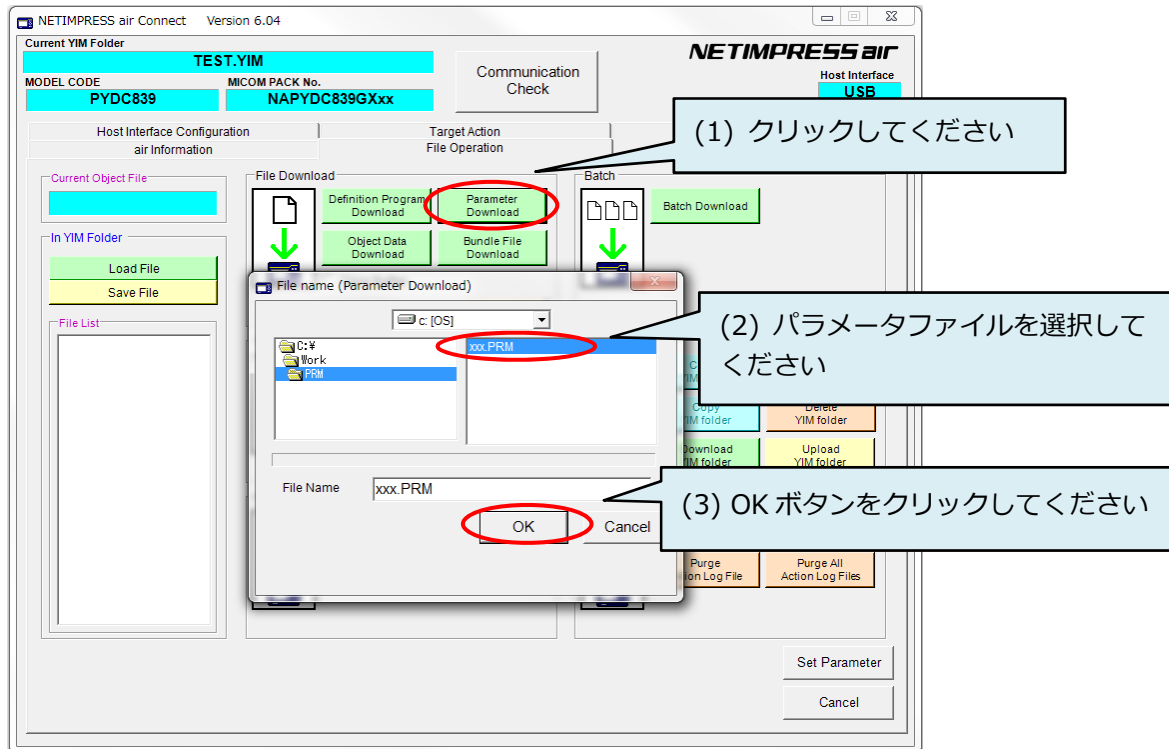


## 6.2.11. パラメータファイルダウンロード

カレントフォルダにパラメータファイルをダウンロードします。

フォルダ・ファイルリスト画面のカレントフォルダを選択後、“File Operation”タブの“File Download”グループにある、“Parameter Download”ボタンをクリックします。

パラメータファイル選択画面が表示されますので、ダウンロードしたいパラメータファイルを選択後、“OK”ボタンをクリックします。パラメータファイルのダウンロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



**!** カレントフォルダにダウンロードされている定義体に適用できないパラメータファイルをダウンロードしようとする、エラーとなります。

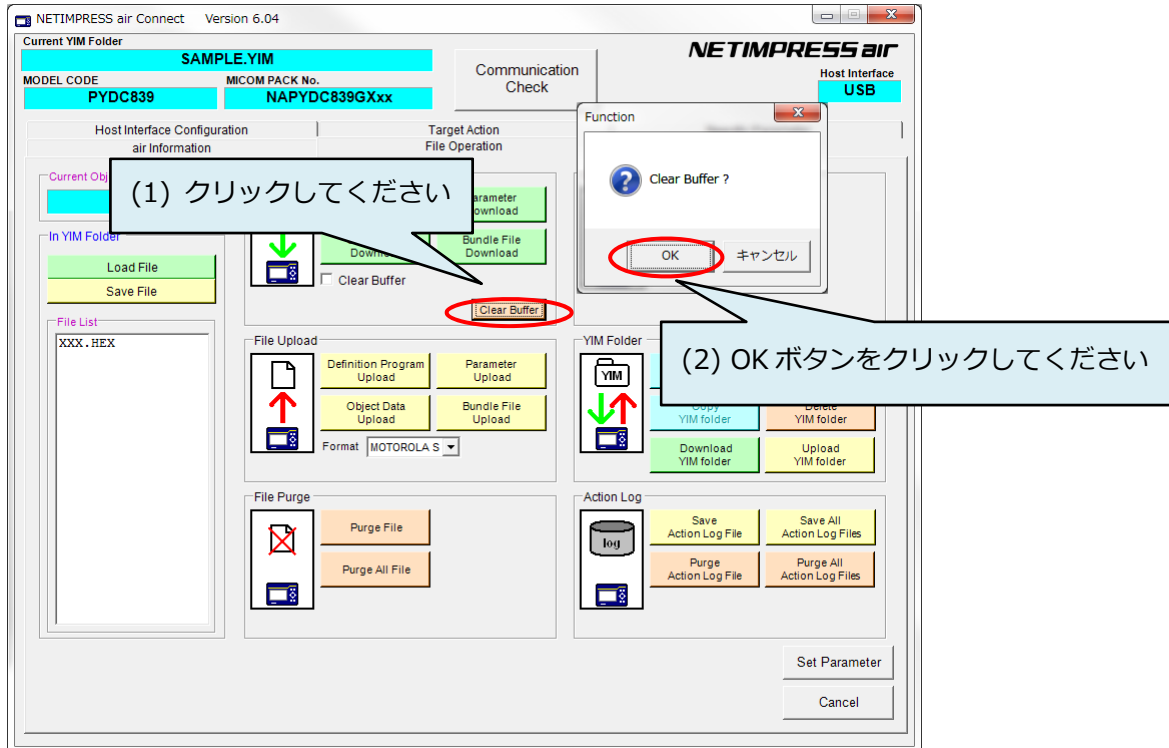
**✓** カレントフォルダにダウンロードされているパラメータファイルと異なるファイルをダウンロードした場合、バッファメモリはクリアされます。

## 6.2.12. バッファメモリのクリア

カレントフォルダのバッファメモリを初期化します。

フォルダ・ファイルリスト画面のカレントフォルダを選択後、“File Operation”タブの“File Download”グループにある、“Clear Buffer”ボタンをクリックします。

確認画面が表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。バッファメモリのクリアを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



バッファメモリのクリアを実行すると、バッファメモリ全領域の値がパラメータで指定された値に初期化されます。

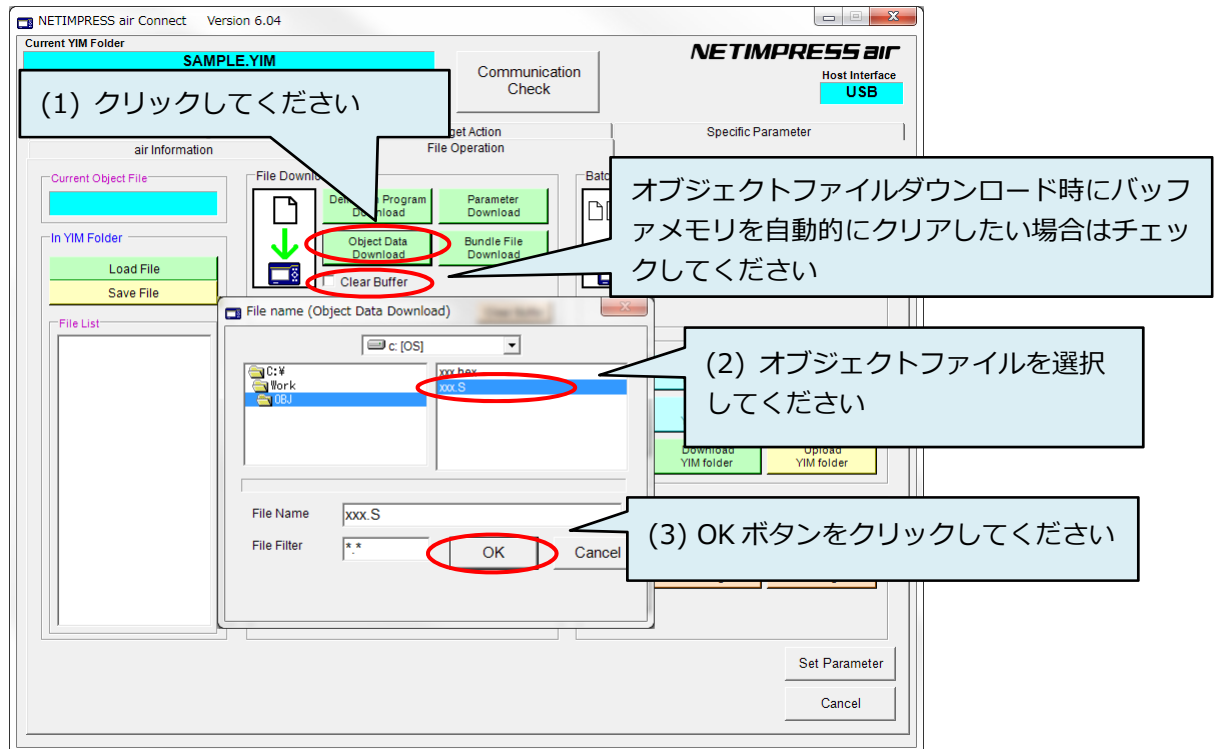
### 6.2.13. オブジェクトファイルダウンロード

カレントフォルダのバッファメモリにオブジェクトファイルをダウンロードします。

フォルダ・ファイルリスト画面のカレントフォルダを選択後、“File Operation”タブの“File Download”グループにある、“Object Data Download”ボタンをクリックします。

オブジェクトファイル選択画面が表示されますので、ダウンロードしたいオブジェクトファイルを選択後、“OK”ボタンをクリックします。オブジェクトファイルのダウンロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

上記操作を行う前に、“File Operation”タブの“File Download”グループにある、“Clear Buffer”にチェックしておくと、オブジェクトファイルのダウンロード時にバッファメモリを自動的にクリアします。



## 6.2.14. バンドルファイルダウンロード

カレントフォルダ内にファイルをダウンロードします。

ホスト PC 上のファイルを専用 SD カードにダウンロードするための操作方法は 2 つあります。

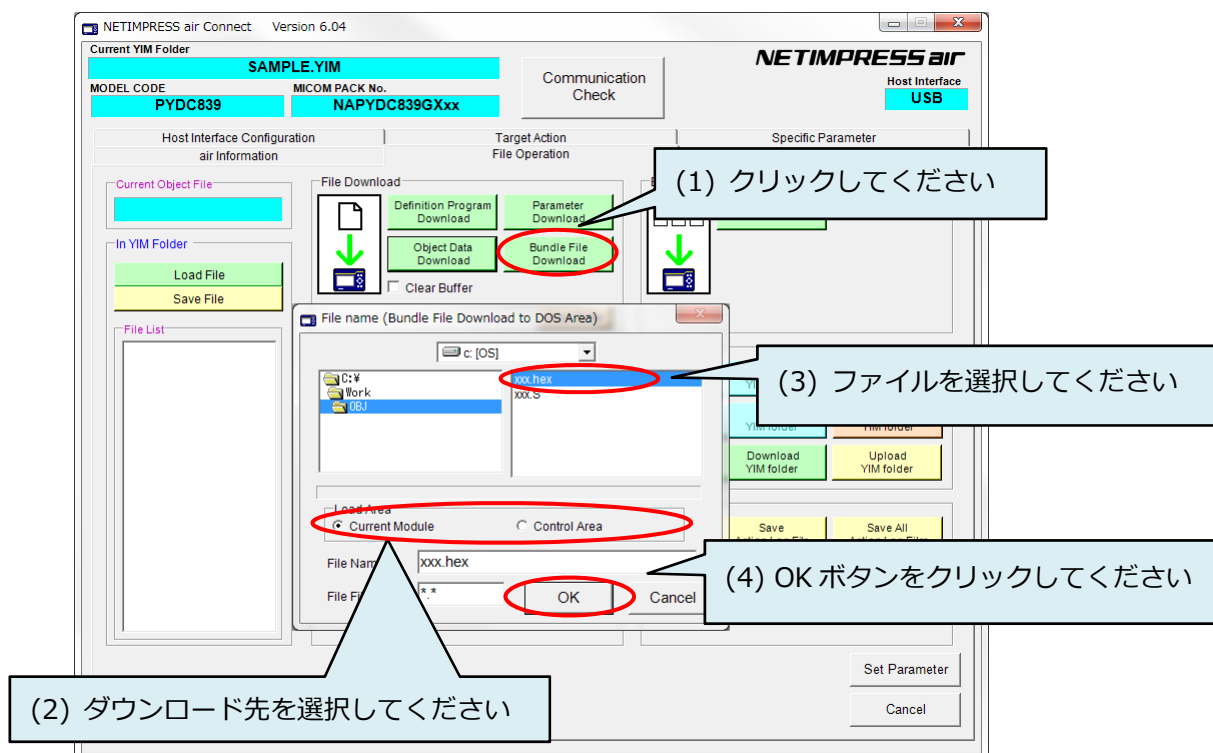
### 1 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面のカレントフォルダを選択後、“File Operation”タブの“File Download”グループにある、“Bundle File Download”ボタンをクリックします。

ファイル選択画面が表示されますので、ダウンロードしたいファイルを選択後、“OK”ボタンをクリックします。バンドルファイルのダウンロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

ファイル選択画面にて、Load Area を Current Module に設定すると、ファイルをカレントフォルダ内にダウンロードします。

Load Area を Control Area に設定すると、ファイルを専用 SD カードのルートにダウンロードします。



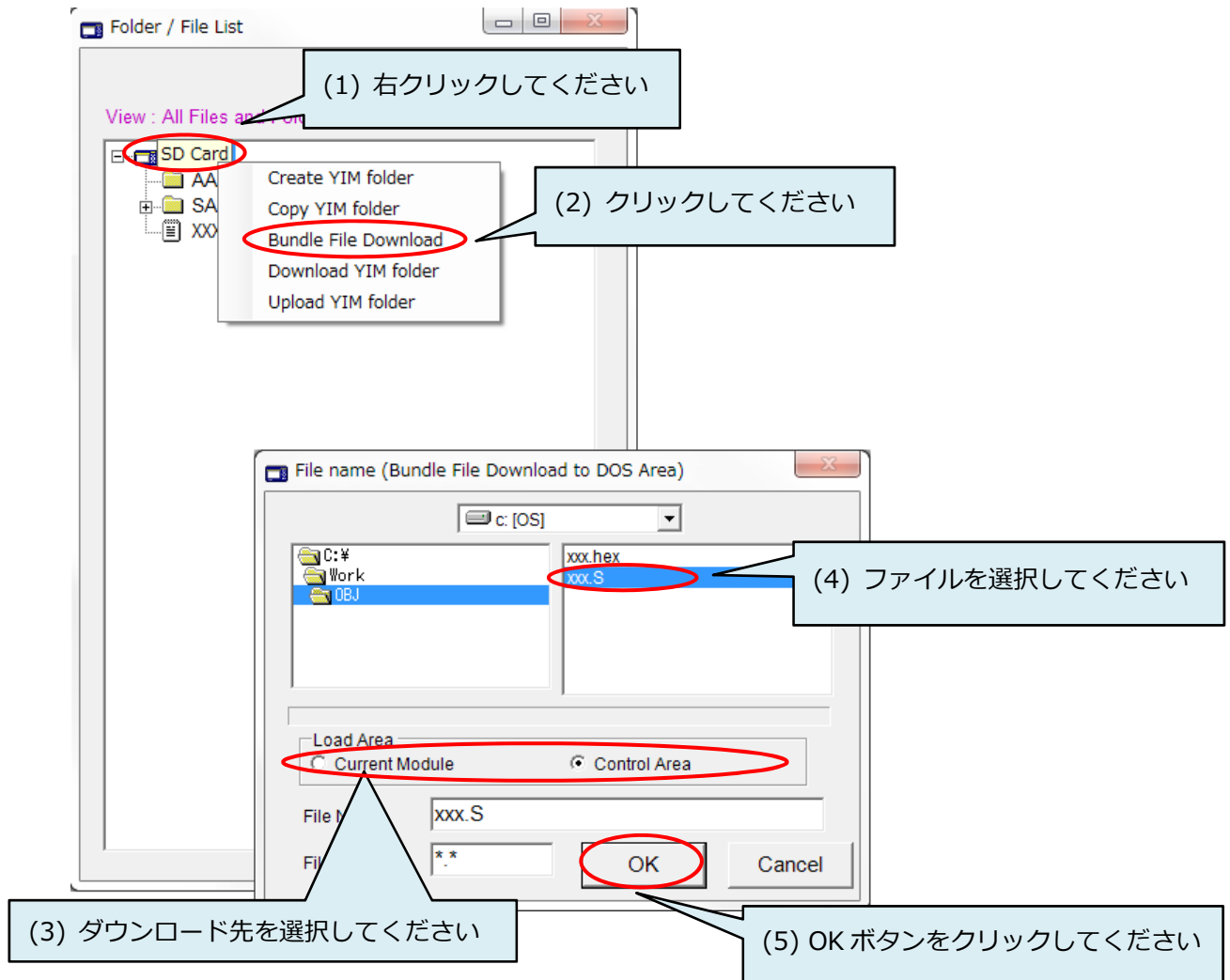
## 2つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面で“SD Card”もしくはカレントフォルダを右クリックし、表示されたメニューの“Bundle File Download”をクリックします。

ファイル選択画面が表示されますので、ダウンロードしたいファイルを選択後、“OK”ボタンをクリックします。バンドルファイルのダウンロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

ファイル選択画面にて、Load Area を Current Module に設定すると、ファイルをカレントフォルダ内にダウンロードします。

Load Area を Control Area に設定すると、ファイルを専用 SD カードのルートにダウンロードします。



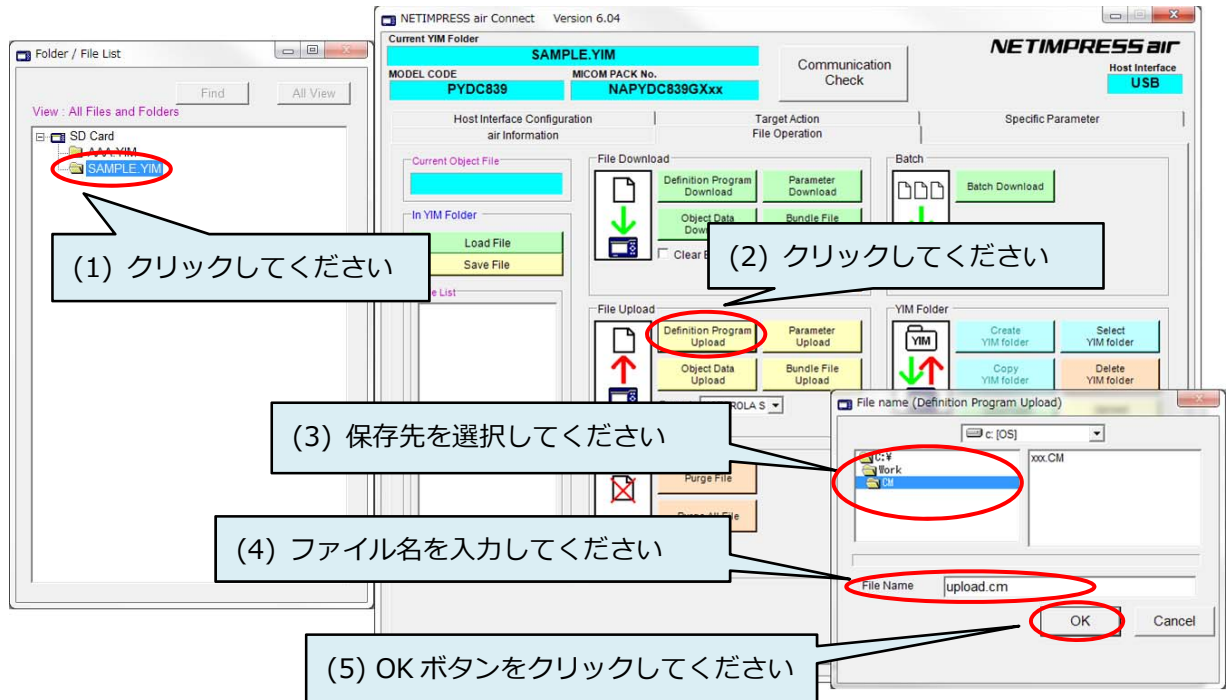


## 6.2.15. 定義体ファイルアップロード

カレントフォルダの定義体をホスト PC 上にアップロードします。

フォルダ・ファイルリスト画面のカレントフォルダを選択後、“File Operation”タブの“File Upload”グループにある、“Definition Program Upload”ボタンをクリックします。

保存先設定画面が表示されますので、定義体ファイルの保存先を設定後、“OK”ボタンをクリックします。定義体ファイルのアップロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

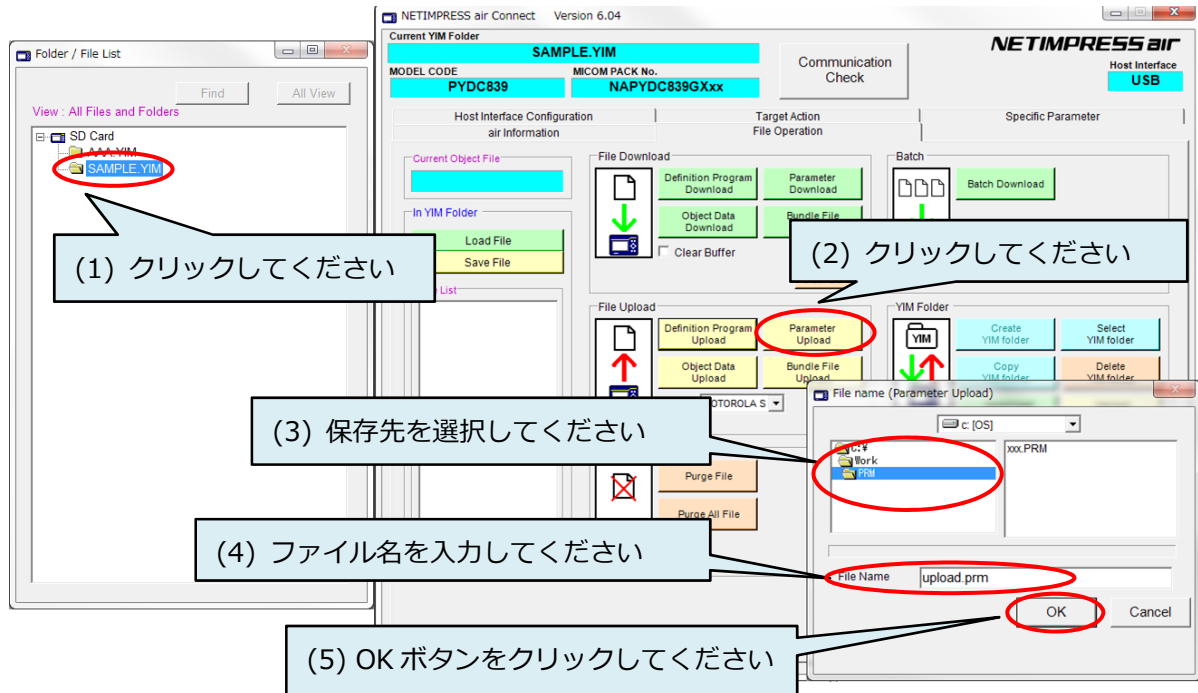


## 6.2.16. パラメータファイルアップロード

カレントフォルダのパラメータをホスト PC 上にアップロードします。

フォルダ・ファイルリスト画面のカレントフォルダを選択後、“File Operation”タブの“File Upload”グループにある、“Parameter Upload”ボタンをクリックします。

保存先設定画面が表示されますので、パラメータファイルの保存先を設定後、“OK”ボタンをクリックします。パラメータファイルのアップロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

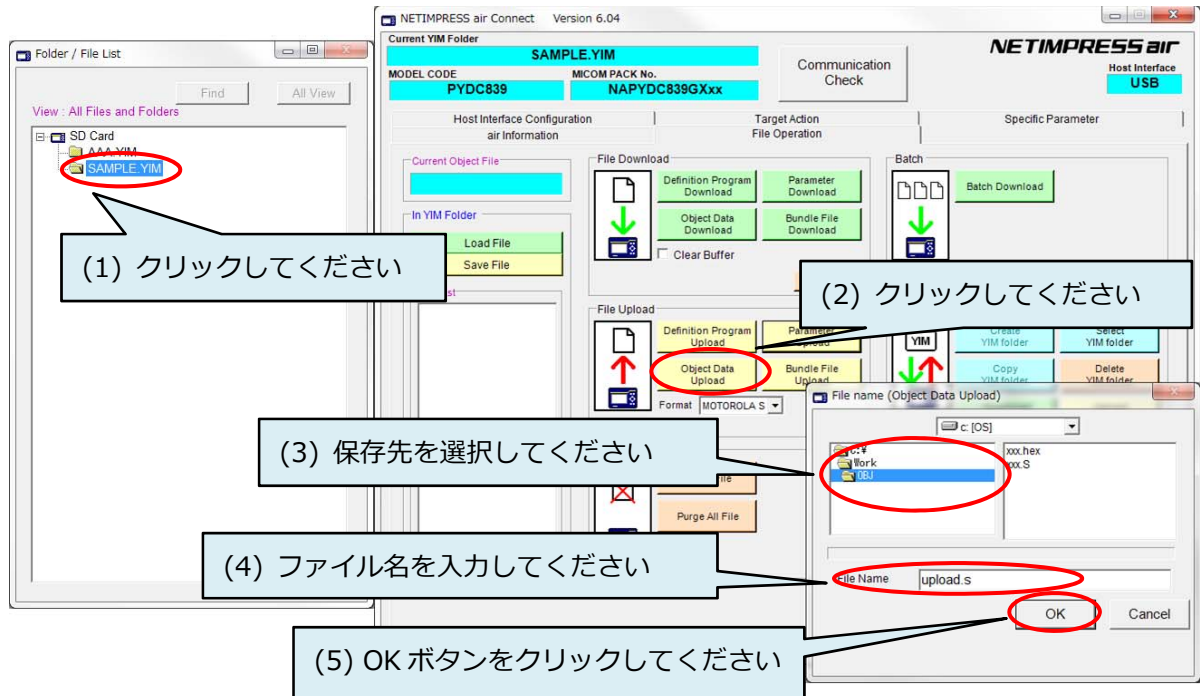


## 6.2.17. オブジェクトファイルアップロード

カレントフォルダのバッファメモリをホスト PC 上にアップロードします。

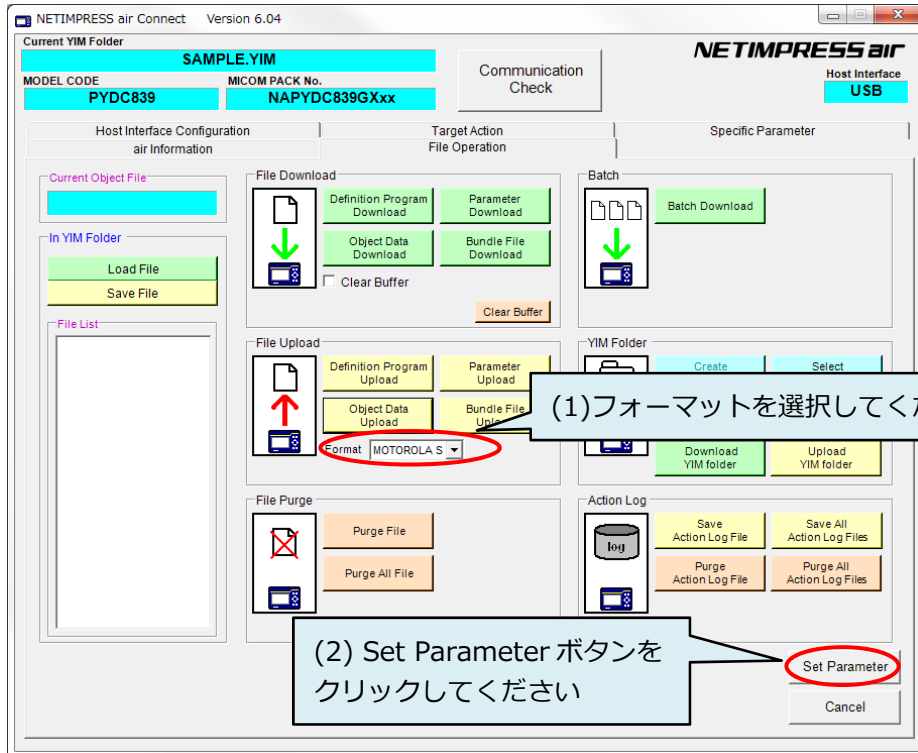
フォルダ・ファイルリスト画面のカレントフォルダを選択後、“File Operation”タブの“File Upload”グループにある、“Object Data Upload”ボタンをクリックします。

保存先設定画面が表示されますので、オブジェクトファイルの保存先を設定後、“OK”ボタンをクリックします。オブジェクトファイルのダウンロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



保存するオブジェクトファイルのフォーマットは、“File Operation”タブの“File Upload”グループにある、“Format”で設定したフォーマットになります。“Format”はモトローラ S もしくはインテル HEX から選択可能です。

“Format”を変更する場合、フォーマットを選択後、“File Operation”タブ右下の“Set Parameter ボタン”をクリックします。“Cancel ボタン”をクリックすると変更が取り消され、変更前の設定に戻ります。



## 6.2.18. バンドルファイルアップロード

専用 SD カード内のファイルをホスト PC 上にアップロードします。

バンドルファイルをアップロードするための操作方法は 2 つあります。

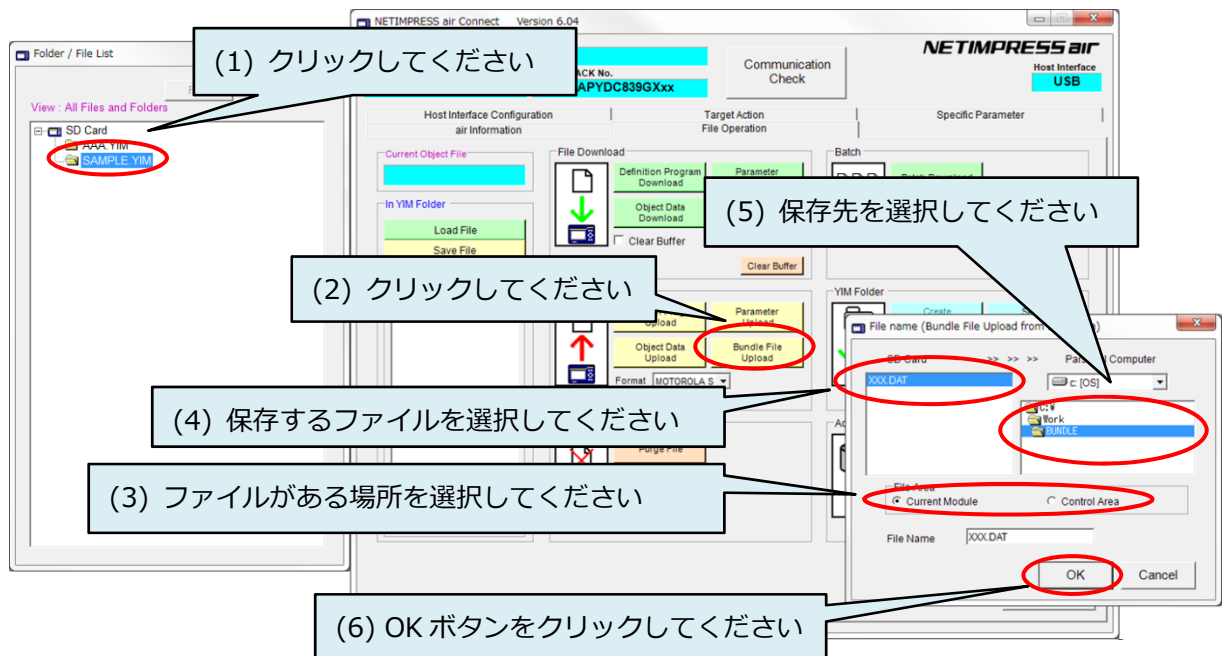
1 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面のカレントフォルダを選択後、“File Operation”タブの“File Upload”グループにある、“Bundle File Upload”ボタンをクリックします。

保存先設定画面が表示されますので、保存するファイルおよびファイルの保存先を選択後、“OK”ボタンをクリックします。バンドルファイルのアップロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

保存先設定画面にて、File Area を Current Module に設定すると、カレントフォルダ内のファイルをホスト PC に保存することができます。

File Area を Control Area に設定すると、専用 SD カードのルートにあるファイルをホスト PC に保存することができます。



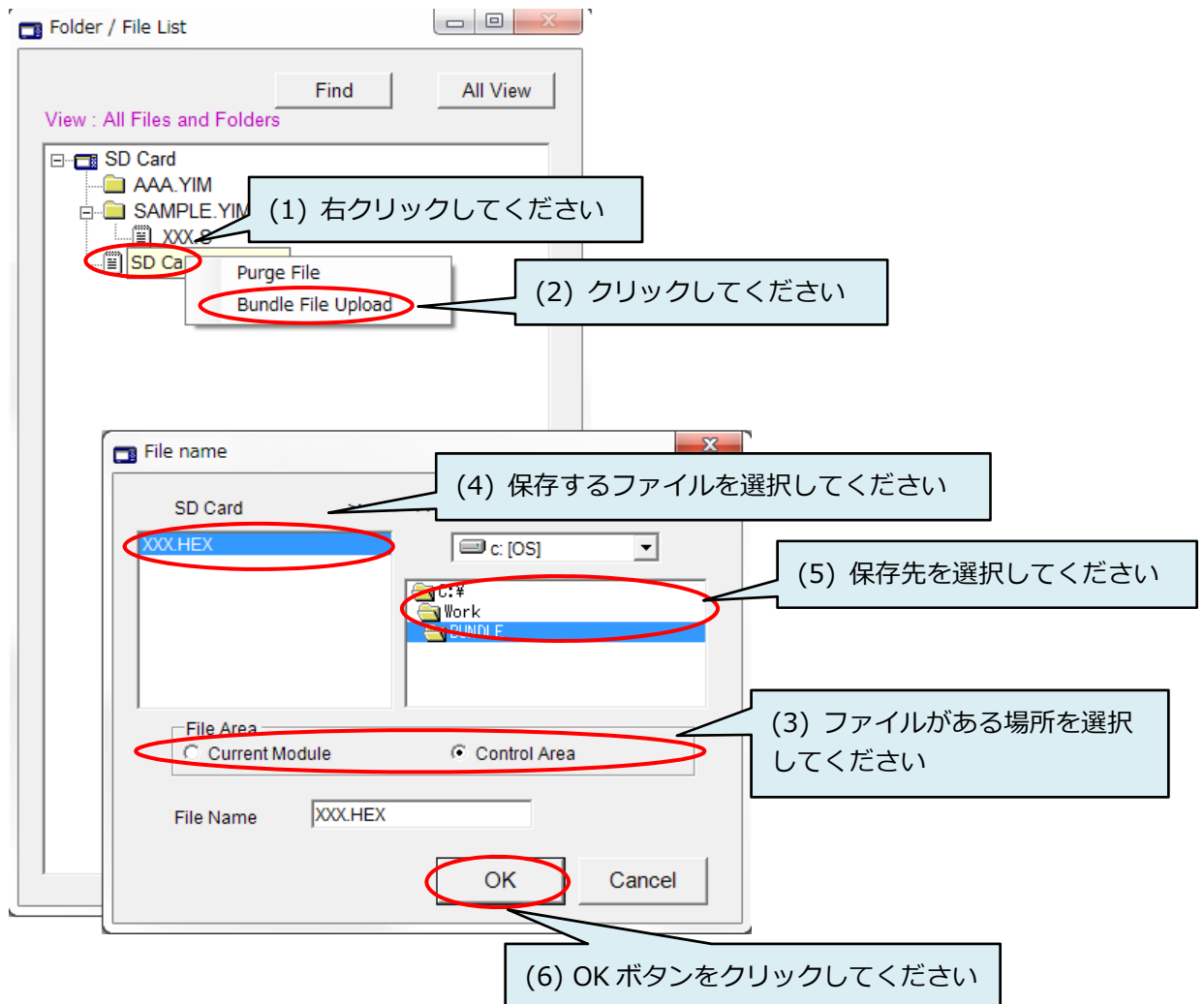
## 2つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面で、専用 SD カードのルートにあるファイル、もしくは、カレントフォルダ内のファイルを右クリックし、表示されたメニューの“Bundle File Upload”をクリックします。

保存先設定画面が表示されますので、保存するファイルおよびファイルの保存先を選択後、“OK”ボタンをクリックします。バンドルファイルのアップロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

保存先設定画面にて、File Area を Current Module に設定すると、カレントフォルダ内のファイルをホスト PC に保存することができます。

File Area を Control Area に設定すると、専用 SD カードのルートにあるファイルをホスト PC に保存することができます。



## 6.2.19. ファイルの削除

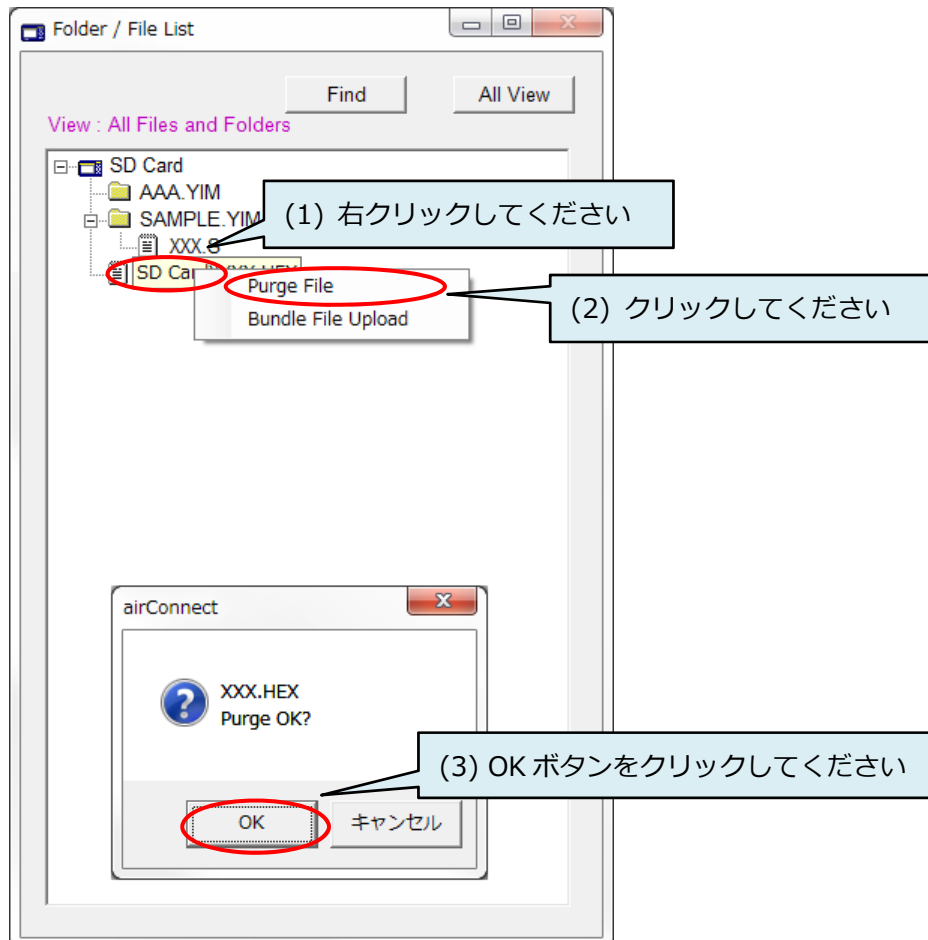
専用 SD カード内のファイルを削除します。

ファイルを削除するための操作方法は 4 つあります。

### 1 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面で、専用 SD カードのルートにあるファイル、もしくは、カレントフォルダ内のファイルを右クリックし、表示されたメニューの“Purge File”をクリックします。

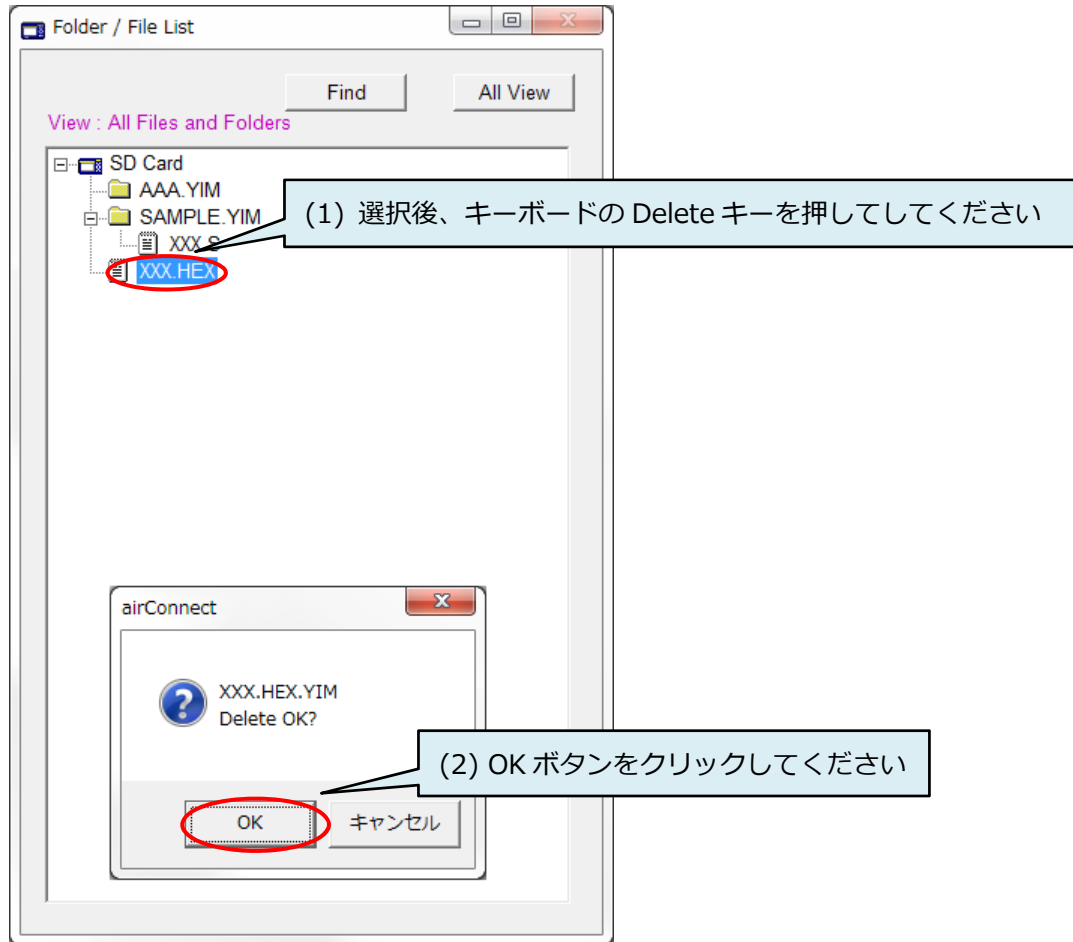
確認画面が表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。ファイルの削除を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 2 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面で、専用 SD カードのルートにあるファイル、もしくは、カレントフォルダ内のファイルを選択し、キーボードの Delete キーを押します。

確認画面が表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。ファイルの削除を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。





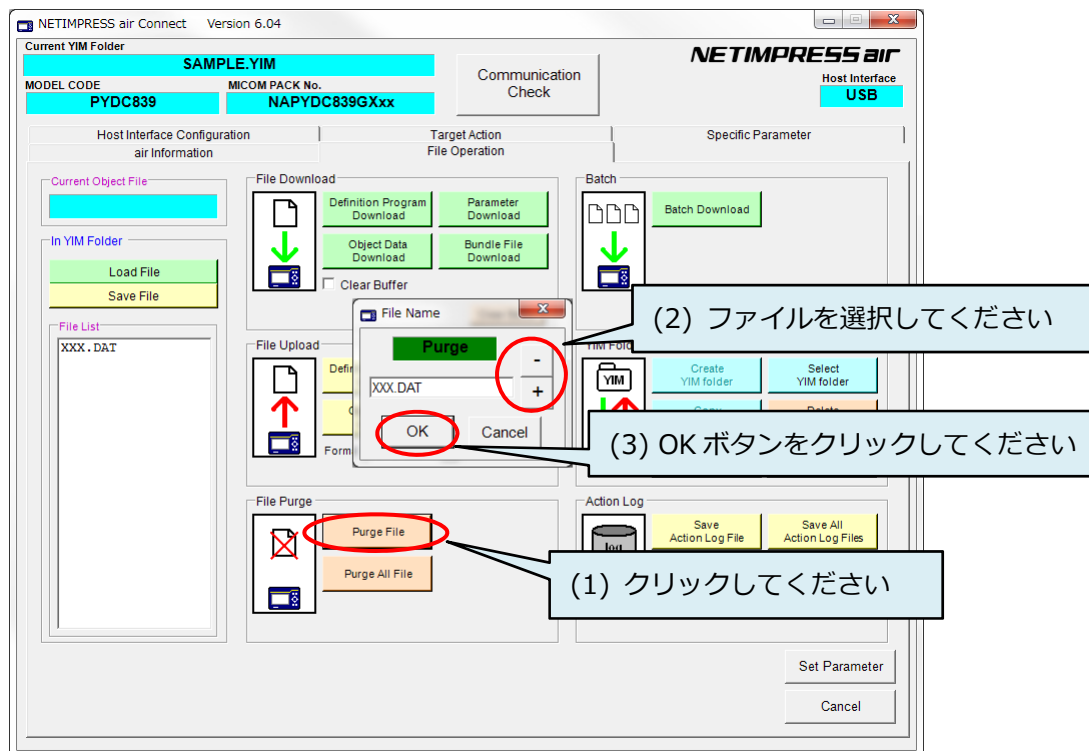
## 3 つめの方法

フォルダ・ファイルリスト画面で“SD Card”、専用 SD カードのルートにあるファイル、カレントフォルダ、カレントフォルダ内のファイルのいずれかを選択後、“File Operation”タブの“File Purge”グループにある、“Purge File”ボタンをクリックします。

削除ファイル選択画面が表示されますので、“+”ボタンもしくは“-”ボタンで削除したいファイルを選択後、“OK”ボタンをクリックします。ファイルの削除を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

フォルダ・ファイルリスト画面で、“SD Card”もしくは専用 SD カードのルートにあるファイルを選択した場合、専用 SD カードのルートにあるファイルを削除することができます。

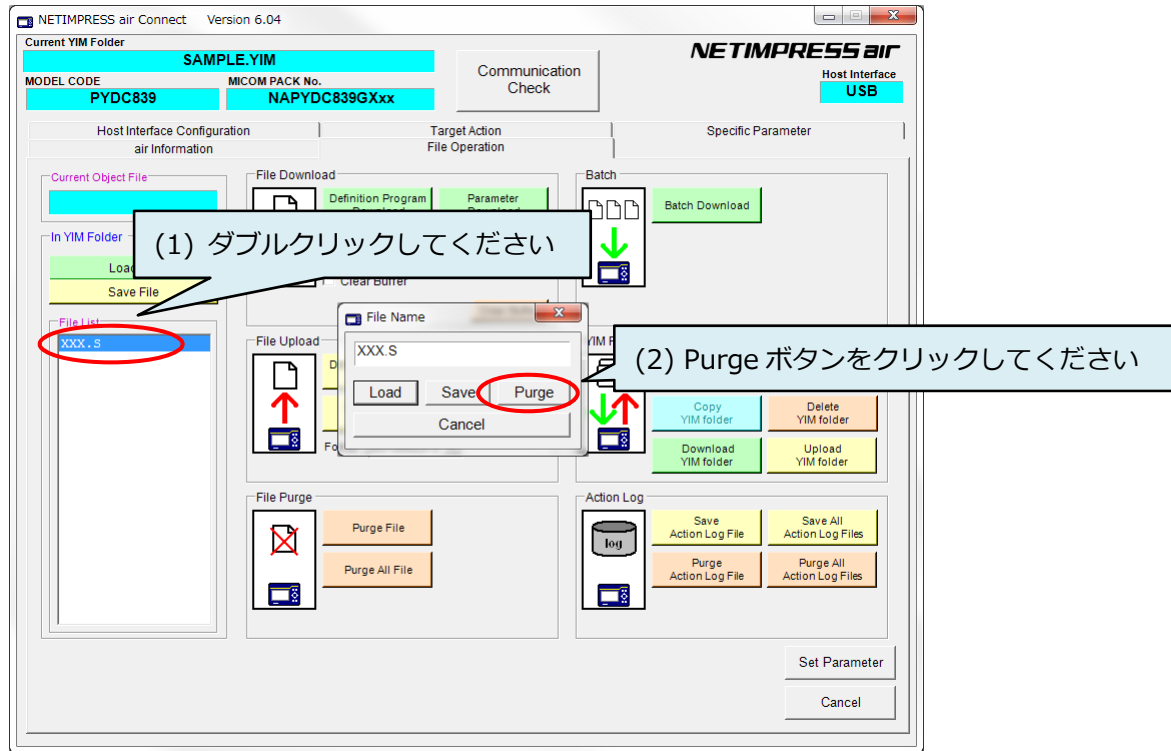
フォルダ・ファイルリスト画面で、カレントフォルダもしくはカレントフォルダ内のファイルを選択した場合、カレントフォルダ内のファイルを削除することができます。



## 4 つ目の方法

“File Operation”タブの“In YIM Folder”グループにある“File List”に表示されているファイル名のうち、削除したいファイルのファイル名をダブルクリックします。

処理内容選択画面が表示されますので、“Purge”ボタンをクリックします。ファイルの削除を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



この方法で削除できるファイルは、カレントフォルダ内のファイルのみです。

## 6.2.20. ファイルの全削除

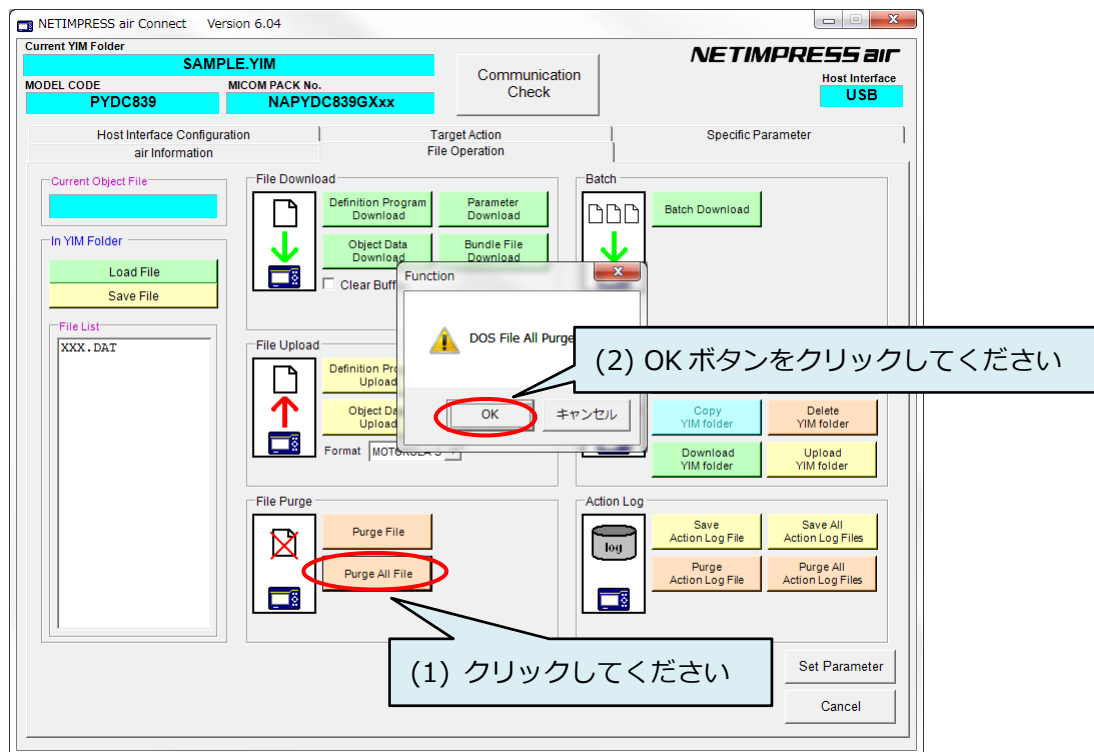
専用 SD カードのルートにあるファイル、もしくは、カレントフォルダ内のファイルをすべて削除します。

フォルダ・ファイルリスト画面で“SD Card”、専用 SD カードのルートにあるファイル、カレントフォルダ、カレントフォルダ内のファイルのいずれかを選択後、“File Operation”タブの“File Purge”グループにある、“Purge All File”ボタンをクリックします。

確認画面が表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。ファイルの全削除を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

フォルダ・ファイルリスト画面で、“SD Card”もしくは専用 SD カードのルートにあるファイルを選択した場合、専用 SD カードのルートにあるファイルをすべて削除することができます。

フォルダ・ファイルリスト画面で、カレントフォルダもしくはカレントフォルダ内のファイルを選択した場合、カレントフォルダ内のファイルをすべて削除することができます。



## 6.2.21. ファイルのバッファメモリへのロード

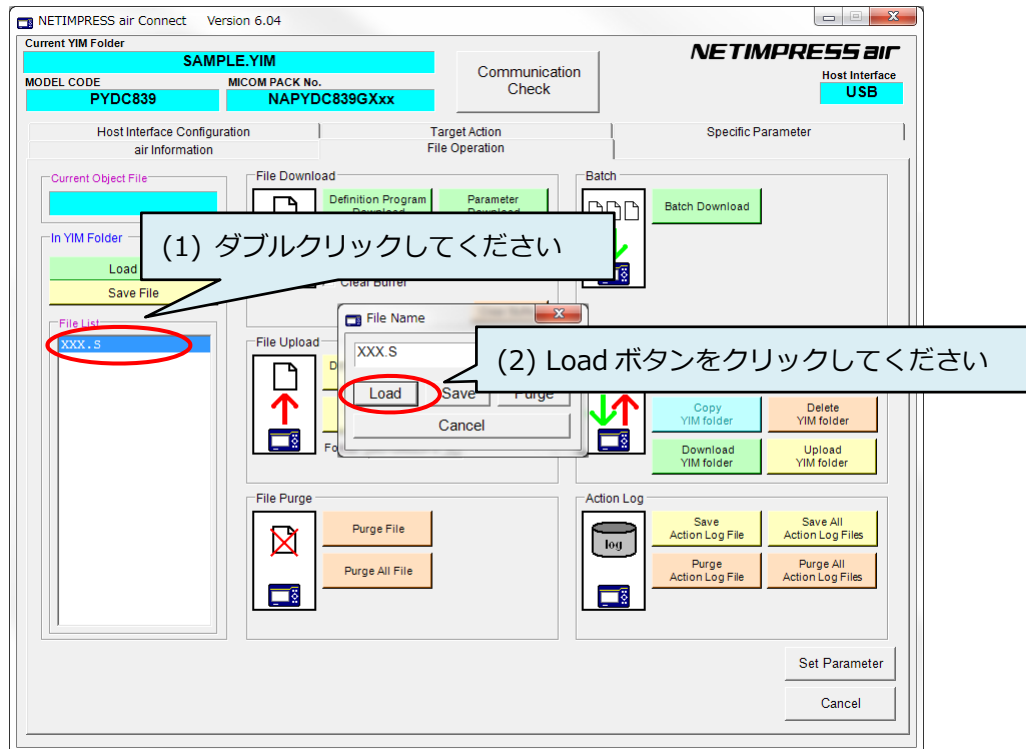
カレントフォルダ内のファイルをバッファメモリにロードします。

ファイルをロードするための操作方法は2つあります。

1つめの方法

“File Operation”タブの“In YIM Folder”グループにある“File List”に表示されているファイル名のうち、ロードしたいファイルのファイル名をダブルクリックします。

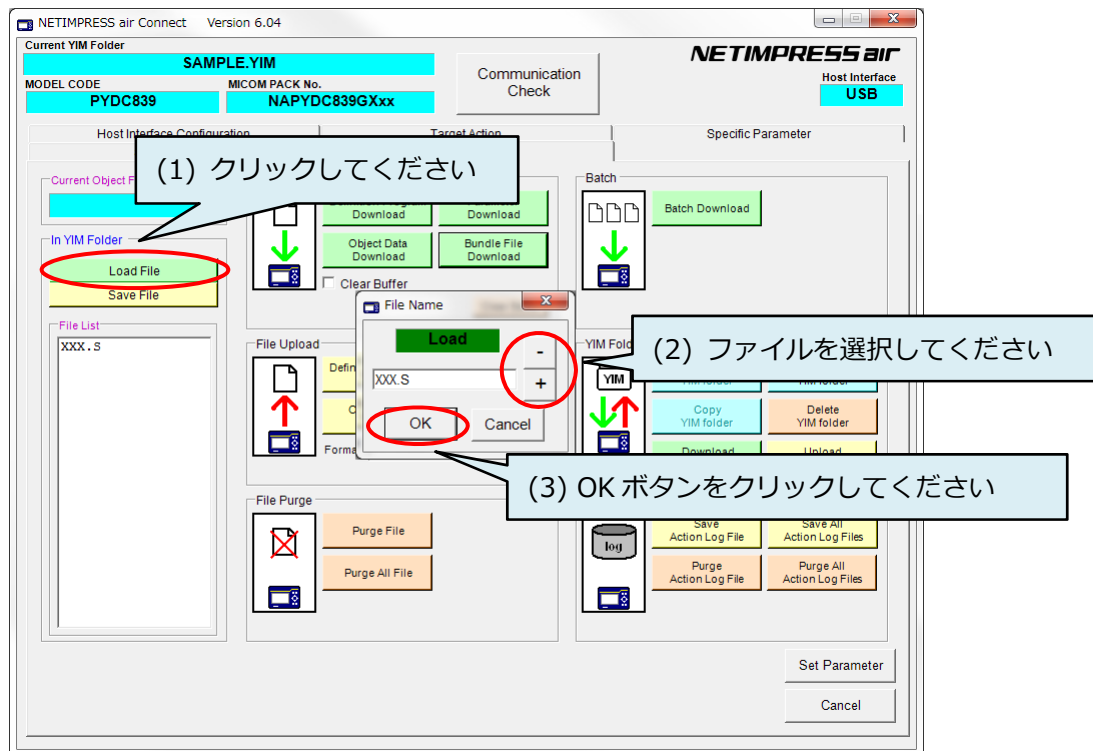
処理内容選択画面が表示されますので、“Load”ボタンをクリックします。ファイルのロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 2 つめの方法

“File Operation”タブの“In YIM Folder”グループにある、“Load File”ボタンをクリックします。

ファイル選択画面が表示されますので、“+”ボタンもしくは“-”ボタンでファイルを選択後、“OK”ボタンをクリックします。ファイルのロードを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 6.2.22. バッファメモリのファイルへのセーブ

バッファメモリの内容をカレントフォルダ内にファイルとしてセーブします。

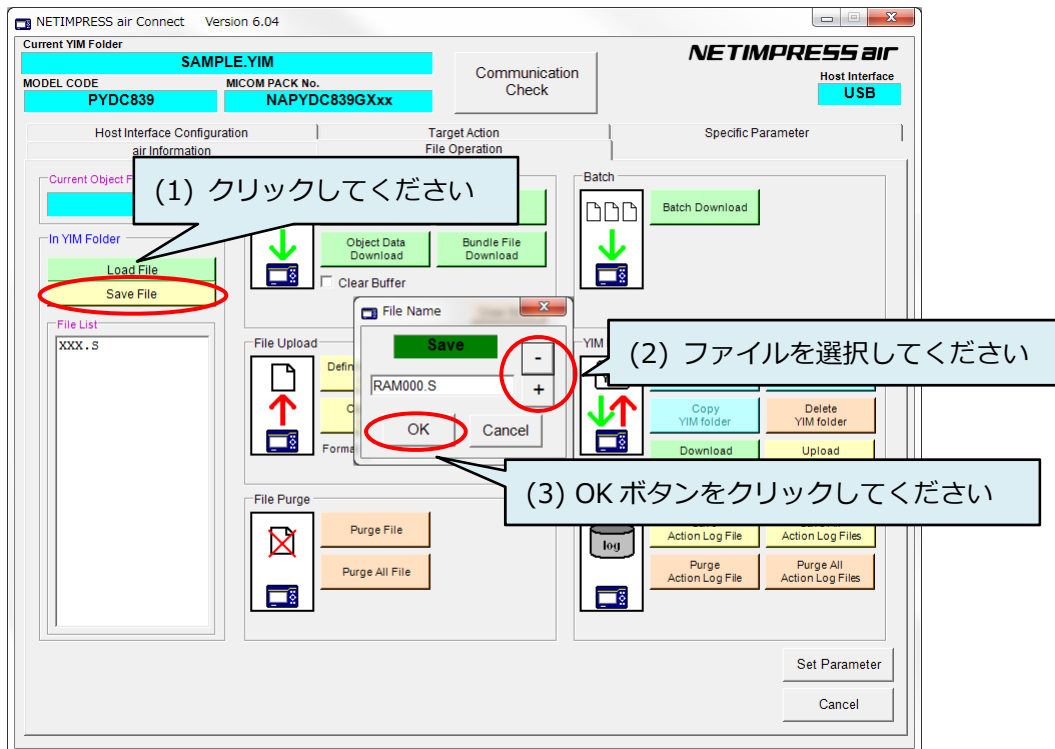
ファイルとしてセーブするための操作方法は2つあります。

### 1 つめの方法

“File Operation”タブの“In YIM Folder”グループにある、“Save File”ボタンをクリックします。

ファイル名選択画面が表示されますので、“+”ボタンもしくは“-”ボタンで保存するファイル名を選択後、“OK”ボタンをクリックします。ファイルのセーブを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

保存するファイル名は、カレントフォルダ内に存在するファイル名、もしくは、RAMxxx.yyy(xxx は 000 から始まる 3ケタの通し番号、yyy は“S”、“HEX”、“BIN”のいずれか)から選択できます。

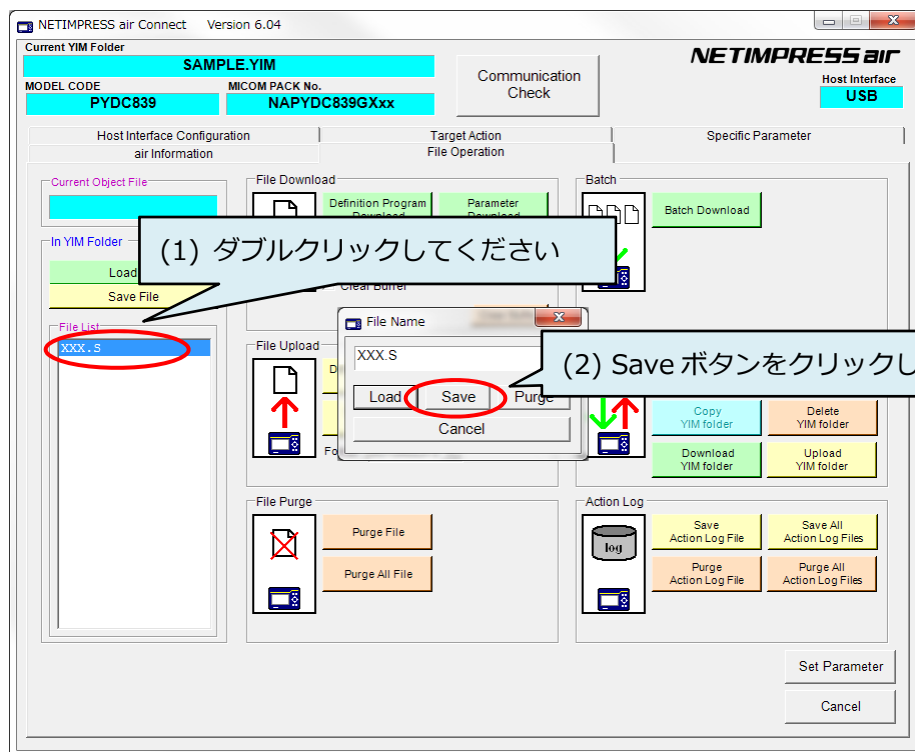


## 2つ目の方法

“File Operation”タブの“In YIM Folder”グループにある“File List”に表示されているファイル名をダブルクリックします。

処理内容選択画面が表示されますので、“Save”ボタンをクリックします。ファイルのセーブを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

保存するファイル名は、ダブルクリックしたファイル名となります。

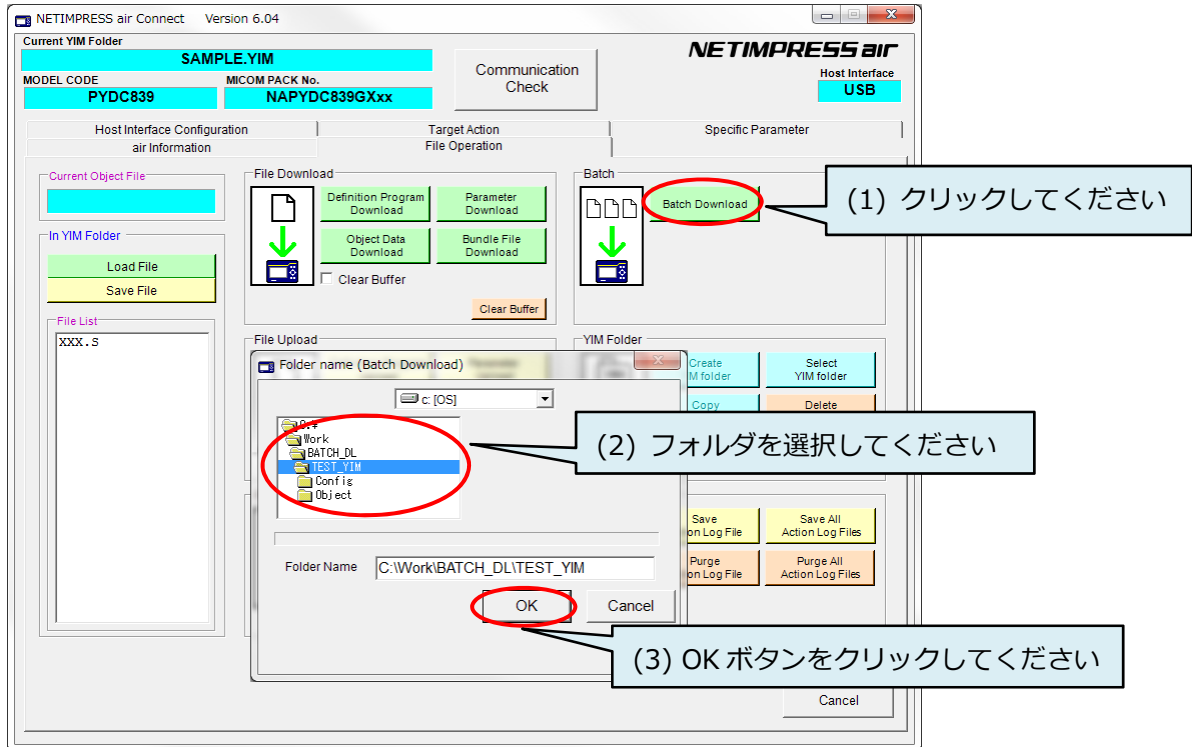


## 6.2.23. Batch Download

ホスト PC 上に一定のルールで配置された定義体ファイル、パラメータファイル、オブジェクトファイル、バンドルファイルを一括でダウンロードします。

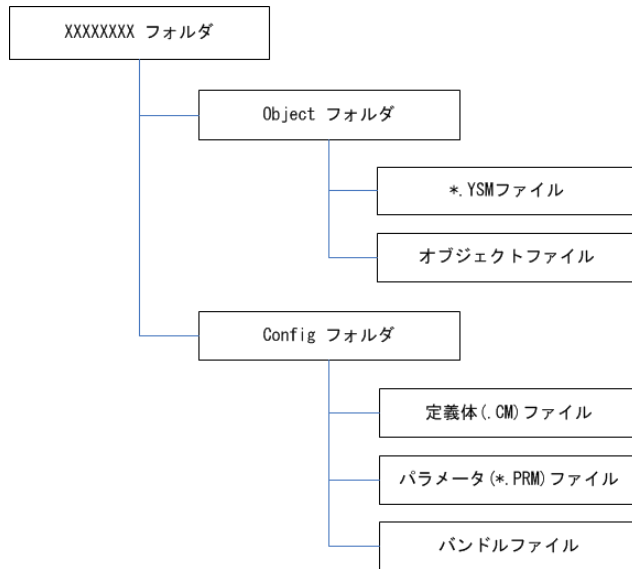
“File Operation”タブの“Batch”グループにある、“Batch Download”ボタンをクリックします。

フォルダ選択画面が表示されますので、Batch Download を実行するフォルダを選択後、“OK”ボタンをクリックします。Batch Download を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。





Batch Download を実行するフォルダ(下図の例では XXXXXXXX フォルダ)内には、次の構成でフォルダ・ファイルが配置する必要があります。

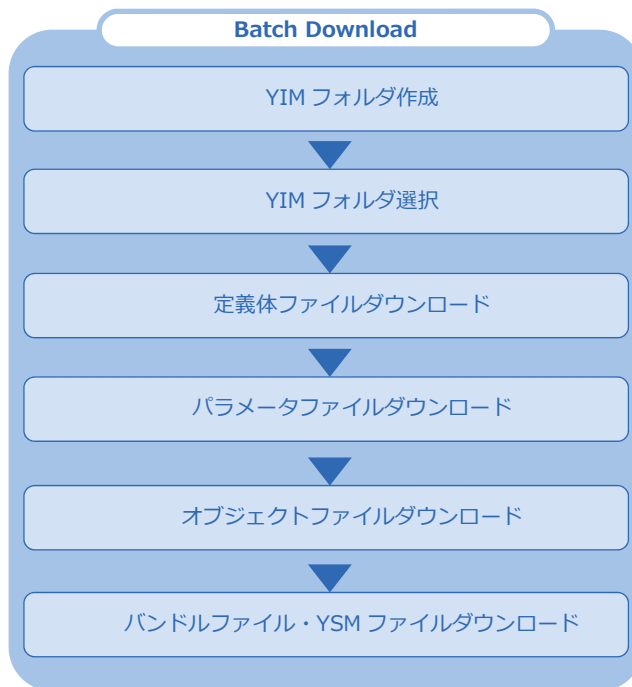


Batch Download は次の手順でファイルのダウンロードを行い、YIM フォルダを作成します。

Batch Download 実行時に作成される YIM フォルダのフォルダ名は、Batch Download を実行するフォルダのフォルダ名に“.YIM”をつけたもの(上図の例では“XXXXXXX.YIM”)となります。

専用 SD カード内に同名の YIM フォルダがすでに存在する場合、同名の YIM フォルダを削除するか確認するメッセージが表示されます。

オブジェクトファイルが複数配置されている場合、オブジェクトファイルダウンロードは、オブジェクトファイルのファイル名昇順で実行されます。



フォルダ・ファイル配置には次の条件があります。

- ・フォルダ名およびファイル名に使用可能な文字は本機で使用可能な文字のみ
- ・YSM ファイルは Object フォルダに任意の数だけ配置可能
- ・オブジェクトファイルは Object フォルダに任意の数だけ配置可能
- ・定義体ファイル(.CM)は Config フォルダ内に 1 つだけ配置可能
- ・パラメータファイル(.PRM)は Config フォルダ内に 1 つだけ配置可能
- ・バンドルファイルは Config フォルダ内に任意の数だけ配置可能

次のような場合 Batch Download を実行することはできません。

- ・フォルダ名およびファイル名に使用できない文字が使用されている
- ・Object フォルダ、もしくは、Config フォルダが配置されていない
- ・定義体ファイルが Config フォルダ内に配置されていないか、2 つ以上配置されている
- ・パラメータファイルが Config フォルダ内に配置されていないか、2 つ以上配置されている

## 6.2.24. ターゲットアクションの実行

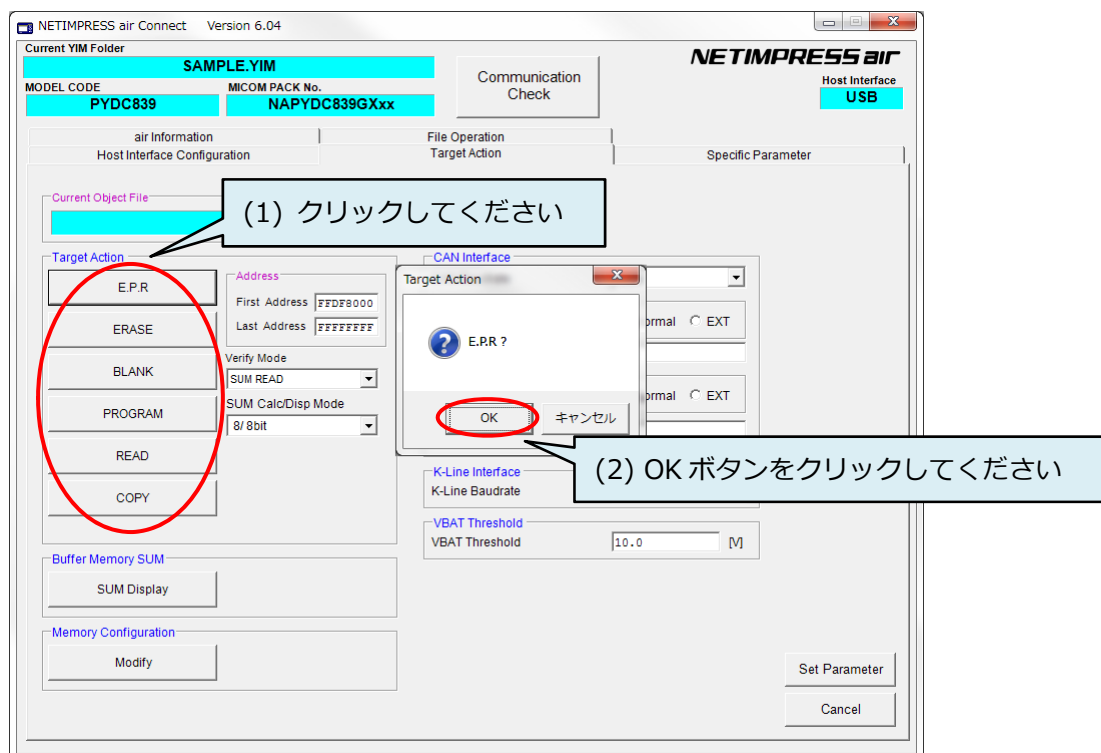
ターゲットアクションを実行します。

“Target Action”タブの“Target Action”グループにあるボタンのうち、実行したい処理に対応するボタンをクリックします。

ターゲットアクションは、E.P.R、ERASE、BLANK、PROGRAM、READ、COPYの6種類で、それぞれ、“E.P.R”ボタン、“ERASE”ボタン、“BLANK”ボタン、“PROGRAM”ボタン、“READ”ボタン、“COPY”ボタンで実行します。

各ボタンをクリックすると確認画面が表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。ターゲットアクションの実行を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

各ターゲットアクション実行時の動作は、定義体によって異なります。ターゲットアクションの名称と実際の動作が一致しない場合もありますので、ターゲットアクションごとの動作の詳細については、各定義体のマニュアルをご参照ください。

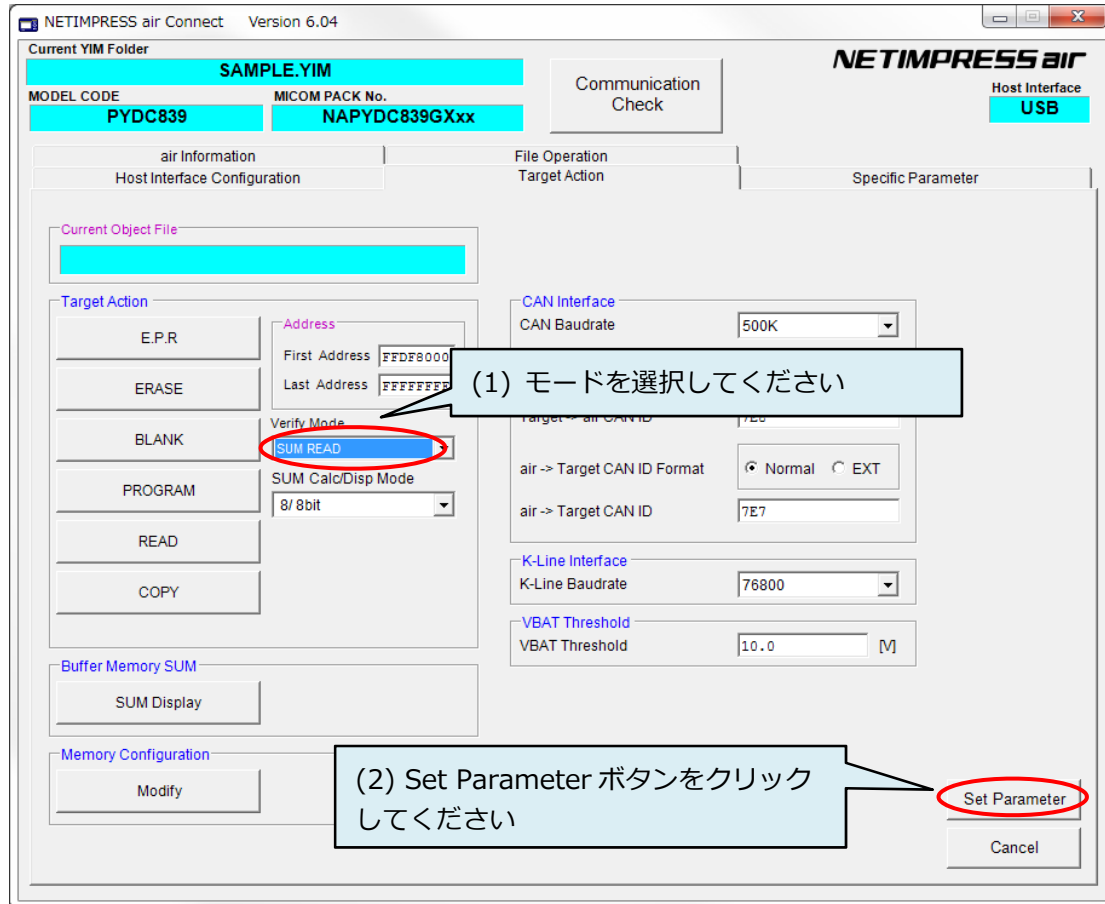


## 6.2.25. Verify Mode の設定

ターゲットアクション実行時のベリファイモードを設定します。

“Target Action”タブの“Target Action”グループにある、“Verify Mode”を変更します。

“Verify Mode”で変更したいモードを選択後、“Target Action”タブ右下の“Set Parameter”ボタンをクリックします。“Cancel”ボタンをクリックすると変更が取り消され、変更前の設定に戻ります。



“Verify Mode”はつぎのモードから選択可能です。

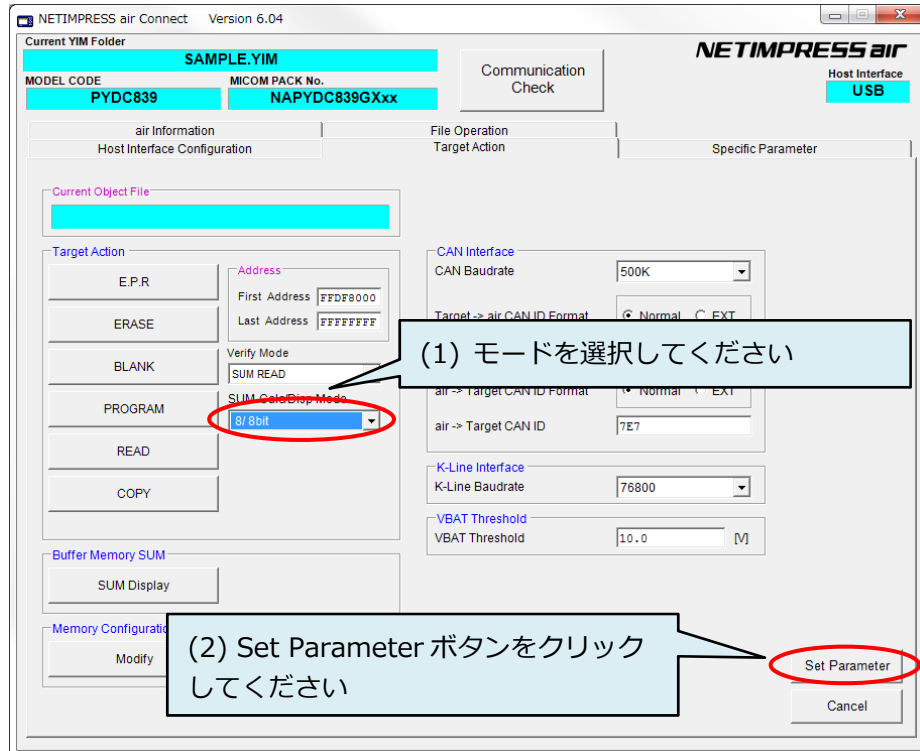
モード	意味
FULL READ	ターゲットアクションによって書き込み実行後、書き込みデータを全データ比較チェックします。
SUM READ	ターゲットアクションによって書き込み実行後、書き込みデータのサム値を比較チェックします。

## 6.2.26. Sum Calc/Disp Mode の設定

ターゲットアクション実行後のサム値の計算方法を設定します。

“Target Action”タブの“Target Action”グループにある、“SUM Calc/Disp Mode”を変更します。

“SUM Calc/Disp Mode”で変更したいモードを選択後、“Target Action”タブ右下の“Set Parameter”ボタンをクリックします。“Cancel”ボタンをクリックすると変更が取り消され、変更前の設定に戻ります。



“SUM Calc/Disp Mode”はつぎのモードから選択可能です。

モード	意味
8/8bit	ターゲットアクション実行時の Sum 値、および、バッファメモリのサム値計算時の Sum 値を 8Bit 加算で計算し 8Bit で表示します。
16/16bit	ターゲットアクション実行時の Sum 値、および、バッファメモリのサム値計算時の Sum 値を 16Bit 加算で計算し 16Bit で表示します。
8/16Bit	ターゲットアクション実行時の Sum 値、および、バッファメモリのサム値計算時の Sum 値を 8Bit 加算で計算し 16Bit で表示します。



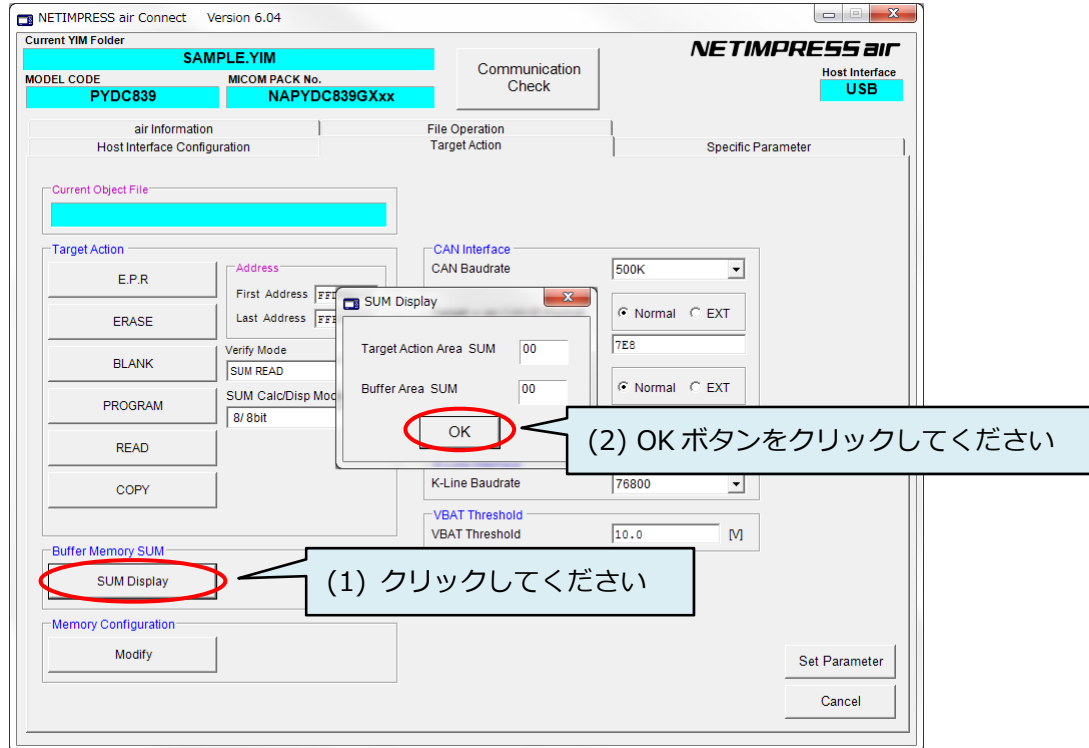
Sum 値計算時、オーバーフローは無視します。

## 6.2.27. バッファメモリのサム値表示

バッファメモリのサム値を計算し、表示します。

“Target Action”タブの“Buffer Memory SUM”グループにある、“SUM Display”ボタンをクリックします。  
バッファメモリサム値画面が表示されます。

サム値の確認が終わりましたら、バッファメモリサム値画面の“OK”ボタンをクリックします。



バッファメモリサム値画面の項目と意味は次のとおりです。

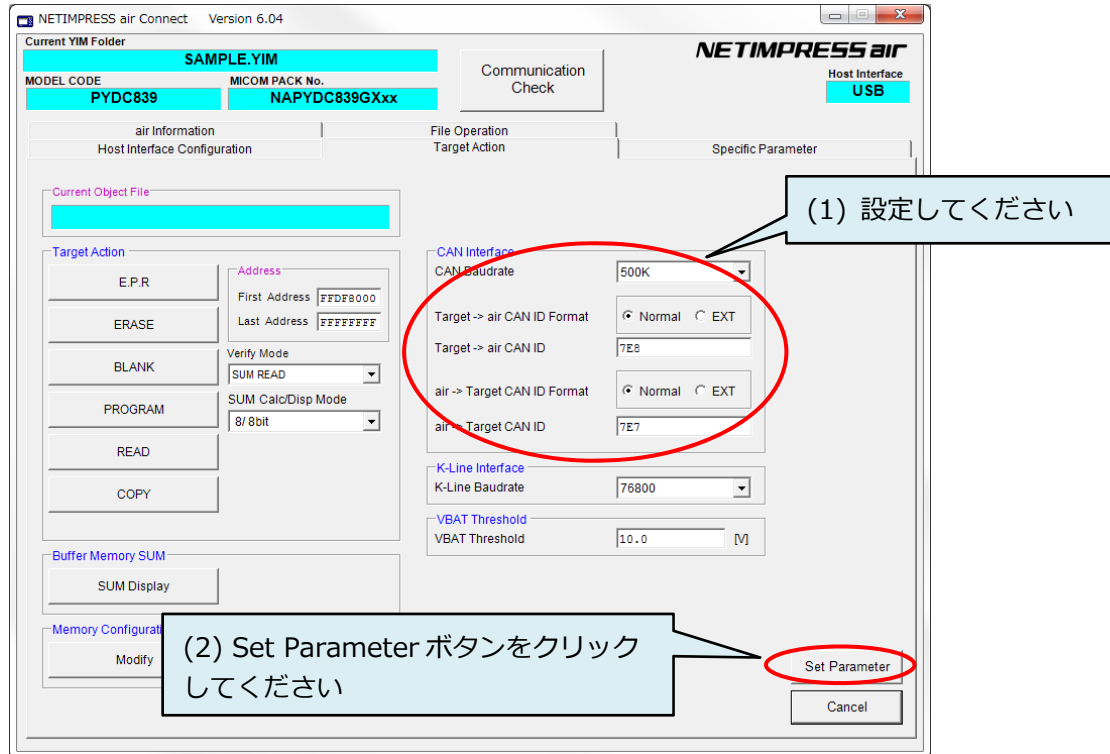
項目	意味
Target Action Area SUM	バッファメモリのうち、ターゲットアクション実行範囲 Sum 値計算結果を表示します。
Buffer Area SUM	バッファメモリ全体の Sum 値計算結果を表示します。

### 6.2.28. CAN 通信設定

ターゲットアクション時の CAN 通信設定を行います。

“Target Action”タブの“CAN Interface”グループにある項目を変更します。

各項目の設定を変更後、“Target Action”タブ右下の“Set Parameter”ボタンをクリックします。“Cancel”ボタンをクリックすると変更が取り消され、変更前の設定に戻ります。



各項目の意味は次のとおりです。

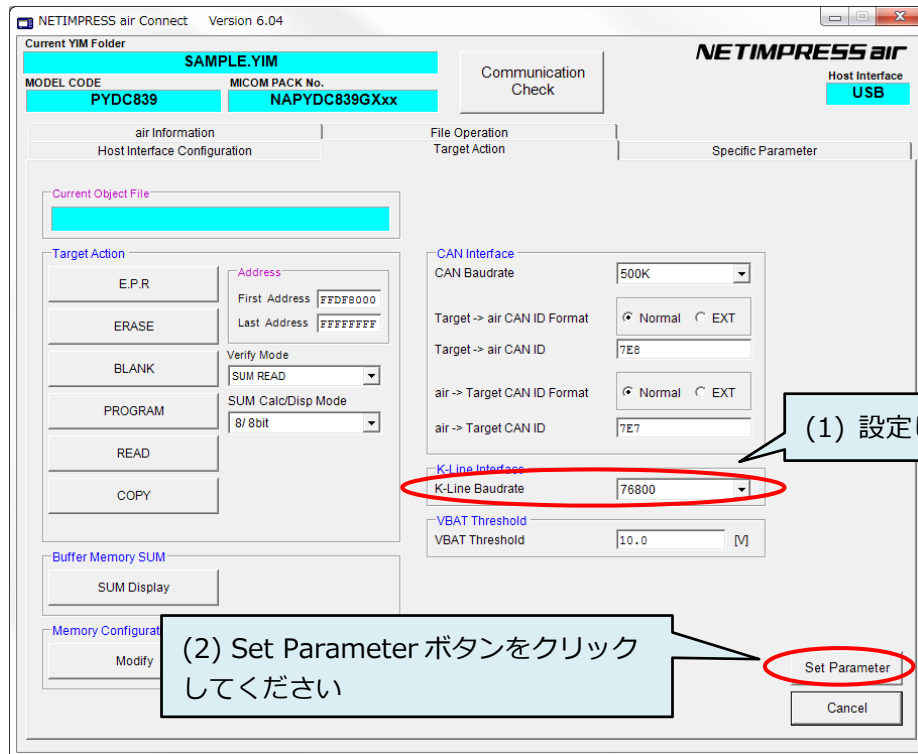
項目	意味	設定範囲
CAN Baudrate	ターゲットアクション実行時の CAN ボーレート	1M / 500K / 250K / 125K[bps]
Target -> air CAN ID Format	ターゲットアクション実行時のターゲットシステム CAN ID フォーマット	Normal(標準フォーマット) / EXT(拡張フォーマット)
Target -> air CAN ID	ターゲットアクション実行時のターゲットシステム CAN ID	CAN ID フォーマット設定に応じた CAN ID 範囲
air-> Target CAN ID Format	ターゲットアクション実行時のプログラマ CAN ID フォーマット	Normal(標準フォーマット) / EXT(拡張フォーマット)
air -> Target CAN ID	ターゲットアクション実行時のプログラマ CAN ID	CAN ID フォーマット設定に応じた CAN ID 範囲

## 6.2.29. K-Line 通信設定

ターゲットアクション時の K-Line 通信設定を行います。

“Target Action”タブの“K-Line Interface”グループにある項目を変更します。

項目の設定を変更後、“Target Action”タブ右下の“Set Parameter”ボタンをクリックします。“Cancel”ボタンをクリックすると変更が取り消され、変更前の設定に戻ります。



項目の意味は次のとおりです。

項目	意味	設定範囲
K-Line Baudrate	ターゲットアクション実行時の K-Line ボーレート	125000 / 76800 / 57600 / 38400 / 19200 / 10400 / 9600[bps]

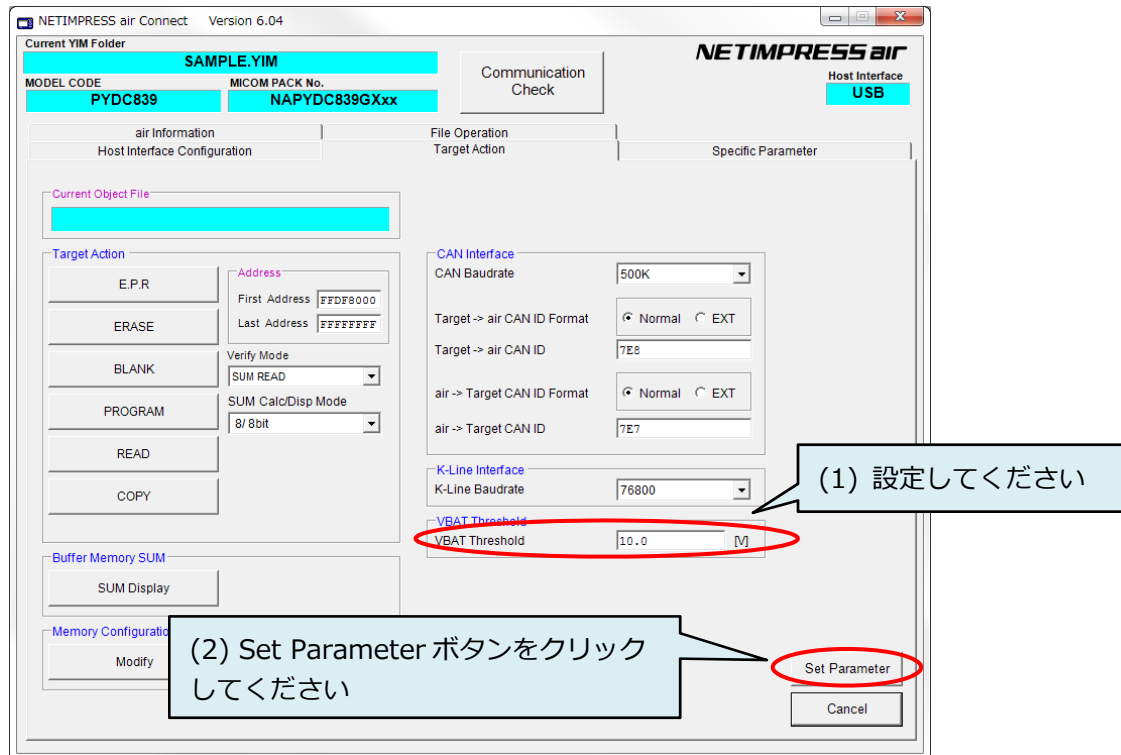


### 6.2.30. VBAT スレッシュホールド設定

ターゲットアクション時の VBAT スレッシュホールド設定を行います。

“Target Action”タブの“VBAT Threshold”グループにある項目を変更します。

項目の設定を変更後、“Target Action”タブ右下の“Set Parameter”ボタンをクリックします。“Cancel”ボタンをクリックすると変更が取り消され、変更前の設定に戻ります。



項目の意味は次のとおりです。

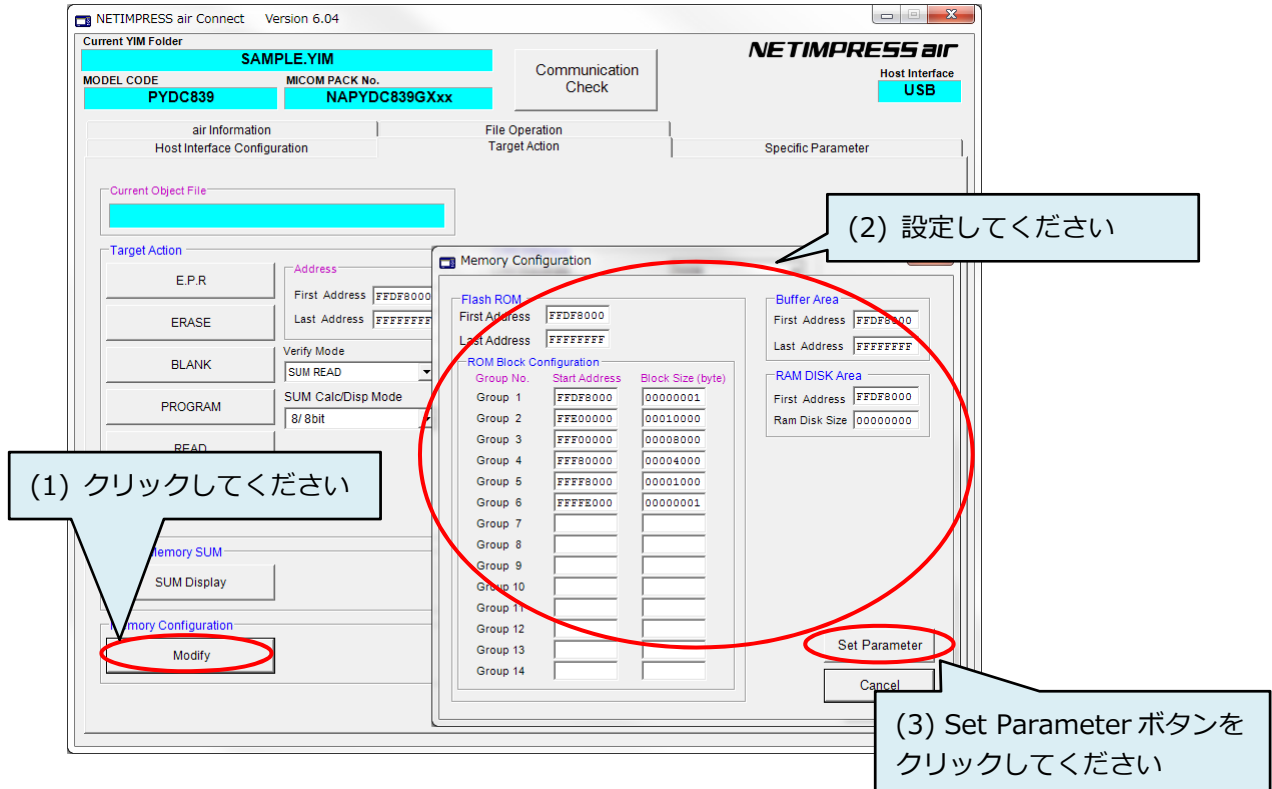
項目	意味	設定範囲
VBAT Threshold	ターゲットアクション実行時の VBAT スレッシュホールド電圧	8.0 ~ 20.0[V]

## 6.2.31. フラッシュメモリ・バッファメモリ設定

プログラミング対象デバイスのフラッシュメモリ設定や、バッファメモリのアドレス設定を行います。

“Target Action”タブの“Memory Configuration”グループにある、“Modify”ボタンをクリックします。

メモリ設定画面が表示されますので、各項目の設定値を入力後、メモリ設定画面上の“Set Parameter”ボタンをクリックします。“Cancel”ボタンをクリックすると変更が取り消され、変更前の設定に戻ります。



メモリ設定画面の項目と意味は次のとおりです。

グループ	項目	意味
Flash ROM	First Address	書き込みを行うフラッシュメモリの開始アドレスを設定します。
	Last Address	書き込みを行うフラッシュメモリの終了アドレスを設定します。
Buffer Area	First Address	バッファメモリの開始アドレスを設定します。
	Last Address	バッファメモリの終了アドレスを設定します。
ROM Block Configuration	Start Address	書き込みを行うフラッシュメモリのブロック開始アドレスを設定します。 Group 1 ~ Group 14 に順番に設定します。
	Block Size	書き込みを行うフラッシュメモリのブロックサイズを設定します。 Group 1 ~ Group 14 に順番に設定します。

RAM DISK Area	First Address	この項目は通常使用しません。 RAM ディスクの先頭アドレスを設定します。
	RAM Disk Size	この項目は通常使用しません。 RAM ディスクのサイズを設定します。



次のような設定を行おうとすると、エラーとなります。

- ・バッファメモリをフラッシュメモリ範囲外のアドレスに設定しようとした場合
- ・ブロックコンフィグレーションをフラッシュメモリ範囲外のアドレスに設定しようとした場合

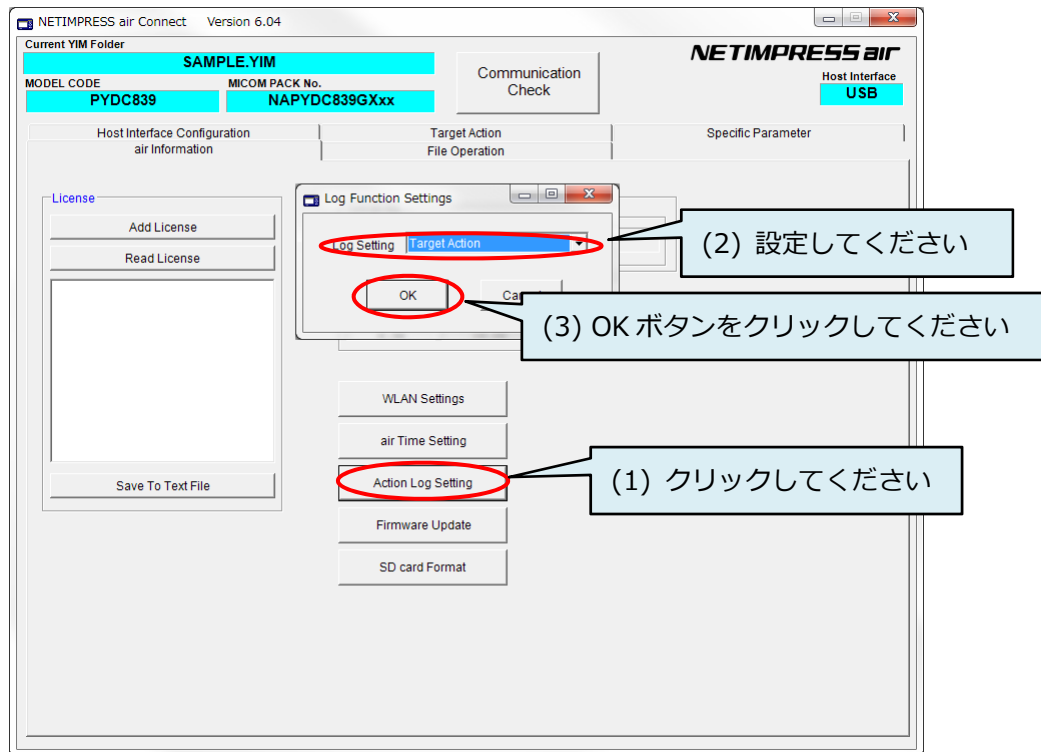
## 6.2.32. 実行ログの記録設定

本機には、ターゲットアクションやファンクションの実行をログファイルに記録する機能があります。

本機の実行ログ記録設定を行います。

“air Information”タブの“Action Log Setting”ボタンをクリックします。

実行ログ設定画面が表示されますので、実行ログ設定後、“OK”ボタンをクリックします。実行ログ設定を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



実行ログ設定画面の項目と意味は次のとおりです。

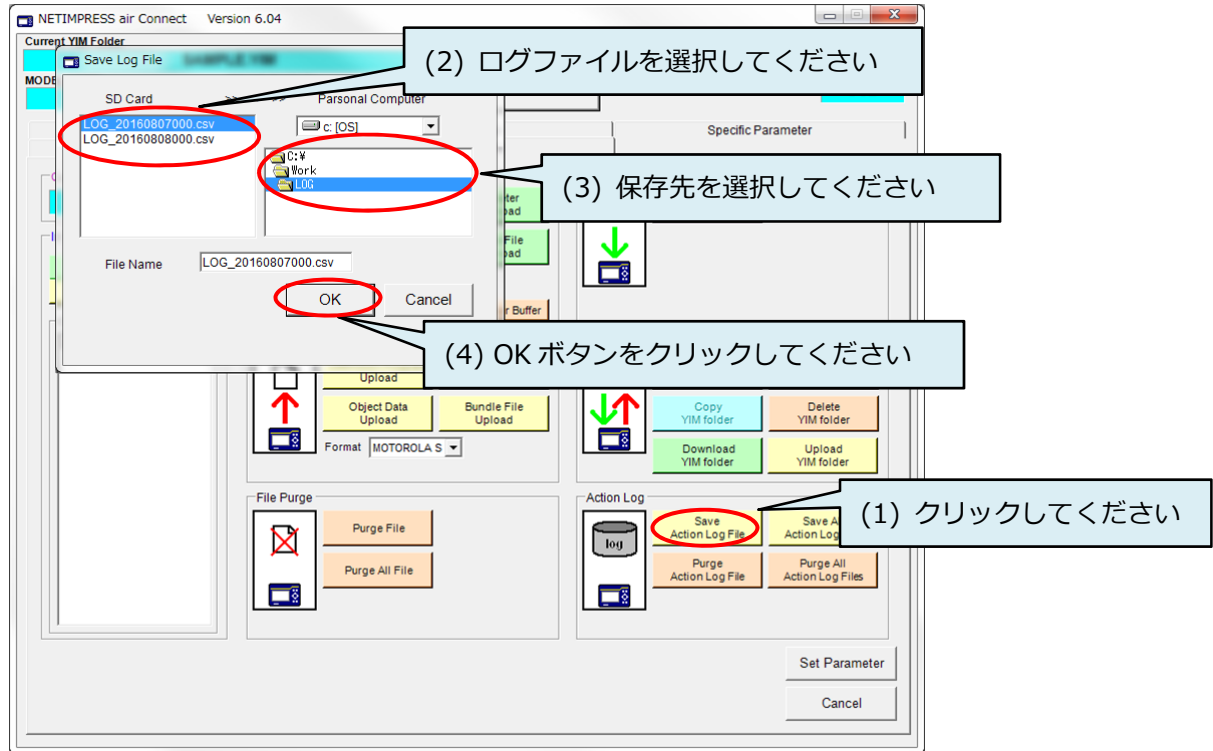
項目	意味	設定範囲
Log Setting	実行ログ記録設定	NONE(実行ログを記録しない) / Target Action(ターゲットアクション実行時にログを記録する) / Target Action & Function(ターゲットアクションもしくはファンクション実行時にログを記録する)

### 6.2.33. 実行ログの保存

専用 SD カード内の実行ログファイルをホスト PC に保存します。

“File Operation”タブの“Action Log”グループにある、“Save Action Log File”ボタンをクリックします。

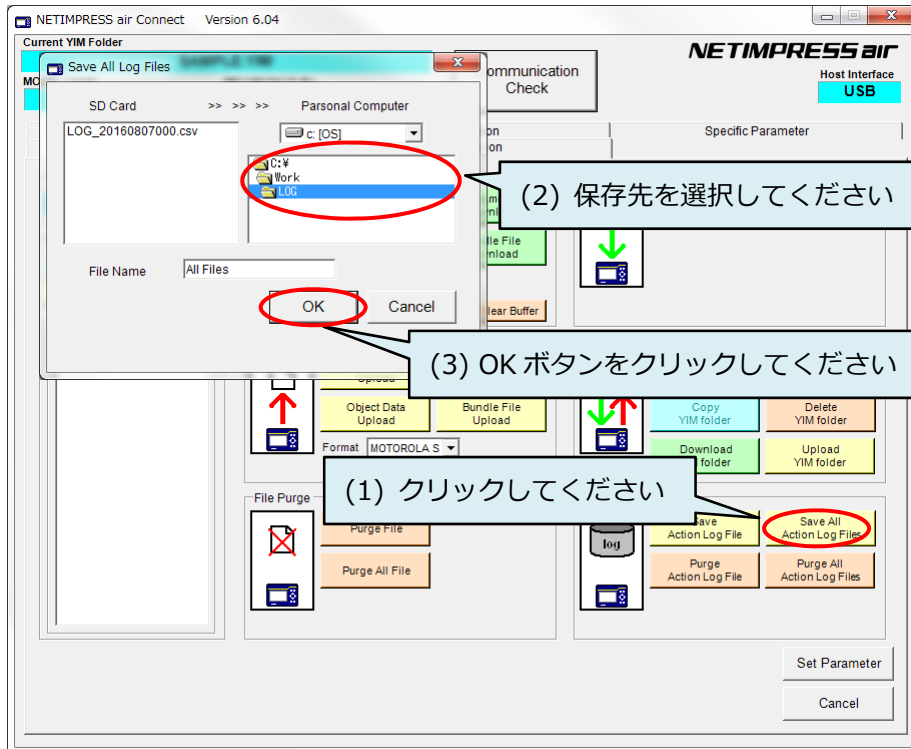
保存先設定画面が表示されますので、保存したいログファイルおよびログファイルの保存先を選択後、“OK”ボタンをクリックします。ログファイルの保存を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



### 6.2.34. 実行ログをすべて保存

専用 SD カード内の実行ログファイルをすべてホスト PC に保存します。

“File Operation”タブの“Action Log”グループにある、“Save All Action Log Files”ボタンをクリックします。保存先設定画面が表示されますので、ログファイルの保存先を選択後、“OK”ボタンをクリックします。ログファイルの保存を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

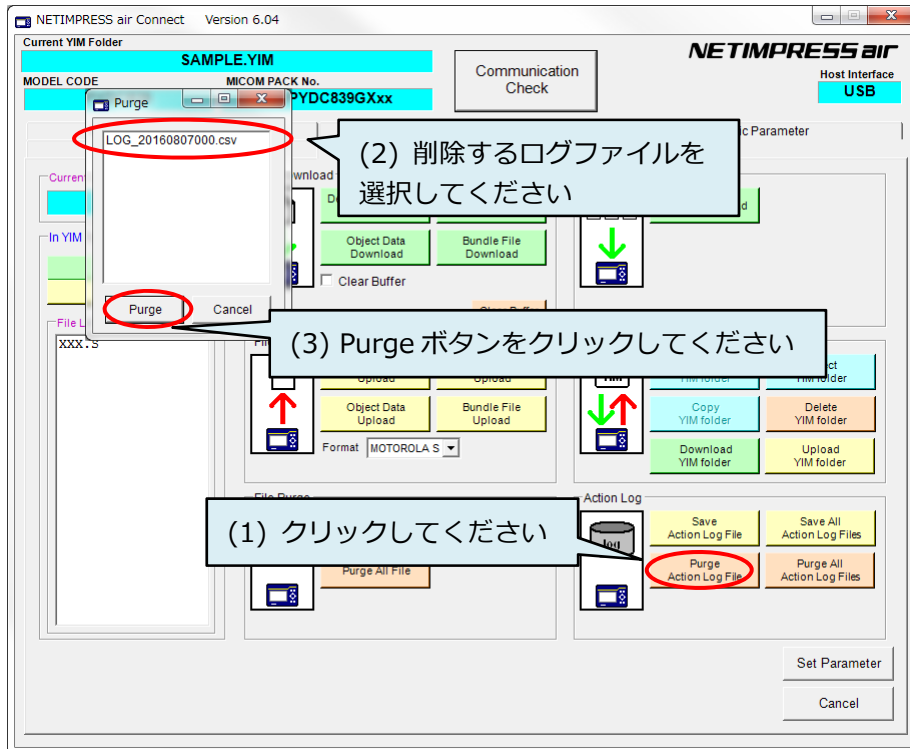


### 6.2.35. 実行ログの削除

専用 SD カード内の実行ログファイルを削除します。

“File Operation”タブの“Action Log”グループにある、“Purge Action Log File”ボタンをクリックします。

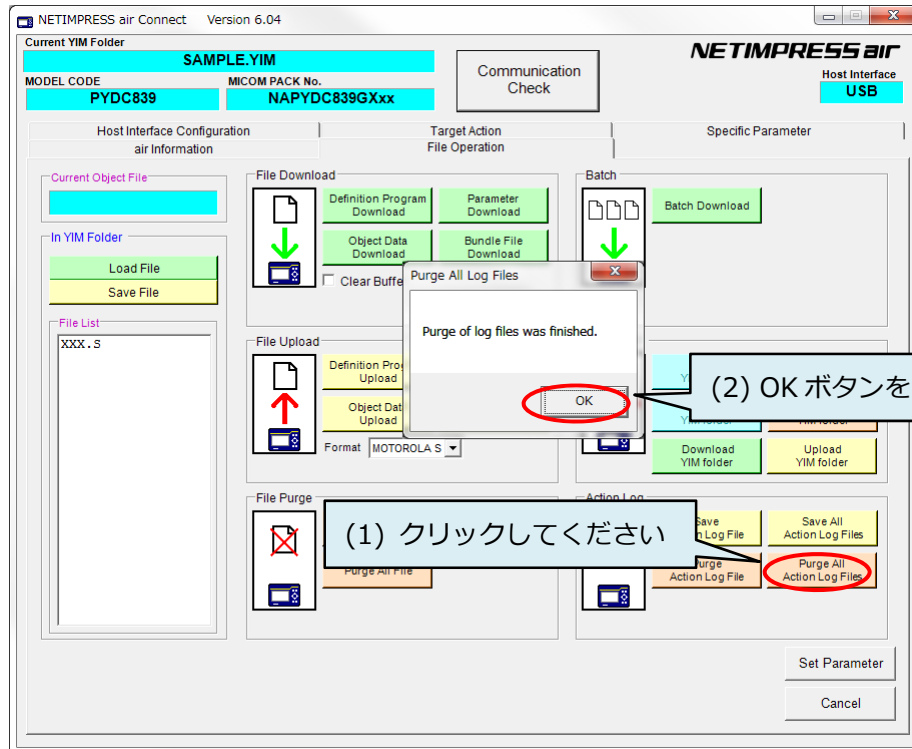
ログファイル削除画面が表示されますので、削除するログファイルを選択後、“Purge”ボタンをクリックします。ログファイルの削除を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



## 6.2.36. 実行ログをすべて削除

専用 SD カード内の実行ログファイルをすべて削除します。

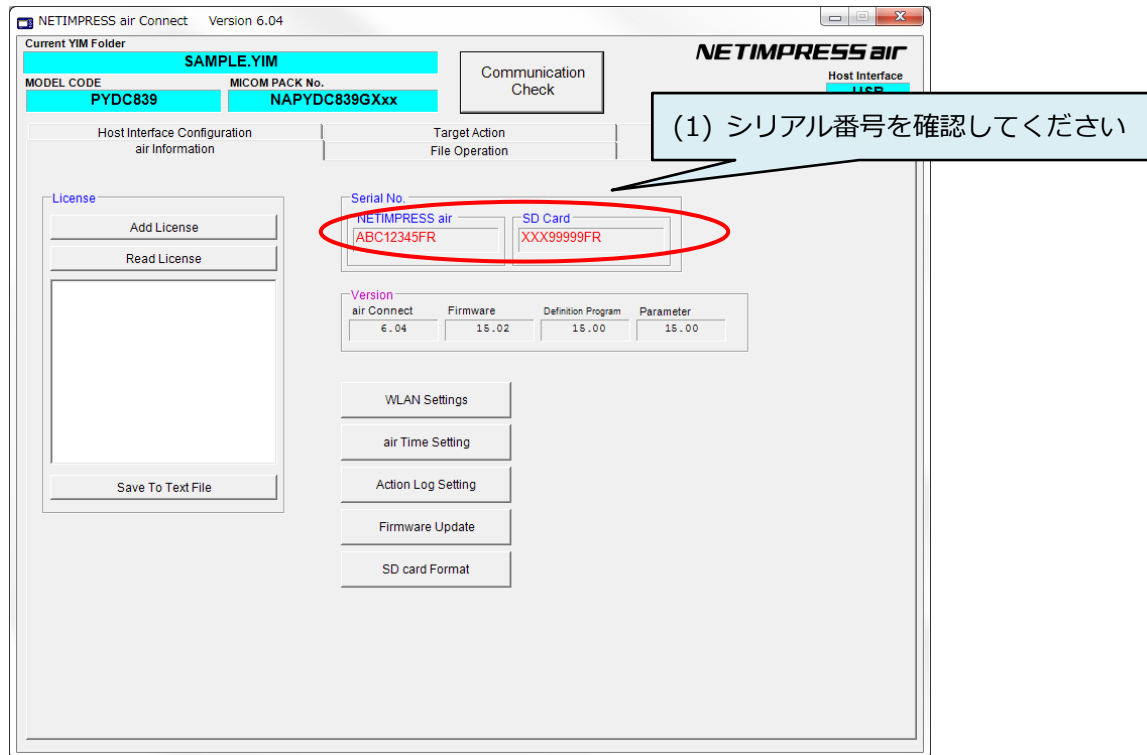
“File Operation”タブの“Action Log”グループにある、“Purge All Action Log Files”ボタンをクリックします。  
ログファイルの削除後、結果画面が表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。





## 6.2.37. シリアル番号表示

“air Information”タブの“Serial No.”グループ内の項目で、シリアル番号を確認します。

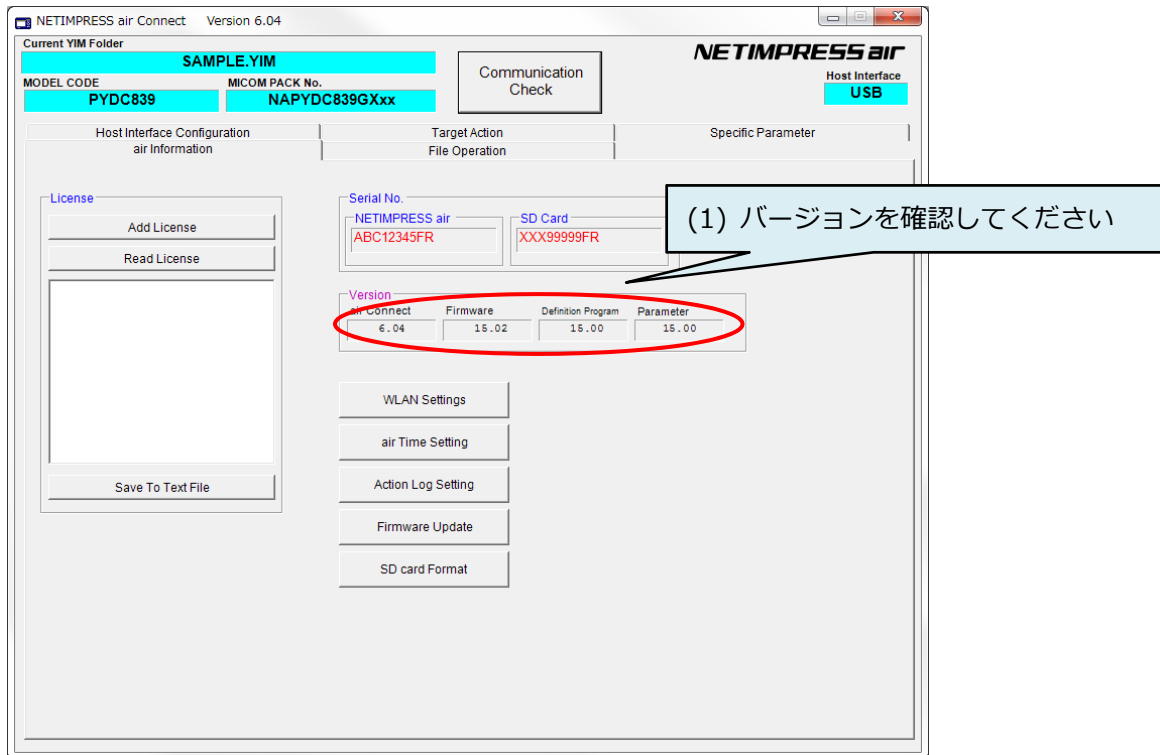


“Serial No.”グループ内の項目と意味は次のとおりです。

項目	意味
NETIMPRESS air	本機のシリアル番号を表示します。
SD Card	専用 SD カードのシリアル番号を表示します。

## 6.2.38. バージョン表示

“air Information”タブの“Version”グループ内の項目で、バージョン情報を確認します。



“Version”グループ内の項目と意味は次のとおりです。

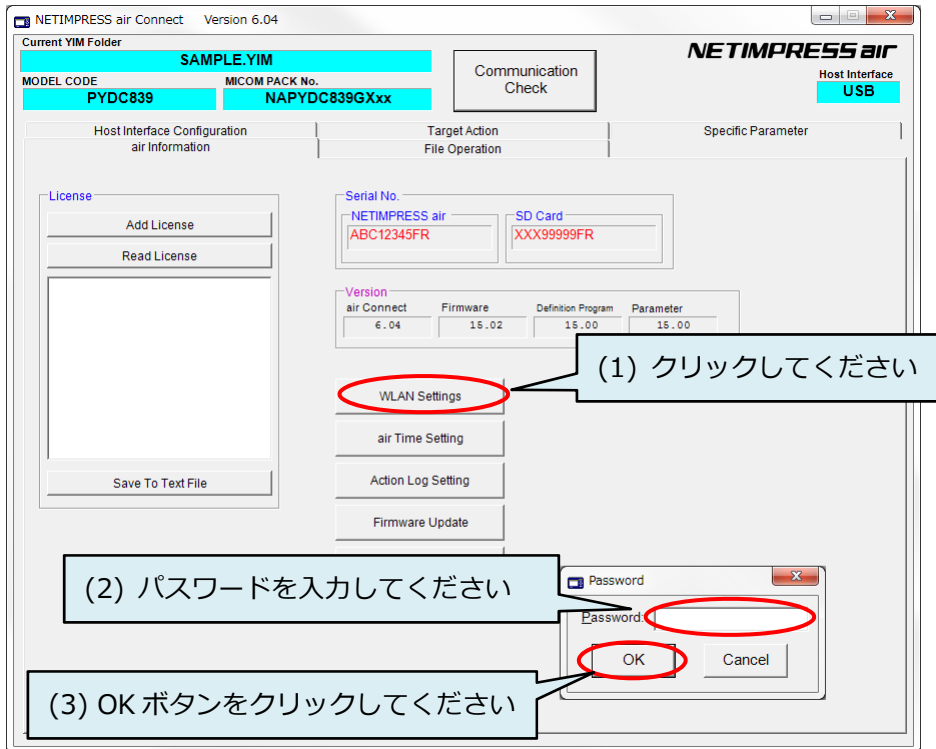
項目	意味
air Connect	AZ990(NETIMPRESS air Connect)のバージョンを表示します。
Firmware	本機の共通部ファームウェアバージョンを表示します。
Definition Program	カレントフォルダにロードされた定義体のバージョンを表示します。
Parameter	カレントフォルダにロードされたパラメータのバージョンを表示します。





## 6.2.39. Wireless LAN 設定

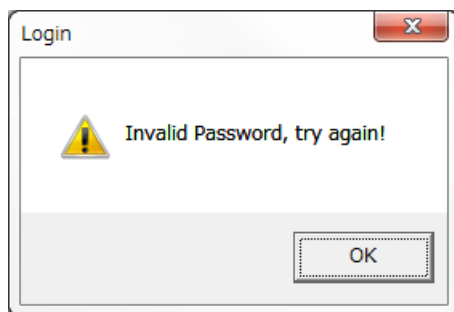
本機の Wireless LAN 設定を変更します。

“air Information”タブの“Action Log Setting”ボタンをクリックします。

パスワード入力画面が表示されますので、Wireless LAN 設定画面を開くためのパスワードを入力し、“OK”ボタンをクリックします。パスワード入力を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

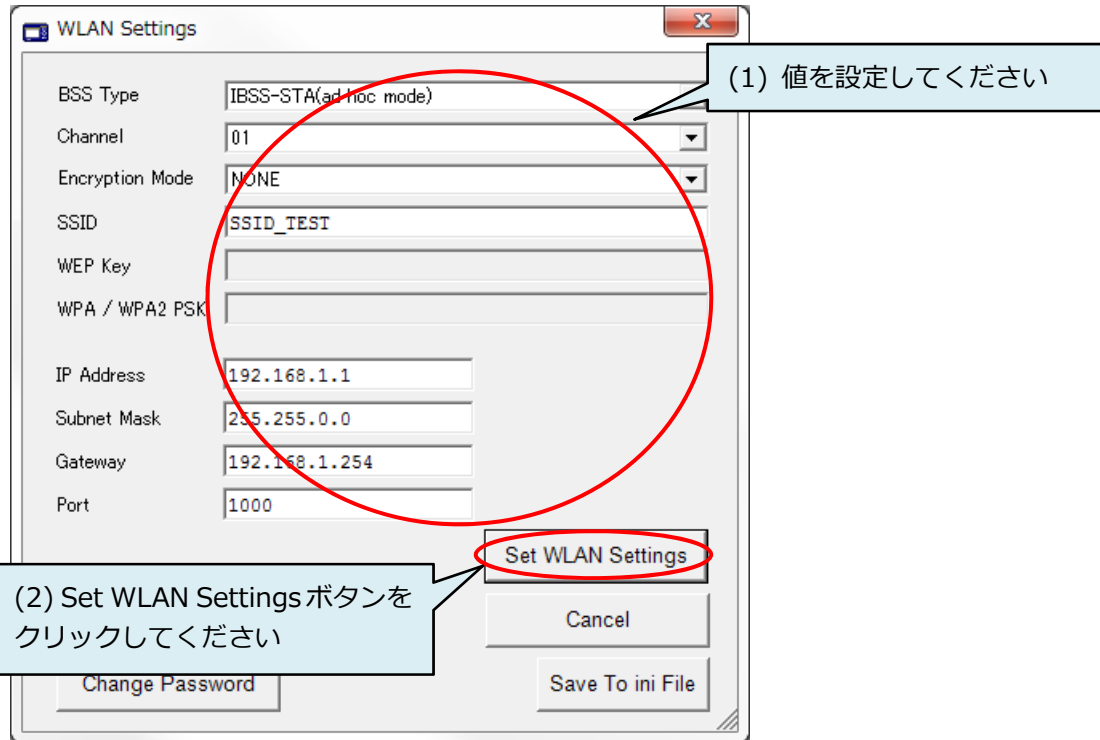


-  パスワードの初期値は“AF200”です。また、後述する方法でパスワードを変更することができます。
-  入力したパスワードは“\*”で表示されます。
-  Action Log Setting “ボタンは、本機と USB 接続時のみクリックすることが可能です。
-  入力したパスワードが正しくない場合、下記のダイアログウィンドウが表示されます。パスワードを確認し、正しいパスワードを入力してください。



正しいパスワードを入力すると、Wireless LAN 設定画面が表示されます。

各項目の設定値を入力後、Wireless LAN 設定画面上の“Set WLAN Settings”ボタンをクリックします。“Cancel”ボタンをクリックすると各項目の変更を取り消して画面が閉じます。



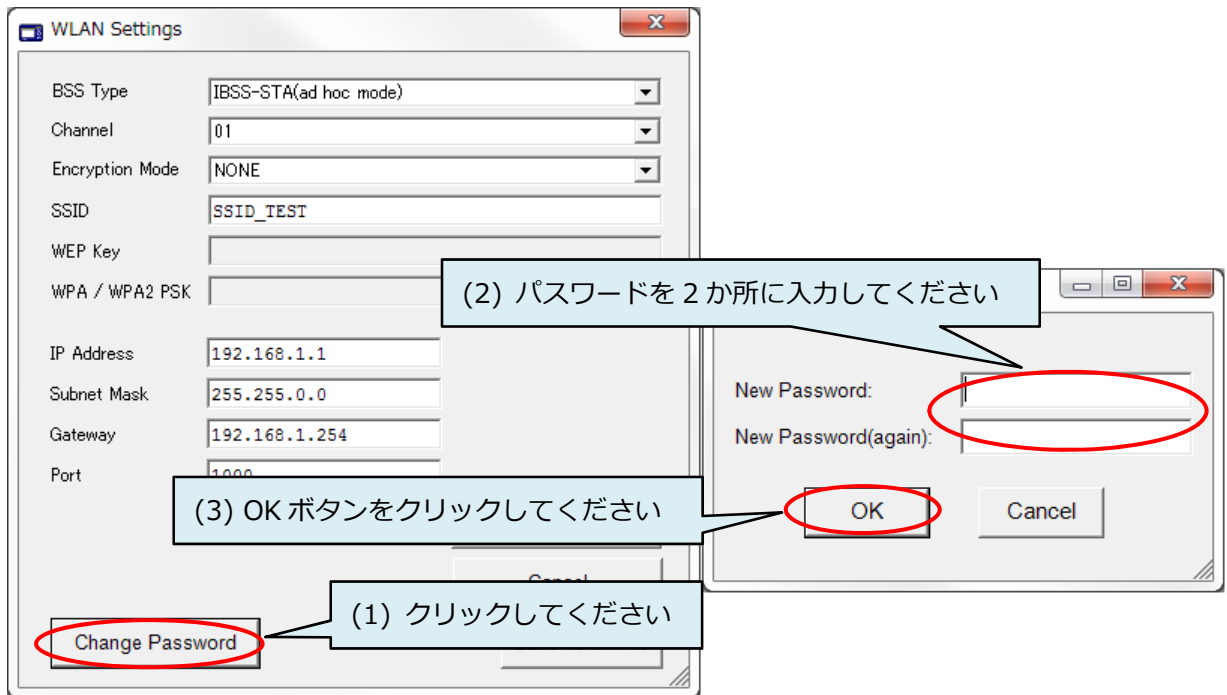
Wireless LAN 設定画面の項目と意味は次のとおりです。

項目	意味	設定範囲
BSS Type	本機の Wireless LAN 接続タイプを設定します。	BSS-STA(infrastructure mode): インフラストラクチャモードでホスト PC と Wireless LAN 接続します。 IBSS-STA(ad hoc mode): アドホックモードでホスト PC と Wireless LAN 接続します。
Channel	Wireless LAN 通信に使用するチャンネルを設定します。	Ch1~Ch13
Encryption Mode	通信の暗号化モードを設定します。	NONE: 暗号化を行いません。 WEP-64: WEP64 による暗号化を行います。 WEP-128: WEP128 による暗号化を行います。 WPA-TKIP:

		<p>WPA による暗号化を行います。</p> <p>WPA2-AES: WPA2 による暗号化を行います。</p>
SSID	SSID を設定します。	<p>BSS Type に BSS-STA(infrastructure mode)を設定している場合、接続するアクセスポイントの SSID を設定します。</p> <p>BSS Type に IBSS-STA(ad hoc mode)を設定している場合、本機の SSID を設定します。</p>
WEP Key	<p>WEP キーを設定します。</p> <p>Encryption Mode に WEP-64 もしくは WEP-128 を設定している場合のみ入力可能です。</p>	<p>Encryption Mode に WEP-64 を設定している場合、5 文字の英数字を入力します。</p> <p>Encryption Mode に WEP-128 を設定している場合、13 文字の英数字を入力します。</p>
WPA / WPA2 PSK	<p>WPA/WPA2 使用時のキーを設定します。</p> <p>Encryption Mode に WPA-TKIP もしくは WPA2-AES を設定している場合のみ入力可能です。</p>	8 ~ 63 文字の英数字を入力します。
IP Address	本機の IP アドレスを設定します。	xxx.xxx.xxx.xxx の形式で IP アドレスを入力します。
Subnet Mask	本機のサブネットマスクを設定します。	xxx.xxx.xxx.xxx の形式でサブネットマスクを入力します。
Gateway	本機のデフォルトゲートウェイを設定します。	xxx.xxx.xxx.xxx の形式でデフォルトゲートウェイを入力します。
Port	本機のポート番号を設定します。	0000~FFFF の 16 進数を入力します。

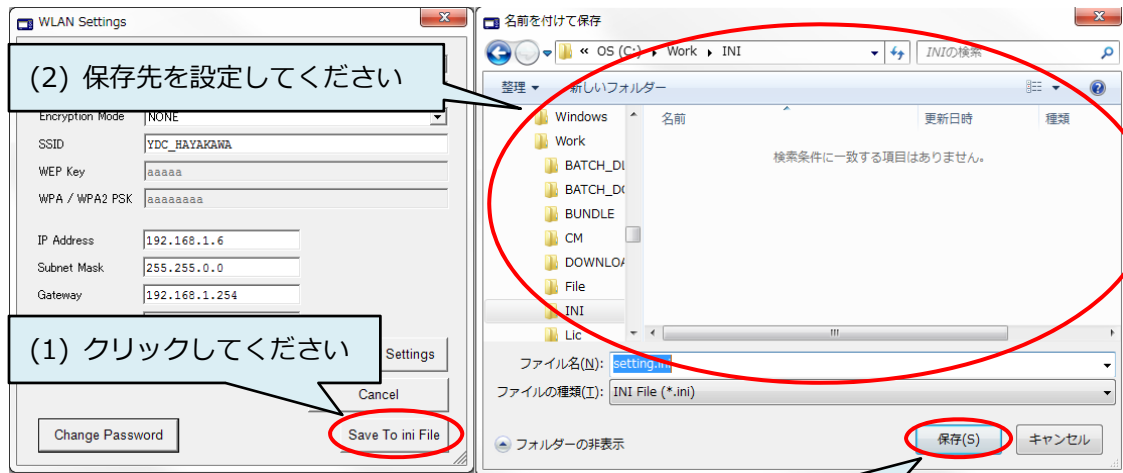
Wireless LAN 設定画面を開くためのパスワードを変更する場合、Wireless LAN 設定画面上の“Change Password”ボタンをクリックします。

新しいパスワードを 2 か所に入力後、“OK”ボタンをクリックします。パスワードの変更を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



Wireless LAN 設定を設定ファイルとしてホスト PC 上に保存する場合、Wireless LAN 設定画面上の“Save To ini File”ボタンをクリックします。

ファイルセーブダイアログが表示されますので、保存先を設定後、“保存”ボタンをクリックします。保存を中止したい場合は“キャンセル”ボタンをクリックします。



(2) 保存先を設定してください

(1) クリックしてください

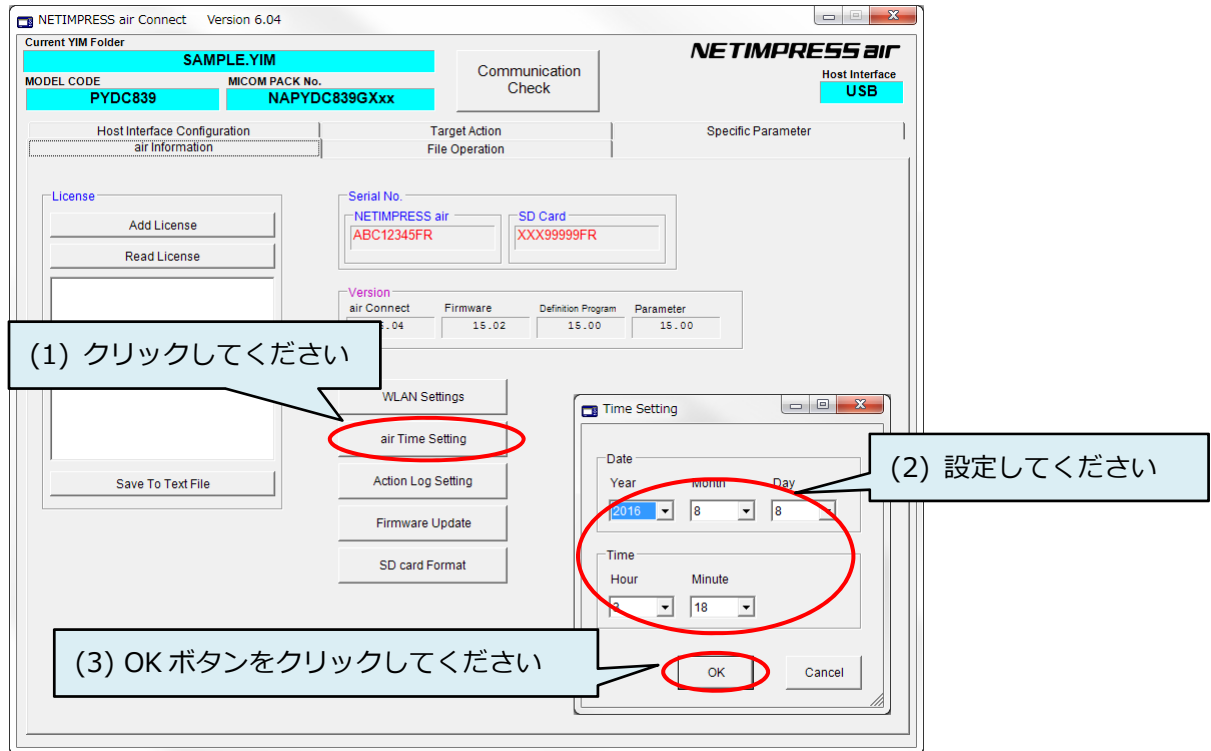
(3) 保存ボタンをクリックしてください

## 6.2.40. 時刻の設定

本機に内蔵した時計の時刻を設定します。

“air Information”タブの“air Time Setting”ボタンをクリックします。

時刻設定画面が表示されますので、設定後、“OK”ボタンをクリックします。時刻設定を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



時刻設定画面上の項目の意味は次のとおりです。

項目	意味	設定範囲
Year	年を設定します。	2000～2099[年]
Month	月を設定します。	1～12[月]
Day	日を設定します。	1～31[日]
Hour	時を設定します。	0～23[時]
Minute	分を設定します。	0～59[分]



現在の日時とかけ離れた設定をしようとした場合、エラーとなりますのでご注意ください。

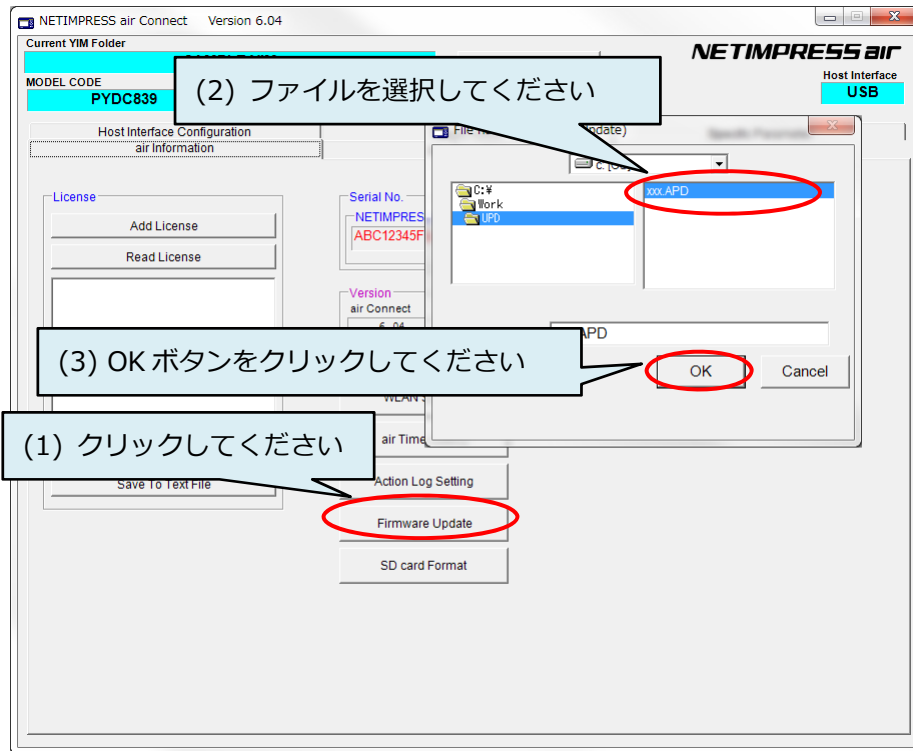


## 6.2.41. ファームアップデート

本機のファームウェアをアップデートします。

“air Information”タブの“Firmware Update”ボタンをクリックします。

ファイル選択画面が表示されますので、ファームアップデートファイルを選択後、“OK”ボタンをクリックします。ファームアップデートを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



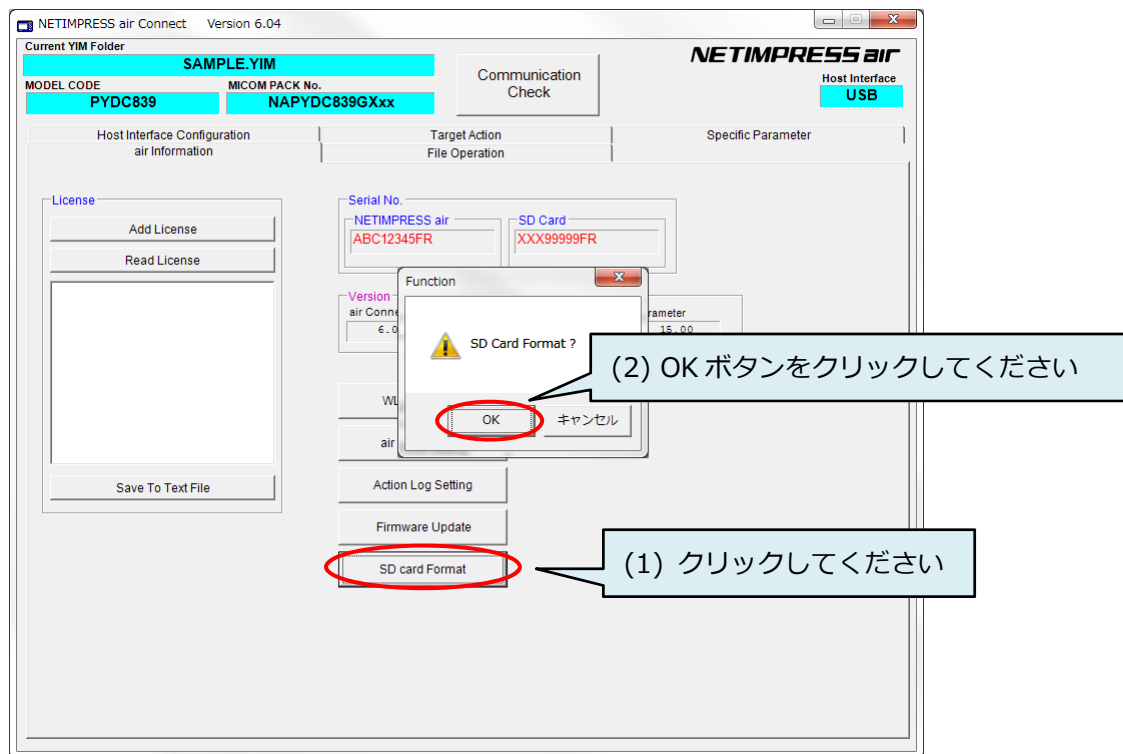
- ✓ ファームアップデートファイルは拡張子が\*.APD もしくは\*.LGF のファイルです。
- ✓ ファームウェアのアップデートには 20 秒～30 秒程度時間がかかります。  
アップデート中は本機や AZ990 を操作することはできません。
- ! ファームウェアのアップデート中に本機の電源を切らないでください。  
本機が故障する可能性があります。

## 6.2.42. 専用 SD カードのフォーマット

専用 SD カードを FAT32 形式でフォーマットします。

“air Information”タブの“SD Card Format”ボタンをクリックします。

確認画面が表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。専用 SD カードのフォーマットを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



フォーマットを実行すると、専用 SD カード内のファイル・フォルダはすべて削除されます。

ただし、登録済みの定義体ライセンスは削除されませんので、定義体ライセンスの追加をやり直す必要はありません。

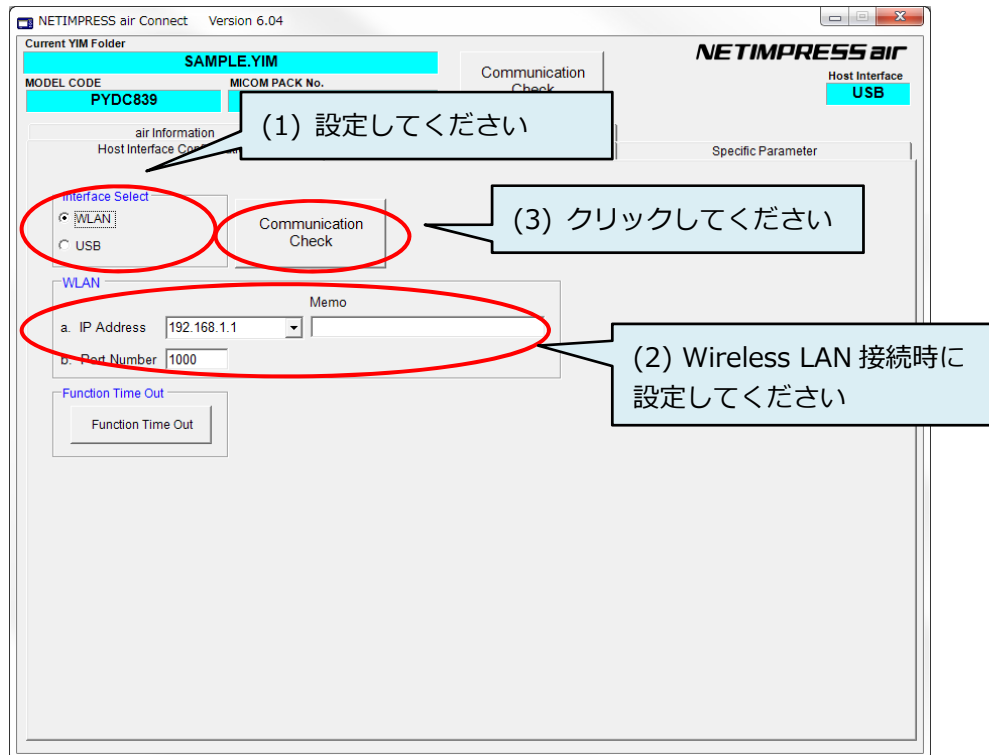
### 6.2.43. 接続方式選択

本機とホスト PC の接続を選択します。

“Host Interface Configuration”タブの“Interface Select”グループの項目を設定します。

また、本機と Wireless LAN 接続する場合は、“WLAN”グループの設定も変更します。

設定変更後、“Communication Check”ボタンをクリックし、本機と接続します。



“Interface Select”グループ内の項目の意味は次のとおりです。

項目	意味	設定範囲
Interface Select	本機との接続経路設定	WLAN(本機と Wireless LAN で接続) / USB(本機と USB で接続)

“WLAN”グループ内の項目の意味は次のとおりです。

項目	意味	設定範囲
a. IP Address	本機の IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx の形式
b. Port Number	本機のポート番号	0000~FFFF
Memo	IP アドレスに紐付いたメモ	任意の英数字文字列



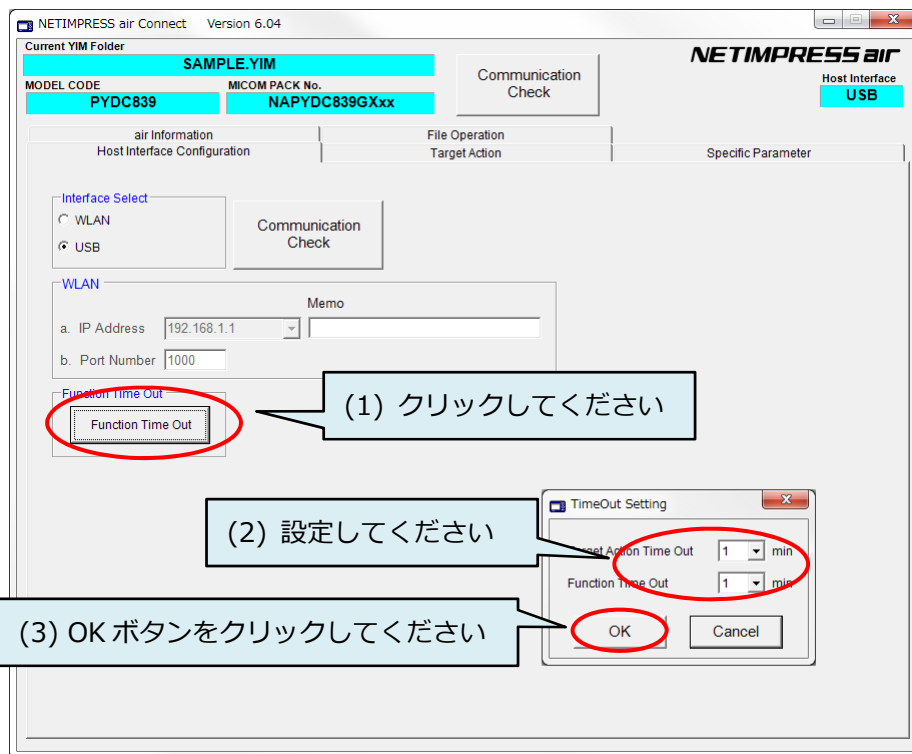
IP アドレスは最大 8 件まで履歴が残ります。その中から IP アドレスを選択することも可能です。

## 6.2.44. タイムアウト時間の設定

AZ990(NETIMPRESS air Connect)からターゲットアクションやファンクションを実行した際の、AZ990側のタイムアウト時間を設定します。

“Host Interface Configuration”タブの“Function Time Out”グループにある、“Function Time Out”ボタンをクリックします。

タイムアウト設定画面が表示されますので、タイムアウト設定後、“OK”ボタンをクリックします。タイムアウト設定を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



タイムアウト設定画面上の項目の意味は次のとおりです。

項目	意味	設定範囲
Target Action Time Out	ターゲットアクション実行時のタイムアウト時間を設定します。	1~180[分]
Function Time Out	ファンクション実行時のタイムアウト時間を設定します。	1~30[分]



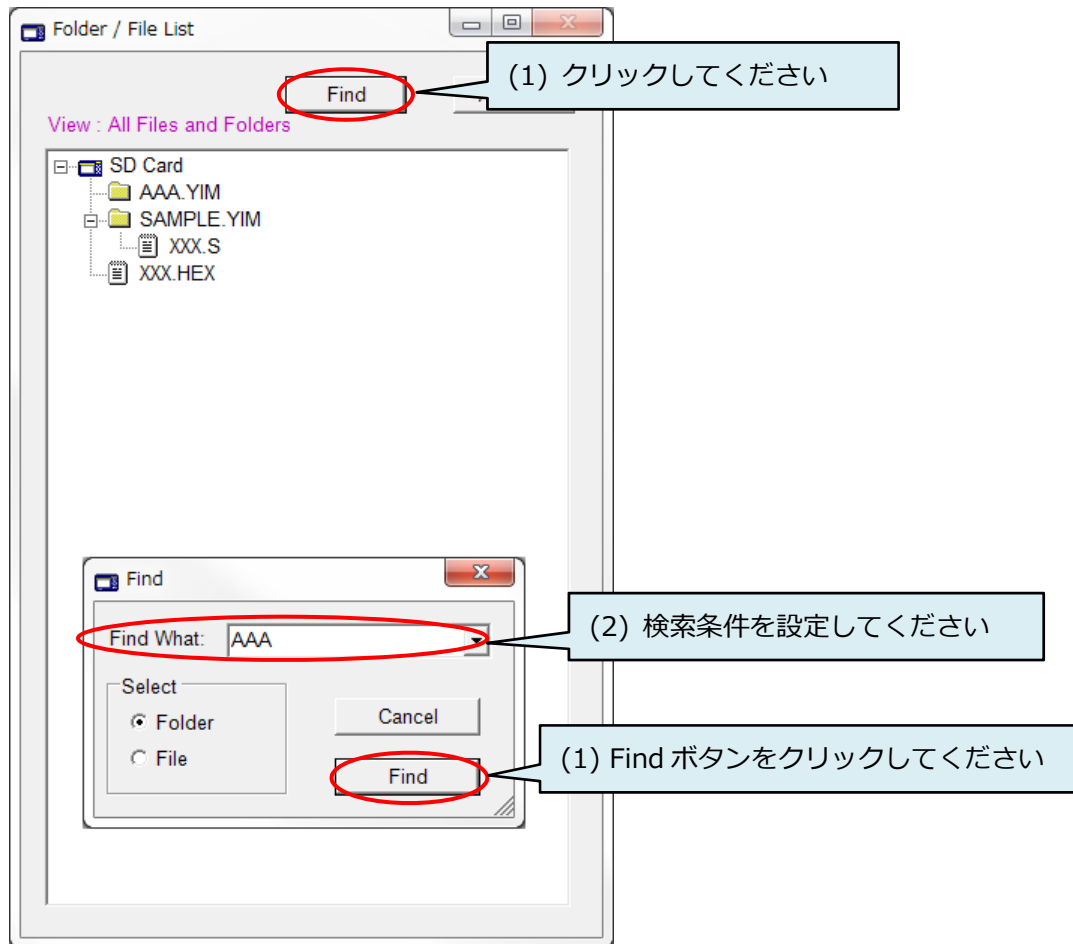
タイムアウトが発生すると「111:AF930 Time Out 01」というエラーメッセージが表示されます。

## 6.2.45. フォルダ・ファイルリストの検索

フォルダ・ファイルリスト内を検索し、結果を表示します。

フォルダ・ファイルリスト画面の“Find”ボタンをクリックします。

検索画面が表示されますので、検索条件を設定後、“Find”ボタンで検索を開始します。



検索画面上の項目の意味は次のとおりです。

項目	意味	設定範囲
Find What	フォルダ・ファイル名	検索するフォルダ・ファイル名 なお、下記ワイルドカードを入力することも可能です。 “?” 任意の1文字 “*” 任意の文字列 [charlist] charlist に指定した中の任意の1文字 [!charlist] charlist に指定した以外の任意の1文字
Select	検索対象	Folder(YIM フォルダを検索) / File(ファイルを検索)



検索条件は最大 10 件まで履歴が残りますので、その中から検索条件を選択することも可能です。

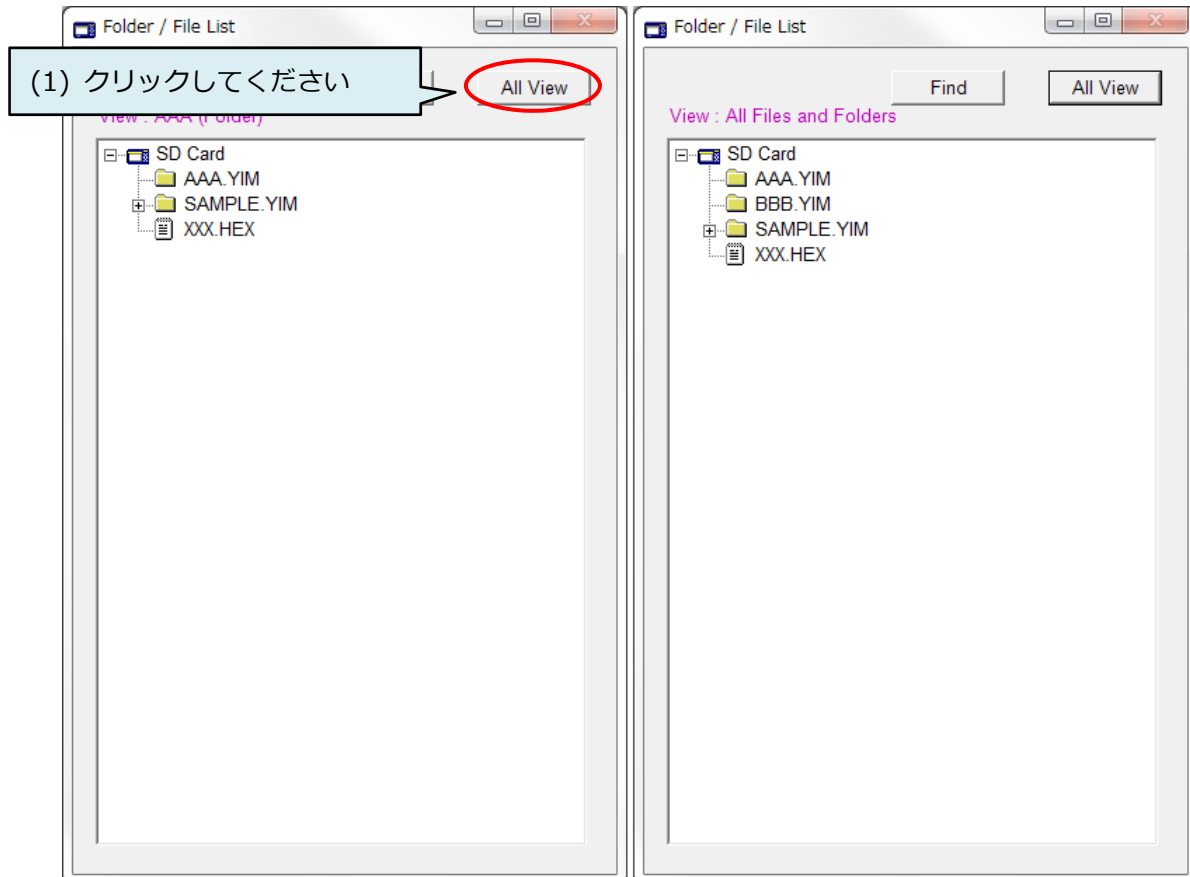
## 6.2.46. フォルダ・ファイルリストの全表示

検索結果表示を解除し、フォルダ・ファイルリストにすべてのフォルダ・ファイルを表示します。

フォルダ・ファイルリスト画面の“All View”ボタンをクリックします。

検索結果表示が解除され、フォルダ・ファイルリスト画面に専用 SD カード内のすべてのフォルダ・ファイルが表示されます。

(ただし、カレントフォルダ以外の YIM フォルダ内にあるファイルは表示されません。)



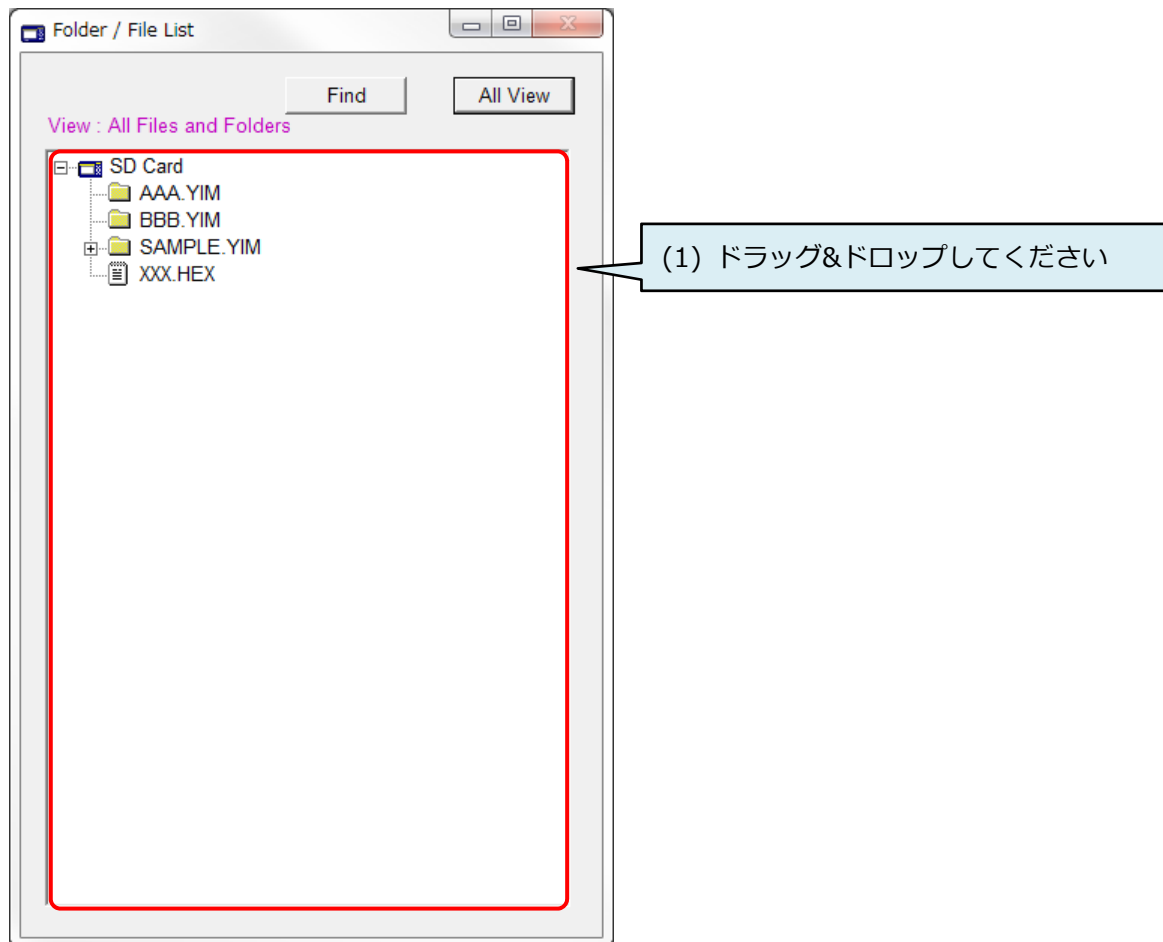
## 6.2.47. ドラッグ&ドロップによる YIM フォルダダウンロード

ホスト PC 上の YIM フォルダを、ドラッグ&ドロップ操作で専用 SD カードにダウンロードします。

フォルダ・ファイルリスト画面に YIM フォルダをドラッグ&ドロップすることで、ホスト PC 上の YIM フォルダを専用 SD カードにダウンロードできます。

ファイルや、YIM フォルダ以外のフォルダをドラッグ&ドロップしても、専用 SD カードにダウンロードすることはできません。

YIM フォルダをドラッグ&ドロップ可能な範囲は、以下の赤枠で囲った範囲内です。



## 7. スタンドアロンで使用する

この章では、スタンドアロン（PCレス）での本機の操作について説明します。



スタンドアロンで使用する場合、本機に専用 SD カードが挿入されている必要があります。

スタンドアロンで本機の操作は、「ターゲットアクション実行操作」、「MENU 項目実行操作」の 2 通りの操作を行うことができます。

ターゲットアクションの実行操作を行う場合は、あらかじめプログラミング環境のセットアップを完了しておく必要があります。



プログラミング環境のセットアップには、AZ990(NETIMPRESS air connect)を使用して YIM フォルダの作成が必要になります。



プログラミング環境のセットアップは、「エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。」、「エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。」をご確認ください。

ターゲットアクションのスタンドアロンでの操作方法は、「7.1.1 ターゲットアクション実行操作」をご確認ください。

MENU 操作では、スタンドアロン専用の項目を実行して本機の設定変更ができます。

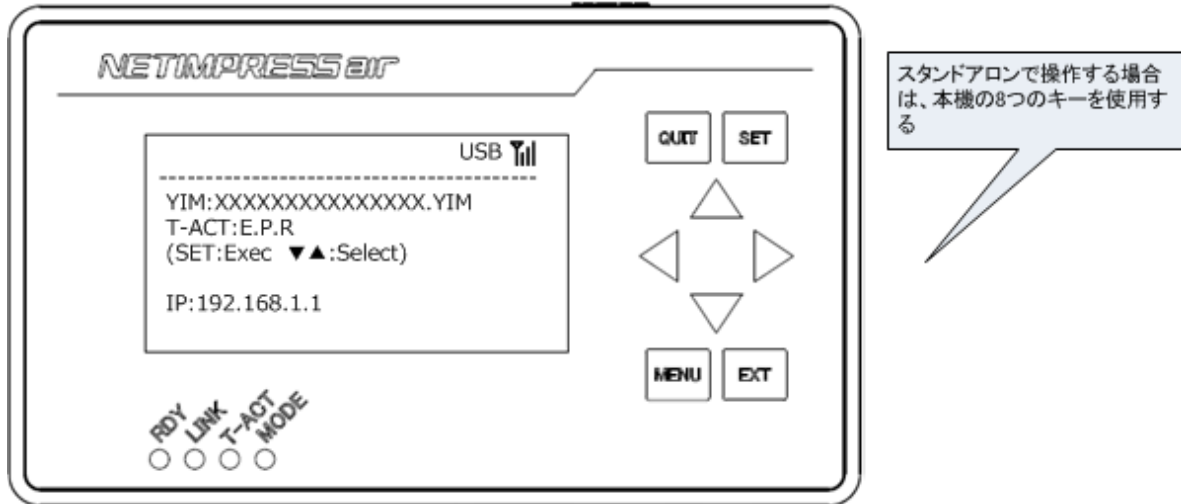


## 7.1. 操作

本機の操作について説明します。

スタンダアロンで操作する場合、本機の 8 つのキーを使用します。

各キーの役割と、主な動作については以下の通りとなります。



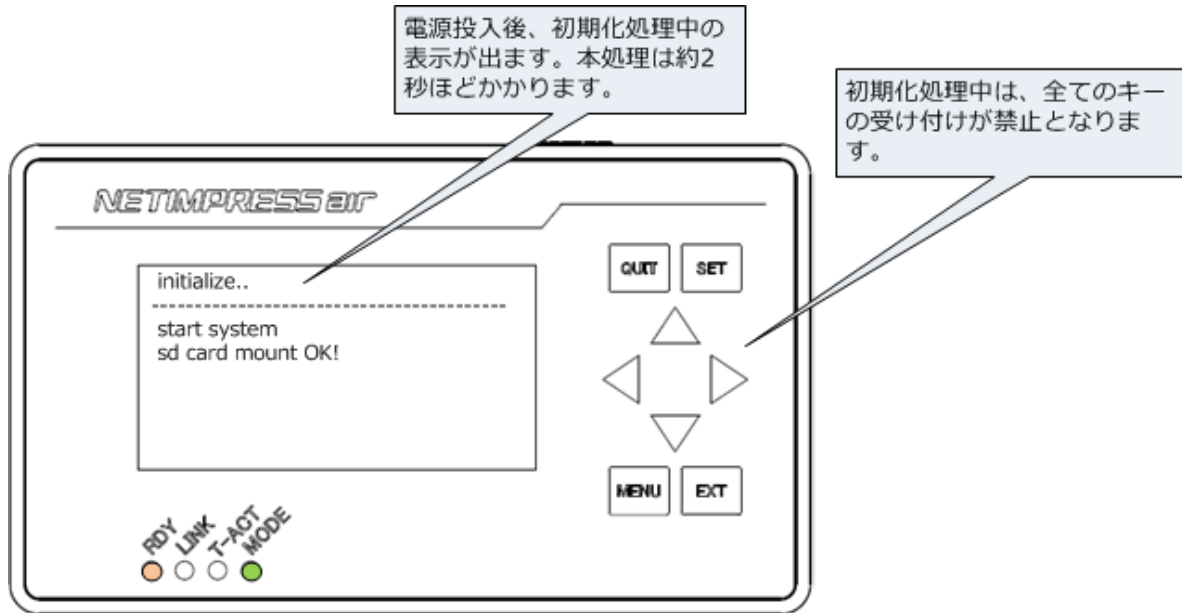
### ● スタンダアロンでの各キーの動きについて

QUIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各操作及び実行状態のからのキャンセル操作に使用します。</li> <li>● キャンセル後はメイン画面に戻ります。</li> </ul>
SET	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 項目選択の決定操作に使用します。</li> </ul>
MENU	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メイン画面から本体設定画面(MENU 項目 TOP 画面)に遷移するのに使用します。</li> </ul>
EXT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プログラミング機能では使用しません。</li> </ul>
▲ (上キー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メイン画面で、プログラミングの実行項目を選択するのに使用します。</li> <li>● MENU 項目等の選択時に使用します。</li> </ul>
▼ (下キー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メイン画面で、プログラミングの実行項目を選択するのに使用します。</li> <li>● MENU 項目等の選択時に使用します。</li> </ul>
◀ (左キー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MENU 項目等の選択時に使用します。</li> </ul>
▶ (右キー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MENU 項目等の選択時に使用します。</li> </ul>

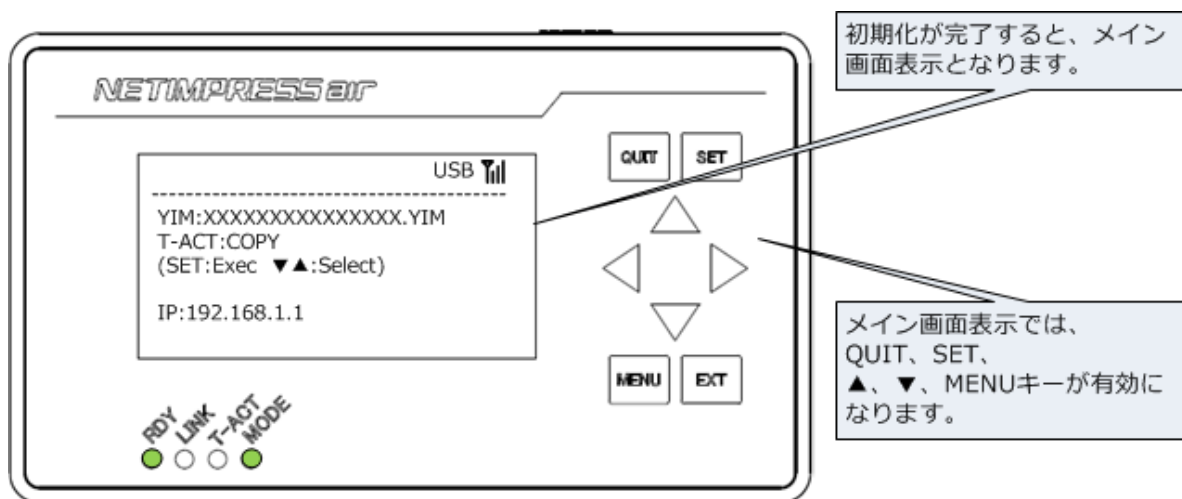
## 7.1.1. ターゲットアクション実行操作

本機でのターゲットアクション実行の操作方法について説明します。

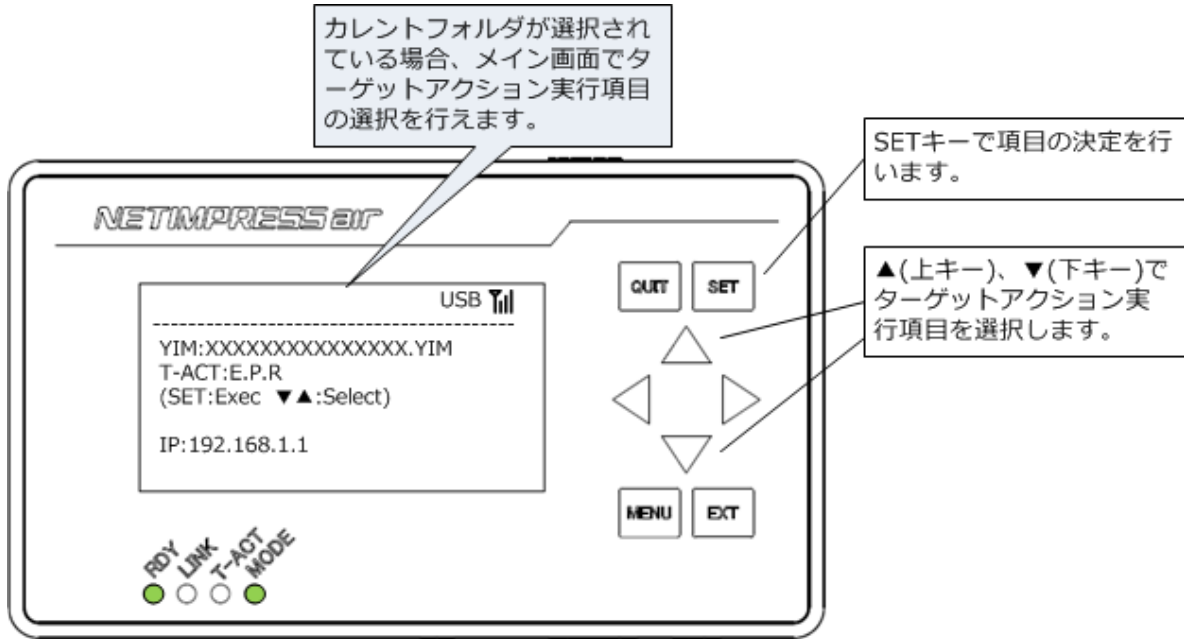
- ① 本機に電源を投入し、メイン画面を表示します。



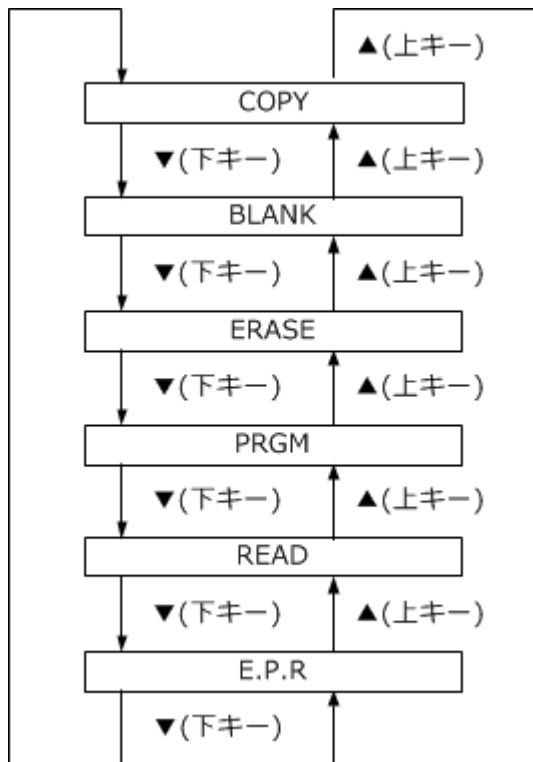
**!** Initialize..表示中は全てのキー入力を受付不可としています。(入力しても無効となります)



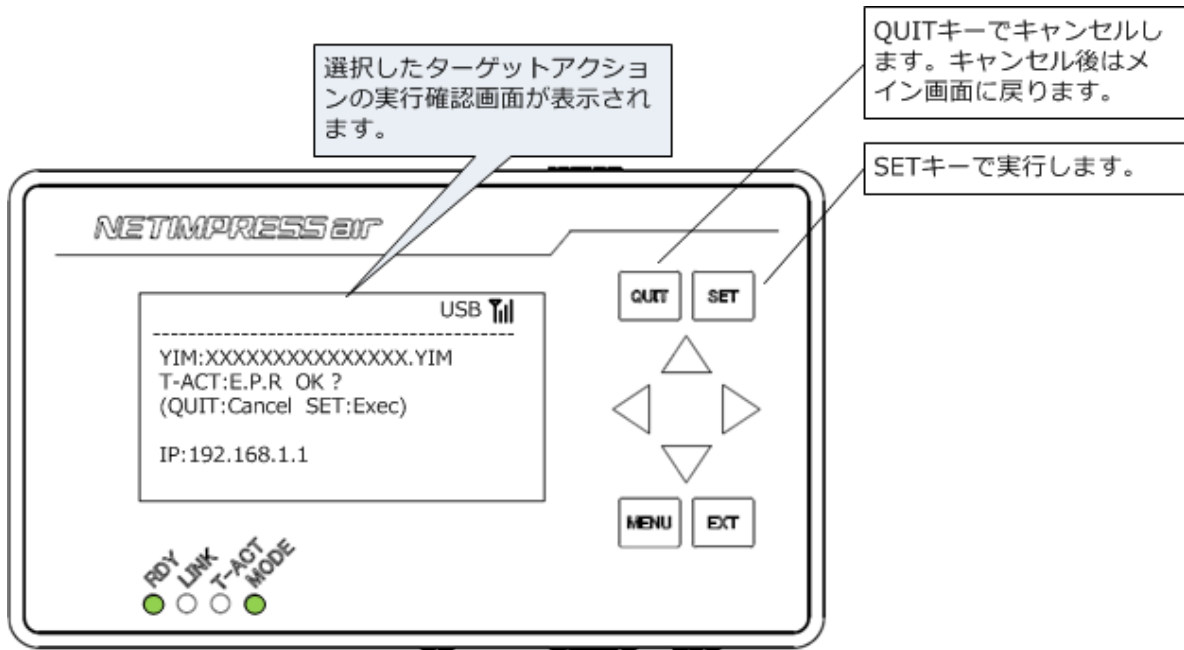
- ② ▲(上キー)、▼(下キー)でターゲットアクション実行項目を選択し、SET キーで決定します。



ターゲットアクション選択項目は、以下のようにループ表示を行います。

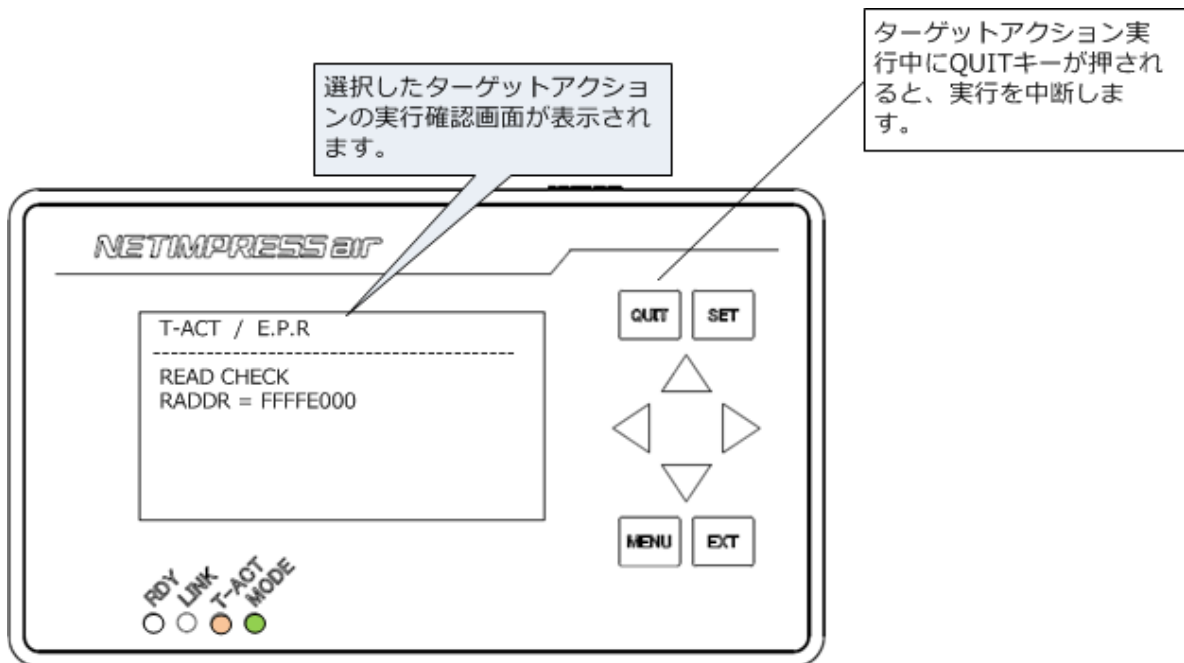


- ③ 確認画面が表示されたら、SET キーでターゲットアクションを実行します。



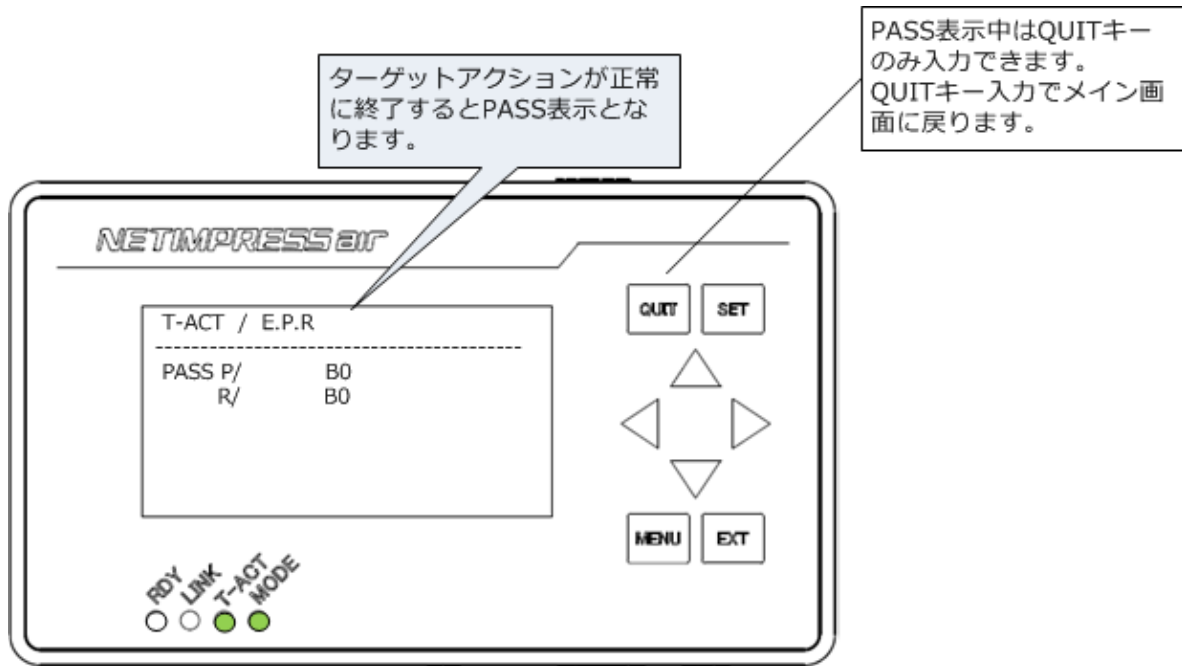
- !** ターゲットアクション実行確認画面の表示中は、QUIT キー、SET キーのみ入力可能です。それ以外のキーについては、無効になります。

- ④ ターゲットアクション実行中は、以下の表示になります。



- !** ターゲットアクション実行中は、QUIT キーのみ入力可能です。それ以外のキーについては、無効になります。

- ⑤ ターゲットアクションの実行が完了すると、PASSが表示されます。



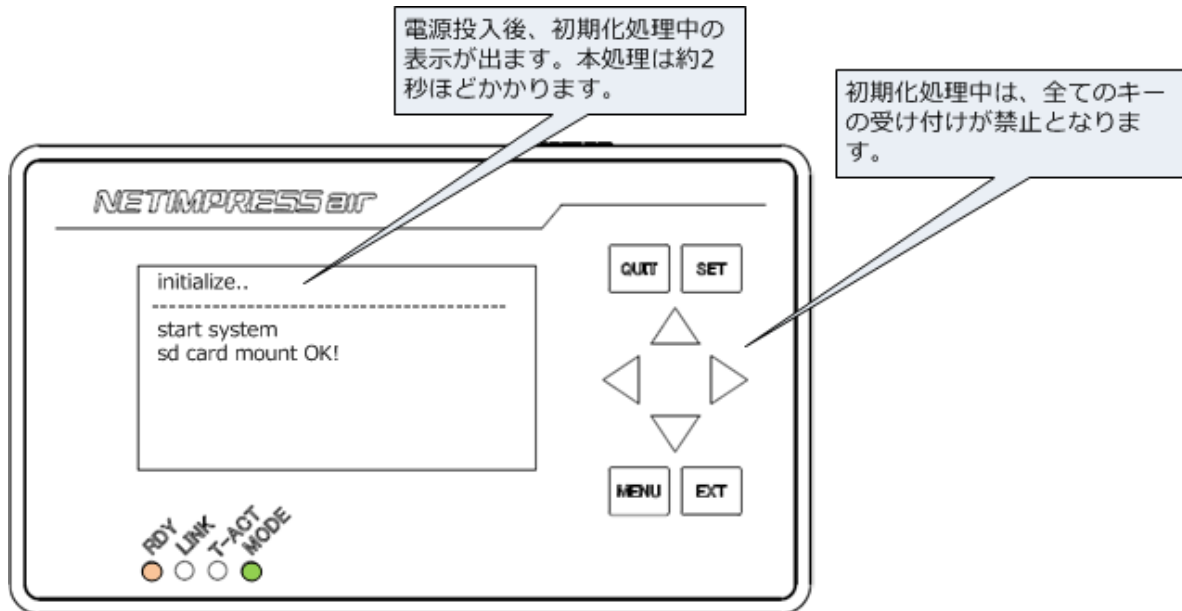
**!** PASS 表示中は、QUIT キーのみ入力可能です。それ以外のキーについては、無効になります。

## 7.1.2. MENU 項目実行操作

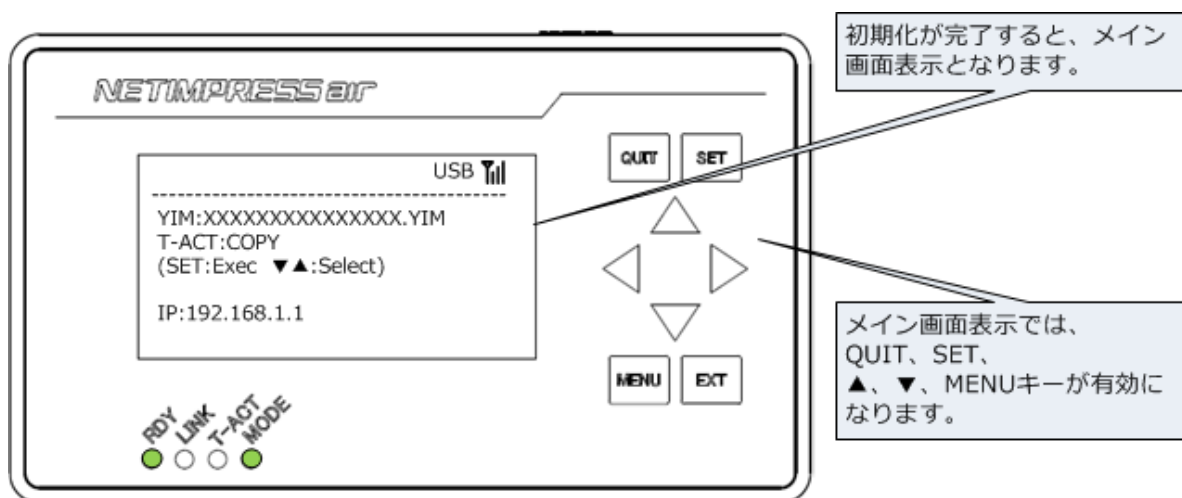
本機での MENU 項目選択の操作方法について説明します。

➡ MENU 選択後の各項目ごとの操作方法は、「7.4MENU 操作を行う」をご確認ください。

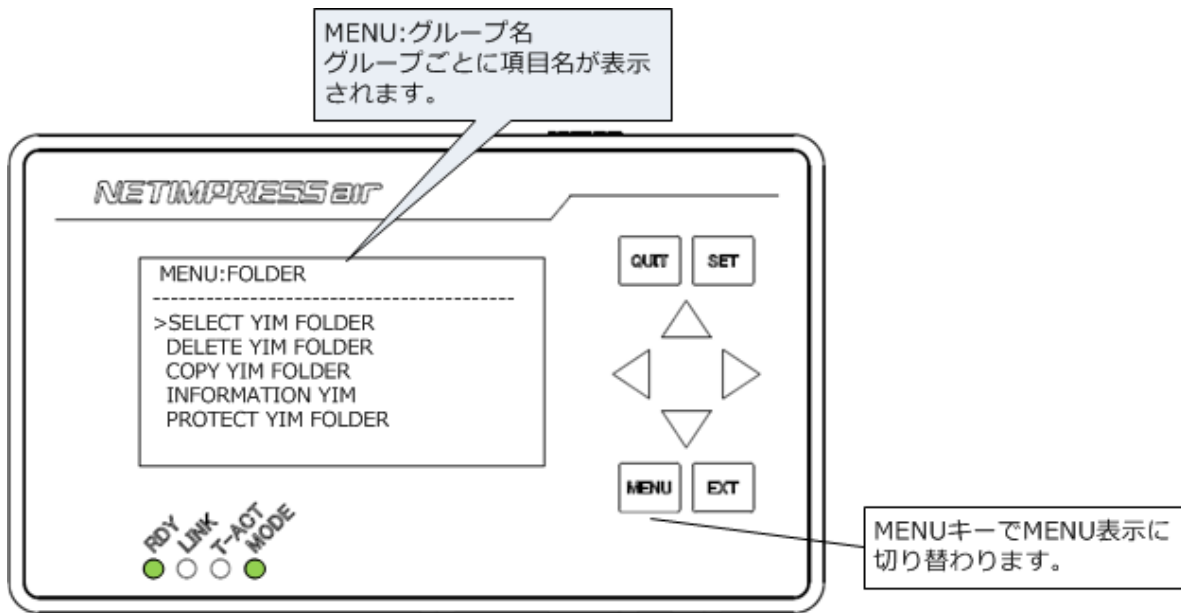
① 本機に電源を投入し、メイン画面を表示します。



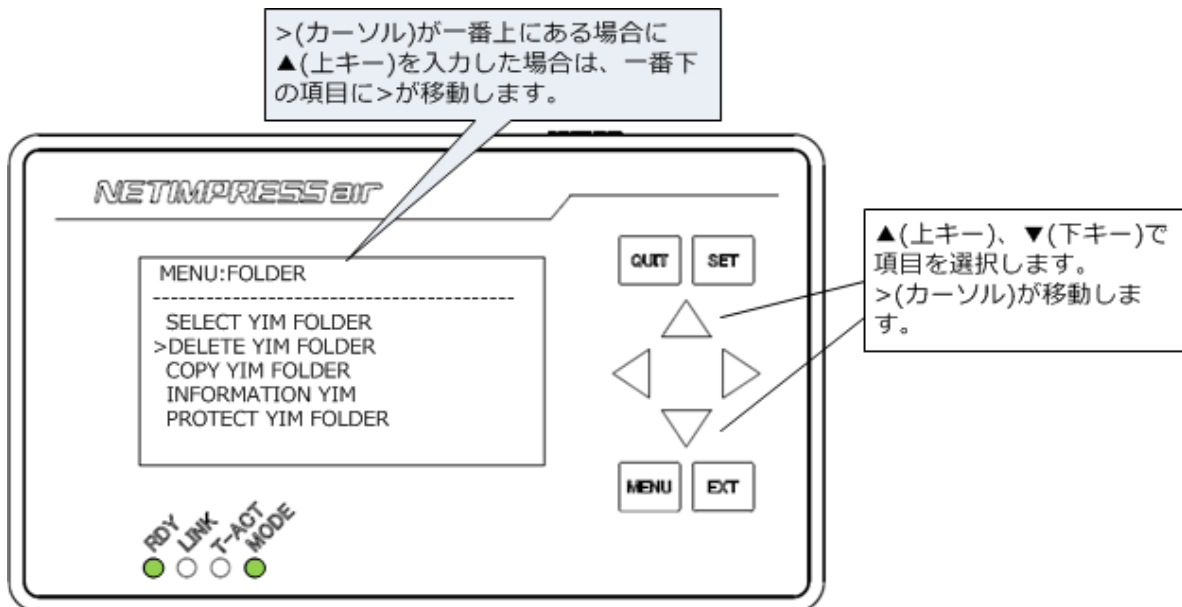
**!** Initialize..表示中は全てのキー入力を受付不可としています。(入力しても無効となります)



② MENU ボタンを押します。

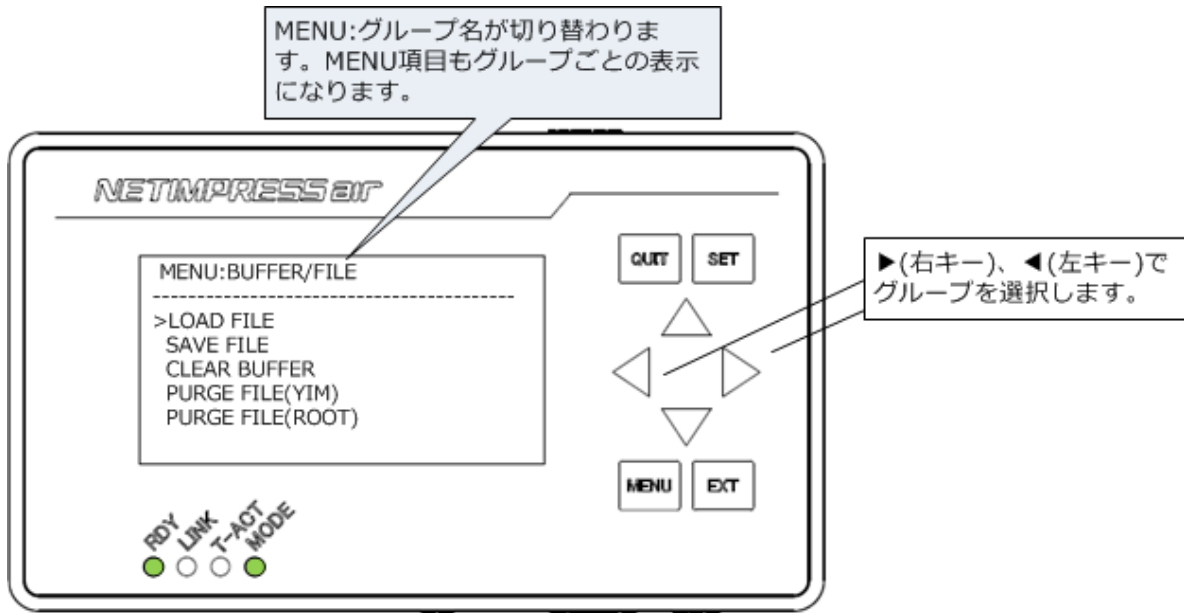


③ ▲(上キー)、▼(下キー)でグループ内の項目を選択します。



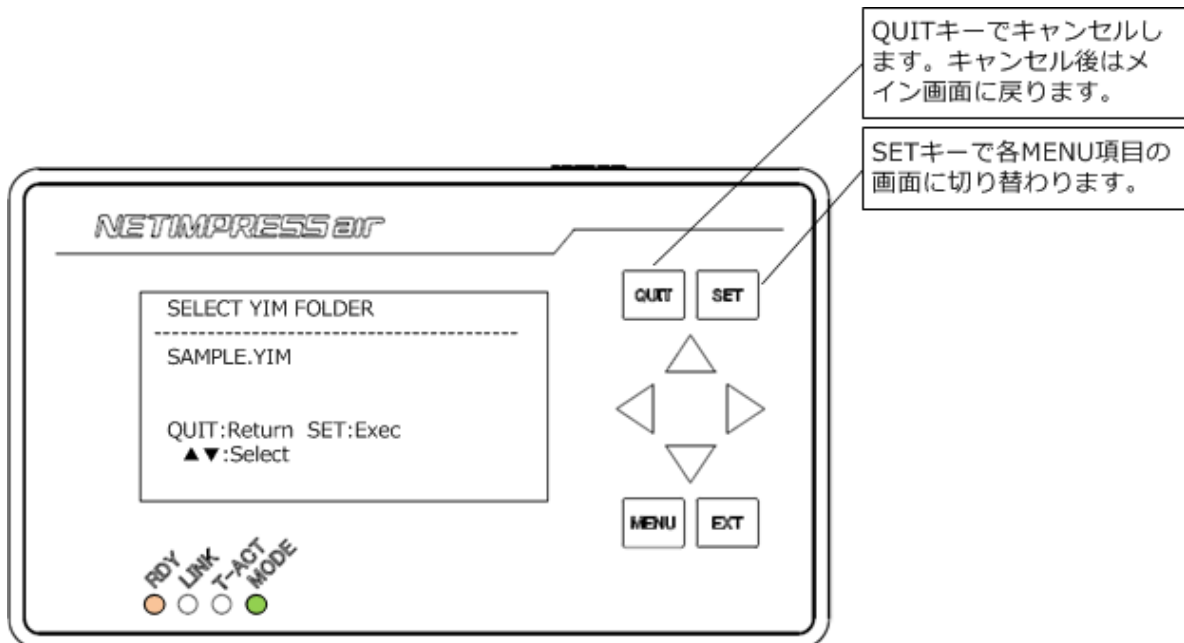
**!** MENU 項目選択中は、QUIT キー、SET キー、▲(上キー)、▼(下キー)、▶(右キー)、◀(左キー)の入力が可能です。それ以外は無効になります。

- ④ ◀(左キー)、▶(右キー)でグループの変更を行います。



- !** MENU 項目選択中は、QUIT キー、SET キー、▲(上キー)、▼(下キー)、▶(右キー)、◀(左キー)の入力が可能です。それ以外は無効になります。

- ⑤ SET ボタンで、>で選択されている項目を決定します。(以降操作は、各 MENU 項目の章で説明します)





### 7.1.3. Wireless LAN の設定を行う

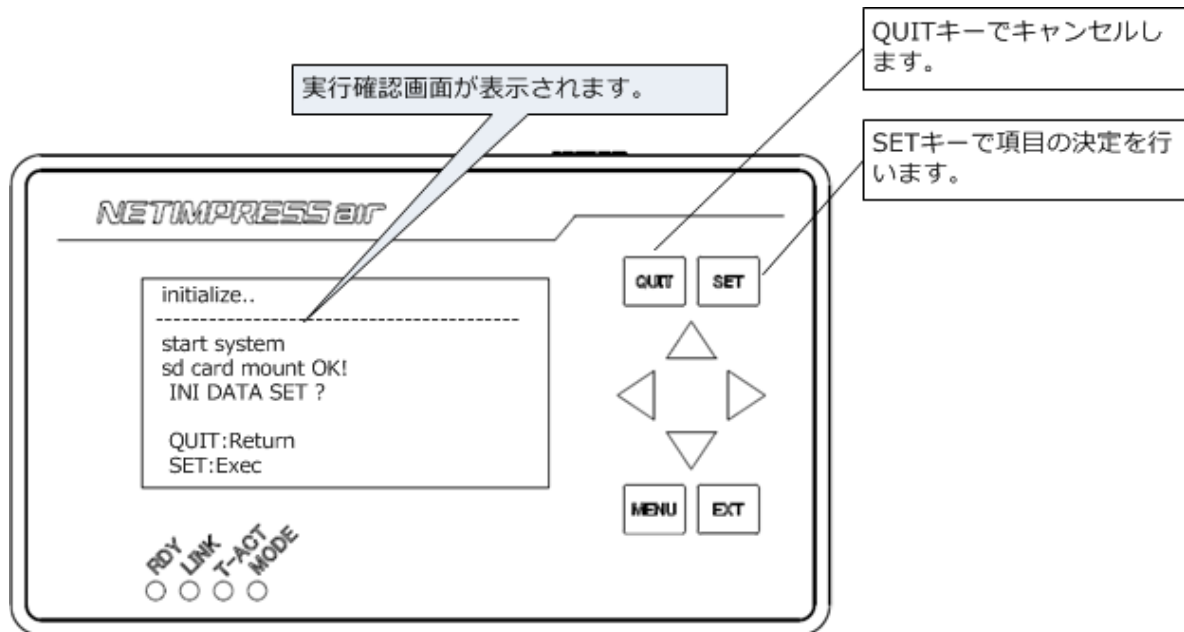
Wireless LAN の設定をスタンドアロン操作で行う方法を説明します。

Wireless LAN の設定は、専用 SD カードに Wireless LAN 設定ファイル(拡張子 .ini)を置くことで、スタンドアロンでも設定が可能です。

➡ Ini ファイルについては、「8.1.4ini ファイル」をご確認ください。

ini ファイルを使用して設定を行う場合、専用 SD カードのルートディレクトリにファイルを置いてから本機の電源を ON にします。

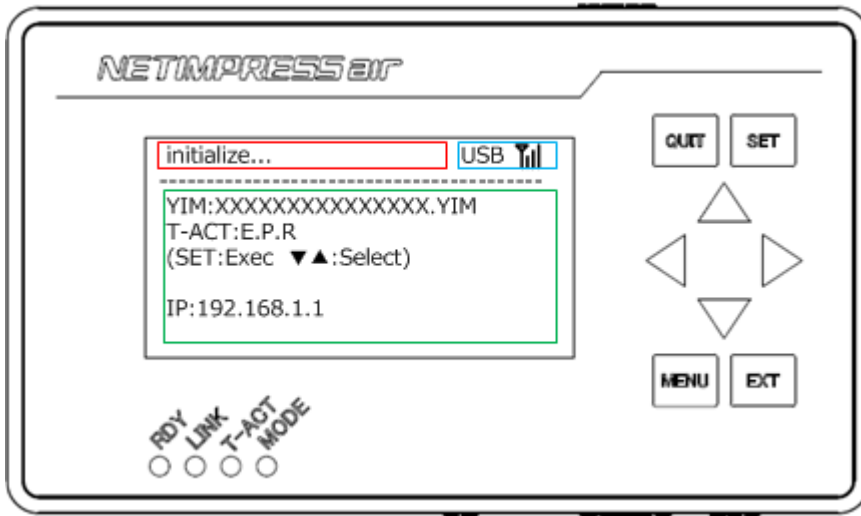
ini ファイルの設定と、既に本機に設定されている Wireless LAN の設定が異なる場合、ini ファイルの設定を本機に設定するための確認画面が表示されます。



## 7.2. 操作画面

各操作時の画面表示について説明します。

本機の LCD は、縦 8 行、横 21 文字での表示方式となっています。



<p>1 行目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機で現在実行している処理の内容について表示します。</li> <li>● メイン画面表示中は、通信 I/F(USB 及び Wireless LAN)の接続状態の表示をします。</li> <li>● USB 表示は、PC と USB 接続が正常に行えた場合に出力します。</li> <li>● Wireless LAN の通信状態表示は、接続先との電波強度を示します。</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>📶</td> <td>通信状態：良好</td> <td>無線強度 100%～60%</td> </tr> <tr> <td>📶</td> <td>通信状態：普通</td> <td>無線強度 59%～40%</td> </tr> <tr> <td>📶</td> <td>通信状態：悪い</td> <td>無線強度 39%～20%</td> </tr> <tr> <td>📶</td> <td>通信状態：かなり悪い</td> <td>無線強度 19%～1%</td> </tr> <tr> <td>📶-</td> <td colspan="2">通信する相手がない場合、未接続</td> </tr> </table>	📶	通信状態：良好	無線強度 100%～60%	📶	通信状態：普通	無線強度 59%～40%	📶	通信状態：悪い	無線強度 39%～20%	📶	通信状態：かなり悪い	無線強度 19%～1%	📶-	通信する相手がない場合、未接続	
📶	通信状態：良好	無線強度 100%～60%														
📶	通信状態：普通	無線強度 59%～40%														
📶	通信状態：悪い	無線強度 39%～20%														
📶	通信状態：かなり悪い	無線強度 19%～1%														
📶-	通信する相手がない場合、未接続															
<p>2 行目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表示の区切りに使用します(固定)</li> </ul>															
<p>3～8 行目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実行中処理のサブ表示画面になります。表示内容は実行中の処理に従い切り替わります。</li> </ul>															

## 7.3. プログラミングを実行する

スタンドアロンでのプログラミング実行方法について説明します。

- ✓ スタンドアロンでのプログラミングの実行には、YIM フォルダ等の環境のセットアップ、ターゲットシステムとの接続が必要になります。

環境のセットアップが完了してから本章内容を実行してください。

- ➡ 環境のセットアップは「**エラー！参照元が見つかりません。エラー！参照元が見つかりません。**」のプログラミング環境のセットアップをご確認ください。



## 7.4. MENU 操作を行う

本機で実行できる各 MENU 項目の設定内容と、操作方法について説明します。

➡ MENU 項目選択の操作方法は、「7.1.2MENU 項目実行操作」をご確認ください。

### 7.4.1. YIM フォルダを選択する

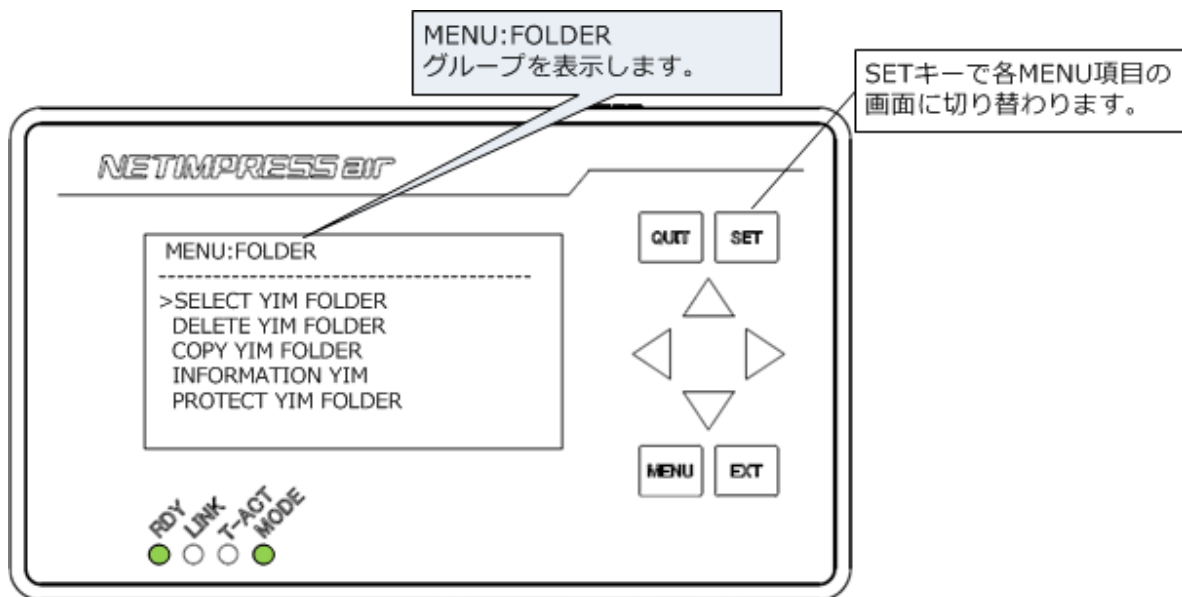
選択した YIM フォルダをカレントフォルダに設定します。

プログラミングを行う場合、カレントフォルダの設定が必要になります。

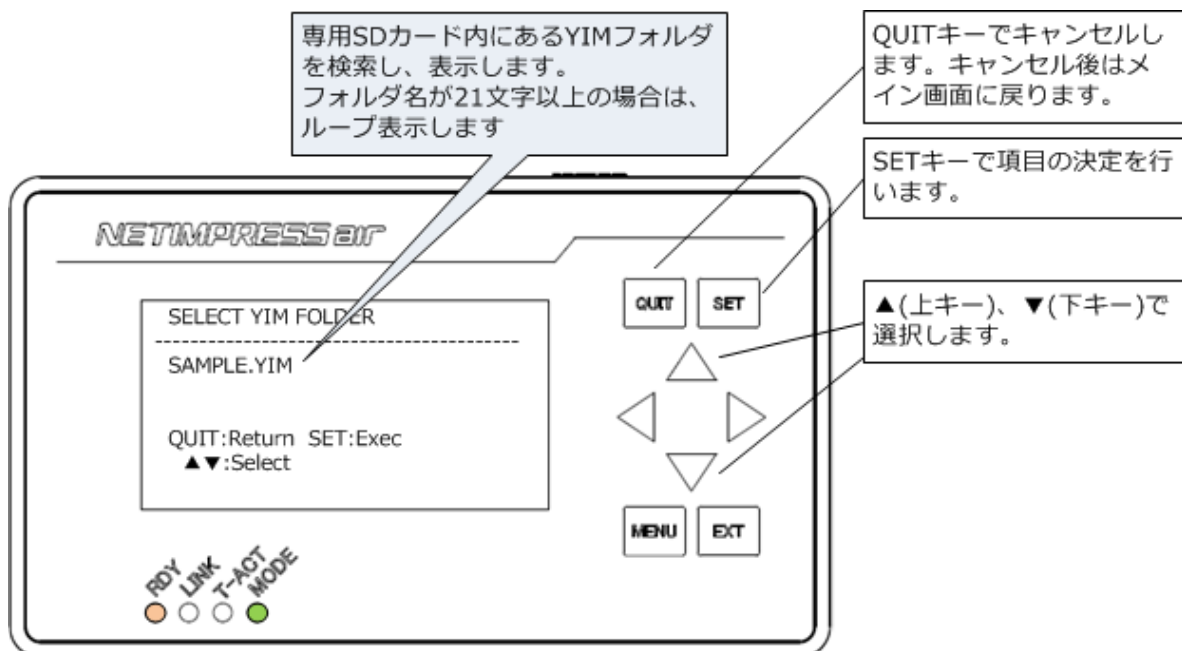
**!** PC からカードリーダー経由で YIM フォルダのコピーは可能ですが、定義体ライセンス登録がされていないフォルダ(定義体)を選択するとエラーとなり、カレントフォルダへの設定は不可となります。

上記操作を実行した場合、選択前のカレントフォルダの情報もクリアされ、フォルダが未選択の状態となります。

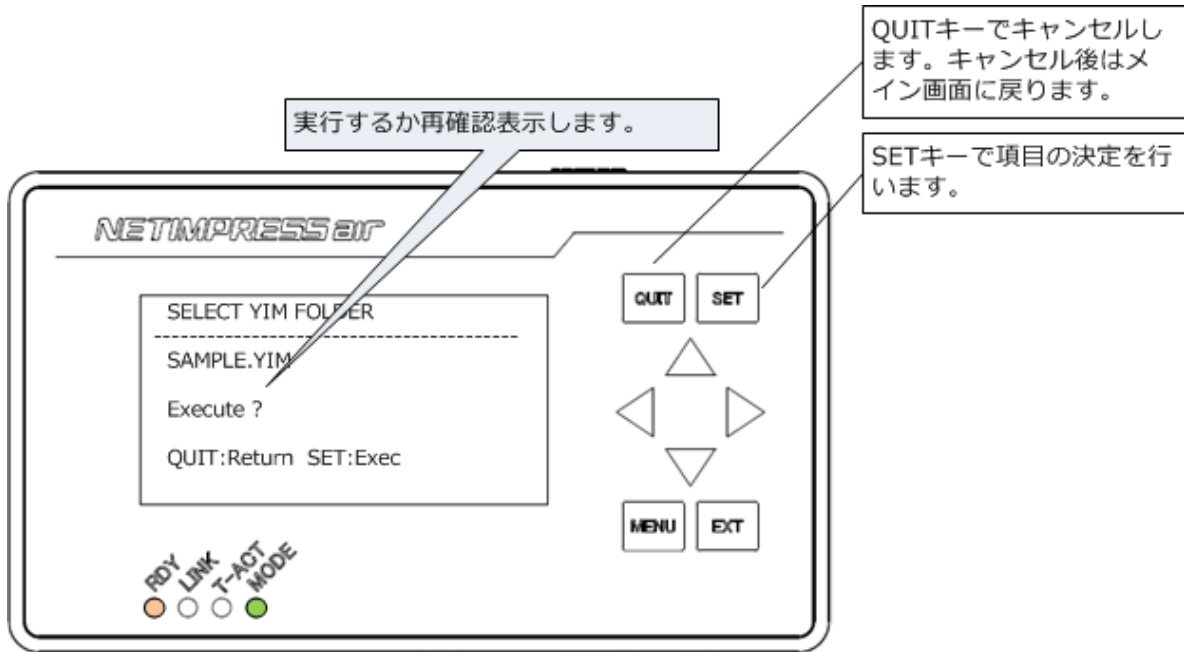
- ① MENU:FOLDER のグループを表示し、"SELECT YIM FOLDER"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)でカレントにするフォルダを選び、SET キーで決定します。



③ 再度 SET キーで決定します。



## 7.4.2. YIM フォルダを消去する

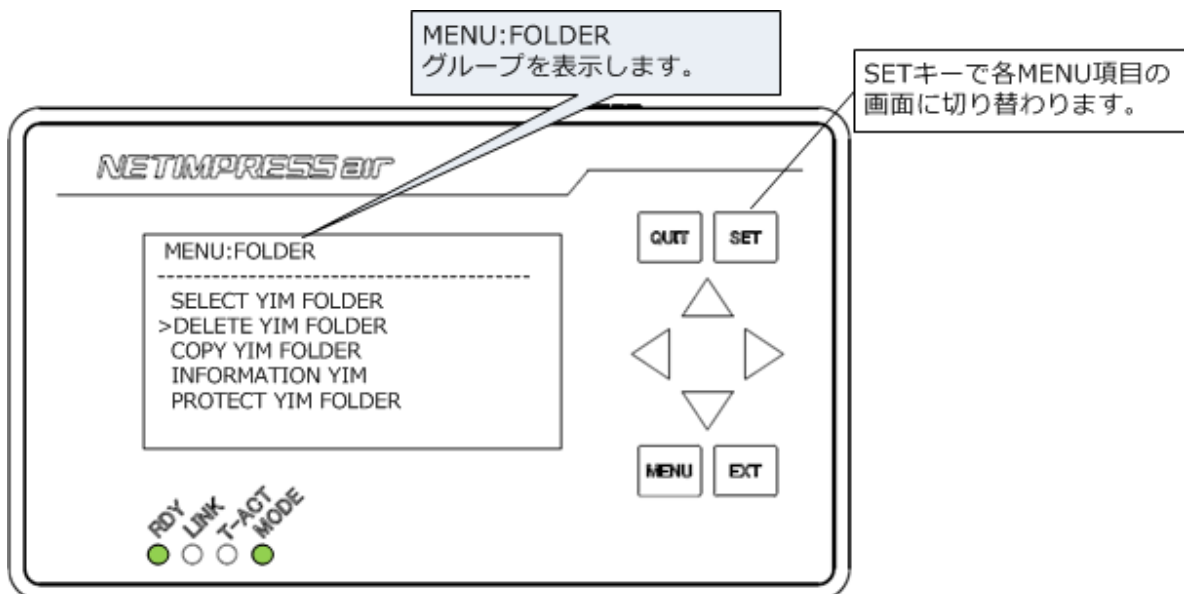
選択した YIM フォルダを消去します。

カレントに指定されている YIM フォルダを消去した場合は、カレント設定も解除されます。

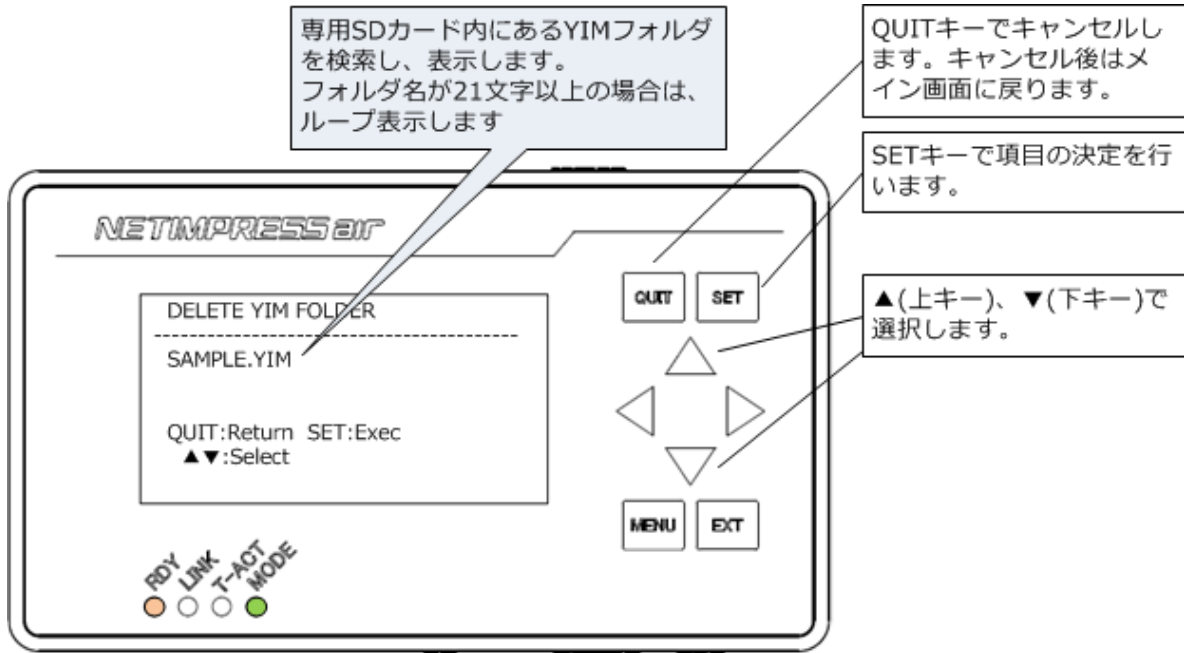


消去実行を行った YIM フォルダは復元できません。

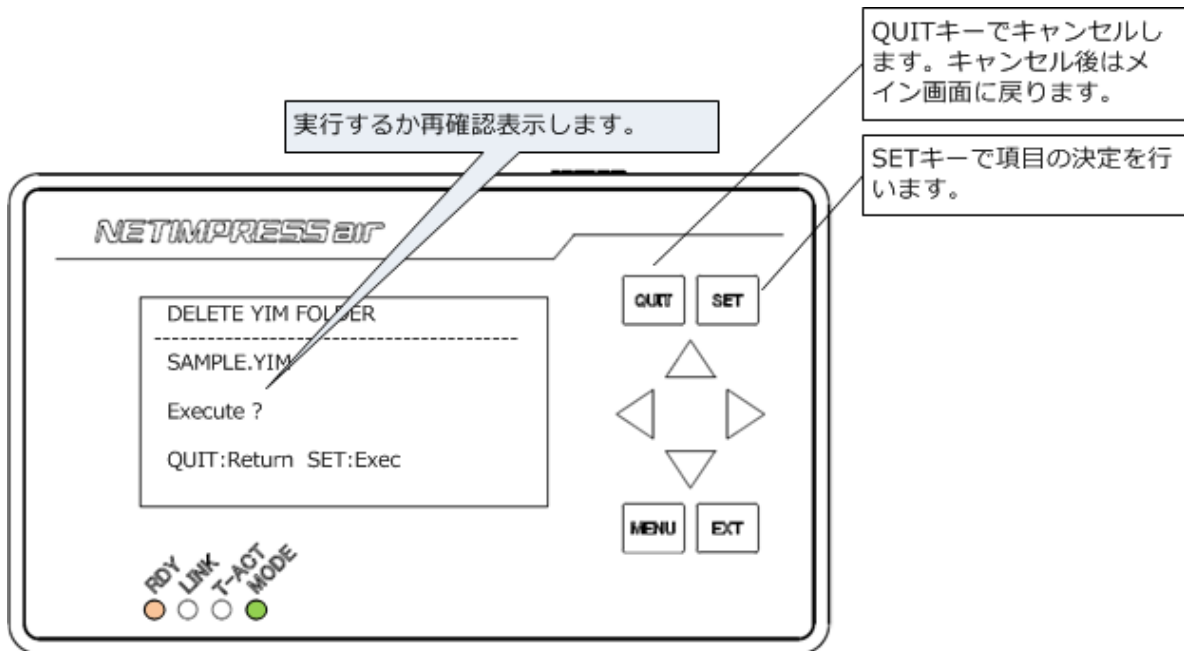
① MENU:FOLDER のグループを表示し、”DELETE YIM FOLDER”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で消去するフォルダを選び、SET キーで決定します。



- ③ 再度 SET キーで決定します。



### 7.4.3. YIM フォルダをコピーする

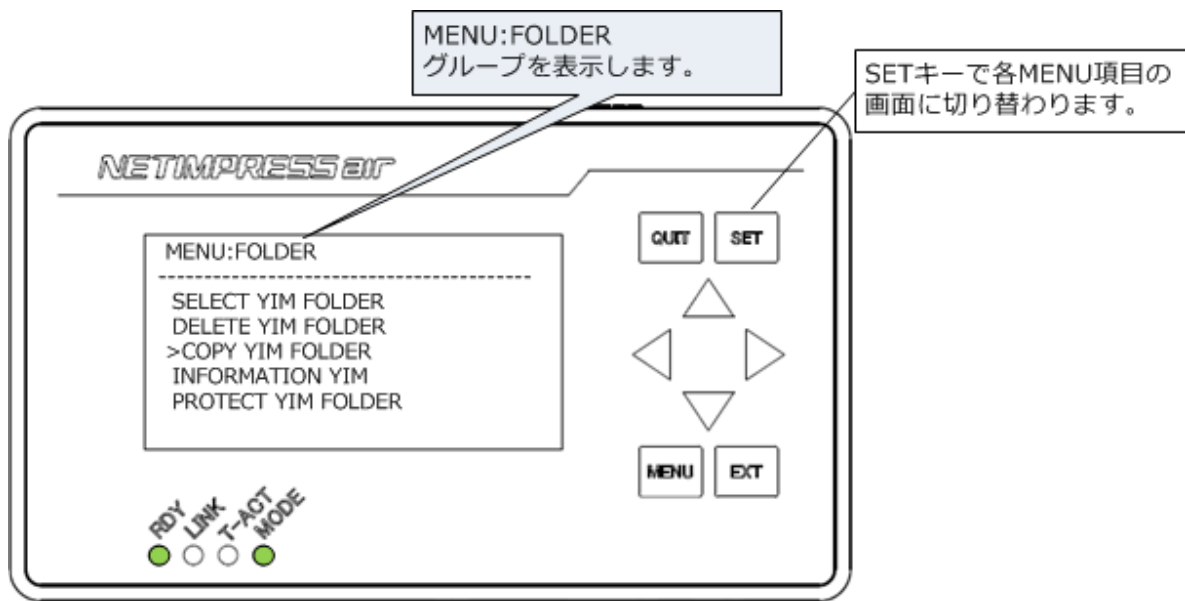
カレントの YIM フォルダを、専用 SD カード内に複製します。

カレント YIM の情報をバックアップする場合に使用します。

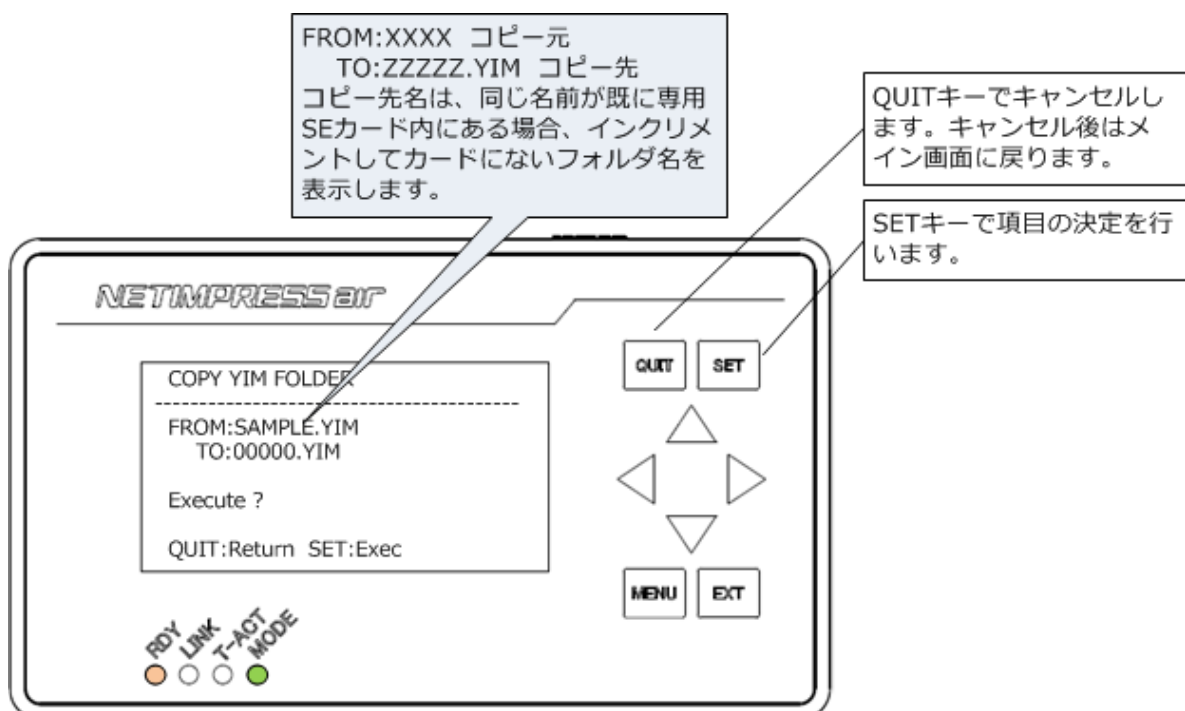
**!** スタンドアロンでのコピー操作では固定名称で専用 SD カード内に保存されます。保存名は操作時に LCD に表示されます。

カレントフォルダの設定がない場合は、エラーとなります。

① MENU:FOLDER のグループを表示し、"COPY YIM FOLDER"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② SET キーで決定します。





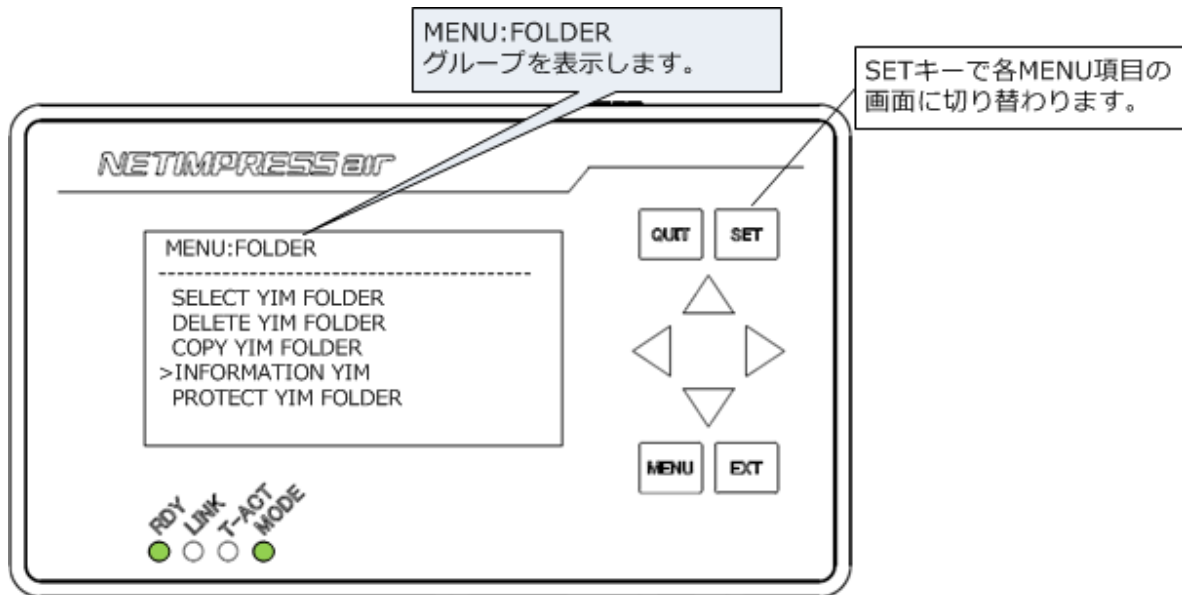
#### 7.4.4. YIM フォルダの情報を確認する

カレントフォルダ内に設定されている情報を確認する時に使用します。

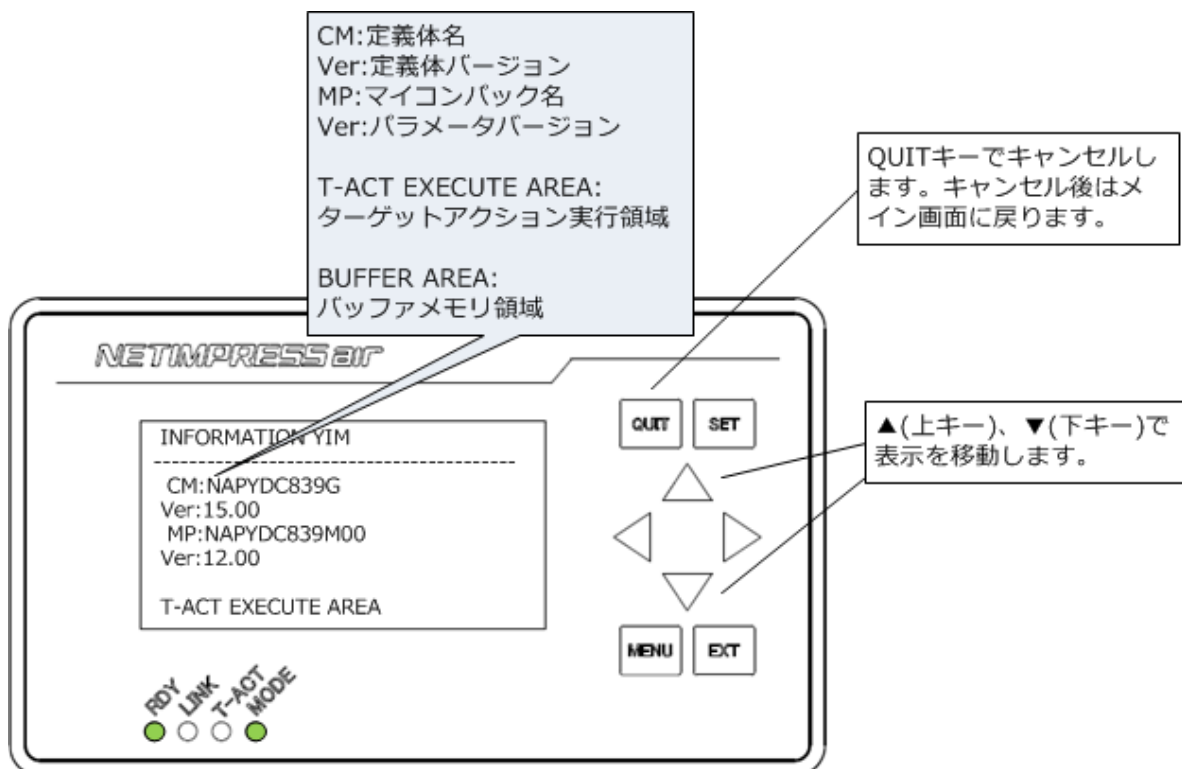
カレントフォルダの定義体、パラメータのバージョン情報及び、ターゲットアクション実行領域、バッファ領域の情報を表示します。

**!** カレントフォルダの設定がない場合は、No Data と LCD に表示されます。

① MENU:FOLDER のグループを表示し、“INFORMATION YIM”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② ▲(上キー)、▼(下キー)で表示を切り替えます。



### 7.4.5. YIM フォルダへの操作を禁止設定にする

カレント YIM フォルダへの操作を禁止設定にします。指定したフォルダへのアクセスを禁止したい場合に使用します。

PROTECT 設定を行うと、設定したフォルダのフォルダ消去、YIM フォルダ内のファイル操作(ファイルコピー、ファイル消去)、バッファメモリへの操作(クリア、ファイルのロード、ファイルのセーブ)が禁止になります。

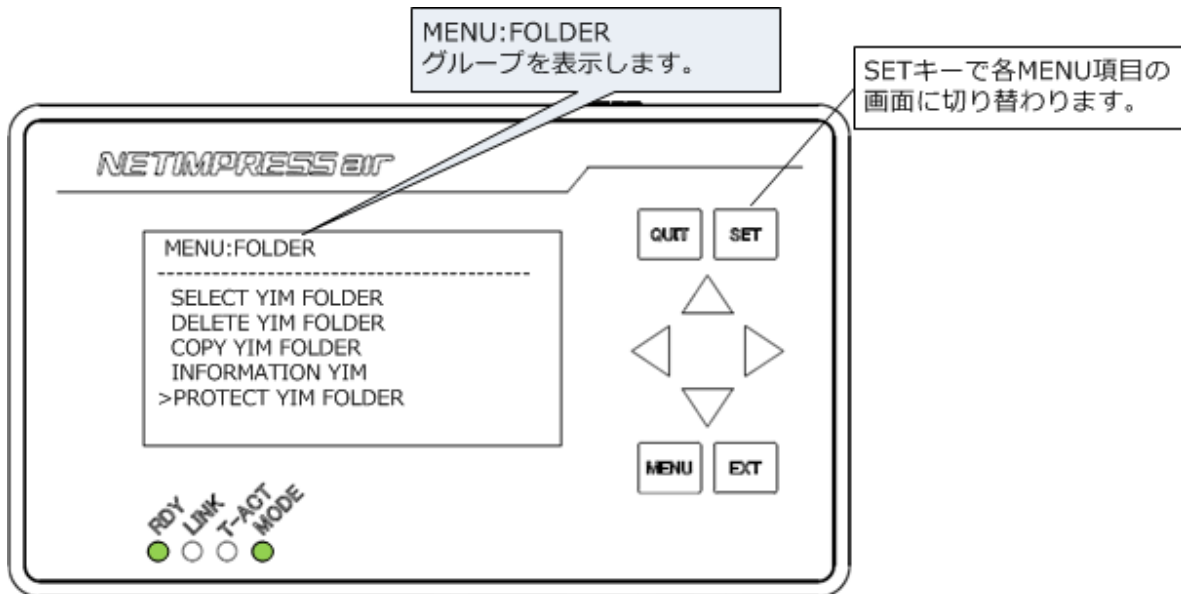


本機で動作する場合でのみ有効な設定となります。PC からカードリーダー経由で指定のフォルダへアクセスする場合は、禁止設定は無効になります。

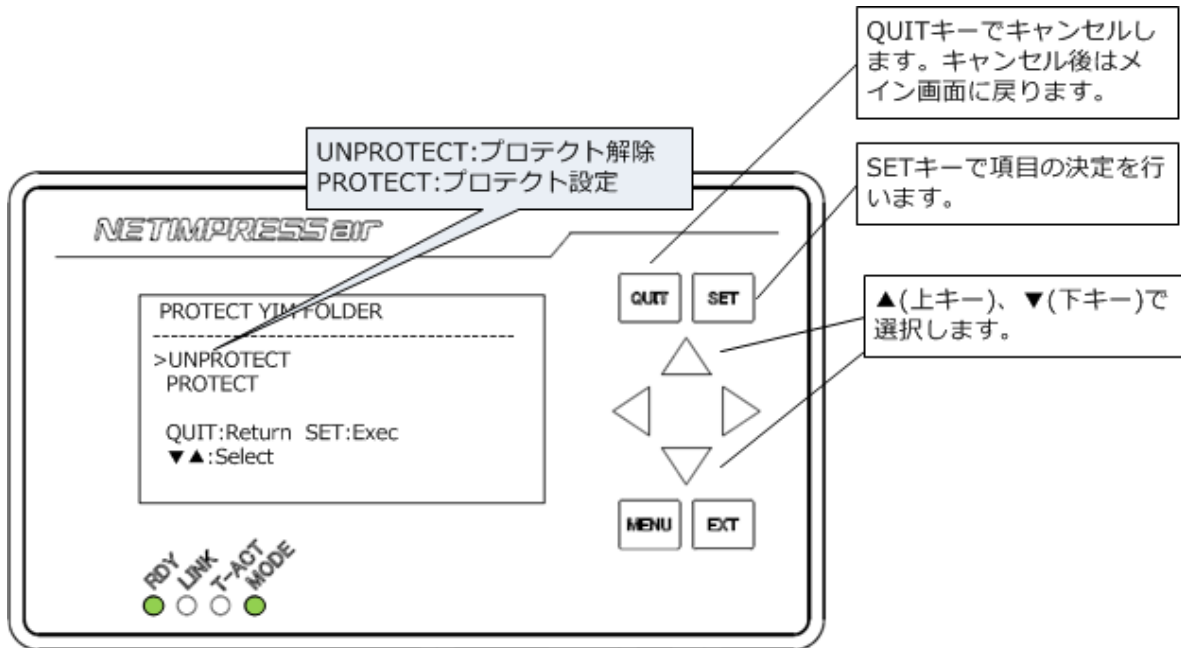
禁止設定にしたまま、カレントフォルダを変更した場合、禁止設定にしたフォルダ消去は不可のままとなります。

カレントフォルダの設定がない場合は、エラーとなります。

- ① MENU:FOLDER のグループを表示し、"PROTECT YIM FOLDER"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で設定したい項目を選択し、SET キーで決定します。



#### 7.4.6. バッファメモリにオブジェクトデータをロードする

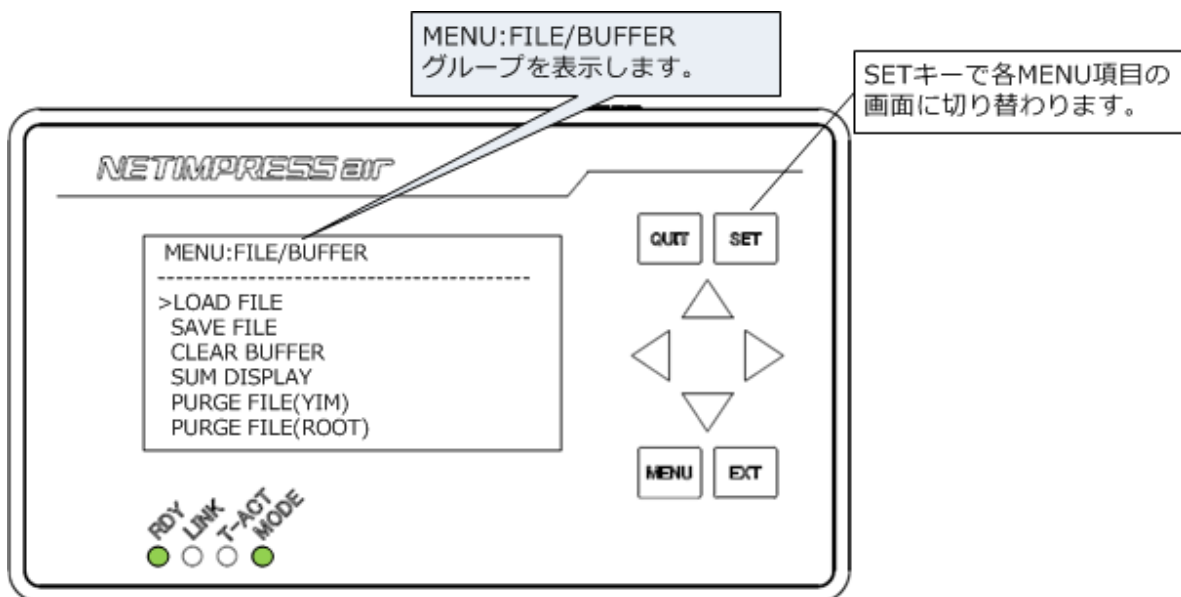
カレントフォルダに保存されているファイルを、バッファメモリにロードします。ロードするファイルのフォーマットはモトローラS、インテルHEX、バイナリの形式に対応しています。

カレントフォルダにオブジェクトデータを保存しておくことで、本操作にてターゲットシステムに書き込みをするデータの変更を行うことが可能です。

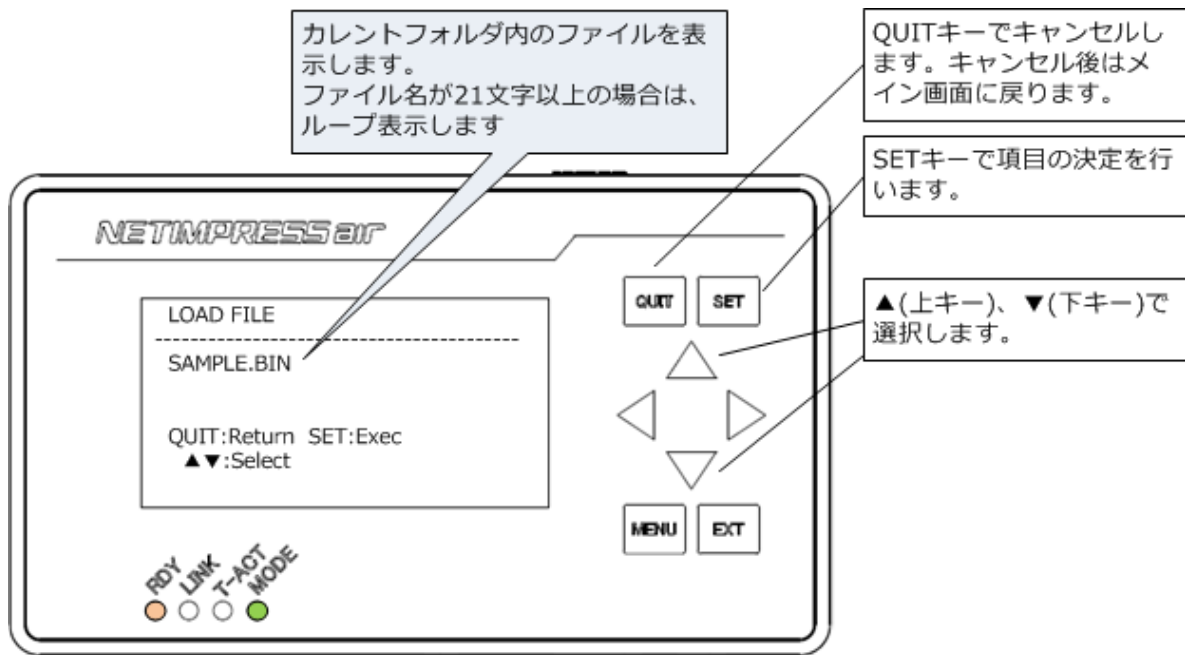


カレントフォルダが選択されていない場合は、エラーとなります。

- ① MENU:FILE/BUFFER のグループを表示し、“LOAD FILE”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)でカレントフォルダ内のファイルを選択します。SET キーでバッファメモリへのロード処理が実行されます。

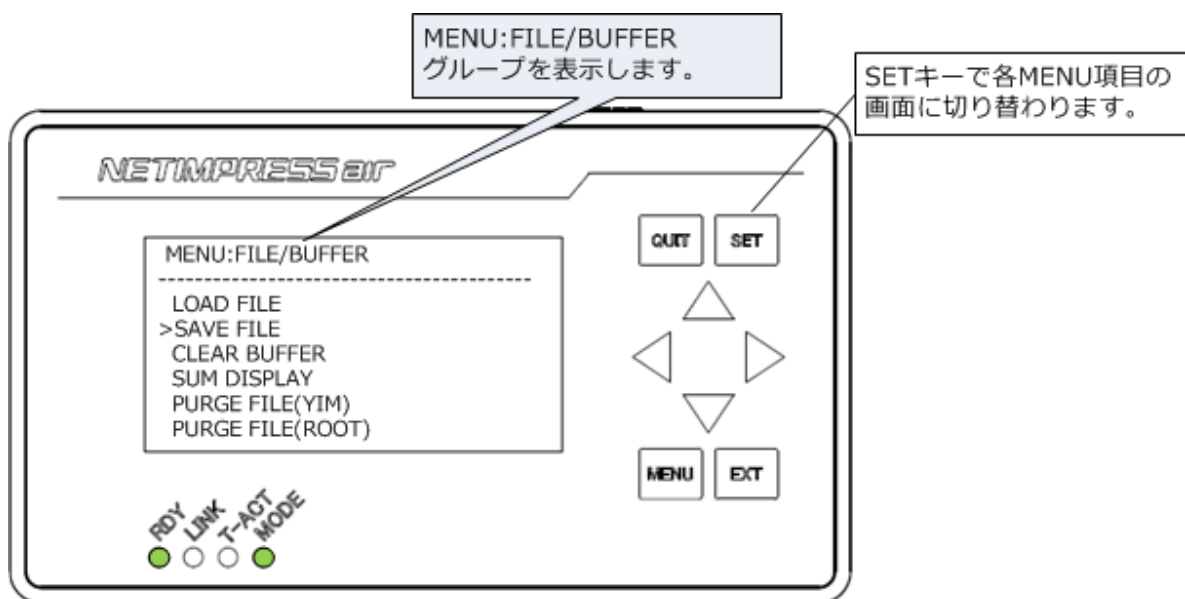


## 7.4.7. バッファメモリのデータをファイルに保存する

バッファメモリのデータを、カレントフォルダ内のファイルに保存します。  
 バッファメモリのバックアップをする場合等に使用します。

**!** カレントフォルダが選択されていない場合は、エラーとなります。

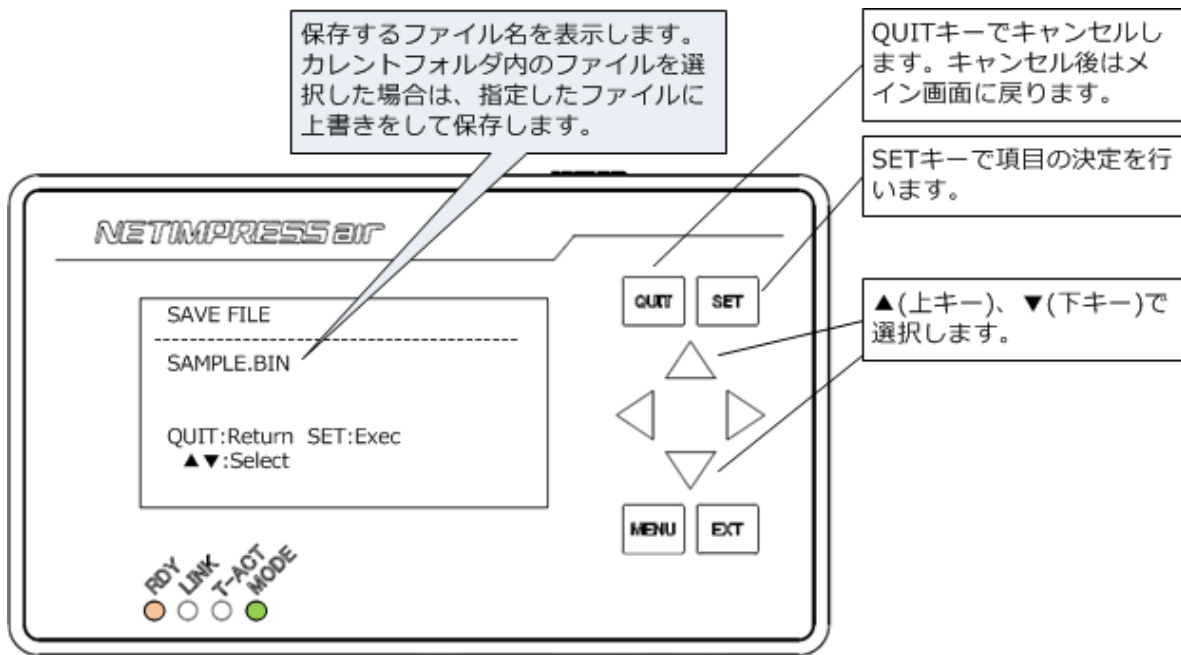
- ① MENU:FILE/BUFFER のグループを表示し、"SAVE FILE"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② ▲(上キー)、▼(下キー)で保存先のファイル名を指定します。SET キーでバッファメモリの情報を読み出して指定のファイルに保存する処理が実行されます。

カレントフォルダ内のファイルを選択した場合、指定したファイルのフォーマット(モトローラ S、インテル HEX、バイナリ)に合わせて保存します。(自動判別：ファイルの中身を確認して、モトローラ S フォーマットの場合 S ファイルで保存、インテル HEX フォーマットの場合 HEX ファイルで保存、それ以外の場合はバイナリ形式で保存します。)

RAMxxx.BIN, RAMxxx.S, RAMxxx.HEX と表示されるファイル名を選択した場合は、指定したファイル名のファイルを新規に作製して、保存します。



### 7.4.8. バッファメモリの情報をクリアする

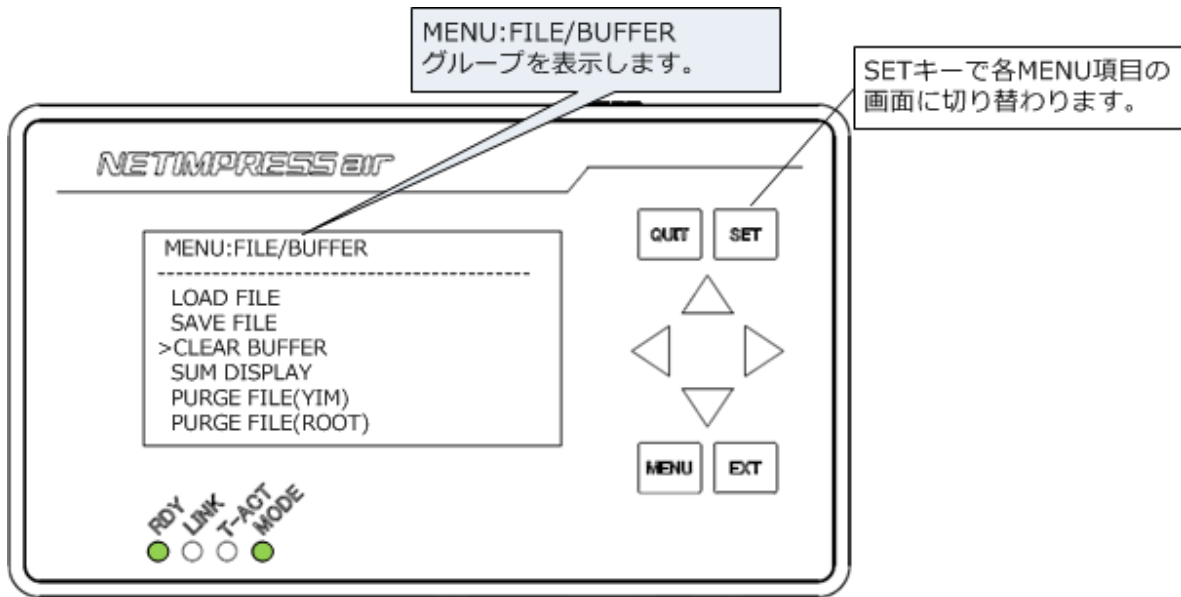
バッファメモリのデータを、全て 0xFF に書き換えます。

バッファメモリに新規にデータをセットする場合など、前回値をクリアする時に使用します。

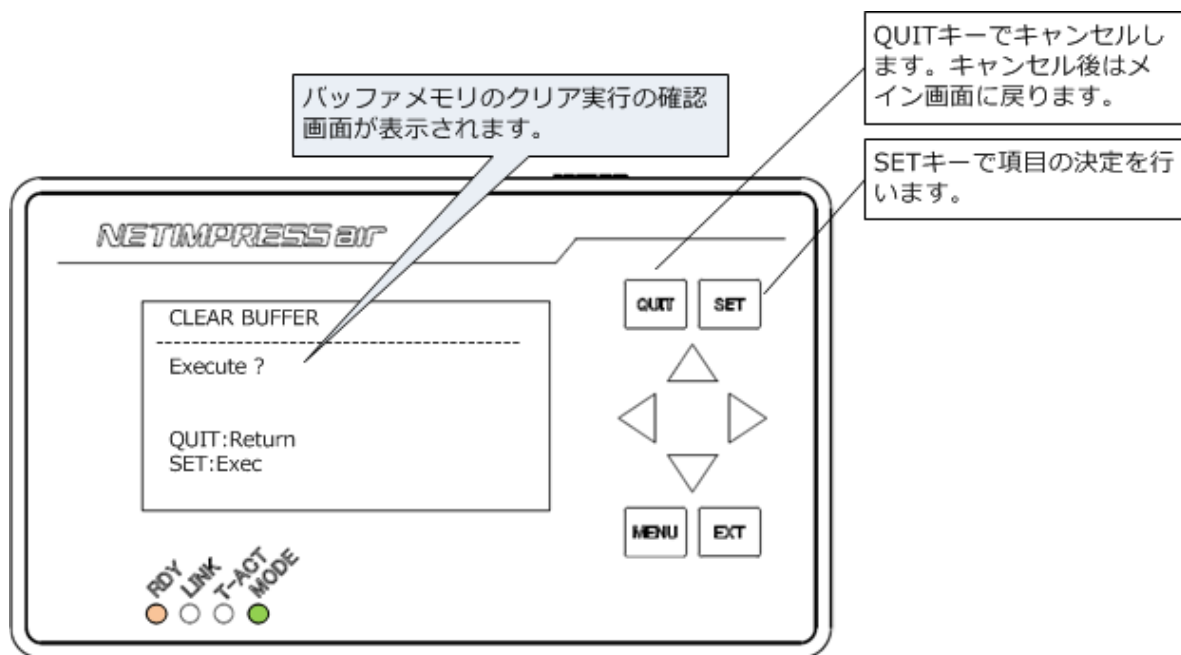


カレントフォルダが選択されていない場合は、エラーとなります。

- ① MENU:FILE/BUFFER のグループを表示し、"CLEAR BUFFER"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② SET キーでバッファメモリの情報をクリアします。



### 7.4.9. バッファメモリのSUM 値を計算して出力する

バッファメモリのSUM 値計算を実行し、結果をLCDに出力します。SUM 値計算/表示用のパラメータ設定により、計算方法、LCDへの出力方法を変更することができます。

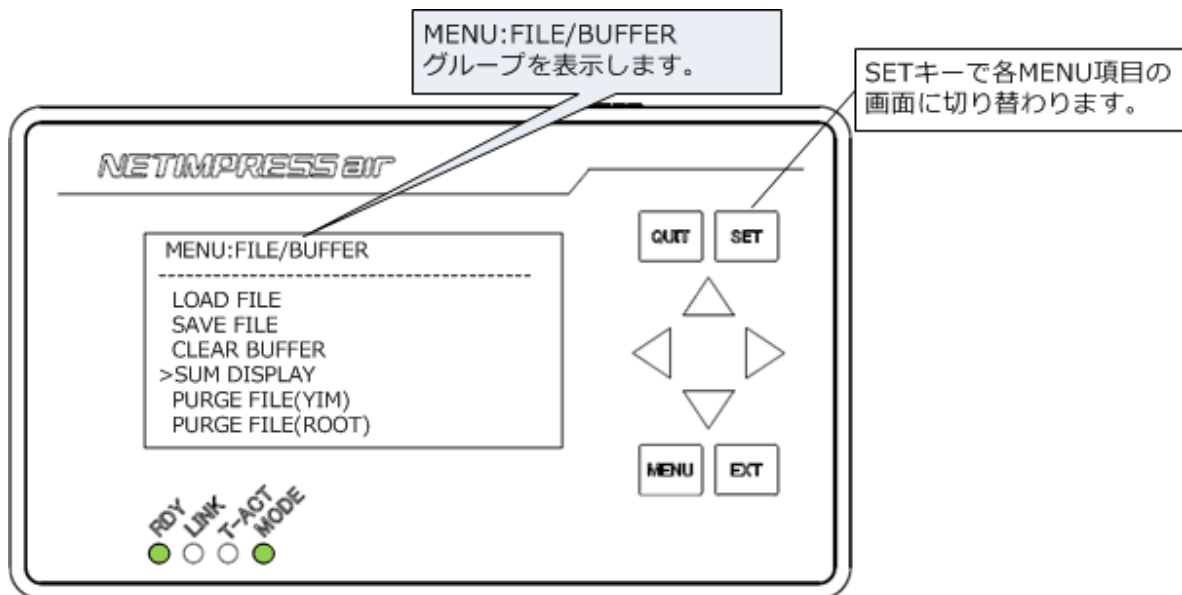
ターゲットアクション実行領域のSUM 値、バッファメモリ領域のSUM 値を表示します。

**!** カレントフォルダが選択されていない場合は、エラーとなります。

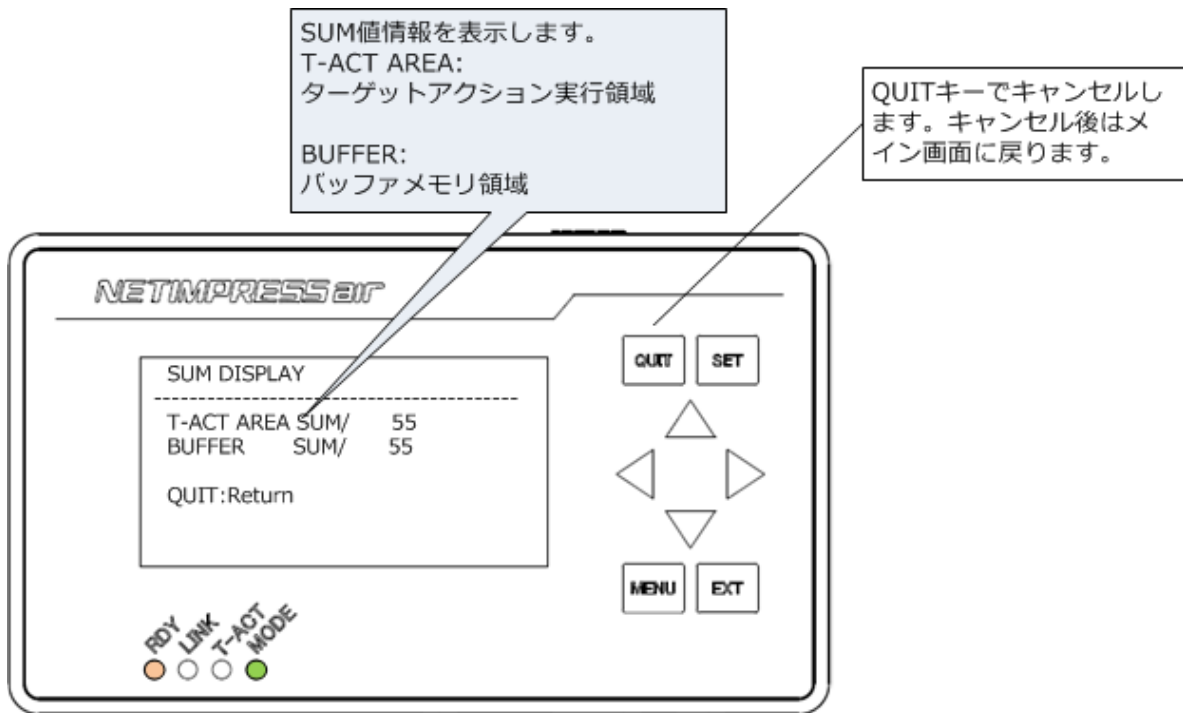
ターゲットアクション実行領域とバッファメモリの領域のSUM 値が一致しない場合は、両方の領域が異なる設定となっている可能性があります。

➡ SUM 値計算/表示用のパラメータ変更は、「7.4.14SUM 計算/表示の方法を変更する」をご確認ください。

① MENU:FILE/BUFFER のグループを表示し、「SUM DISPLAY」に>(カーソル)を合わせてSET キーを押します。



② SUM 値を計算して表示します。



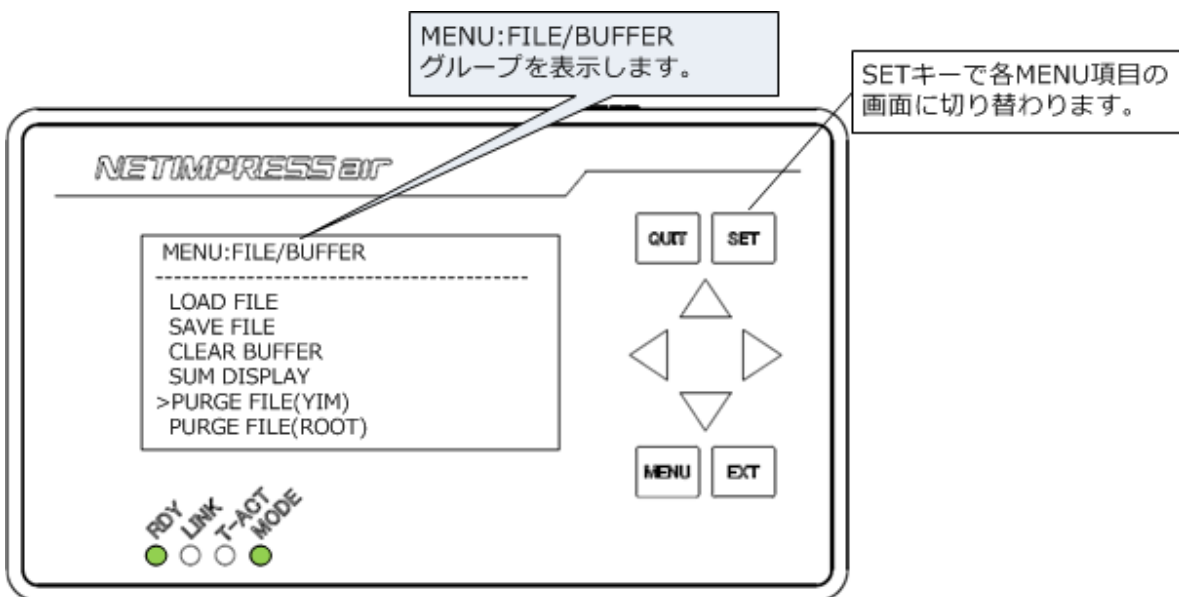
## 7.4.10. カレントフォルダ内のファイルを消去する

カレントフォルダに指定されている、フォルダ内のファイルを選択して消去します。



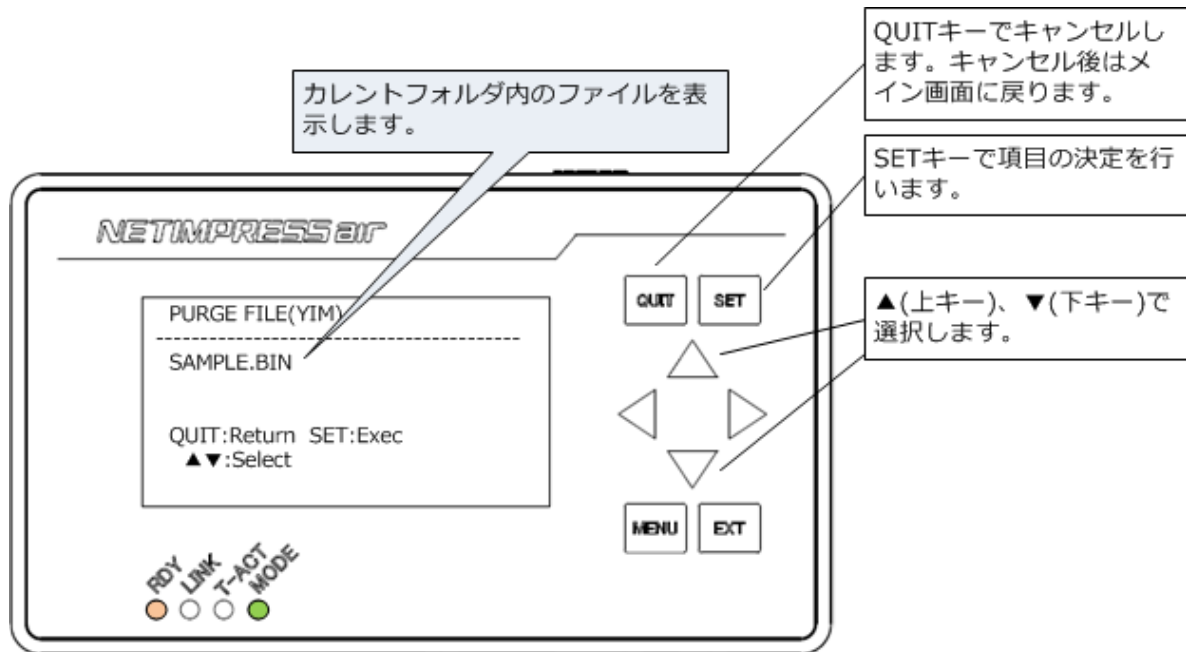
カレントフォルダが選択されていない場合は、エラーとなります。

① MENU:FILE/BUFFER のグループを表示し、“PURGE FILE(YIM)”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。

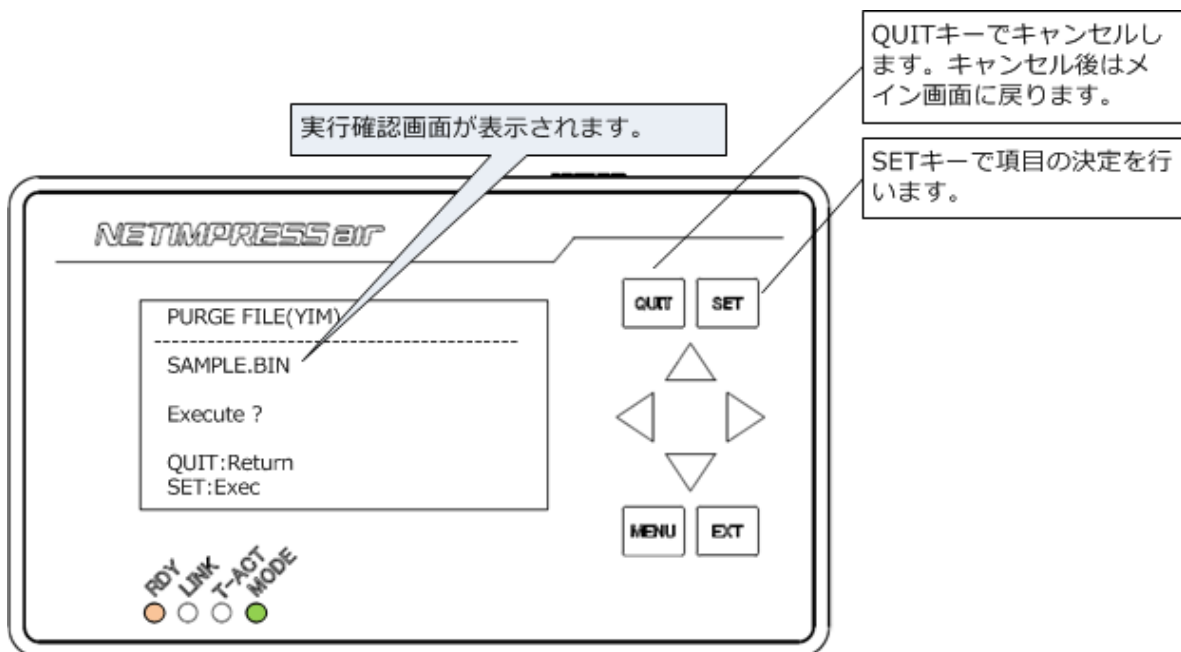




② ▲(上キー)、▼(下キー)でカレントフォルダ内のファイルを選択します。SET キーで指定したファイルの消去確認画面が表示されます(③)。



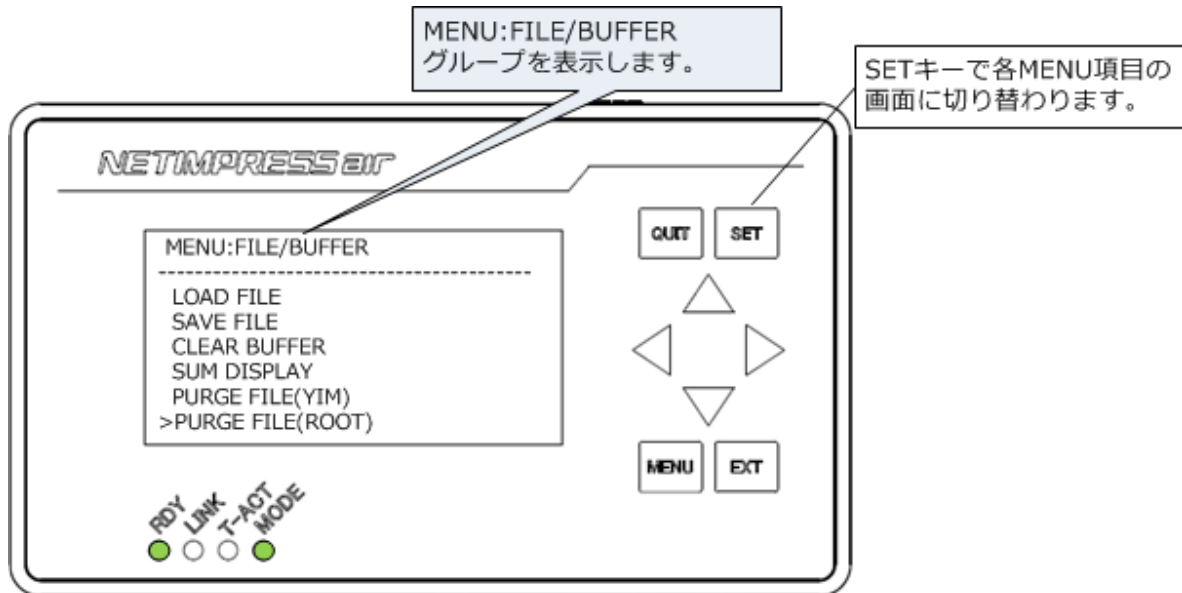
③ 再度 SET キーで消去を実行します。



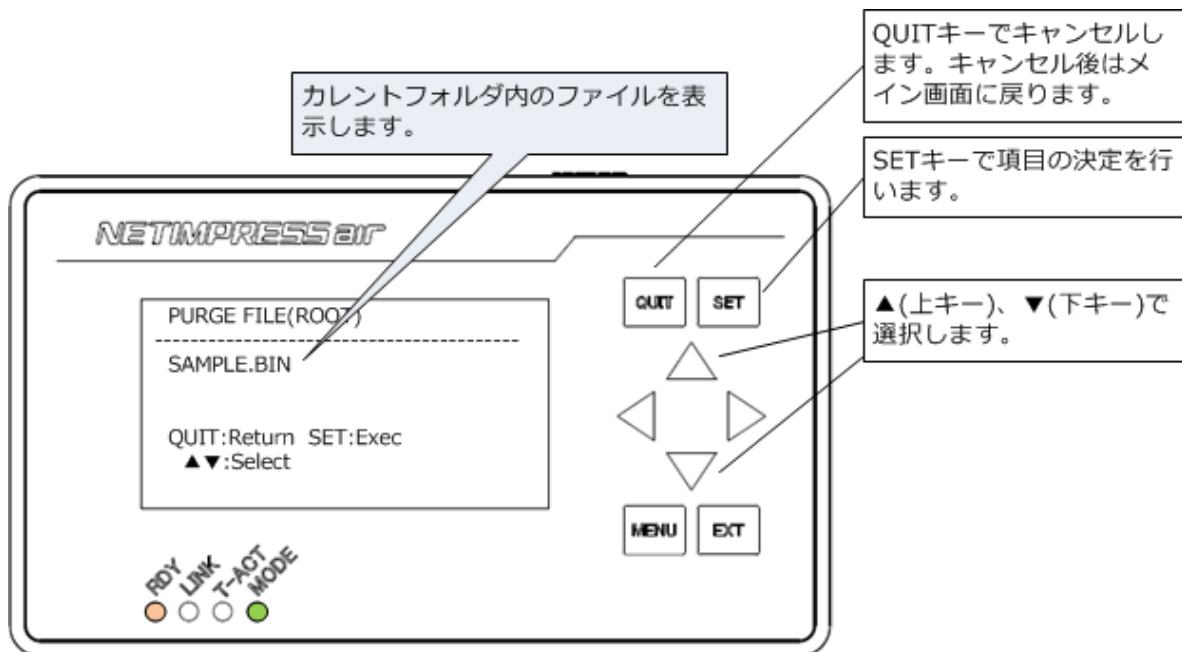
## 7.4.11. ルートディレクトリのファイルを消去する

専用 SD カードのルートディレクトリにあるファイルを選択して消去します。

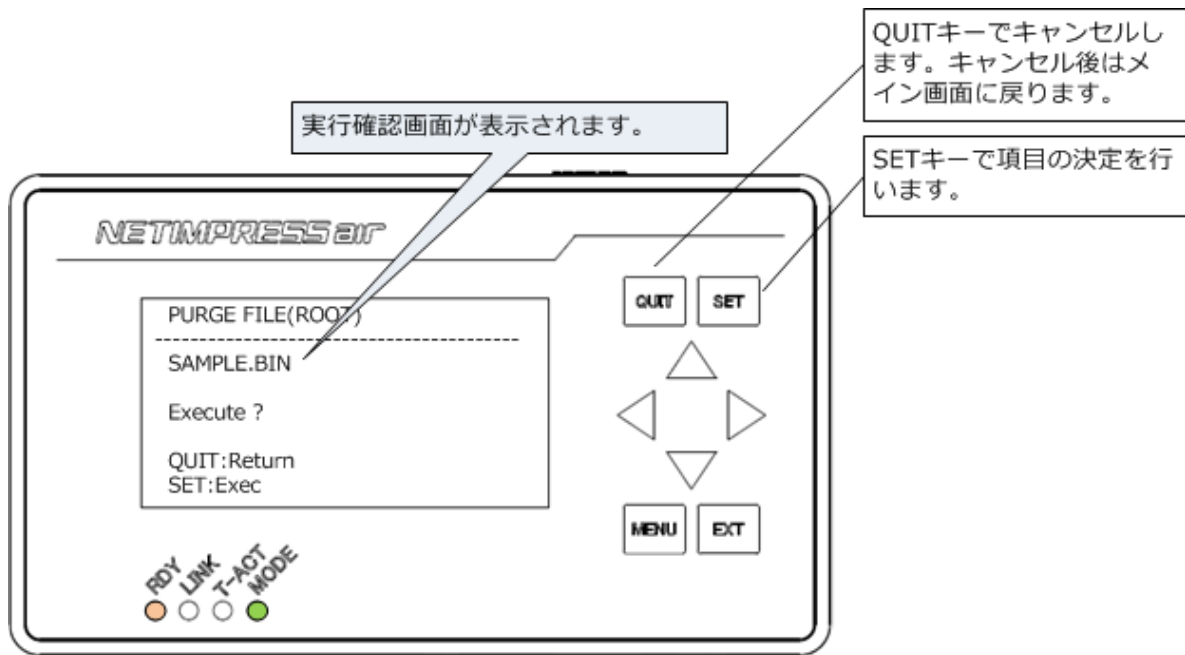
- ① MENU:FILE/BUFFER のグループを表示し、“PURGE FILE(ROOT)”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)でカレントフォルダ内のファイルを選択します。SET キーで指定したファイルの消去確認画面が表示されます(③)。



③ 再度 SET キーで消去を実行します。



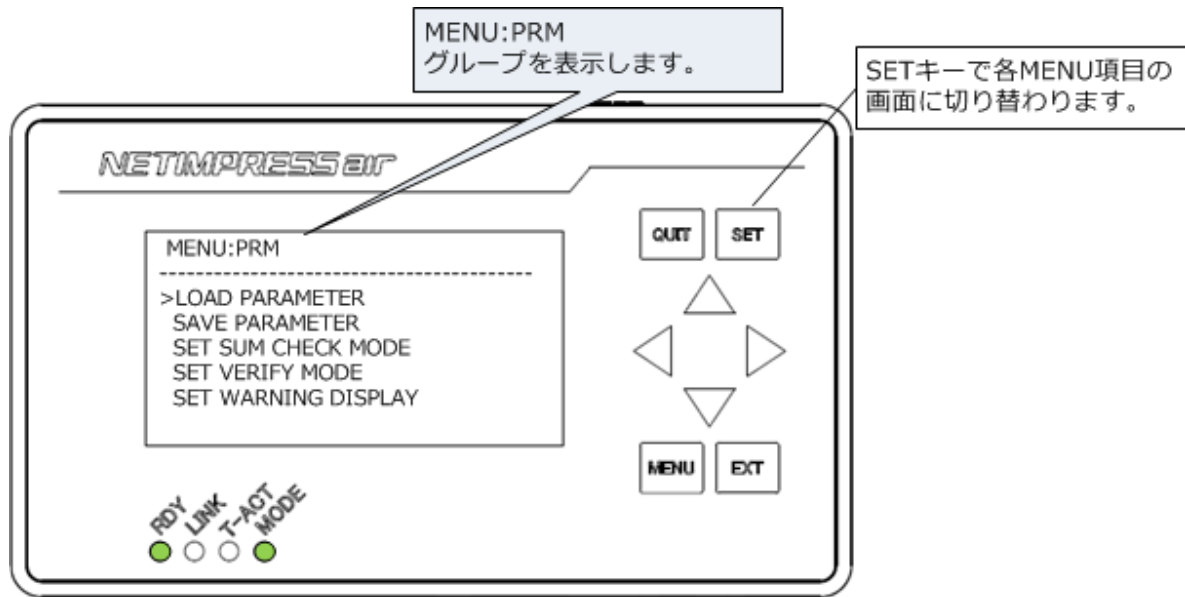
## 7.4.12. カレントフォルダのパラメータを変更する

カレントフォルダに保存されているパラメータファイルを選択し、パラメータの変更を行います。カレントフォルダに修正したパラメータを置くことで、スタンドアロンでもカレントフォルダの情報を変更することができます。

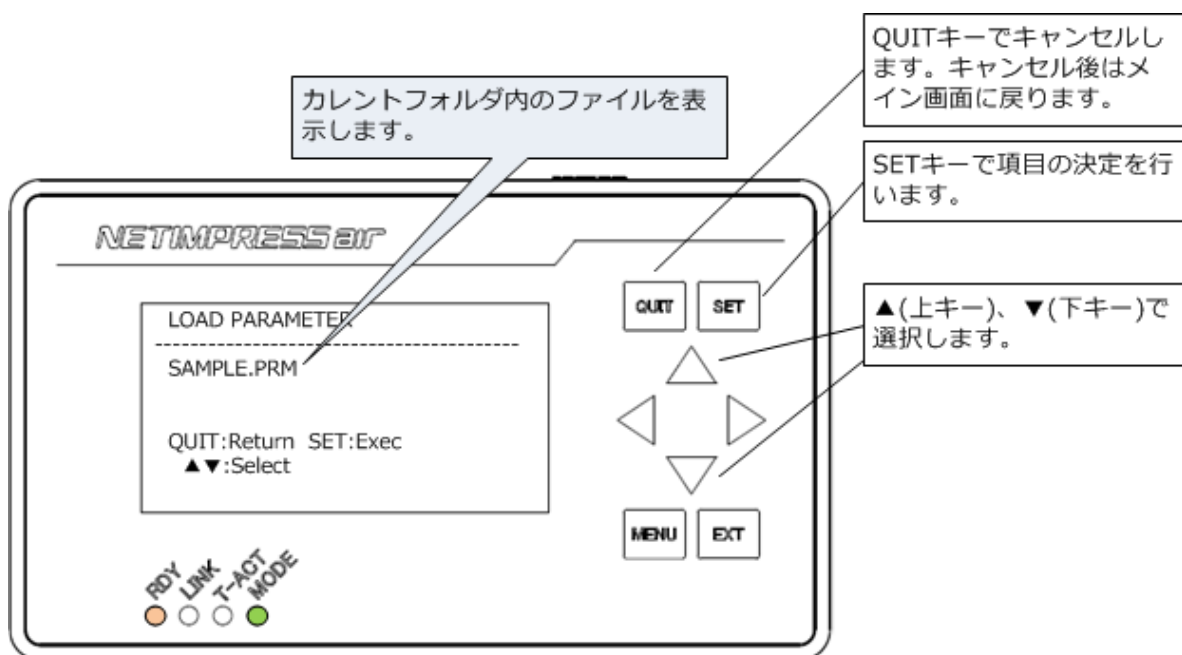
**!** カレントフォルダが選択されていない場合は、エラーとなります。

異なるマイコンパックのパラメータファイルのロードを行うと、バッファメモリのクリアが実行される場合があります。

① MENU:PRM のグループを表示し、“LOAD PARAMETER”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② ▲(上キー)、▼(下キー)でカレントフォルダ内のファイルを選択します。SET キーで指定した PRM ファイルへの設定変更を行います。

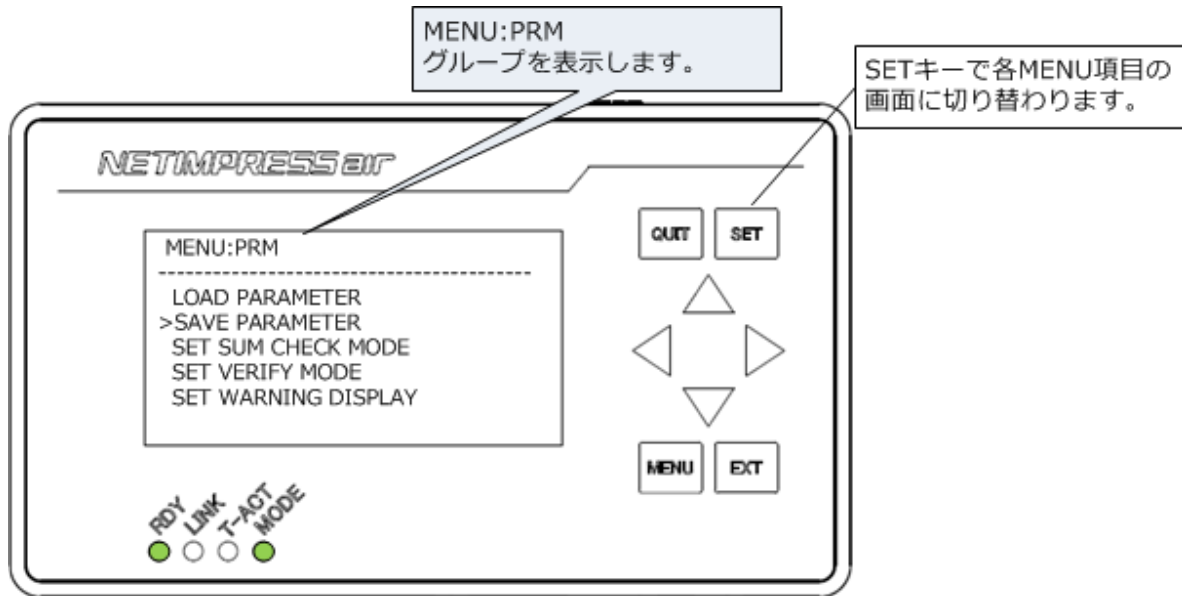


## 7.4.13. カレントフォルダのパラメータを保存する

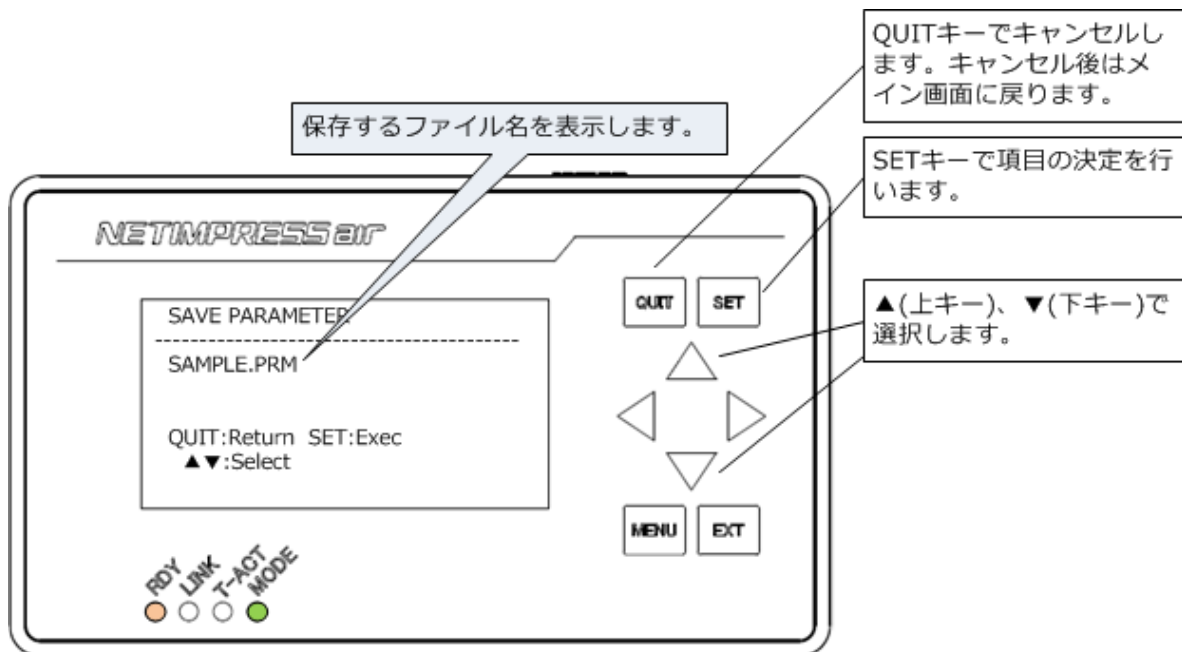
カレントフォルダに保存されているパラメータのバックアップを行います。

- !** カレントフォルダに既に置かれている.PRM ファイルを選択すると上書き保存されます。  
カレントフォルダの設定がない場合は、エラーとなります。

① MENU:PRM のグループを表示し、“SAVE PARAMETER”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② ▲(上キー)、▼(下キー)でカレントフォルダ内のファイルを選択します。SET キーで指定した PRM ファイルへの保存を実行します。RAMxxx.PRM で表示される、xxx が一番大きい数値のファイルを選択した場合は、新規にファイルを作成して保存します。



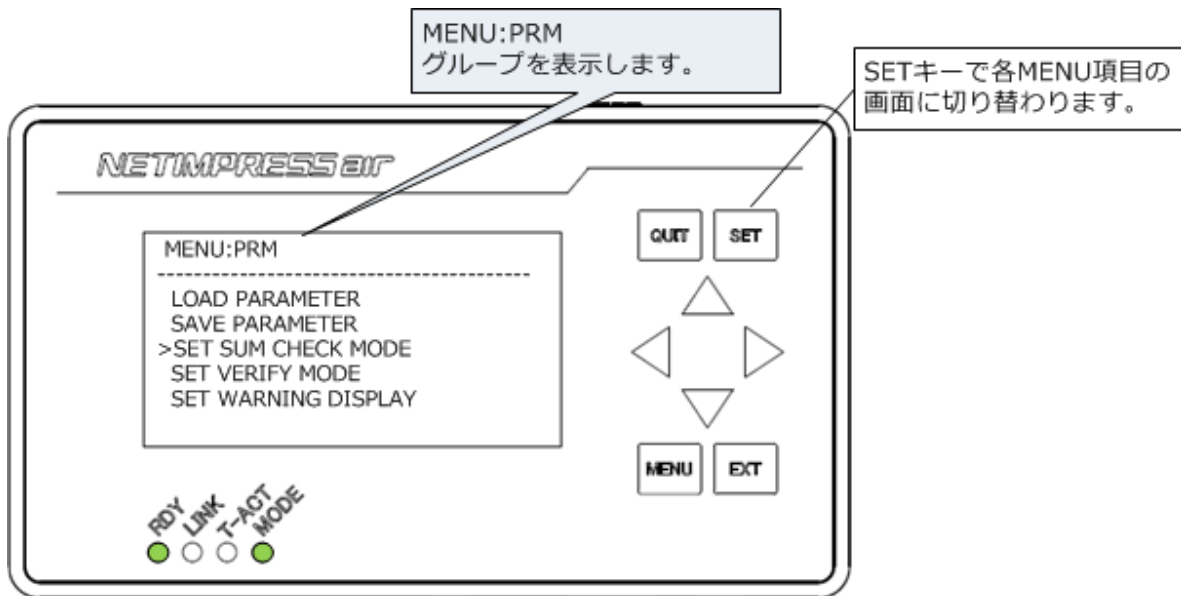
### 7.4.14. SUM 計算／表示の方法を変更する

以下操作で実行される、チェック SUM の計算及び計算結果の表示方法を変更します。

- ・ MENU の FOLDER グループから INFORMATION YIM を実行した時の SUM 値計算と表示。
- ・ AZ990(NETIMPRESS air Connect)から SUM Check を実行した時の SUM 値計算と表示。
- ・ ターゲットアクション実行中の SUM 値計算と実行後の計算値表示。

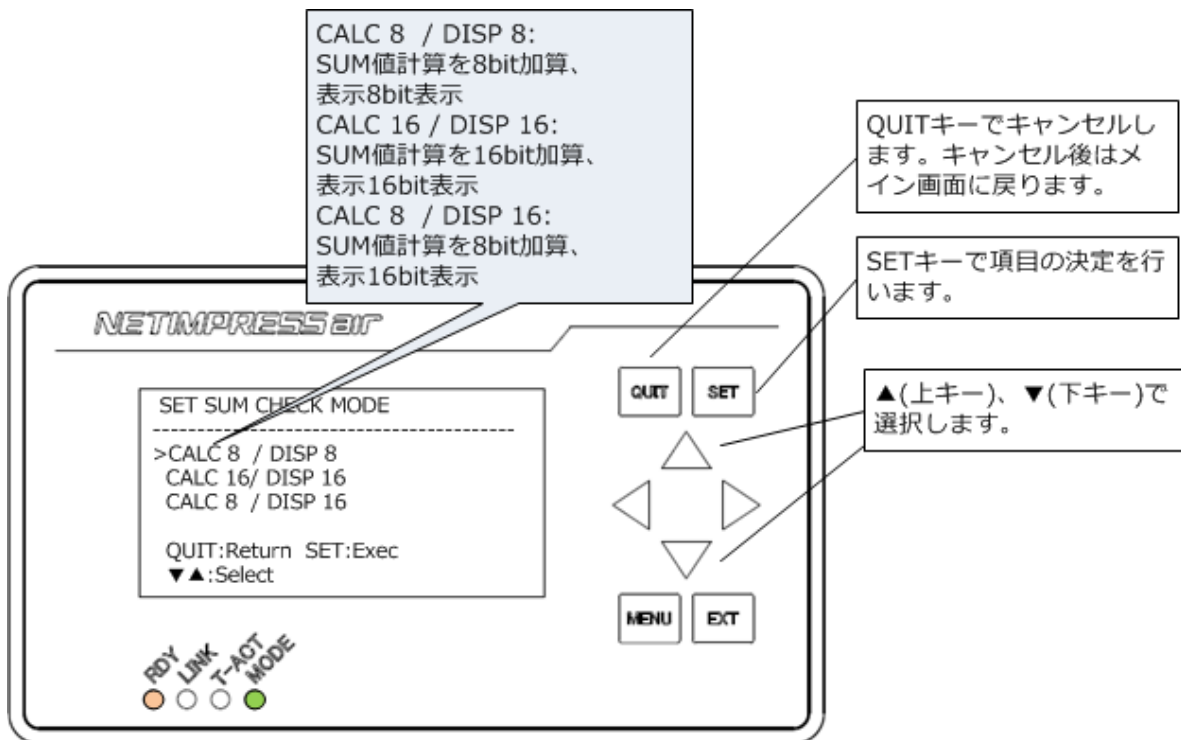
**!** カレントフォルダが選択されていない場合は、エラーとなります。

① MENU:PRM のグループを表示し、"SET SUM CHECK MODE"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② ▲(上キー)、▼(下キー)で項目を選択します。SET キーで決定します。

CALC 8 / DISP 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SUM 値計算を 8bit 加算</li> <li>● 表示 8bit 表示</li> </ul>
CALC 16 / DISP 16	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SUM 値計算を 16bit 加算</li> <li>● 表示 16bit 表示</li> </ul>
CALC 8 / DISP 16	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SUM 値計算を 8bit 加算</li> <li>● 表示 16bit 表示</li> </ul>



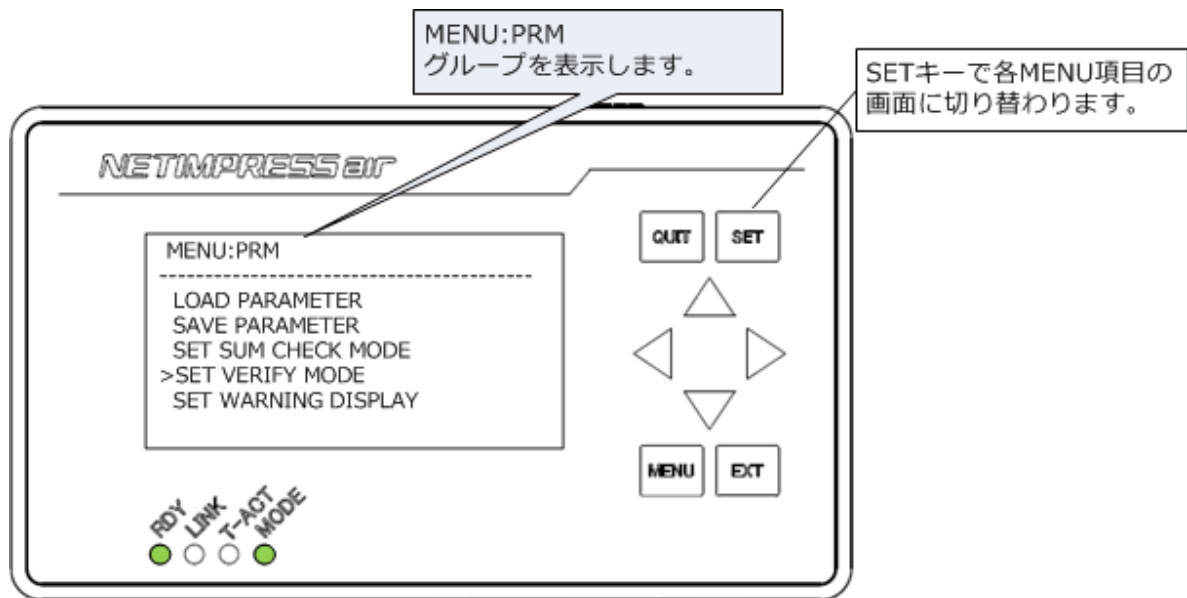
## 7.4.15. ターゲットアクションのベリファイモードを変更する

ターゲットアクションでベリファイを実行する時の、ベリファイ方法を変更します。

フルベリファイ、SUM ベリファイのどちらかを選択します。

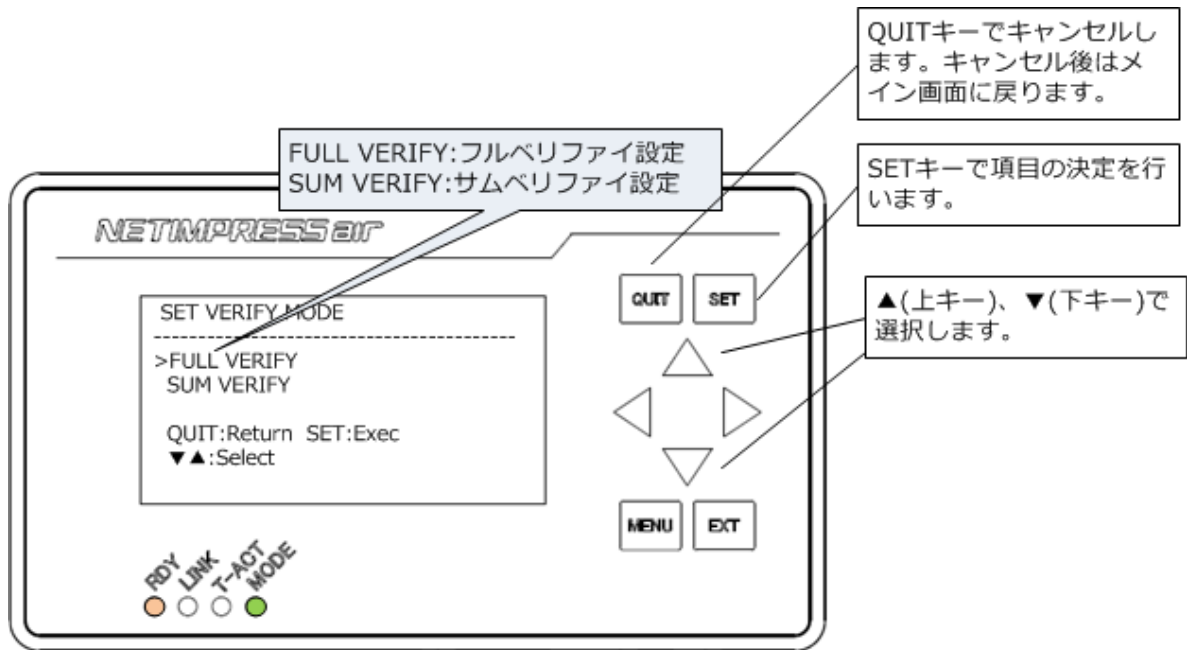
ベリファイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ターゲットのフラッシュ ROM に書き込みをしたデータを、読み出してデータのチェック行う。</li> <li>● フルベリファイ：読み出した全 ROM データと、書き込み元のデータ(カレントフォルダ内のバッファメモリ等)とのフルコンペアを実行する。</li> <li>● SUM ベリファイ：読み出した ROM データの SUM 値を計算し、書き込み元データの SUM 値とコンペアを実行する。</li> </ul>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

① MENU:PRM のグループを表示し、“SET VERIFY MODE”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。





② ▲(上キー)、▼(下キー)で項目を選択します。SET キーで決定します。



#### 7.4.16. ワーニング出力の変更を行う

以下状態の時の、本機はワーニングメッセージを出力する機能があります。本設定は、出力の ON / OFF の変更を行います。

1. バッファメモリへのデータダウンロード時にバッファメモリ領域外のエリアへデータがロードされる操作がされた場合。
2. ターゲットアクション実行領域が、対象となるデバイスの全領域と異なる場合。  
(ターゲットアクション実行領域が一部書き込み領域の指定となっていた場合)



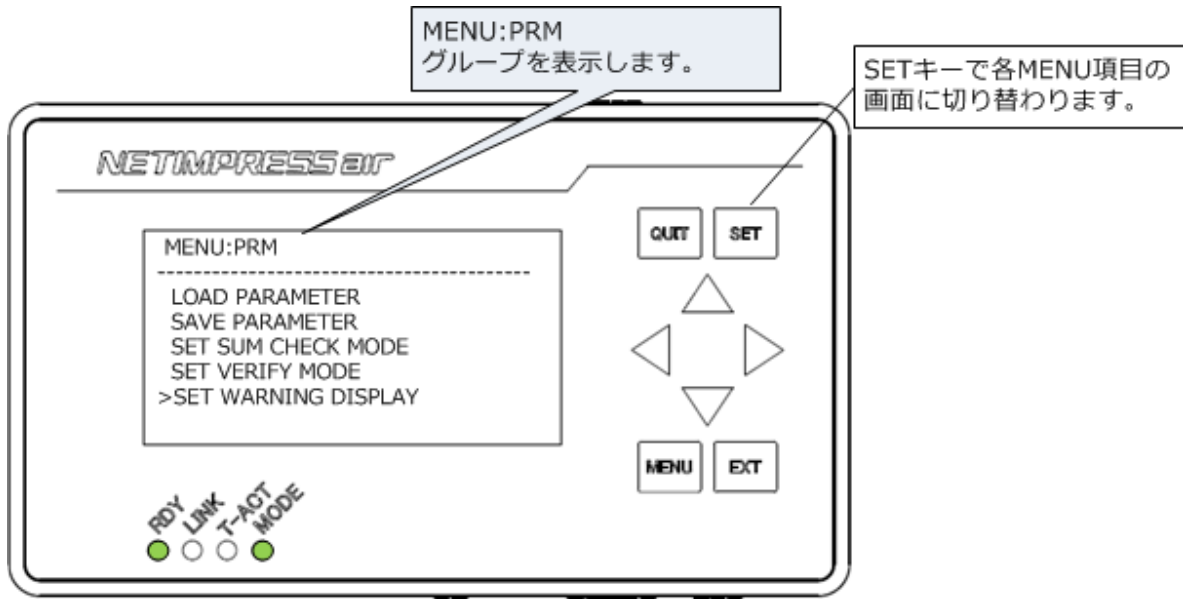
本設定を OFF にすると上記検知が OFF になります。

カレントフォルダが選択されていない場合は、エラーとなります。

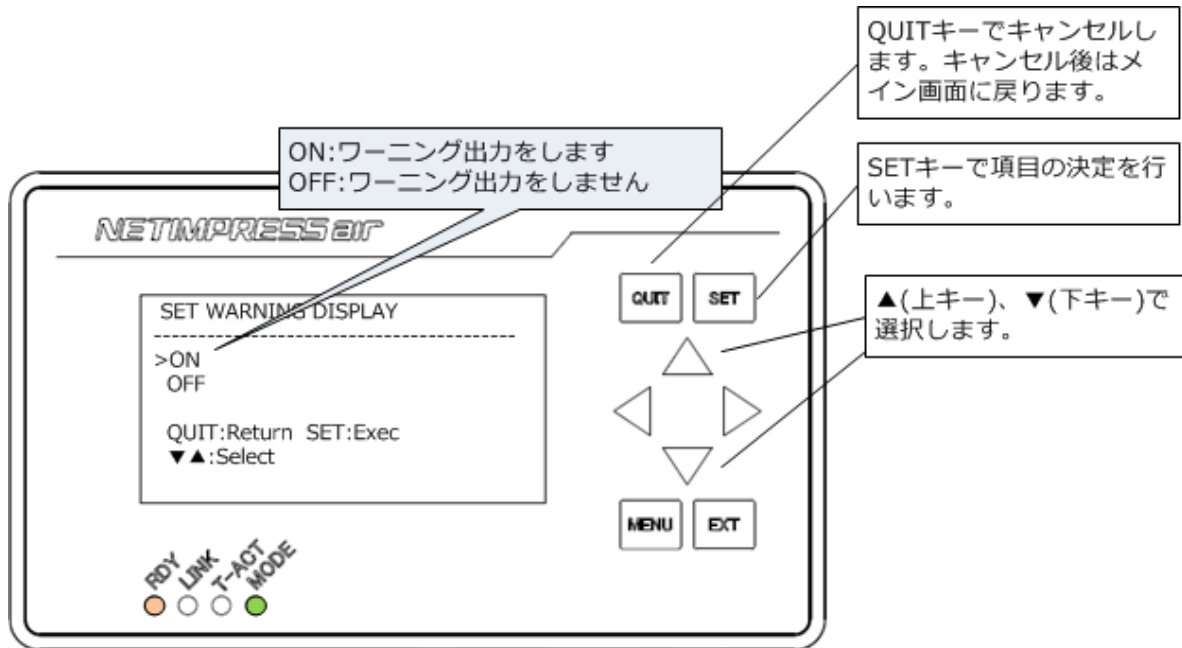


ON 設定の場合、ターゲットアクション実行領域が一部領域の設定となっていた場合の検知や、ダウンロードしたオブジェクトデータがエリア外のデータを含んでいた場合の検知を行えます。

- ① MENU:PRM のグループを表示し、"SET WARNING DISPLAY"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。

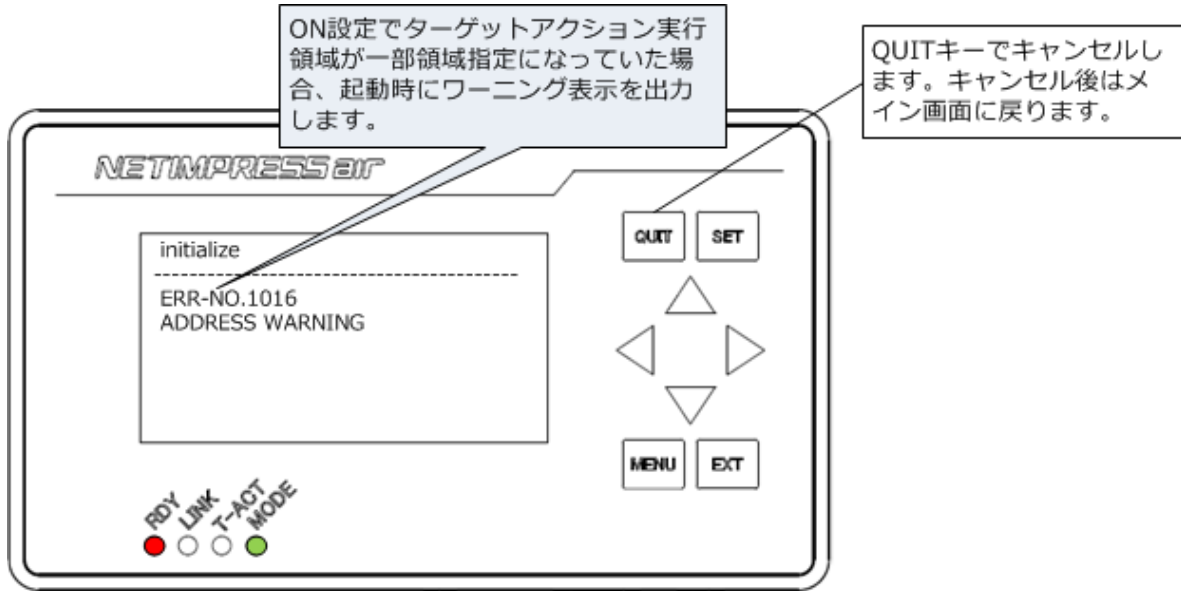


- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で項目を選択します。SET キーで決定します。

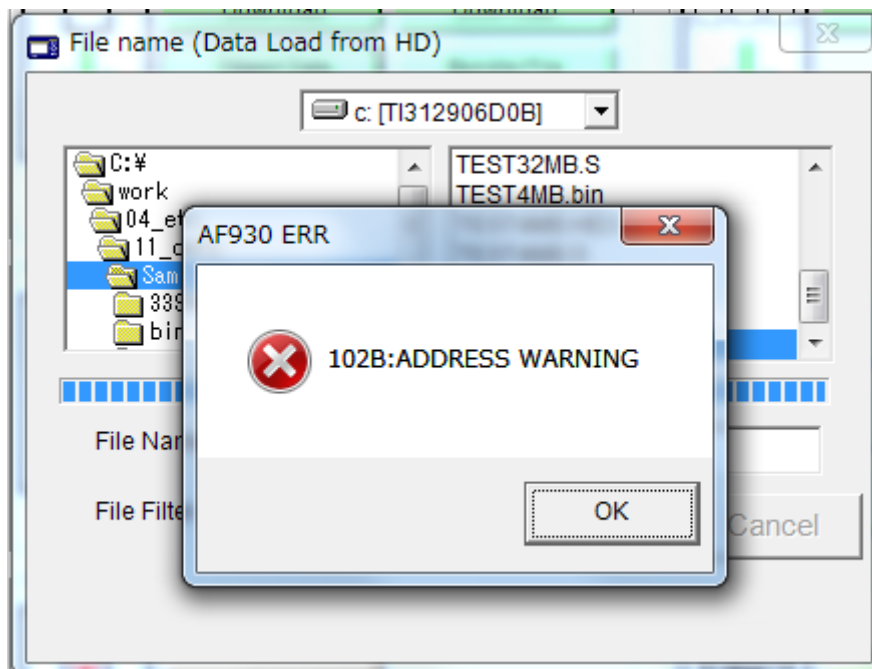


※ ワーニング表示が ON の設定の場合：

カレントフォルダに設定されているターゲットアクション実行領域が一部指定となっていた場合に、起動時のチェックでワーニング表示を出力します。



オブジェクトデータを AZ990 経由でダウンロードした場合に、バッファのエリア外のデータであった場合、ワーニング表示を出力します。



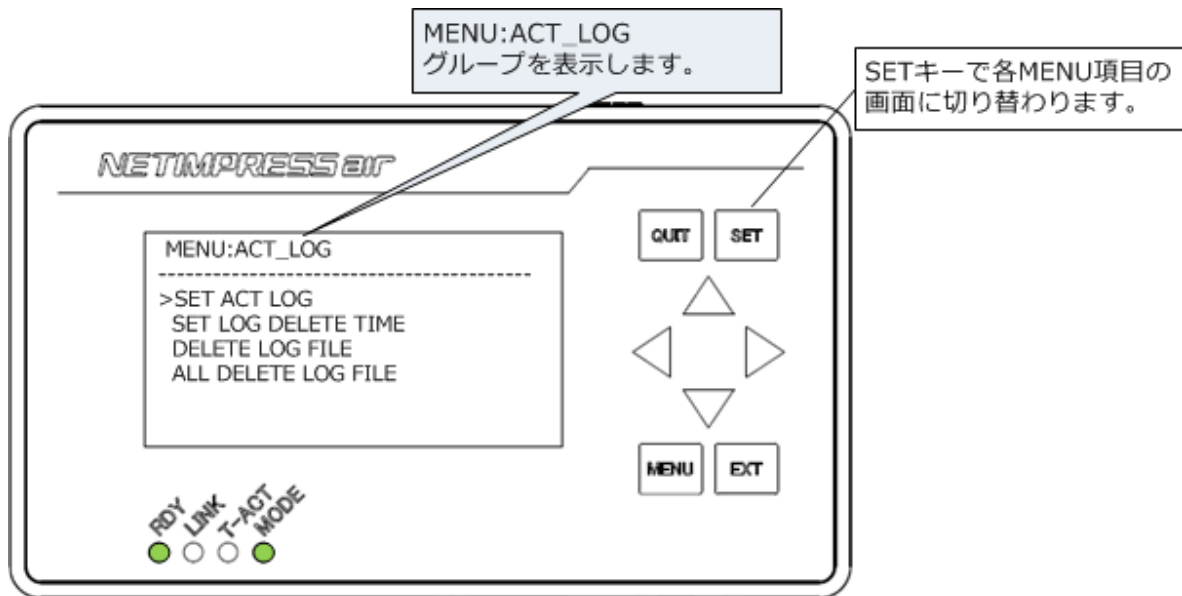
## 7.4.17. 実行ログの ON/OFF 設定をする

本機は、ターゲットアクションなどの本機を操作して実行した内容を、ログファイルに出力する機能があります。本設定で、ログを ON の設定にすると、実行したコマンドと実行結果をログに保存します。

OFF 設定の場合はログの保存は実行されません。

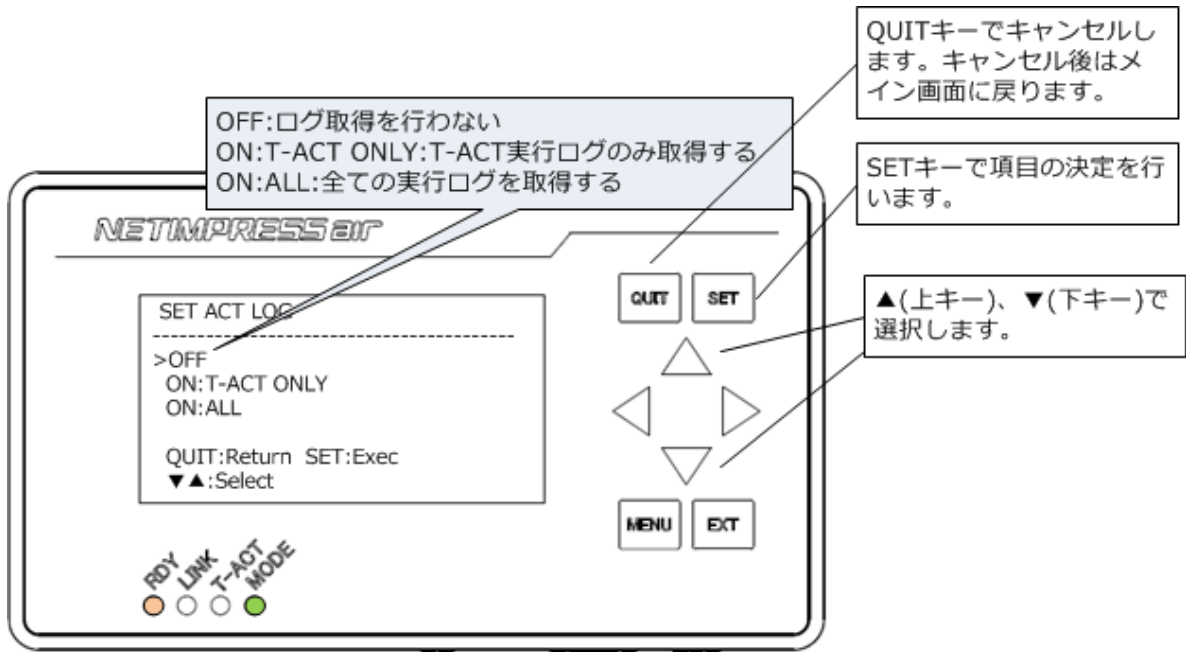
**!** 本設定を ON にして運用した場合、ログを保存するため専用 SD カードへのアクセスが増えます。保存されているログファイルの数により、ファイルへのアクセスに時間がかかる場合があります。この場合、前回実行した操作から次の操作を行うまでに、多少の待ち時間が発生することがあります。

- ① MENU:ACT\_LOG のグループを表示し、“SET ACT LOG”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で項目を選択します。SET キーで決定します。

OFF	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ログの取得を行わない</li> </ul>
ON:T-ACT ONLY	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ターゲットアクションの実行結果のログのみ保存する</li> </ul>
ON:ALL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機で実行可能な全ての実行結果をログに保存する</li> </ul>



## 7.4.18. 実行ログの自動消去時間を設定する

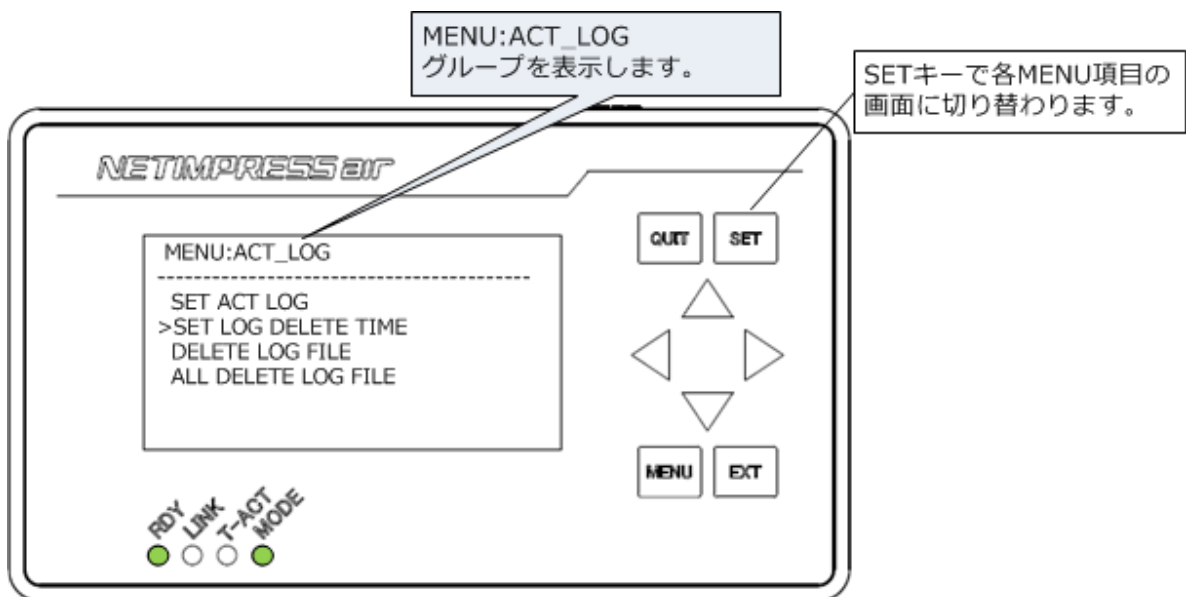
古い実行ログファイルを自動で消去するための設定を行います。本機に設定されている時間から、設定した時間より以前のログファイルを全て消去します。

自動消去は起動時と、新規にログファイルが作成されるタイミングで実行されます。



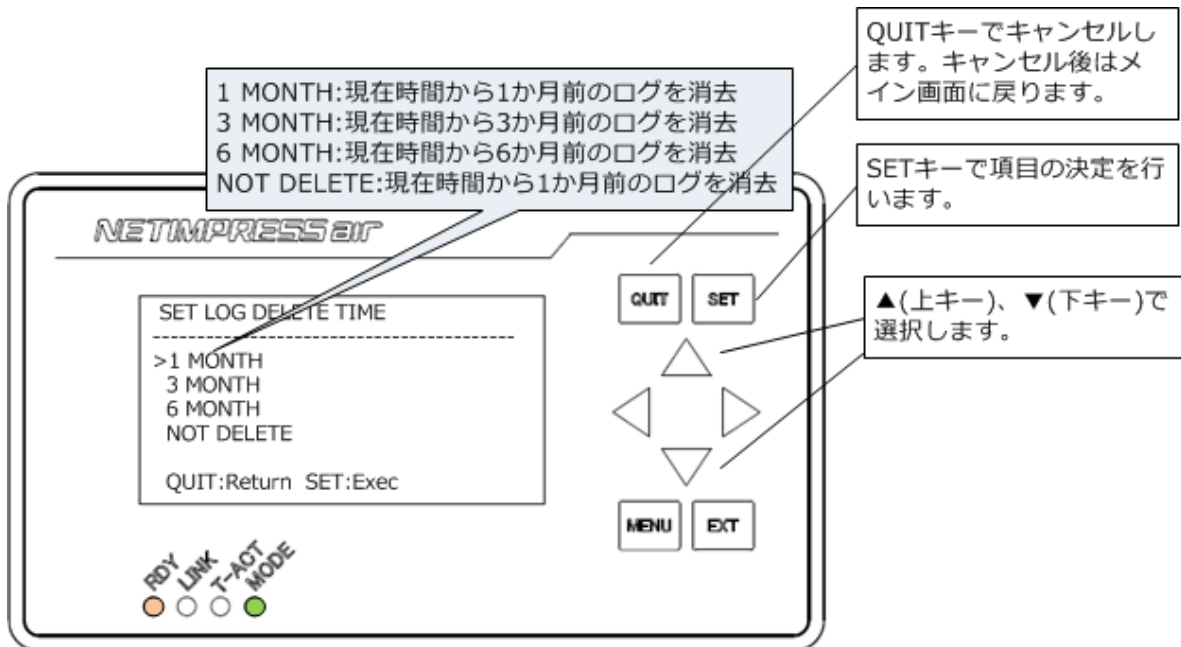
本設定を ON にして運用した場合、古いログファイルが大量にある場合に自動消去が実行されると応答に時間がかかる場合があります。

① MENU:ACT\_LOG のグループを表示し、“SET LOG DELETE TIME”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② ▲(上キー)、▼(下キー)で項目を選択します。SET キーで決定します。

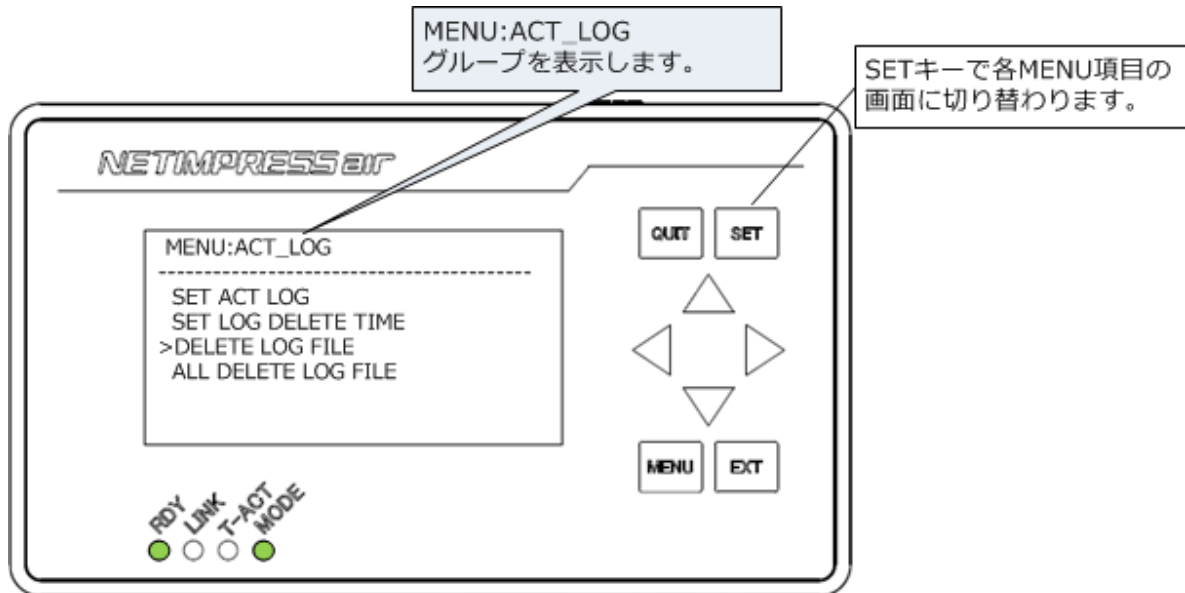
1 MONTH	● 1ヶ月より前のログファイルを全て消去する
3 MONTH	● 3ヶ月より前のログファイルを全て消去する
6 MONTH	● 6ヶ月より前のログファイルを全て消去する
NOT DELETE	● ログファイルの自動消去を実行しない



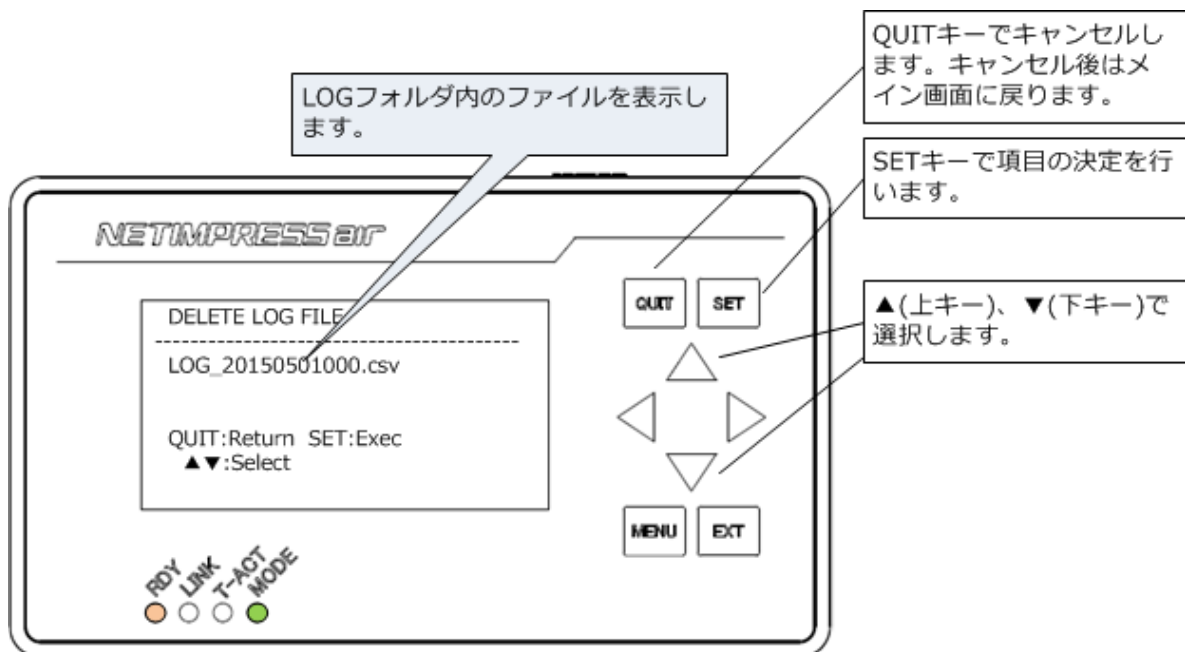
## 7.4.19. 実行ログファイルを消去する

実行ログファイルを一つ選択して消去します。

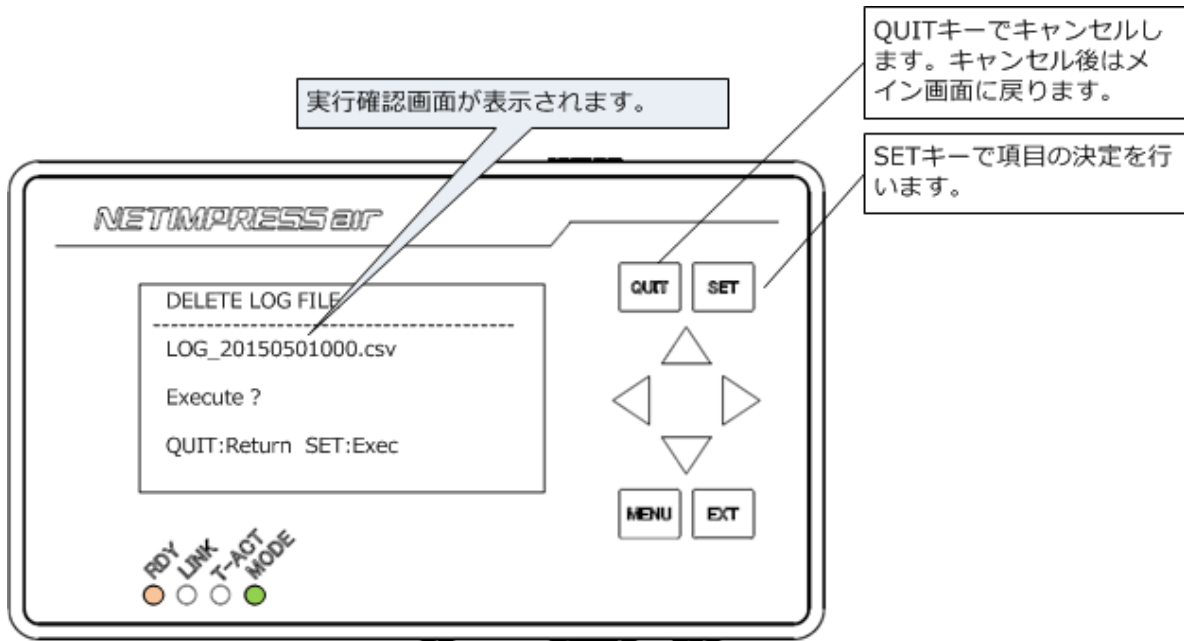
- ① MENU:ACT\_LOG のグループを表示し、“DELETE LOG FILE”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で LOG フォルダ内のファイルを選択します。SET キーで指定したファイルの消去確認画面が表示されます(③)。



③ 再度 SET キーで消去を実行する。



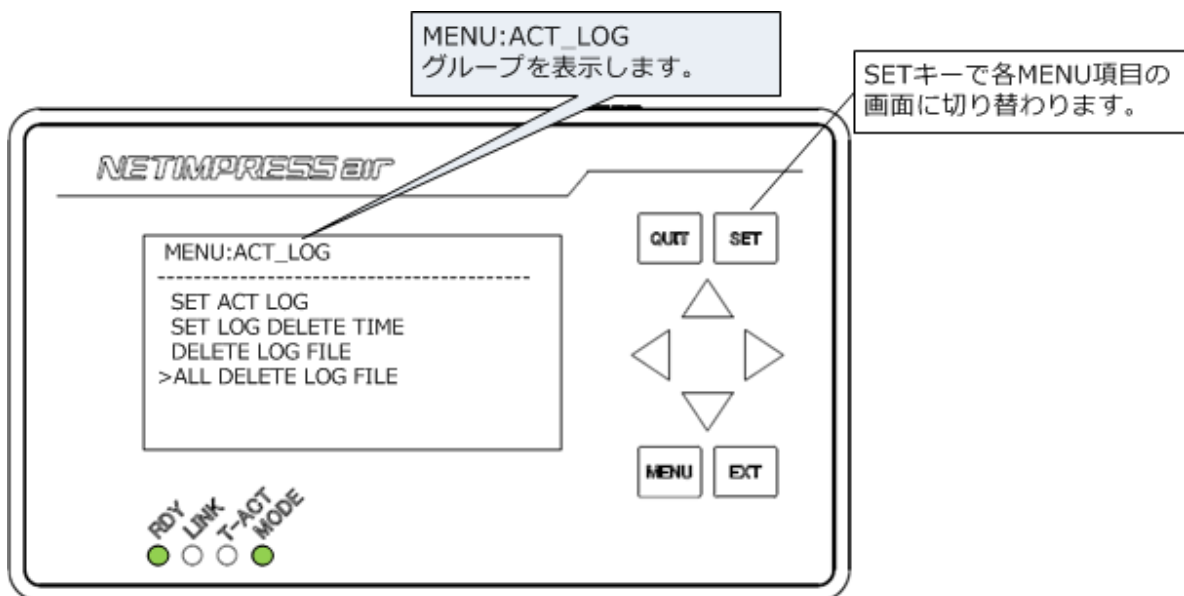
## 7.4.20. 全ての実行ログファイルを消去する

ログフォルダ内の全ての実行ログファイルを消去します。



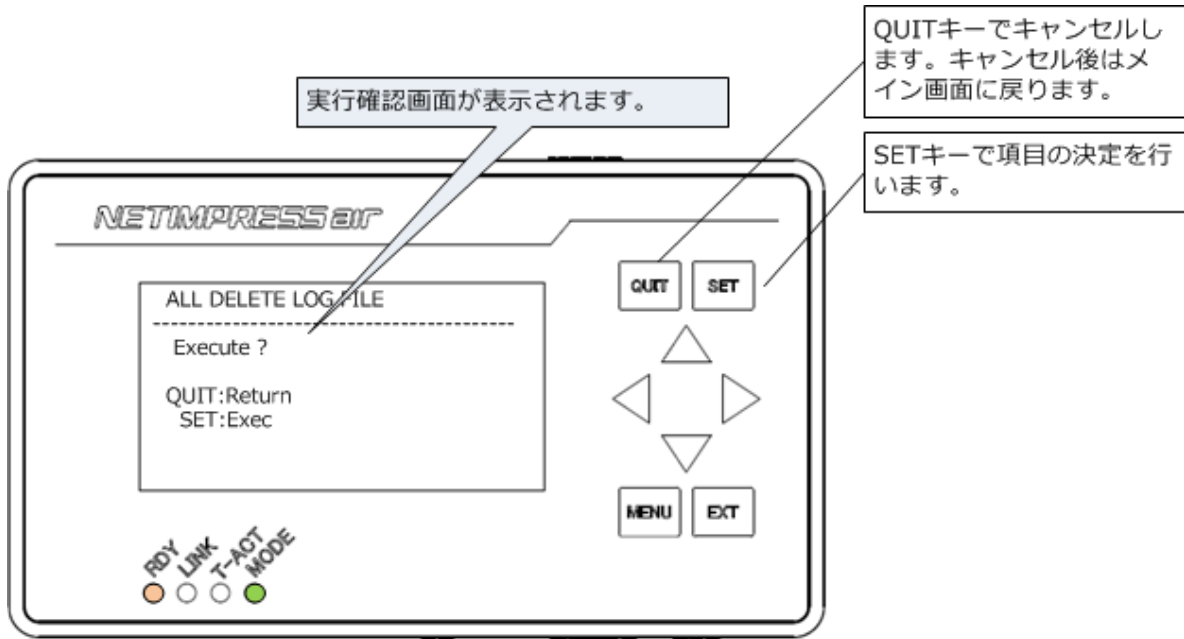
ログ取得の設定で ON:ALL(全てのログを取得)になっている場合、全て消去後に新規にログファイルを作成します。この場合ログファイルは必ず一つ残っている状態となります。

① MENU:ACT\_LOG のグループを表示し、“ALL DELETE LOG FILE”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。





② SET キーで実行する。



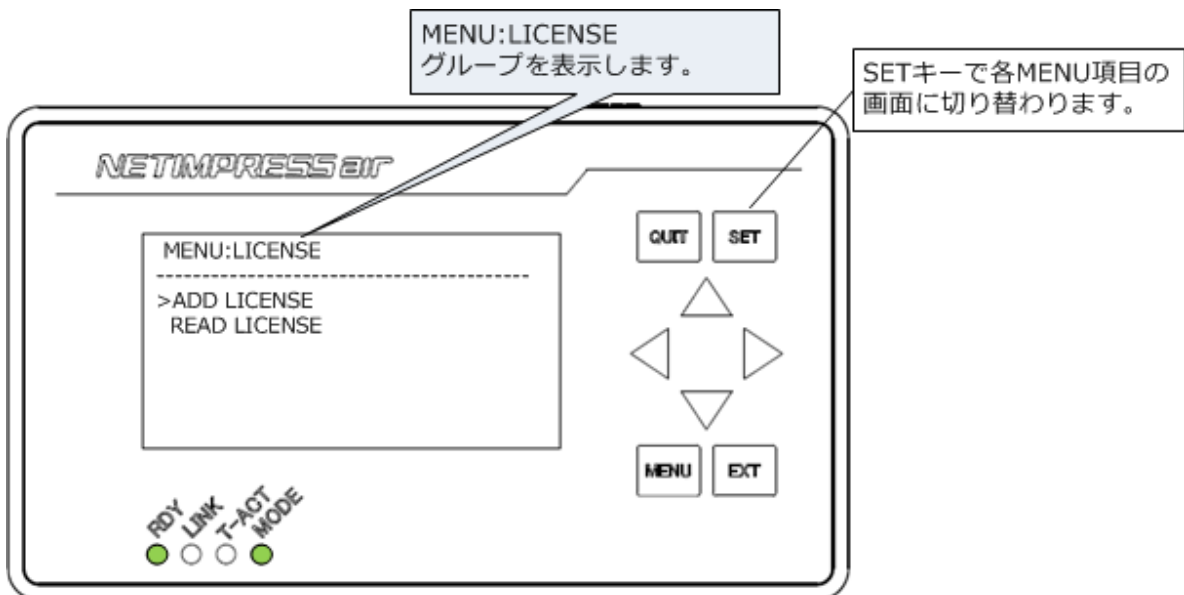
## 7.4.21. 定義体ライセンスを追加する

拡張子 (.ALC) ファイルを専用 SD カードのルートディレクトリに置いて、本操作を実行すると定義体ライセンスの追加登録が行えます。

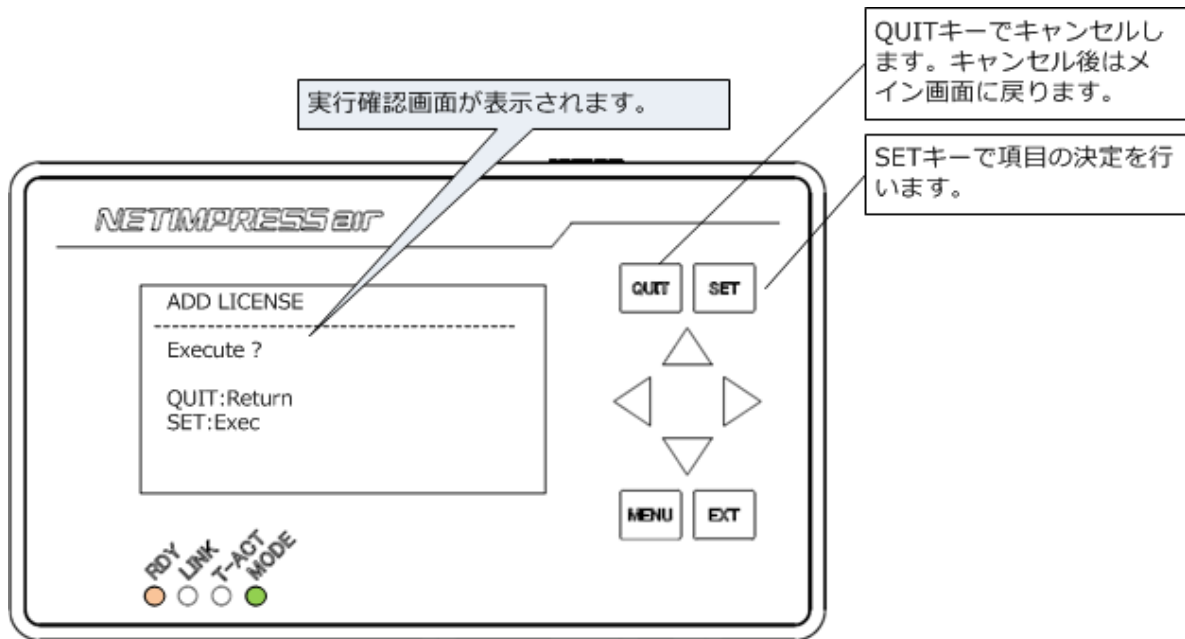
ALC ファイルが複数置いてある場合、本操作を一度実行することで置いてあるファイル全ての定義体ライセンス登録が実行できます。

**!** ALC ファイルを複数置いて、本操作を実行して途中でエラーとなった場合、エラーとなる直前までの定義体ライセンスは登録ができています。

① MENU: LICENSE のグループを表示し、"ADD LICENSE に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



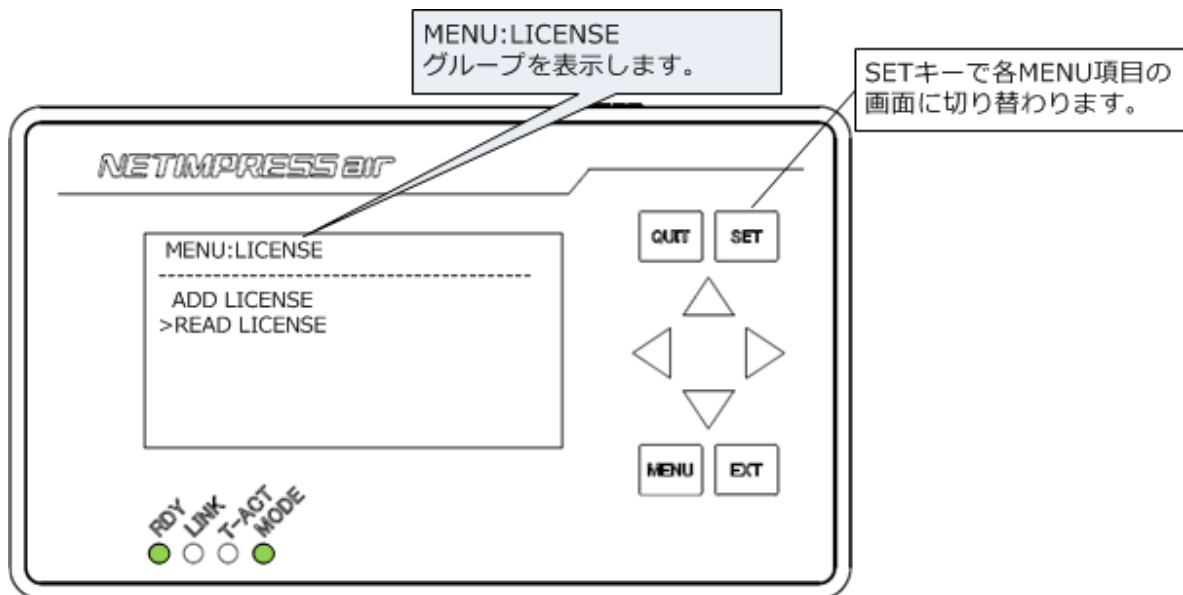
- ② SET キーで実行する。



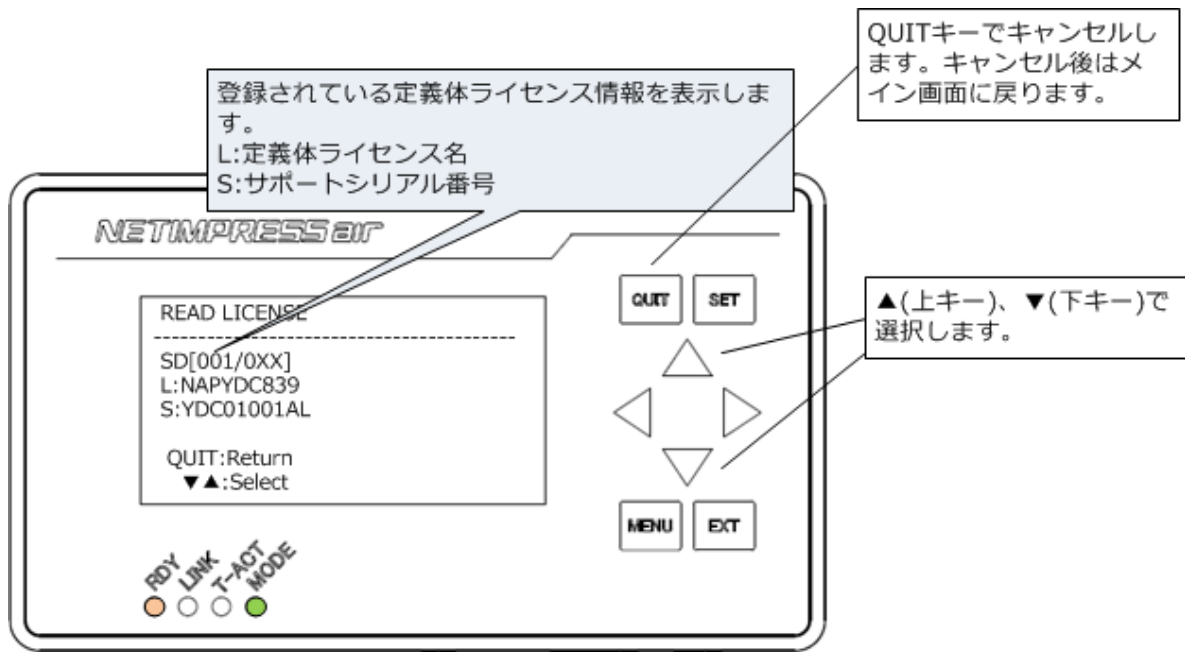
#### 7.4.22. 登録されている定義体ライセンス情報を確認する

登録されている定義体ライセンス情報の確認が行えます。

- ① MENU: LICENSE のグループを表示し、"LICENSE"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② 複数定義体ライセンスが登録されている場合は、▲(上キー)、▼(下キー)で定義体ライセンスを情報をご確認いただけます。

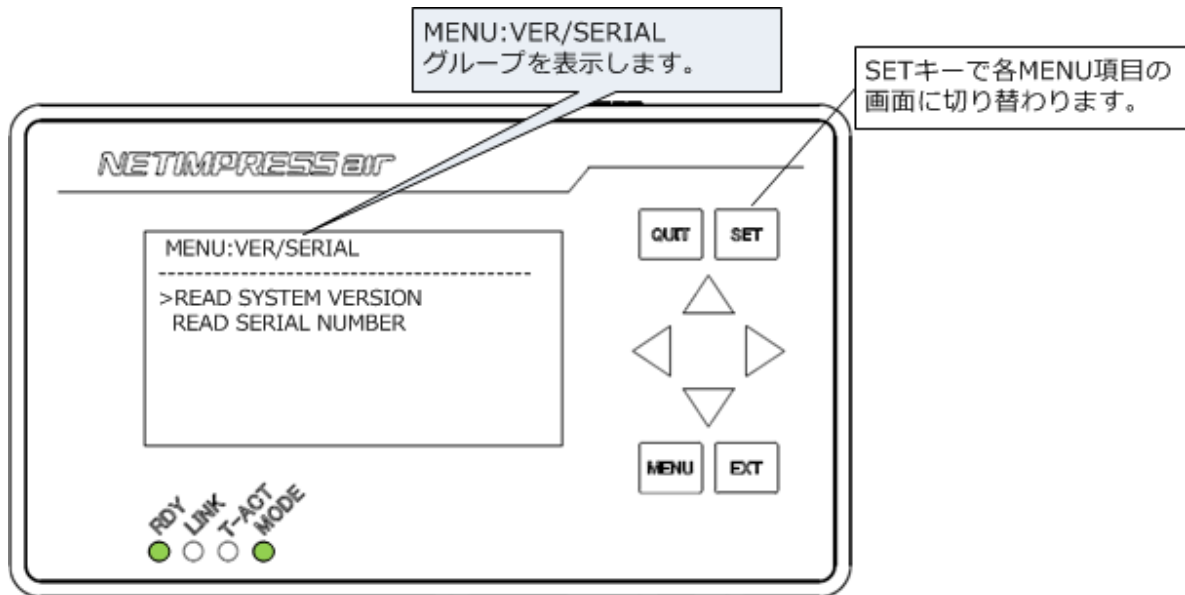


LCD:3行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SD[YYY/XXX] : 専用 SD カードの定義体ライセンス情報を表示していることを示します。XXX はトータル数、YYY は登録番号になります。</li> <li>● HD[YYY/XXX] : 本機に登録されているライセンス(ロガーライセンス)情報を表示していることを示します。</li> </ul> <p>※ YYY の登録番号は、専用 SD カードまたは本機に登録された順番を示す番号であるため、定義体ライセンス情報には特に関係はありません。</p>
LCD:4行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定義体ライセンス名を表示します。</li> </ul>
LCD:5行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4 行目の定義体ライセンス情報に対応するサポートシリアルの情報を表示します</li> </ul>

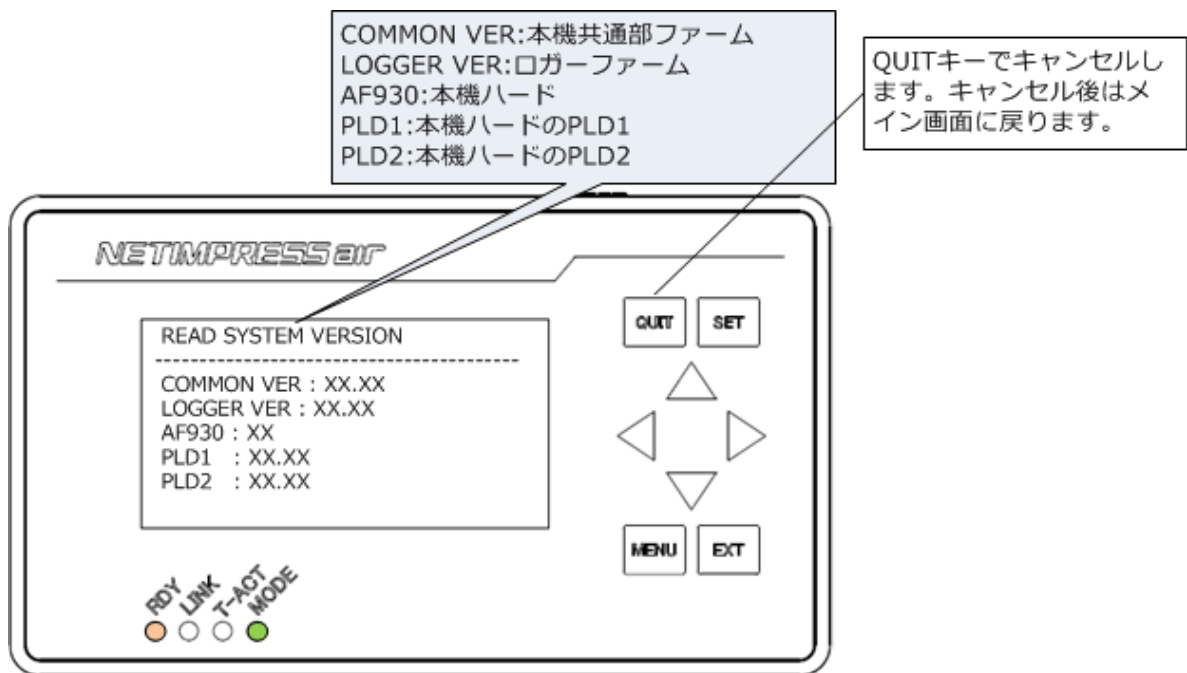
### 7.4.23. システムバージョンを確認する

本機のハードウェア、ファームウェアのバージョンを LCD に表示します。

- ① MENU: VER/SERIAL のグループを表示し、"READ SYSTEM VERSION"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② バージョン情報が LCD に表示されます。

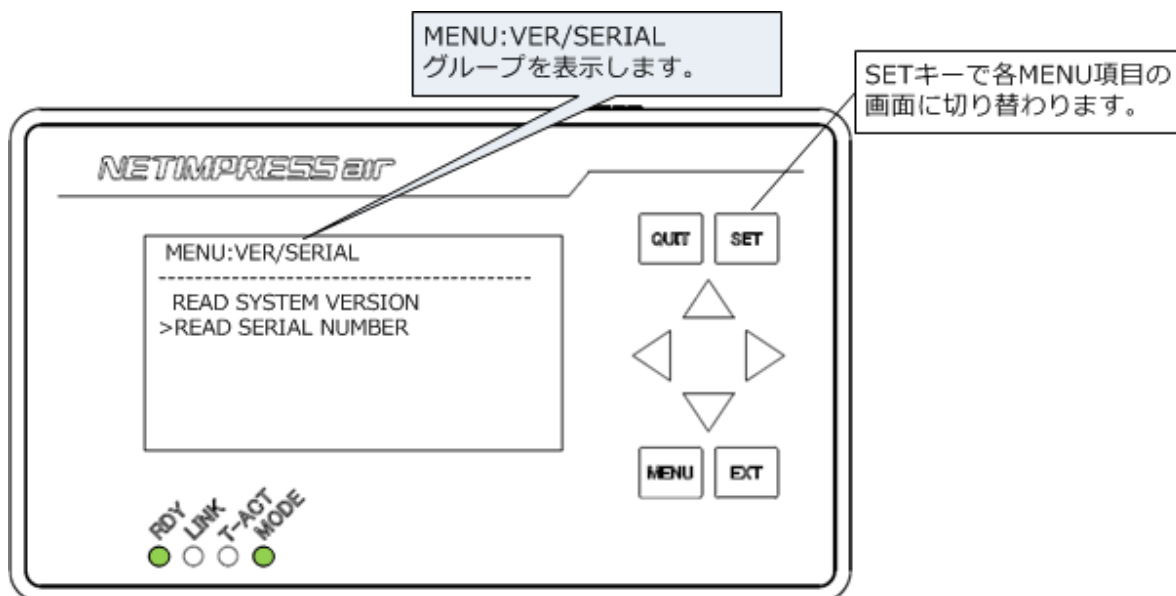


AF930	● 本機のハードウェア Rev を表示します
PLD1	● 本機のハードウェアに実装されている、PLD1 のバージョンを表示します
PLD2	● 本機のハードウェアに実装されている、PLD2 のバージョンを表示します
COMMON VER	● 本機の共通部ファームウェアのバージョンを表示します
LOGGER VER	● オプションのロガー機能が設定されている場合、ロガー用ファームウェアのバージョンを表示します。(設定がない場合は、空欄になります)

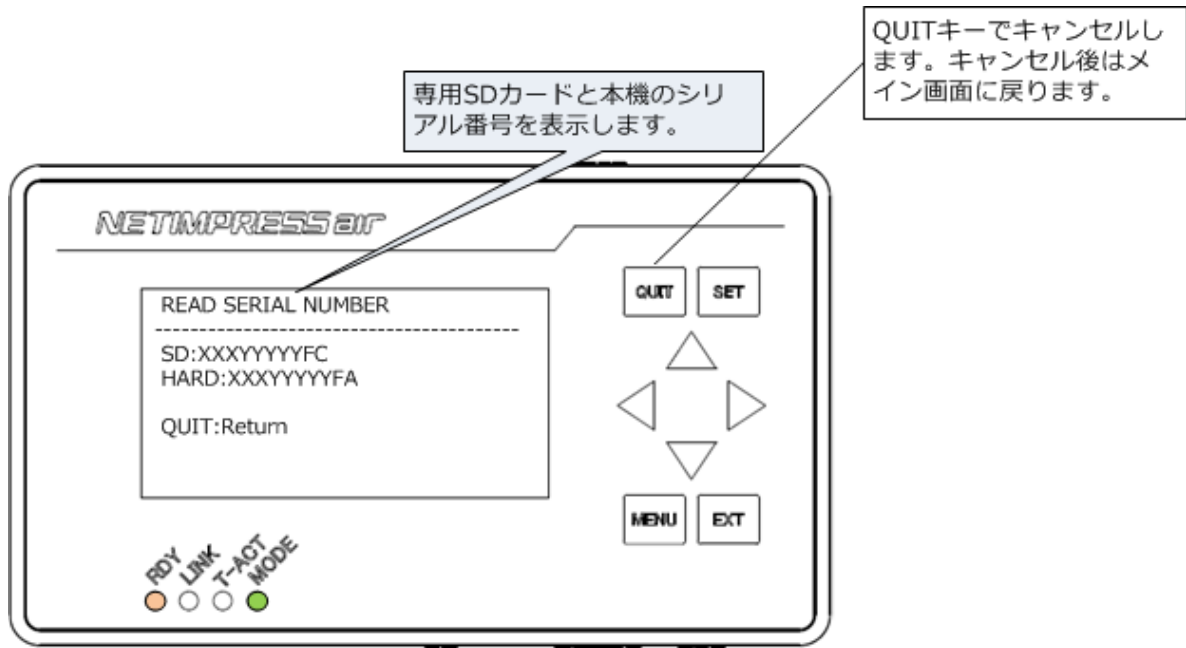
## 7.4.24. 専用 SD カード／本体のシリアル番号を表示する

専用 SD カード及び本体に登録されている、シリアル番号を表示します。定義体ライセンス登録時、または弊社への問い合わせ時にご確認ください。

- ① MENU: VER/SERIAL のグループを表示し、” READ SERIAL NUMBER”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② 専用 SD カード及び本機に登録されているシリアル番号を表示します。



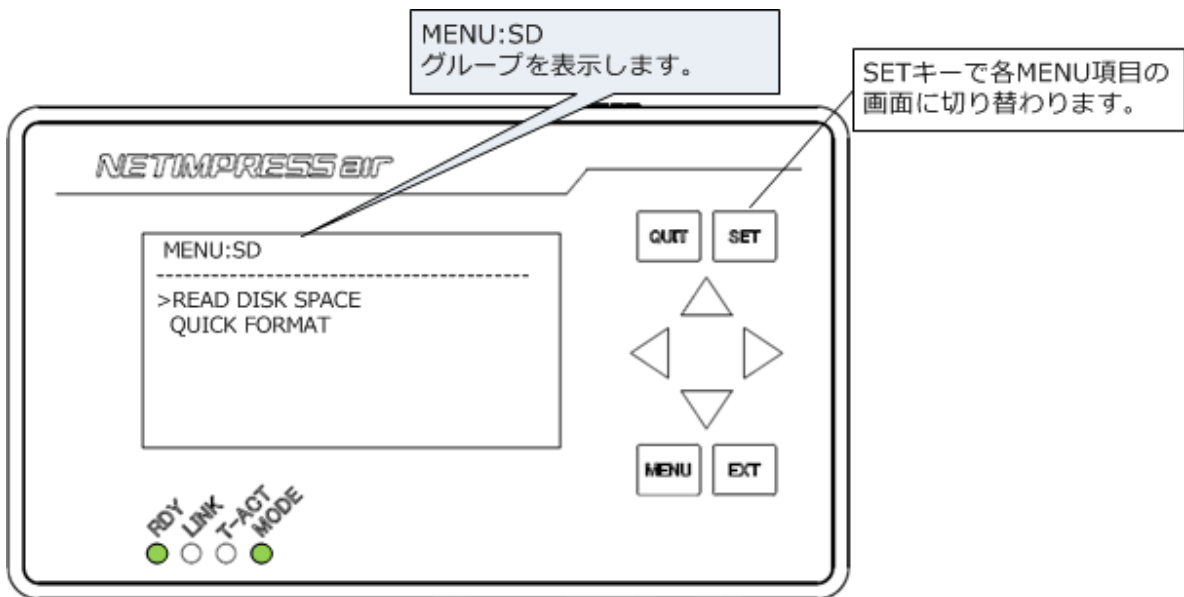
SD:	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 専用 SD カードに登録されているシリアル番号を表示します</li> </ul>
HARD:	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機に登録されているシリアル番号表示します。</li> </ul>

## 7.4.25. 専用 SD カードの空き容量を確認する

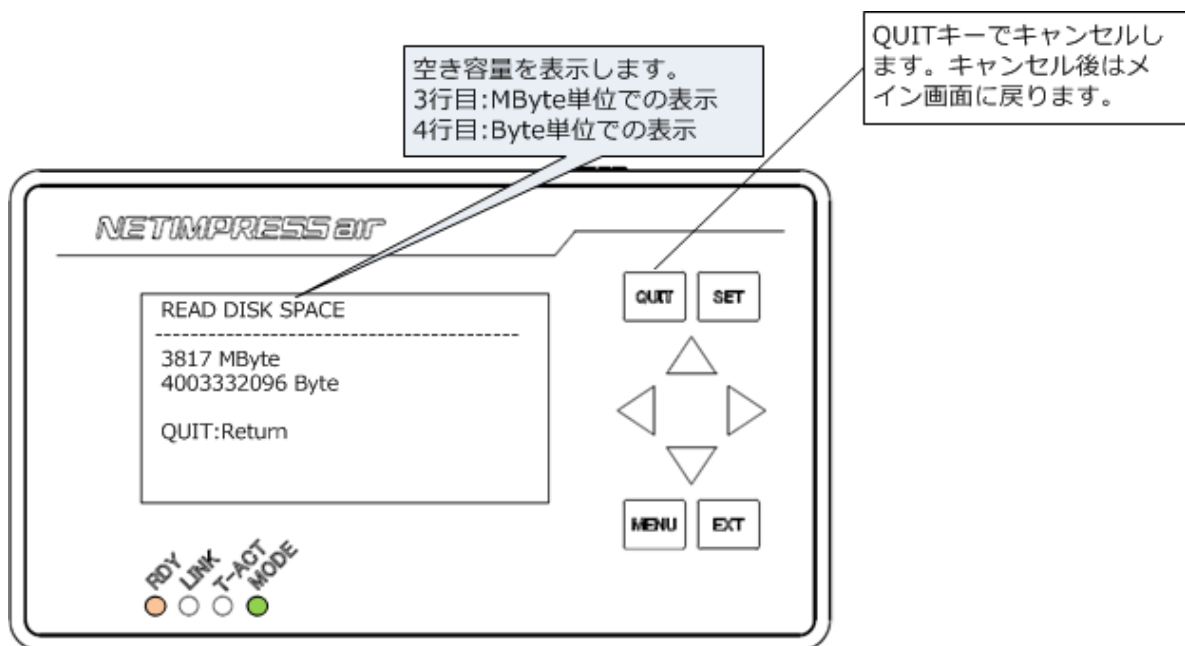
専用 SD カードの空き容量を確認し、LCD に表示します。

**!** PC 上で SD の空き容量を確認してから、本機に専用 SD カードを挿入して本操作を行った場合空き容量が一致しない場合があります。(本機で実行ログの設定が ON になっている場合など、挿入時にファイルの操作が行われる場合があるため、空き容量が増減する場合があります)

- ① MENU:SD のグループを表示し、” READ DISK SPACE”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② 専用 SD カードの空き容量を計算して、LCD に表示します。



## 7.4.26. 専用 SD カードをクイックフォーマットする

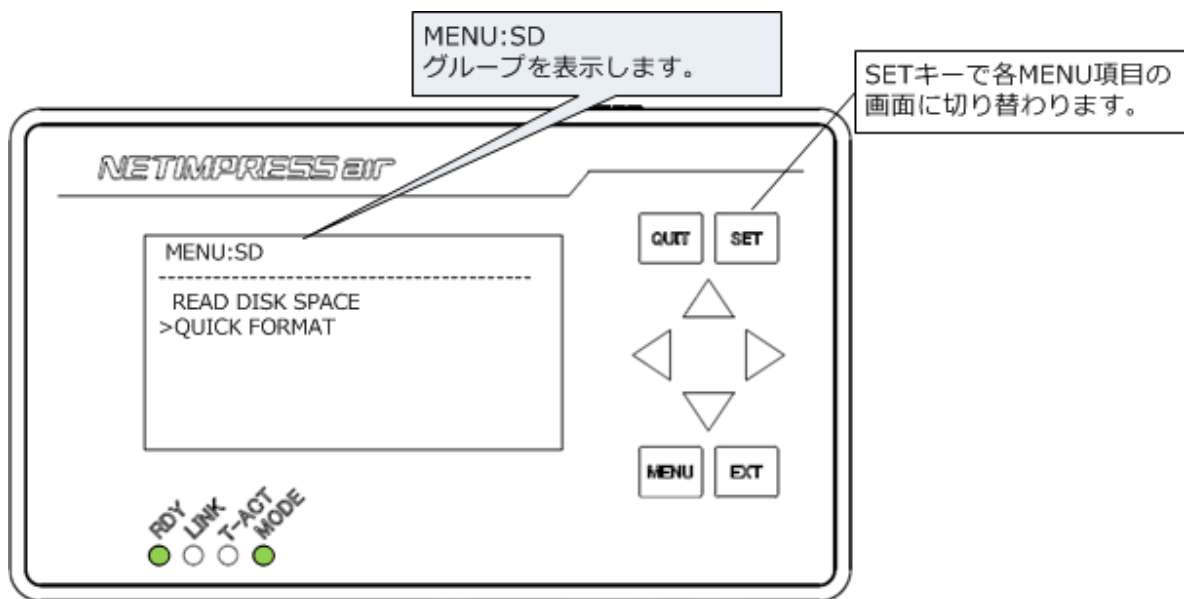
本機に挿入されている専用 SD カードをクイックフォーマットします。

**!** フォーマットを実行すると全てのフォルダ、ファイルが専用 SD カードから消去されます。復元はできませんので、ご注意ください。

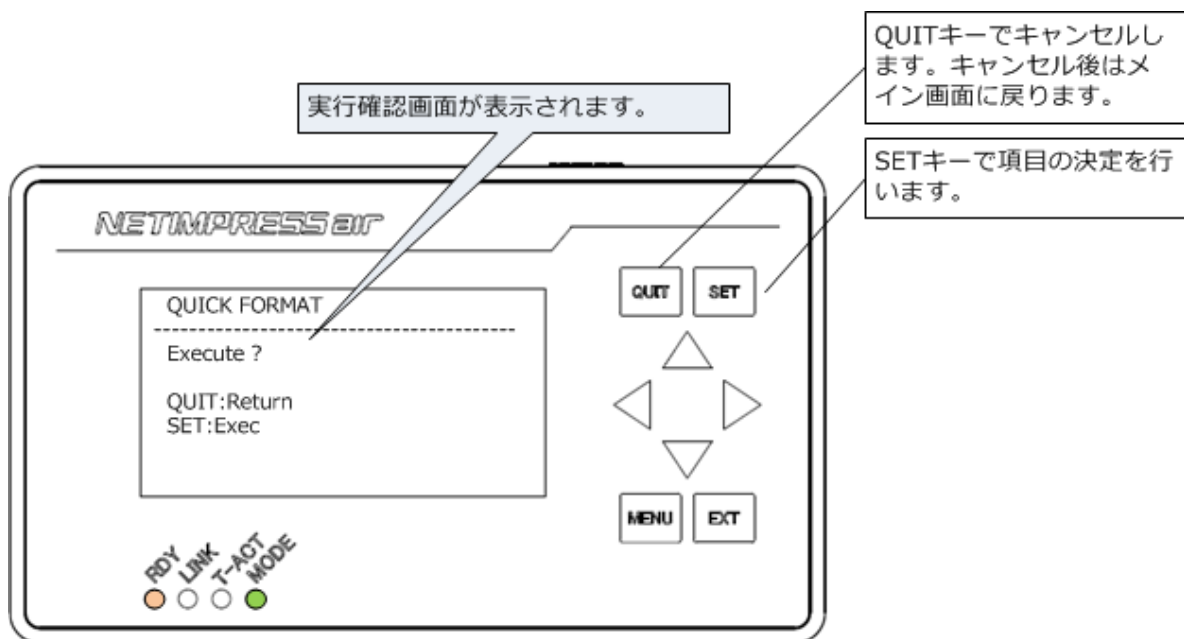
フォーマット形式を選択することはできません。

実行ログ設定が ON になっている場合は、クイックフォーマット後に新規で LOG フォルダが作成されます。

- ① MENU:SD のグループを表示し、" QUICK FORMAT"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② SET キーでクイックフォーマットを実行します。





## 7.4.27. ロガー用ファームウェアのアップデートを行う

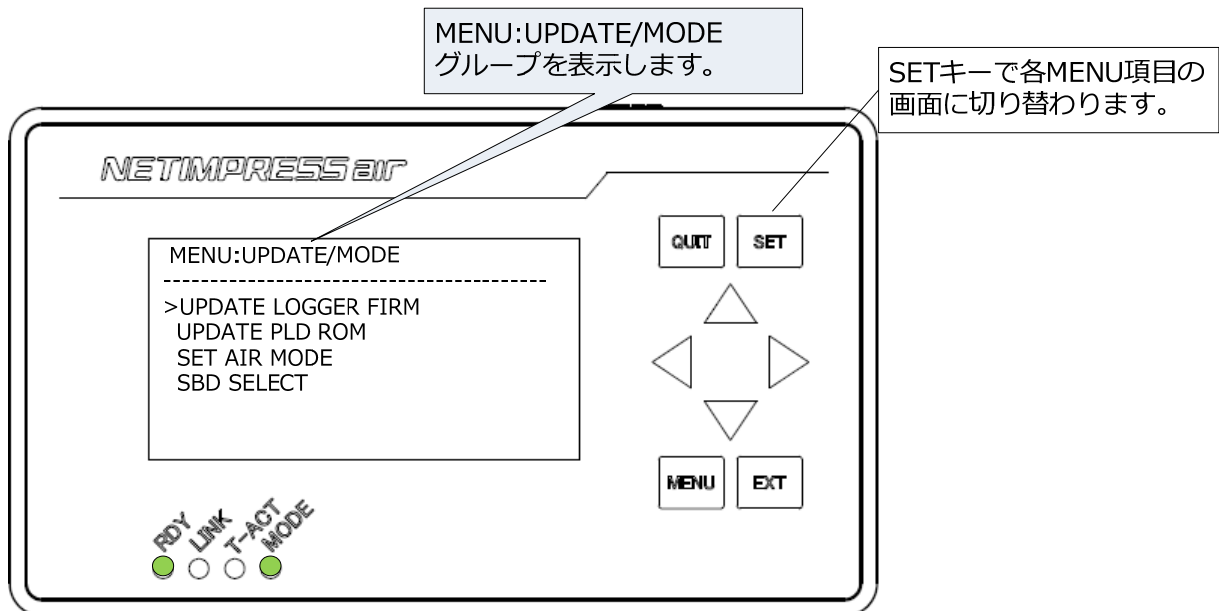
本操作は、オプションのロガー機能を使用する場合に行います。ロガー機能を初めて使用する時、またはロガーファームウェアがアップデートされた場合に、本操作からファームウェアのアップデートを実行します。

**!** 本操作を行う場合、対応する定義体ライセンスが本機に登録されている必要があります。定義体ライセンス未登録時はアップデート実行はエラーとなります。

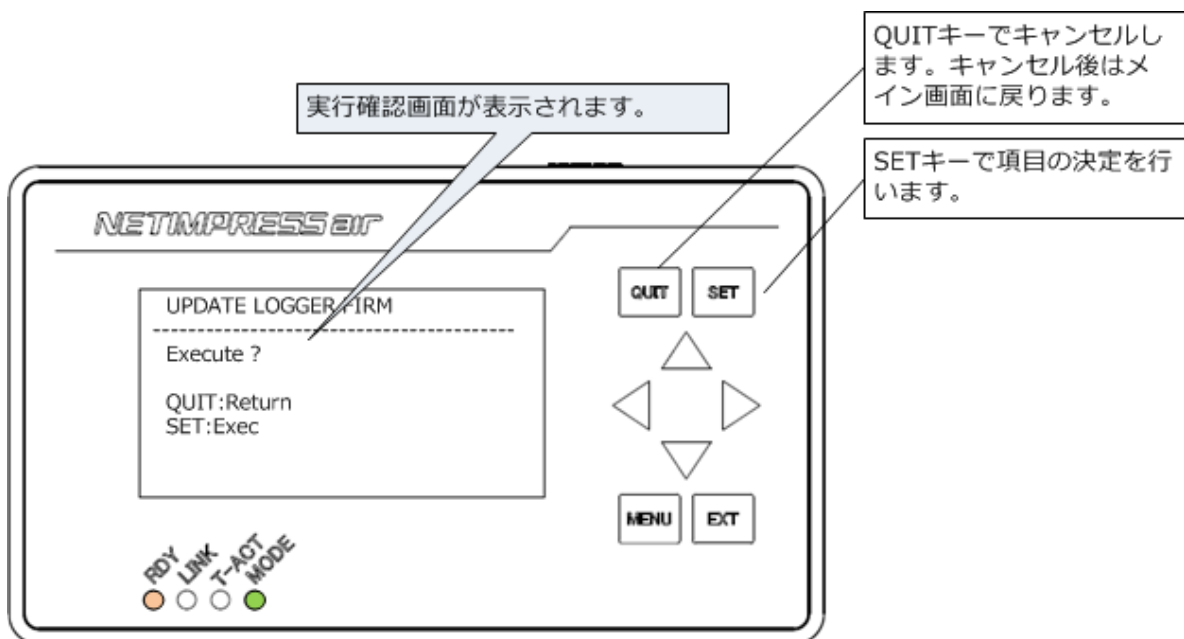
スタンドアロンでアップデートを行う場合、必ず専用 SD カードが必要になります。専用 SD カードとアップデートファイルをご用意いただき、本操作を行うようにしてください。

本操作を実行する時は、本機への電源供給が十分であることをご確認ください。

① MENU: UPDATE/MODE のグループを表示し、” UPDATE LOGGER FIRM”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② SET キーでファームウェアのアップデートを実行します。



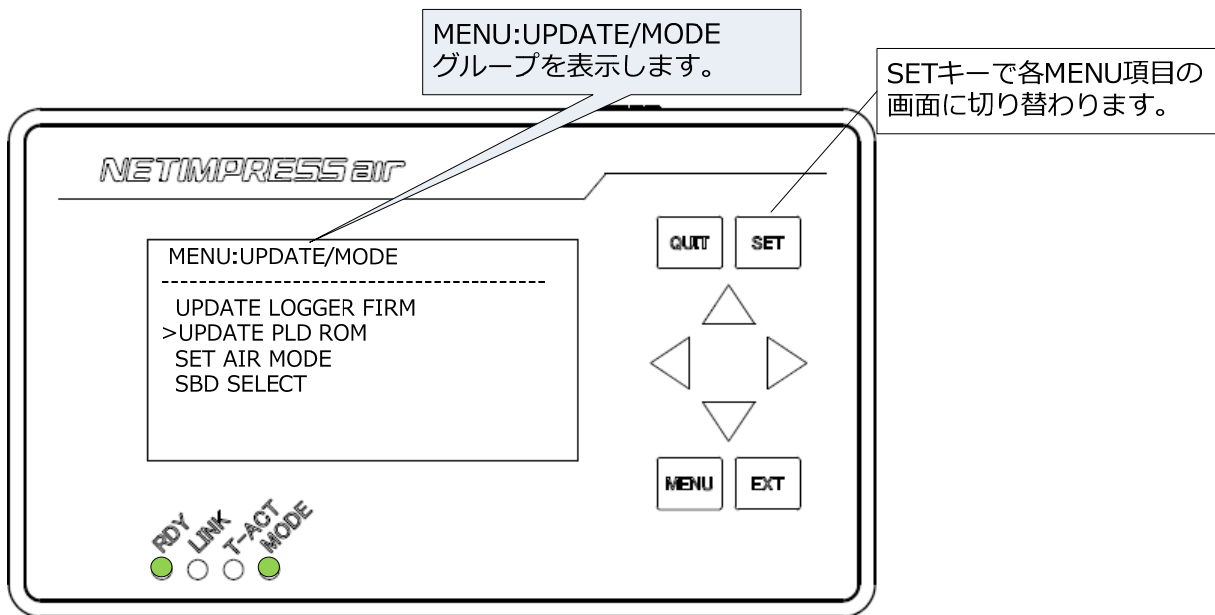
## 7.4.28. PLD のアップデートを行う

本機の PLD のバージョンアップ操作を行います。

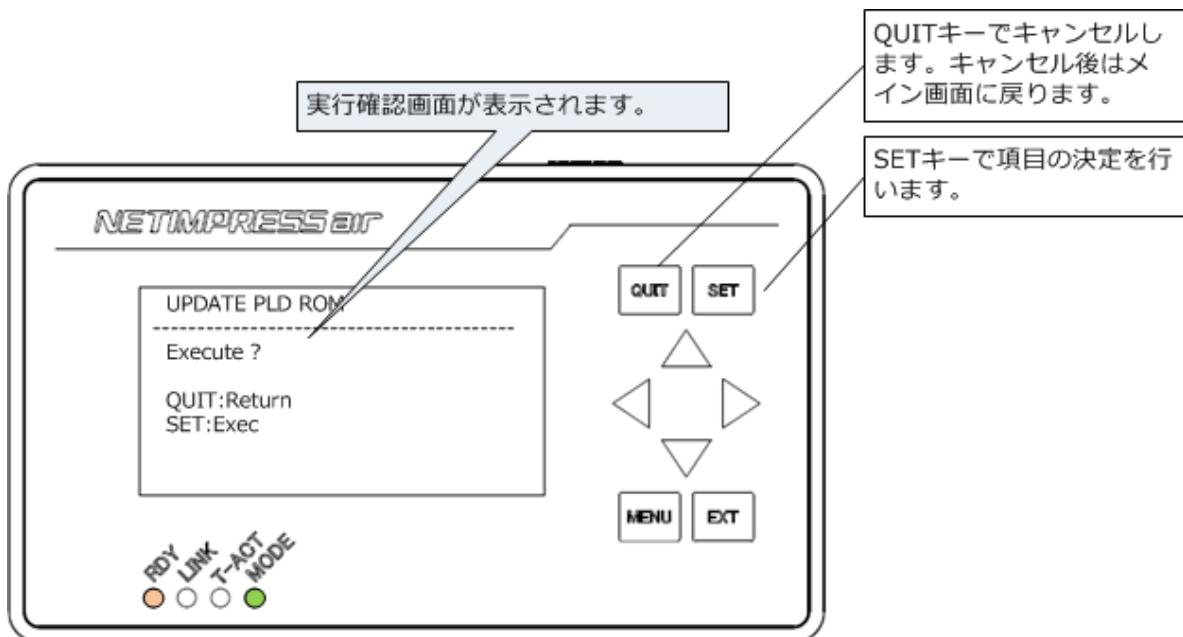
**!** スタンドアロンでアップデートを行う場合、必ず専用 SD カードが必要になります。専用 SD カードとアップデートファイルをご用意いただき、本操作を行うようにしてください。

本操作を実行する時は、本機への電源供給が十分であることをご確認ください。

① MENU: UPDATE/MODE のグループを表示し、” UPDATE PLD ROM”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② SET キーで PLD のアップデートを実行します。

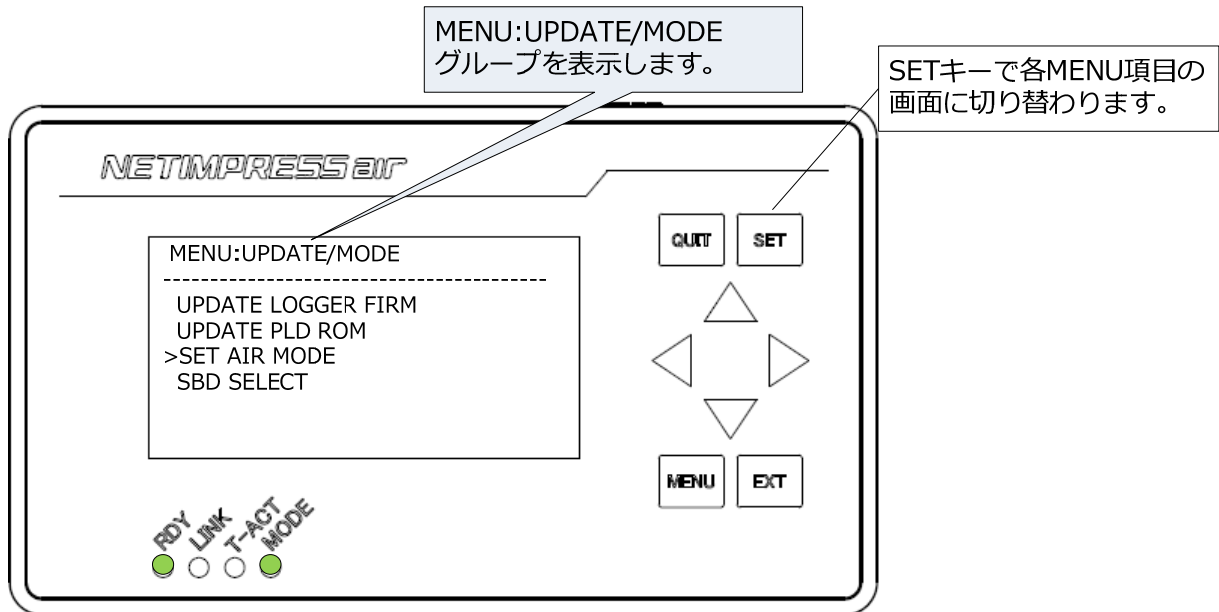


## 7.4.29. オプションモードを使用する

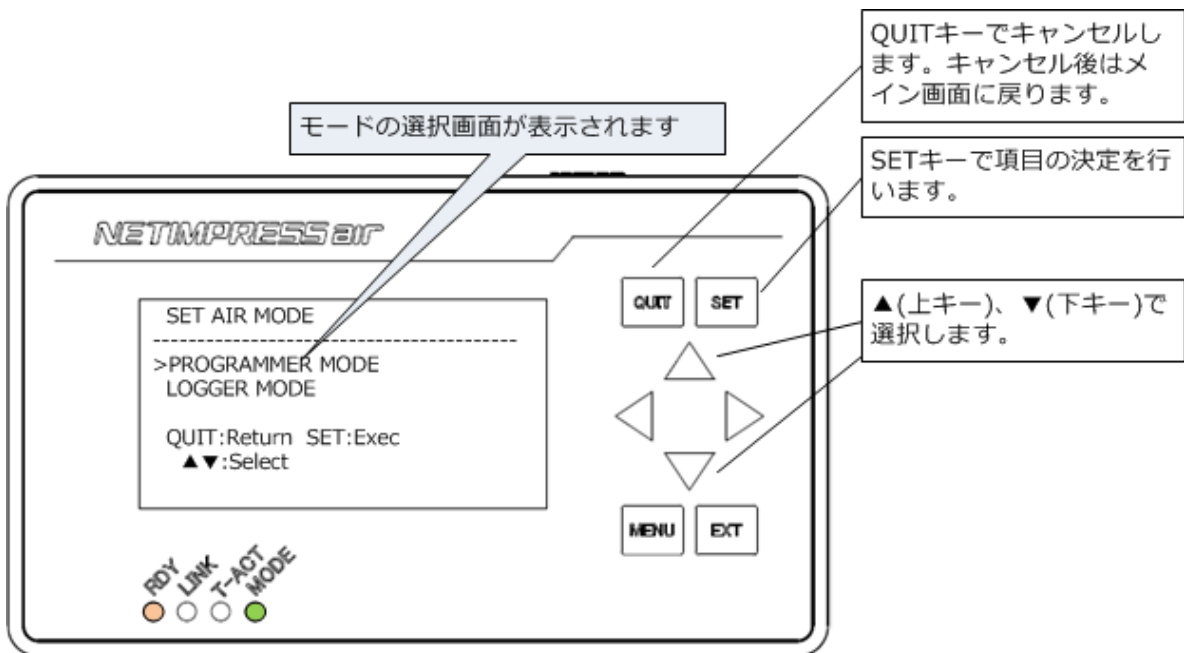
本機は、ターゲットシステムへのプログラミング機能の他に、オプションで CAN ロガーの機能を付加させることができます。

本設定は、スタンドアロン動作させる時に、プログラミングモードとロガーモードを切り替えるために使用します。(PC ソフトと接続して動作させる時は、内部動作モードは自動的に切り替わります)

- ① MENU: UPDATE/MODE のグループを表示し、” SET AIR MODE”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で設定するモードを選択し、SET キーで決定します。



PROGRAMMER MODE	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スタンドアロンでプログラマとして使用する場合に本モードに設定します</li> <li>● プログラマモードで本機を起動した場合、本操作マニュアルに記載されているスタンドアロンでの操作が可能です。</li> </ul>
LOGGER MODE	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スタンドアロンでロガーとして使用する場合に本モードに設定します。</li> <li>● ロガーモードで本機を起動した場合、ロガー用操作マニュアルに記載されている操作が可能になります。</li> </ul> <p>➡ 「操作マニュアル(ロガー編)」をご確認ください。</p>

## 7.4.30. SBD 信号の入出力モードを変更する

本機のターゲットインターフェースにアサインされている SBD 信号は、ターゲットと K-Line 通信で使用しない場合、本機の実行制御（開始・終了）に合わせて信号を出力することができます。

本設定を”Start/End Output”に変更することで、SBD 信号にて T-ACT の実行開始・終了（正常終了または異常終了）等の通知を行えます。

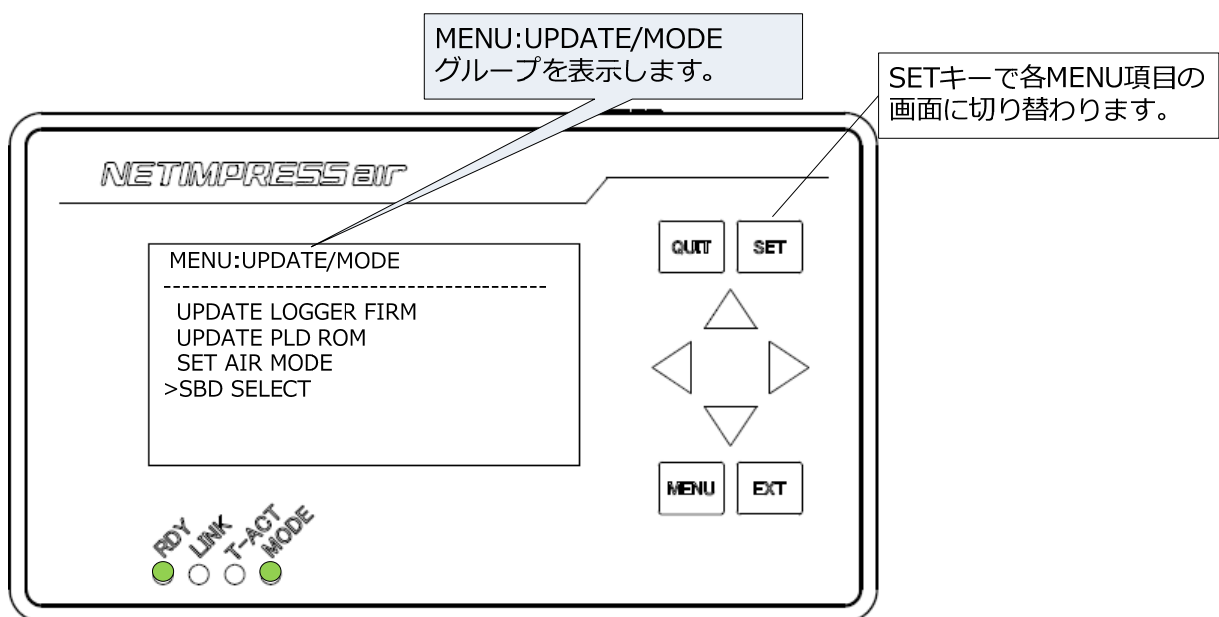


K-Line との併用はできません。

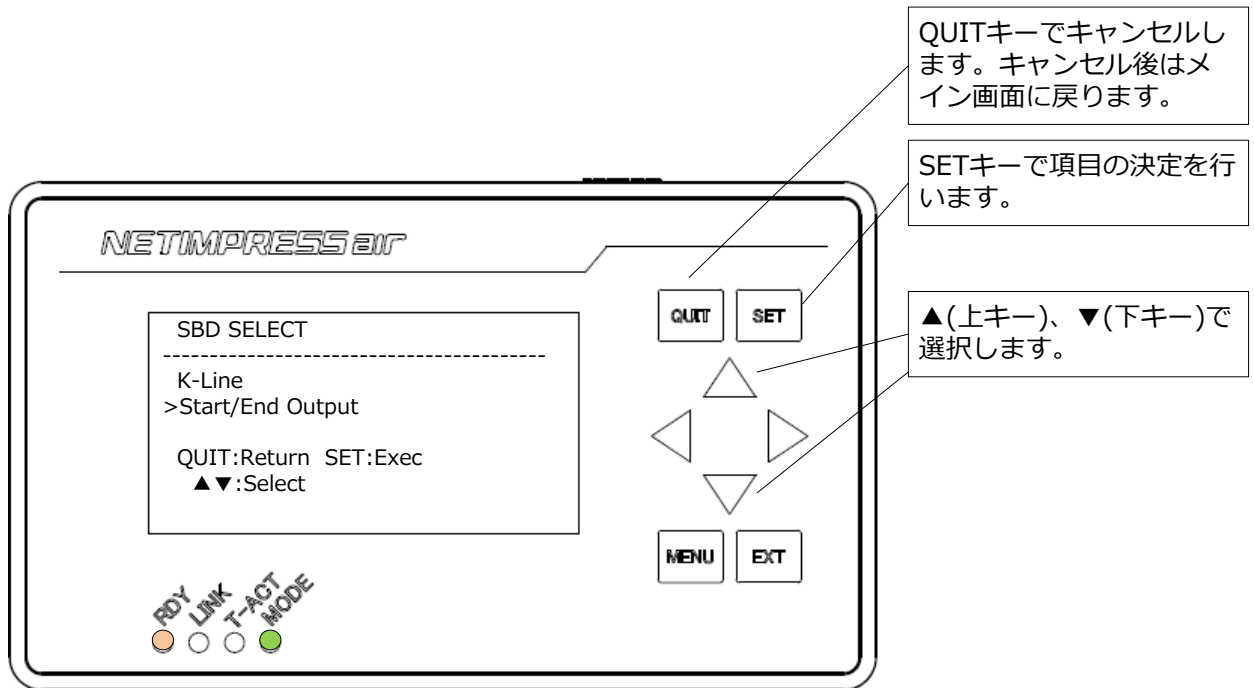
実行制御の通知出力として使用しない場合は、”K-Line”(デフォルト)設定としてください。

本設定を”Start/End Output”と設定すると、air Connect との通信中もコマンド実行ごとに、開始・終了の通知を行います。信号は既定の時間出力されるため、air Connect との通信で応答が遅くなります。

① MENU: UPDATE/MODE のグループを表示し、”SBD SELECT”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。

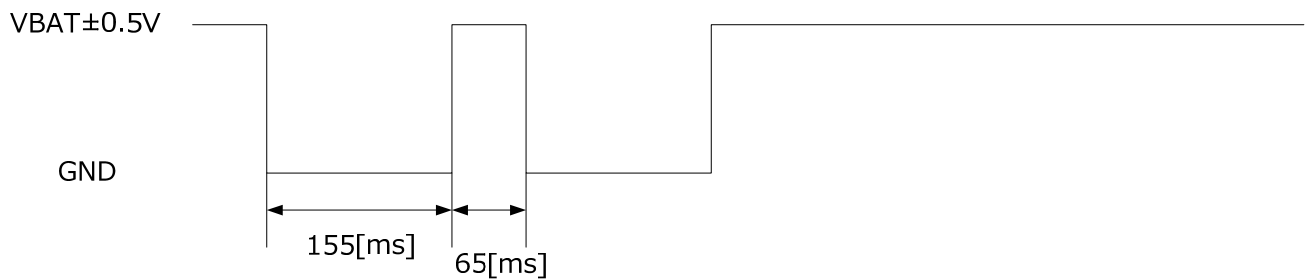


② ▲(上キー)、▼(下キー)で設定するモードを選択し、SET キーで決定します。



【SBD 出力制御 : Start/End Output 指定時】

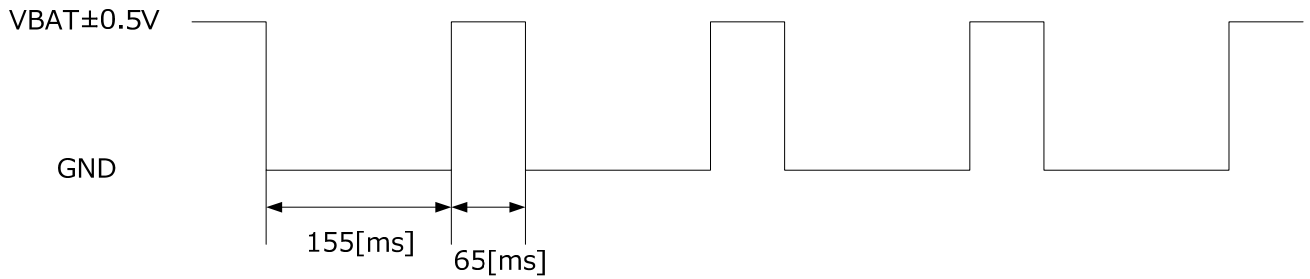
● 制御（コマンド制御／書込み）開始時



● 制御 : 正常終了時



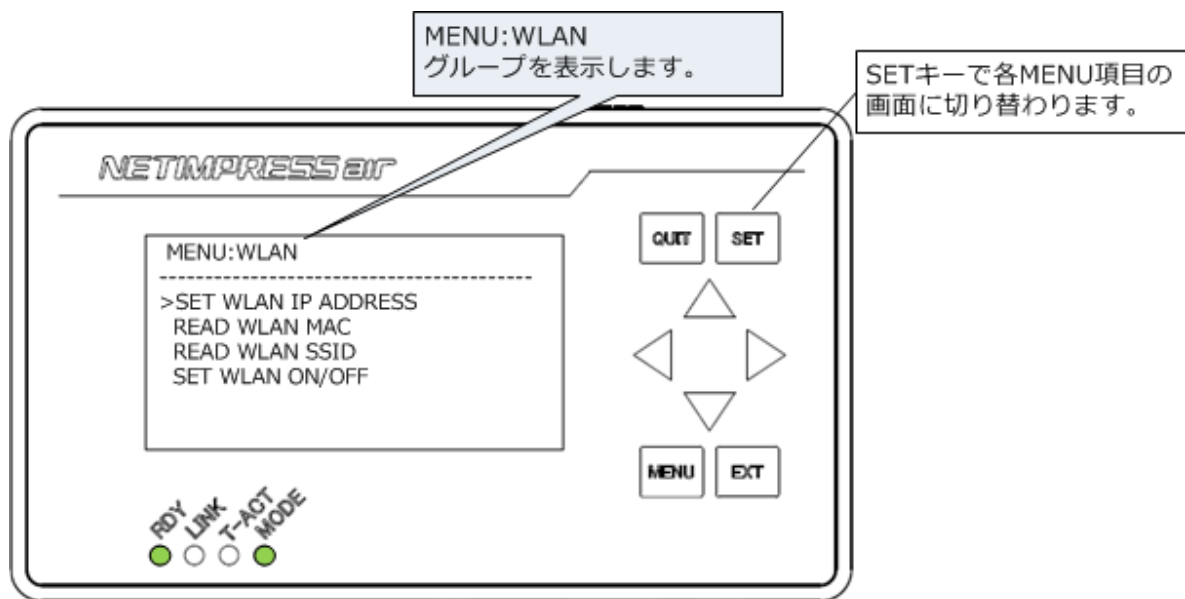
- 制御：異常終了時



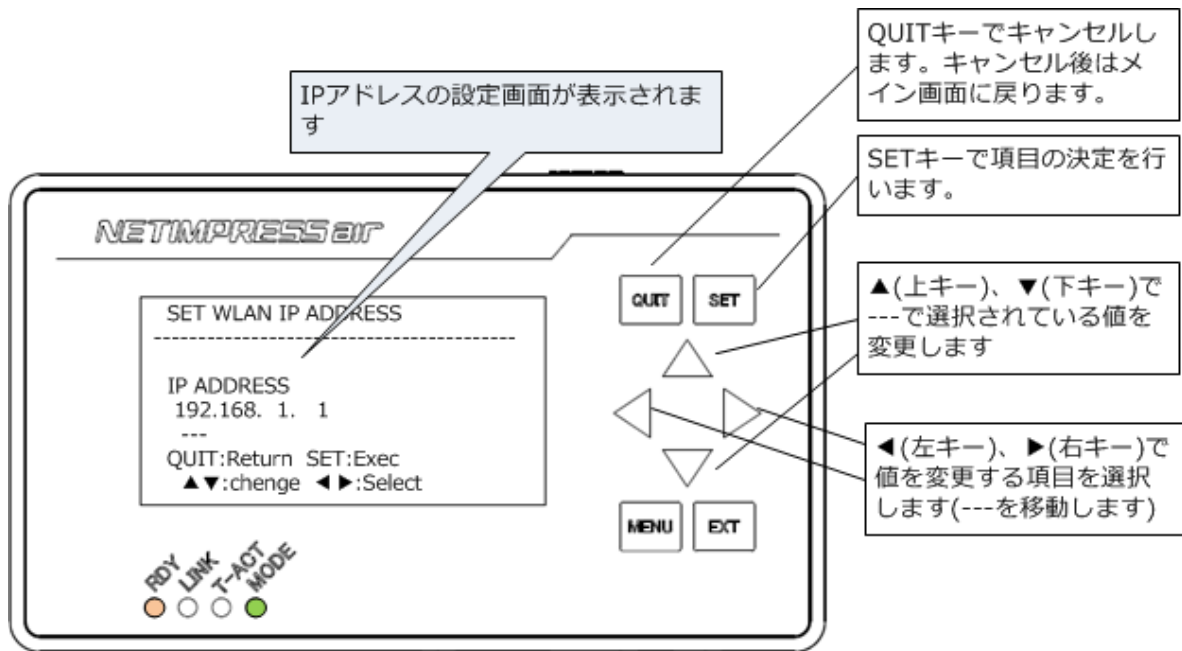
## 7.4.31. Wireless LAN の IP アドレスを設定する

Wireless LAN が搭載されているモデルを使用している時に、有効なモードになります。本操作では、Wireless LAN の IP アドレス、サブネット、デフォルトゲートウェイ、本機側ポート番号の設定変更が可能です。

- ① MENU: WLAN のグループを表示し、” SET WLAN IP ADDRESS”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② ▲(上キー)、▼(下キー)で---で選択されている値を変更します。◀(左キー)、▶(右キー)で---の選択ポイントを移動します。◀(左キー)、▶(右キー)を押し続けると、IP ADDRESS ⇄ SUBNET MASK ⇄ GATE WAY ⇄ PORT と選択項目が移動します。



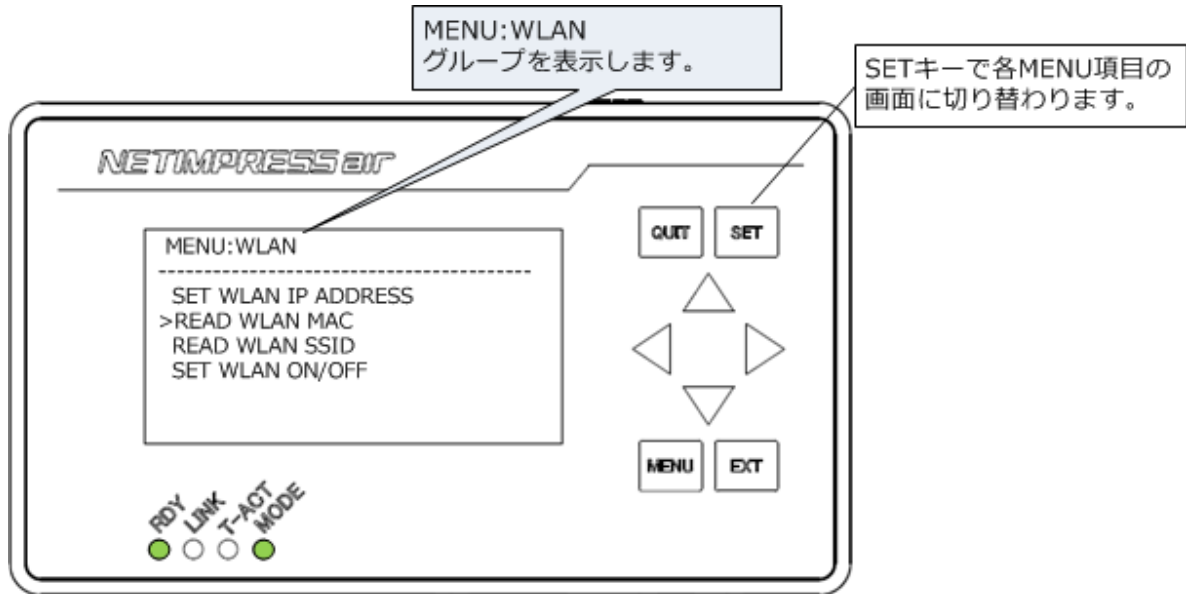
✓ Wireless LAN の SSID, セキュリティ等の設定、IP アドレスの設定を本機の起動時に設定ファイルを読み込んで変更する方法もあります。

➡ 設定ファイルによる、IP アドレス、Wireless LAN の設定変更については、「8.1.4ini ファイル」をご確認ください。

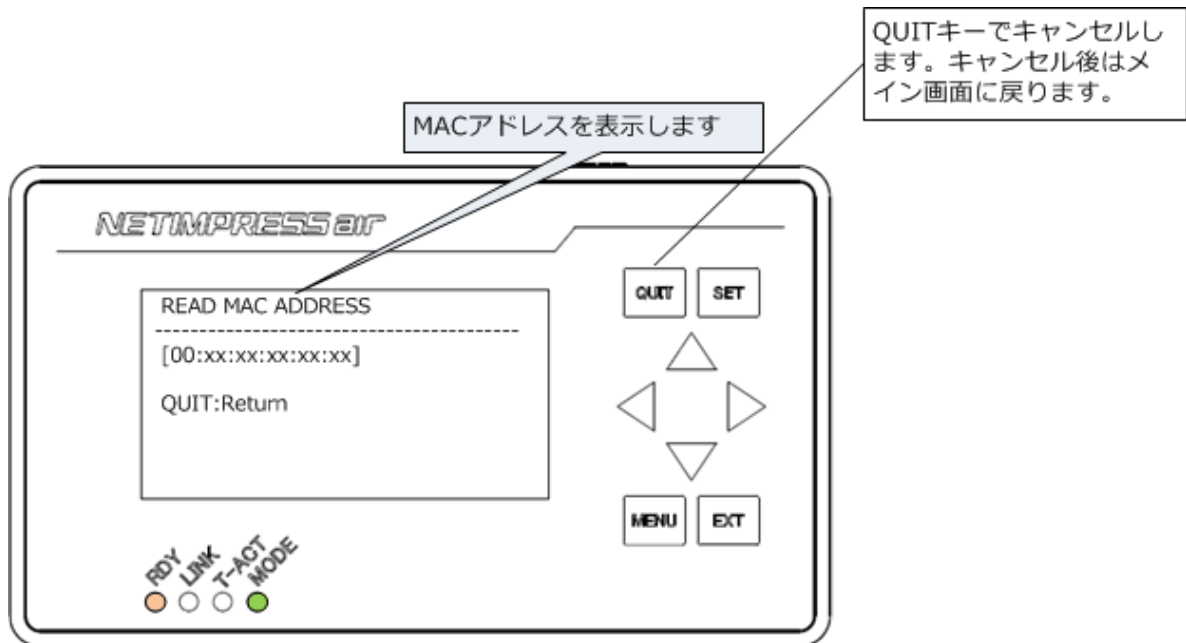
### 7.4.32. Wireless LAN の MAC アドレスを確認する

Wireless LAN が搭載されているモデルを使用している時に、有効なモードになります。本操作では、Wireless LAN の MAC アドレスを取得することが可能です。

- ① MENU: WLAN のグループを表示し、” READ WLAN MAC”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② MAC アドレスが LCD に表示されます。

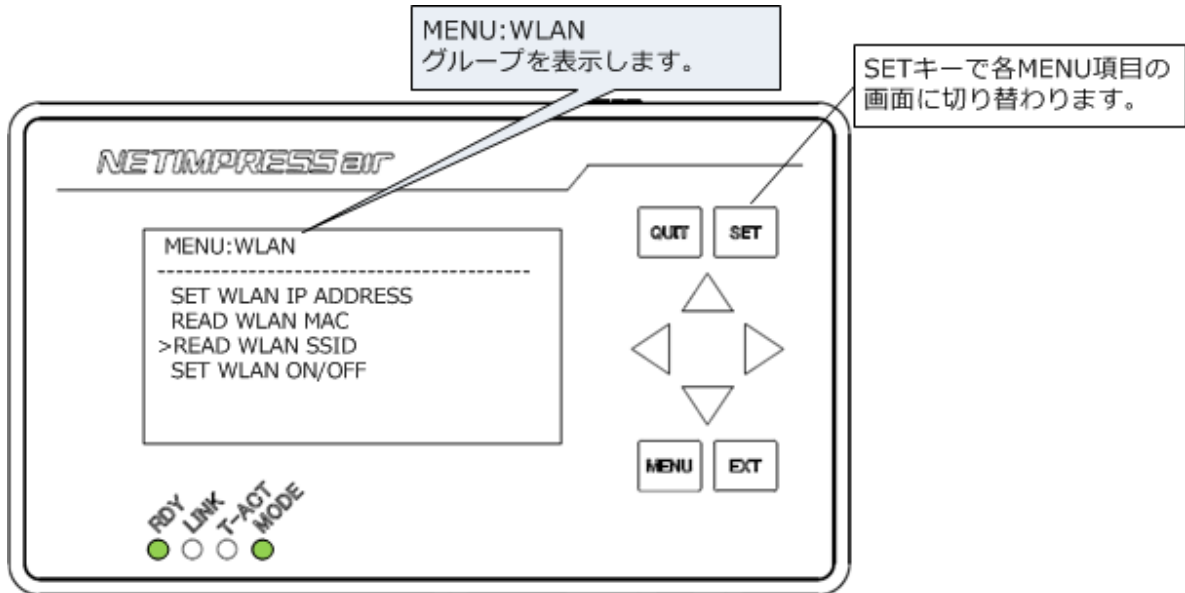




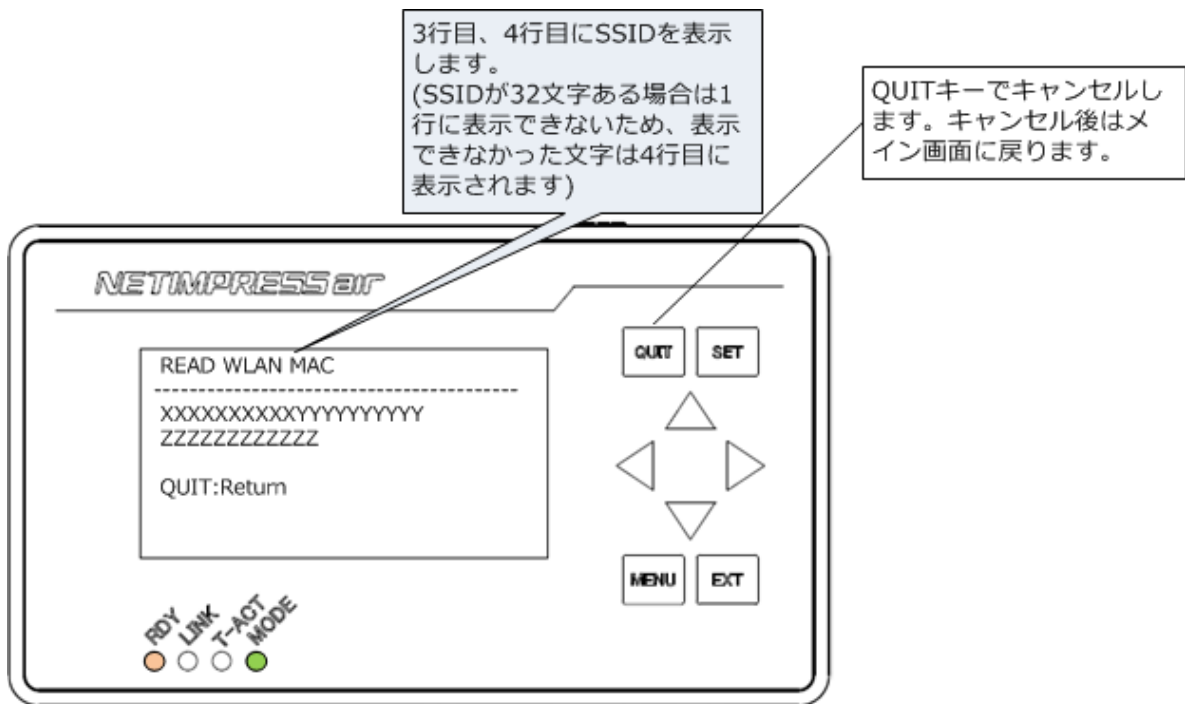
## 7.4.33. Wireless LAN の SSID を確認する

Wireless LAN が搭載されているモデルを使用している時に、有効なモードになります。本操作では、Wireless LAN の SSID を知ることができます。アドホックモードで接続する時など、本機の SSID を確認したい場合にご確認ください。

- ① MENU: WLAN のグループを表示し、" READ WLAN SSID"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



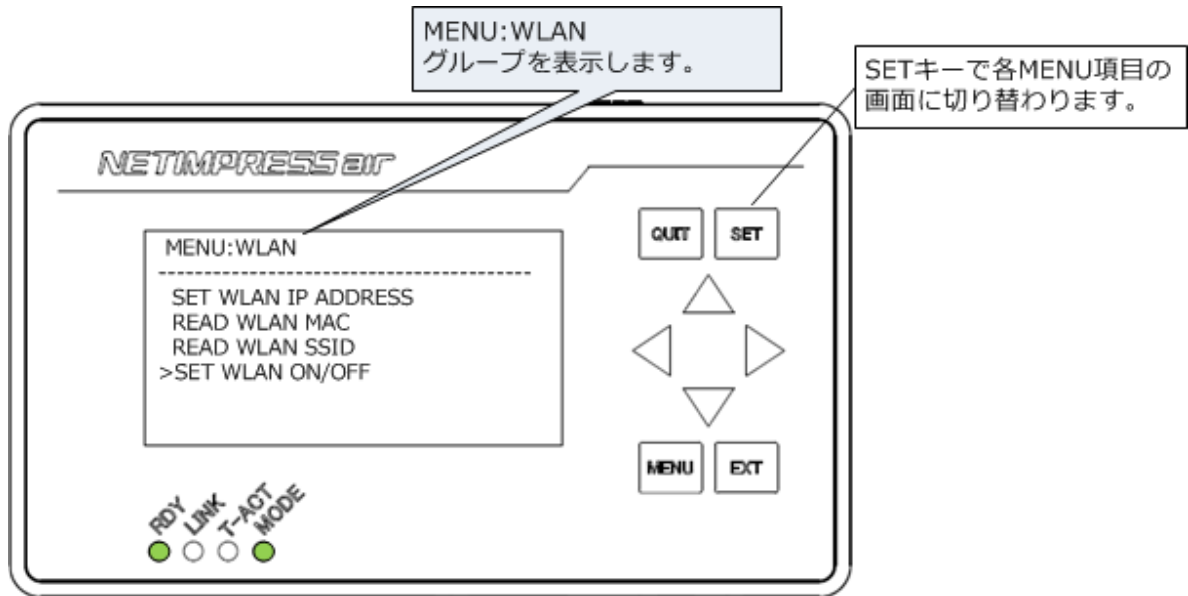
- ② SSID が LCD に表示されます。



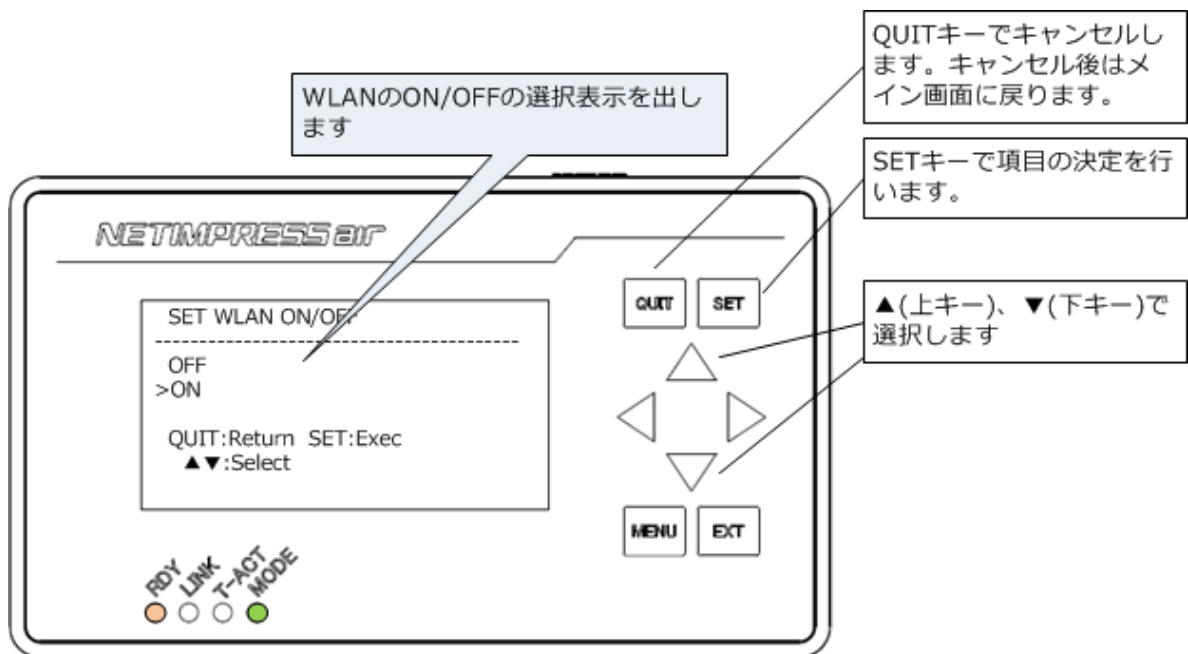
## 7.4.34. Wireless LAN を ON/OFF 設定を行う

Wireless LAN が搭載されているモデルを使用している時に、有効なモードになります。本操作では、Wireless LAN の ON/OFF 設定ができます。OFF に設定した場合、Wireless LAN は使用不可になります。

- ① MENU: WLAN のグループを表示し、” SET WLAN ON/OFF”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



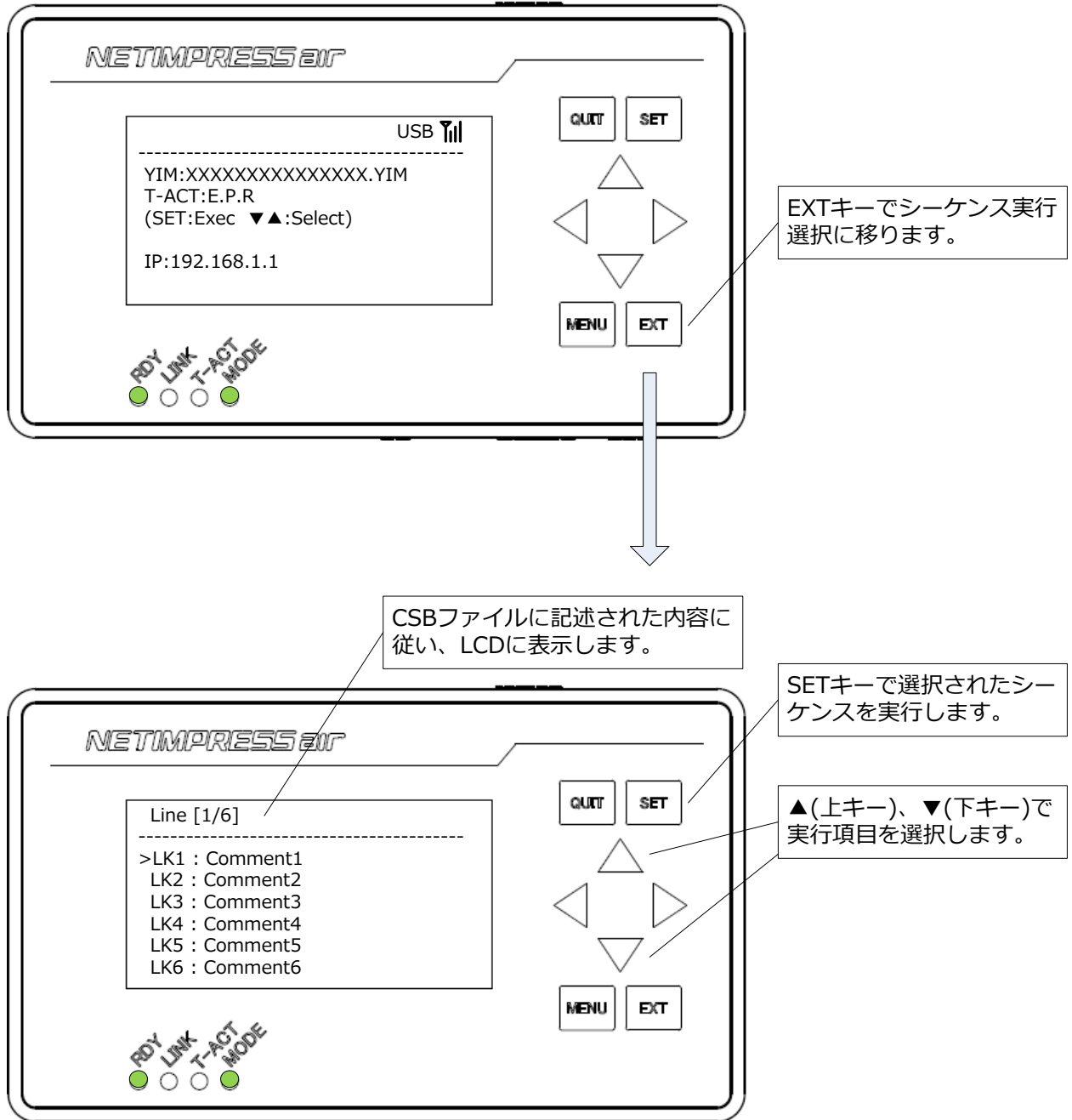
- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で ON / OFF を選択します。SET キーで決定します。  
SET キー入力後、本機は再起動します。



## 7.5. シーケンス制御

NETIMPRESS air 本体上面にある EXT キーに、一連のコマンドシーケンス操作を割り当てることができます。コマンドシーケンスを割り当てるために、CSB ファイルを作成します。

CSB ファイルはテキストエディタで編集することができます。



- CSB ファイルの名称は任意ですが、拡張子(.CSB)を付けて保存してください。
- CSB ファイルは、SD カードのルートディレクトリに 1 つだけ配置することができます。

## 7.5.1. CSB フォーマット

CSB ファイルのフォーマットは、下記の通りです。コマンドの区切りは、"/"(1バイト)を使用します。

```

LK1, count, cmd1, cmd2, ..., cmd16; comment
LK2, count, cmd1, cmd2, ..., cmd16; comment
  ①   ②   ③   ④   ⑤

```

① KEY No.コード (3バイト): ※ LK1~LK6 までの6個指定可

LK1 = EXT キー入力後に LCD に表示される LK1:Comment に対応します。

LK2 = EXT キー入力後に LCD に表示される LK2:Comment に対応します。

.

LK6 = EXT キー入力後に LCD に表示される LK6:Comment に対応します。

② *count* (2バイト):

実行コマンドの数を示します。10進表記のため、“09”の上は“10”となり、最大値は、“16”です。

“00”を指定した場合は、何も実行しません。

③ *cmd1*, *cmd2*, ..., *cmd16*:

実行するコマンドを記載します。

### コマンド定義一覧

コマンドコード	内容
F0 (XXXXXXXX YYYYYYYY)	T-ACT 実行領域設定 (XXXXXXXX: ファーストアドレス、YYYYYYYY: ラストアドレス)※アドレス省略時は、フラッシュ ROM 全領域。
F2	バッファメモリクリア
FF1 (XXXXXXXX.YYY)	ファイル呼び出し (XXXXXXXX.YYY: ロードファイル名)
FF5 (XXXXXXXX YYYYYYYY)	転送アドレス設定 (XXXXXXXX: ファーストアドレス、YYYYYYYY: ラストアドレス)※アドレス省略時は、フラッシュ ROM 全領域。
D8	Copy (T-ACT)
D9	Blank (T-ACT)
DC	Erase (T-ACT)
DD	Program (T-ACT)
DE	Read (T-ACT)
DF	E.P.R. (T-ACT)

FB0 (XXXXXXXX.YIM)	カレントYIM フォルダの切替え (XXXXXXXX.YIM: YIM フォルダ名)
--------------------	-----------------------------------------------

**!** CSB ファイル内で設定可能なコマンドの最大数は、16 コマンドまでです。

- ④ コメント区切り “;” (1 バイト):  
⑤のコメントとの区切りを示します。

- ⑤ *comment* (任意の文字列+CRLF):  
コメントを記述します。(LCD に表示される LKx:Comment の Comment に反映されます)

**!** 行末には、必ず改行コード(CRLF)を挿入してください。

コメントに記述可能なのは英数字及び以下記号と空白になります。指定可能な文字数は 16 文字までです。

% ¥ / : \*  
? < > | ”

## 7.5.2. CSB ファイルの作成例

### 例

#### 【記述内容】

```
LK1,04,FB0(TEST1.yim),DF,FB0(TEST2.yim),DF;2file sequence EPR
```

```
LK2.01.DC;Erase
```

#### 【実行シーケンス内容】

LK1 = 2 つの YIM フォルダの連続プログラミング、LK2 = Erase 実行

LK1 を選択すると、“TEST.YIM”がカレントフォルダとしてロードされ、次のコマンドで EPR を実行します。続いて、“TEST2.YIM”がカレントフォルダとしてロードされ、次のコマンドで EPR を実行します。

LK2 を選択すると、ターゲットのフラッシュメモリが Erase されます。

#### 【用途例】

フラッシュマイコンに外部フラッシュメモリが接続されている基板に対し、内蔵フラッシュと外部フラッシュの両方にプログラミングする場合、など。

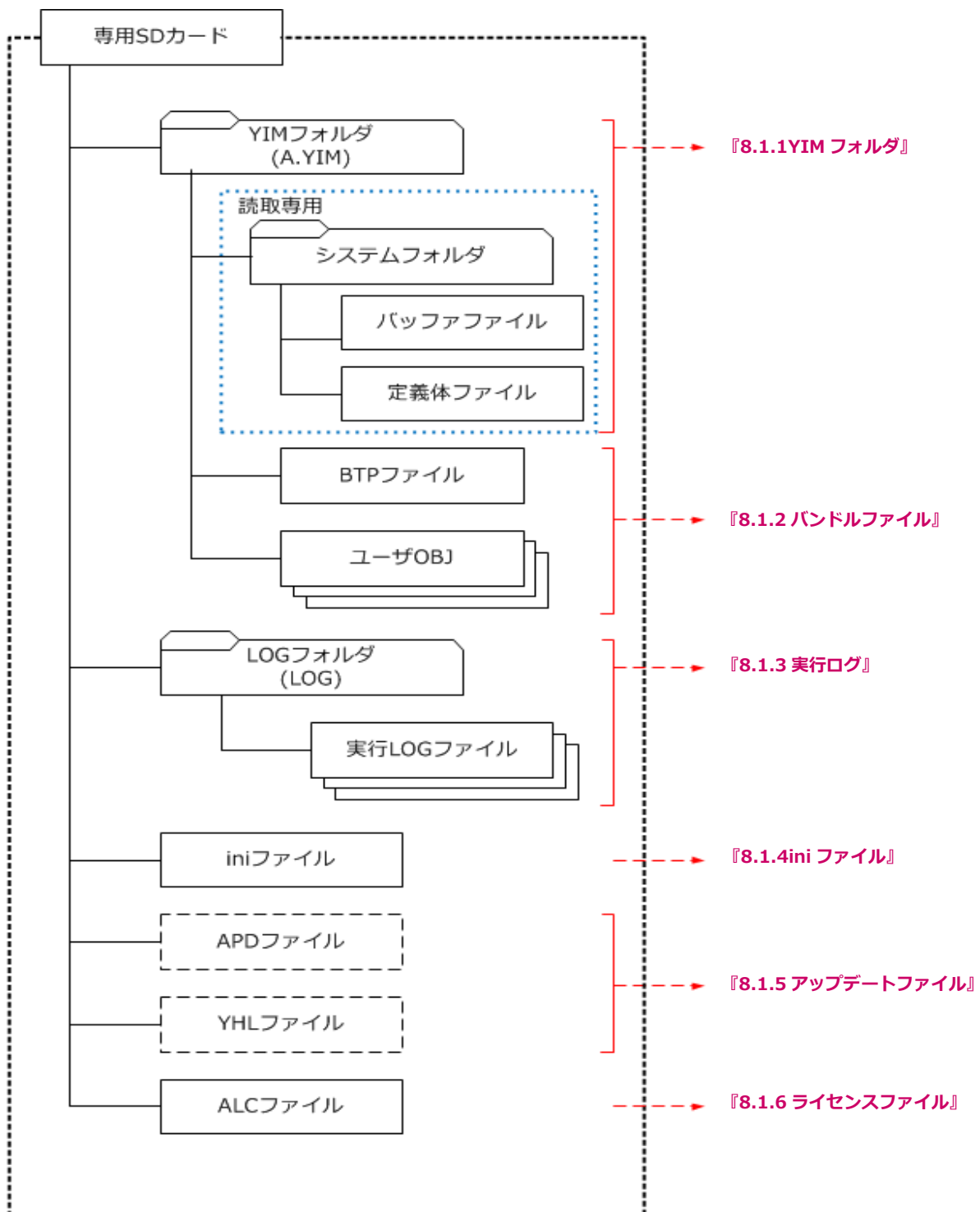
## 8. Appendix

この章では、本機で使用するフォルダ及びファイルの構成及び仕様、エラーメッセージ一覧について説明します。


### 8.1. フォルダ及びファイルの構成・仕様

本機に挿入される専用 SD カードで、使用するフォルダ及びファイルの構成、仕様について説明します。

以下、専用 SD カード内で使用する主なフォルダ、ファイルの構成になります。

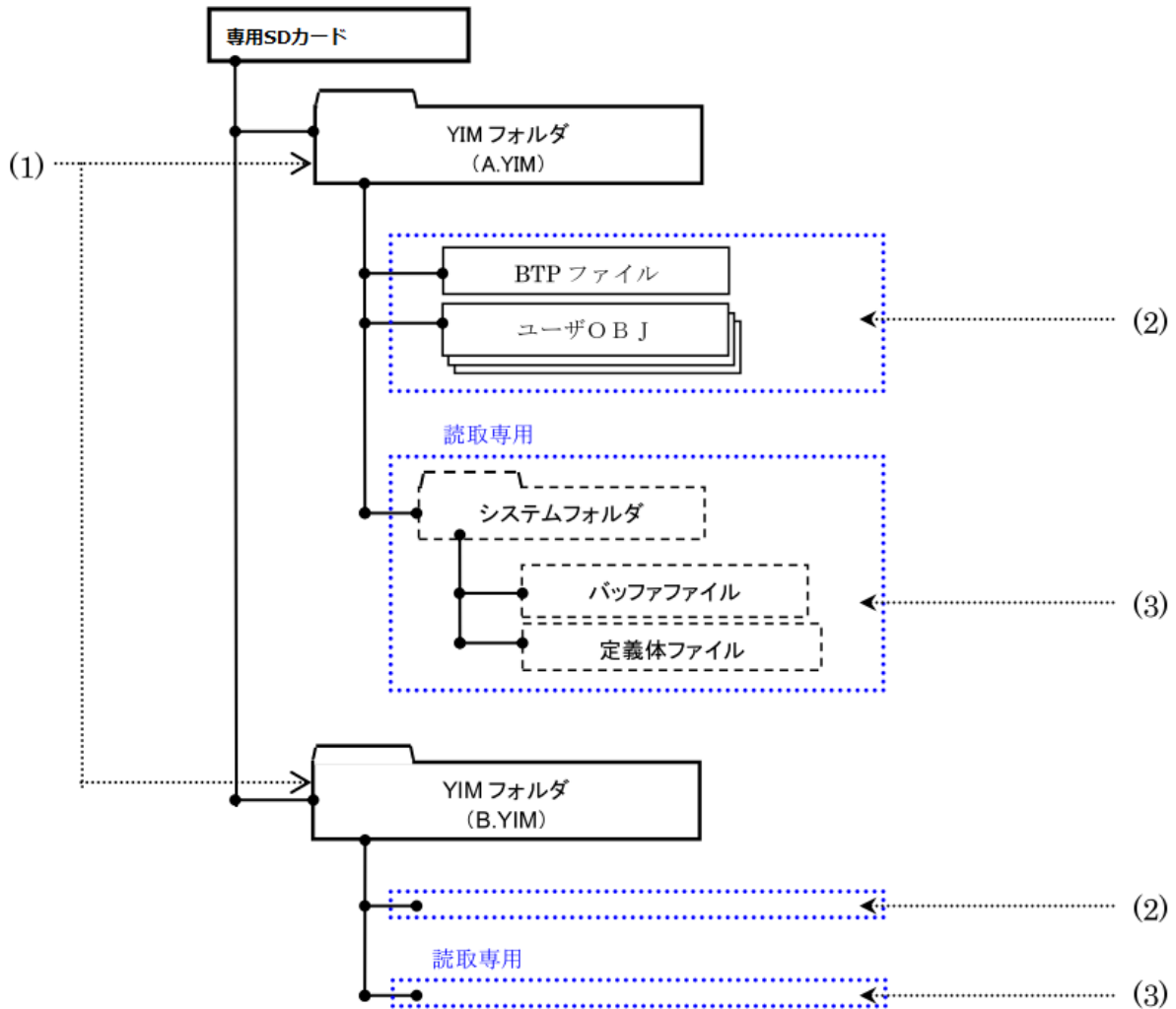


## ● 制限事項

<p>ファイル・フォルダ名 に使用できる文字数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パスの情報を含めて最大 255 文字</li> <li>  A.YIM にバンドルファイルを置く場合、246 文字までのファイルは本機で扱うことが可能です。 (パス情報のルートに C:¥ と扱うためルートに置くファイルは、最大 252 文字となります) </li> </ul>										
<p>ファイル・フォルダ名 に使用不可な文字</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 以下の文字は専用 SD カード内でのファイル・フォルダ名への設定は不可</li> </ul> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="padding: 0 10px;">%</td> <td style="padding: 0 10px;">¥</td> <td style="padding: 0 10px;">/</td> <td style="padding: 0 10px;">:</td> <td style="padding: 0 10px;">*</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">?</td> <td style="padding: 0 10px;">&lt;</td> <td style="padding: 0 10px;">&gt;</td> <td style="padding: 0 10px;"> </td> <td style="padding: 0 10px;">”</td> </tr> </table>	%	¥	/	:	*	?	<	>		”
%	¥	/	:	*							
?	<	>		”							
<p>ファイル・フォルダの 配置できる数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● YIM フォルダ : FAT32 の仕様に従う(最大 65535 個)</li> <li>● バンドルファイル : FAT32 の仕様に従う(最大 65534 個)</li> <li>● LOG ファイル : 最大 200 個</li> <li>● ini ファイル : 1 個 (複数不可)</li> <li>● APD ファイル : 1 個 (複数不可)</li> <li>● YHL ファイル : 1 個 (複数不可)</li> <li>● ALC ファイル : 複数個</li> </ul>										

### 8.1.1. YIM フォルダ

- (1) YIM フォルダは専用 SD カード内に複数個作成することができます。
- (2) YIM フォルダ内には、BTP ファイル(\*.BTP)、ユーザ OBJ(\*.KEY、\*.YSM など)を配置します。
- (3) 作成された YIM フォルダごとに、一種類ずつのバッファファイル(BUF.SYS)、定義体ファイル(CM.SYS)を配置します。



BUF.SYS ファイル、CM.SYS ファイルを変更、消去しないでください。変更、消去した場合、正常にプログラミングを実行することができなくなります。



AZ990(NETIMPRESS air Connect)を使用して、YIM フォルダ内のファイル構成を確認することができます。ただし、読み取り専用領域を参照することはできません。



YIM フォルダの作成方法については、本マニュアルの「4.2 YIM フォルダの作成」をご参照ください。



### 8.1.2. バンドルファイル

YIM フォルダ内に置いて使用するファイルで、BTP ファイル(\*.BTP)、KEY ファイル(\*.KEY)、YSM ファイル(\*.YSM)、YDD ファイル(\*.YDD)などがあります。

KEY ファイル	<ul style="list-style-type: none"><li>● 拡張子は.KEY です。</li><li>● デバイスのセキュリティチェックをおこなうためのファイルです。</li></ul>
AMK ファイル	<ul style="list-style-type: none"><li>● 拡張子は.AMK です。</li><li>● マイコンパックに同梱されています。</li><li>● デバイスのセキュリティチェック用マスターキーファイルです。</li></ul>
BTP ファイル	<ul style="list-style-type: none"><li>● 拡張子は.BTP です。</li><li>● マイコンパックに同梱されています。</li><li>● デバイスの書込み制御をおこなうプログラムファイルです。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>● 拡張子は.YDD、.YCR などのファイルがあります。</li><li>● マイコンパックごとに定義されます。</li></ul>

➡ バンドルファイルの詳細は、各マイコンパックのマニュアルにて詳細を記載しています。

## ● KEY ファイル

ご使用のマイコンによっては、セキュリティ機能を持つものがあります。

一般的なセキュリティ機能では、マイコンにアクセス(書き込み/読み出し)する際に、あらかじめマイコンに書き込まれている暗号データ(ID コード)を本機から送信し、これらが一致しないとアクセスができない、という仕組みになっています。

書き込まれている内容がわかっている場合にしか内蔵フラッシュメモリ領域にアクセスできないため、第三者による不正なデータ書き込みや、読み出しを防ぐことができます。

本機では、暗号データ(ID コード)を保存した KEY ファイルを作成して、プログラミング時のセキュリティ解除をおこないます。

KEY ファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ターゲットアクションを実行する際に、自動的に ID コードをデバイスに発行し、セキュリティチェックをおこなうためのファイルです。</li> <li>● セキュリティ ID アドレス・ID サイズ・ID データ値を保管しています。</li> <li>● KEY ファイルは YIM フォルダ内に配置します。</li> </ul>
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

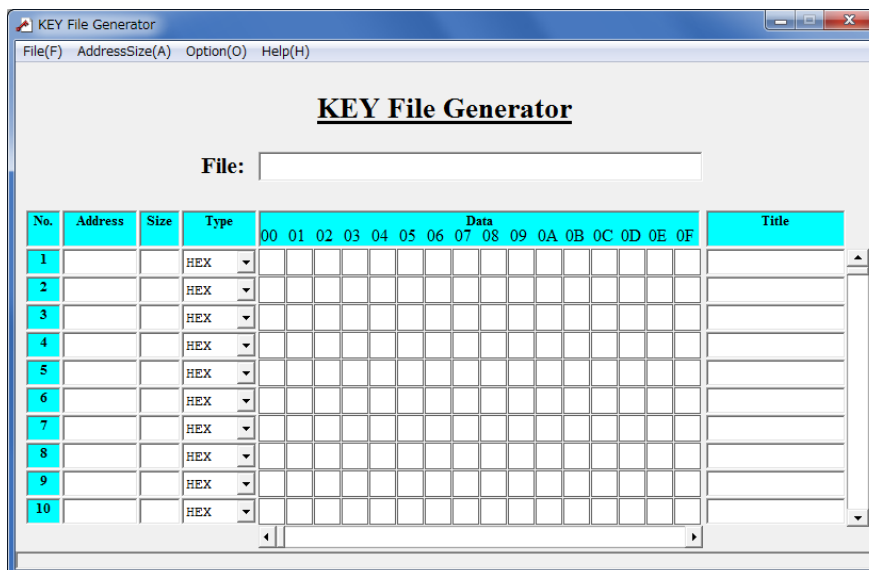
➡ バンドルファイルのダウンロード方法については、本マニュアルの「4.3 各種設定ファイルのロード」をご参照ください。

**!** セキュリティ機能の仕様は、個々のマイコンごとに異なります。詳細は、ご使用になる定義体のマニュアル、および、マイコンパックのマニュアルをご参照ください。

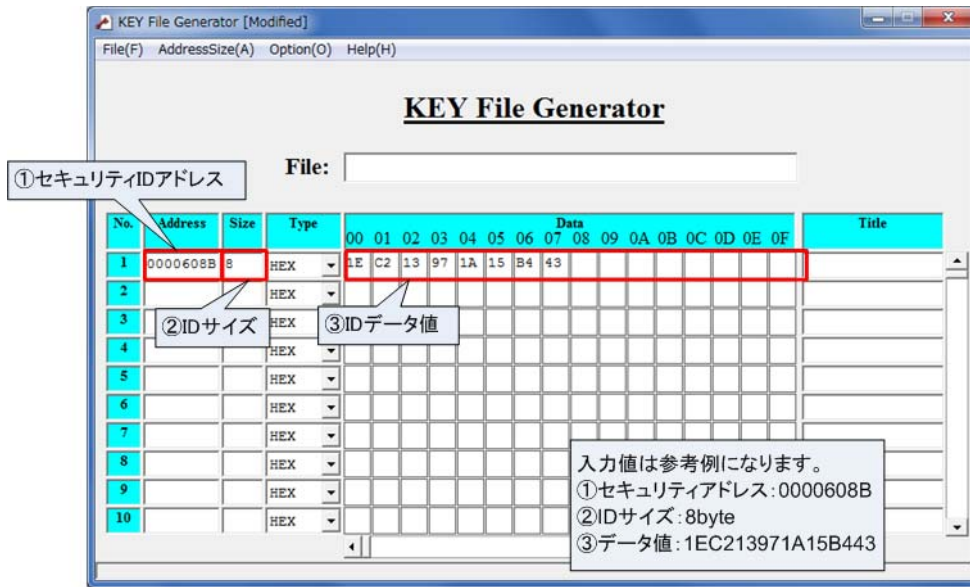
## ● KEY ファイルの作成方法

KEY ファイルは AZ481(KEY ファイルジェネレータ)を使用して作成します。

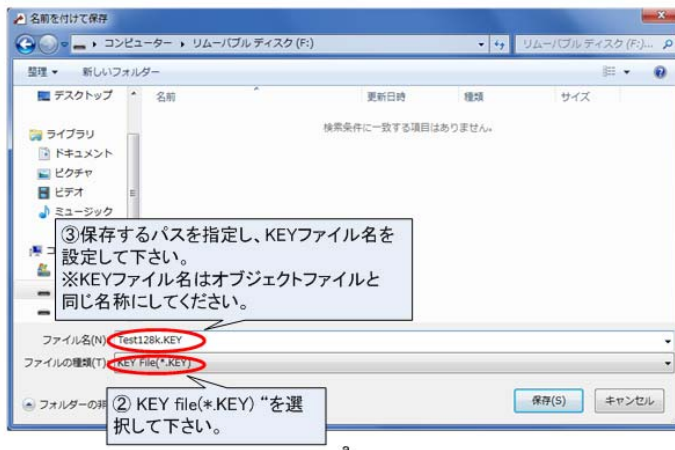
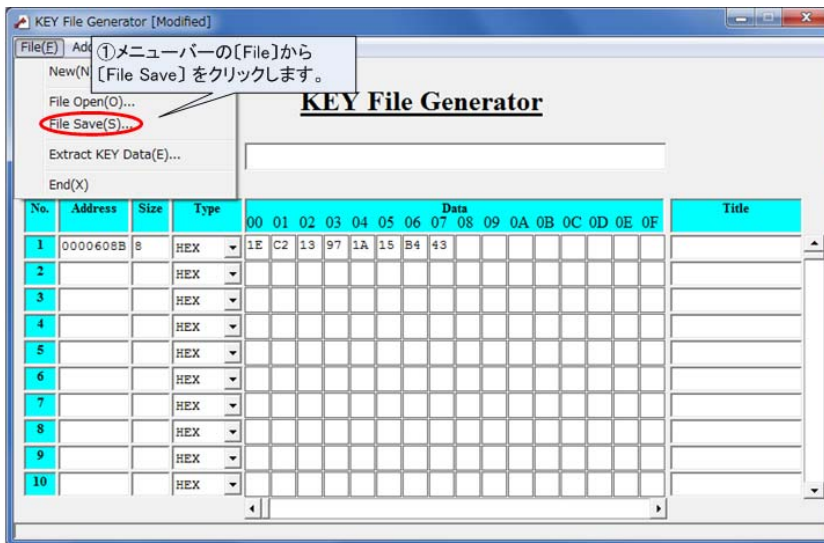
① AZ481(KEY ファイルジェネレータ)を起動します。



- ② セキュリティ ID アドレス・ID サイズ・ID データ値を入力します。



- ③ KEY ファイルを保存します。(メニューバー[File]メニュー - <File Save>をクリック。)  
 ファイルの種類として、“KEY file (\*.KEY)”を選択し、KEY ファイルを保存するパスを指定します。  
 KEY ファイルのファイル名を設定して、「保存」をクリックします。



## ● YSM ファイル

YSM ファイルにバッファメモリの SUM 値、特定アドレスのデータを保存しておくことにより、ターゲットアクションを実行するたびに、ユーザオブジェクトの SUM 値やデータをチェックすることができます。

この機能により、例えば、誤ったプログラミングするバッファメモリの内容が不意にデータ化けしてしまった場合など、誤ったオブジェクトデータのプログラミングを防止することができます。

また、特定アドレスのデータのチェックを行うこともできるので、ユーザオブジェクトファイルのバージョンチェックなどにご活用いただくこともできます。

バッファメモリの SUM 値を保存した YSM ファイルを作成して、YIM フォルダに配置します。

ターゲットアクション完了後、本機が YSM ファイル内の SUM 値とターゲットアクション実行時の SUM 値を自動的に比較します。一致しない場合はエラー(YSM CHECK ERROR)となります。

YSM ファイルは、AZ990 を使用して、バンドルファイルとしてダウンロードしてください。

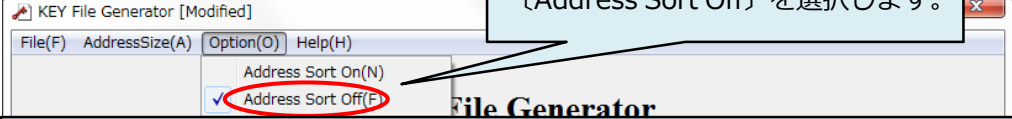
➡ バンドルファイルのダウンロード方法については、本マニュアルの「4.3 各種設定ファイルのロード」を参照してください。

## ● YSM ファイルの作成方法

YSM ファイルの作成方法は下記のとおりです。

- ① AZ481(KEY ファイルジェネレータ)を起動します。
- ② 下記の手順で YSM ファイルを作成します。  
メニューバー [Option]メニュー - <Address Sort Off>を選択してください。  
データを入力します。

① メニューバーの [Option] から [Address Sort Off] を選択します。



②SUM 値データの入力を行います。No.1 の行に入力して下さい。  
Address = 00000000 (固定)  
Size = 1 (SUM 値のサイズです。1byte であれば"1"、2byte であれば"2"を入力して下さい)  
Data = SUM 値(AZ490 の Basic Operation "Buffer SUM"で SUM 値を計算して下さい)

1	00000000	1	HEX	00						
2	00000000	1	HEX	01						
3	00000100	6	HEX	01	02	03	04	05	06	
4	00000000	1	HEX	01						
5			HEX							
6			HEX							
7			HEX							
8			HEX							
9			HEX							
10			HEX							

③SUM 値チェックの実行・未実行チェックフラグの入力を行います。  
No.2 の行に入力して下さい。  
Address = 00000000 (固定)  
Size = 1 (固定)  
Data = "01" or "00"(SUM 値チェックする場合は 01、SUM 値チェックしない場合は 00 を入力して下さい)

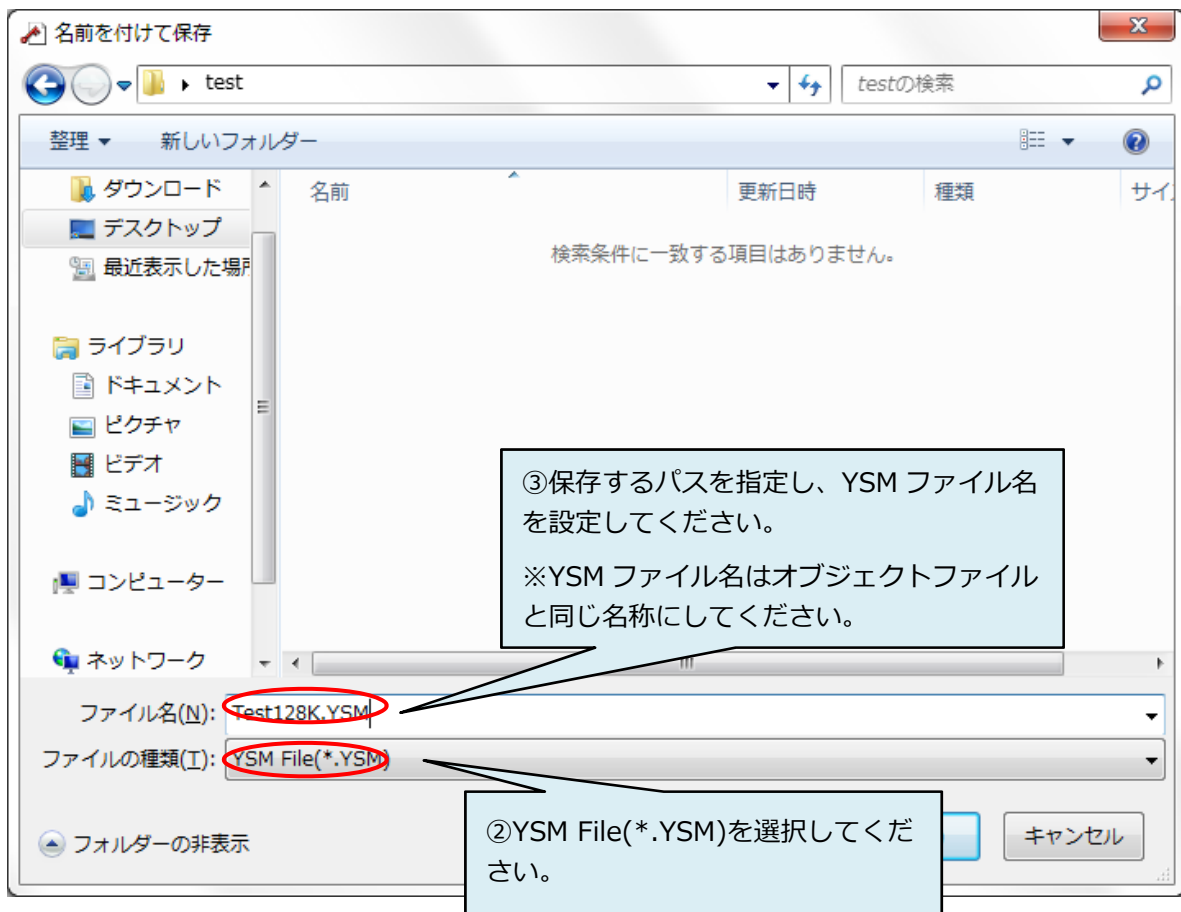
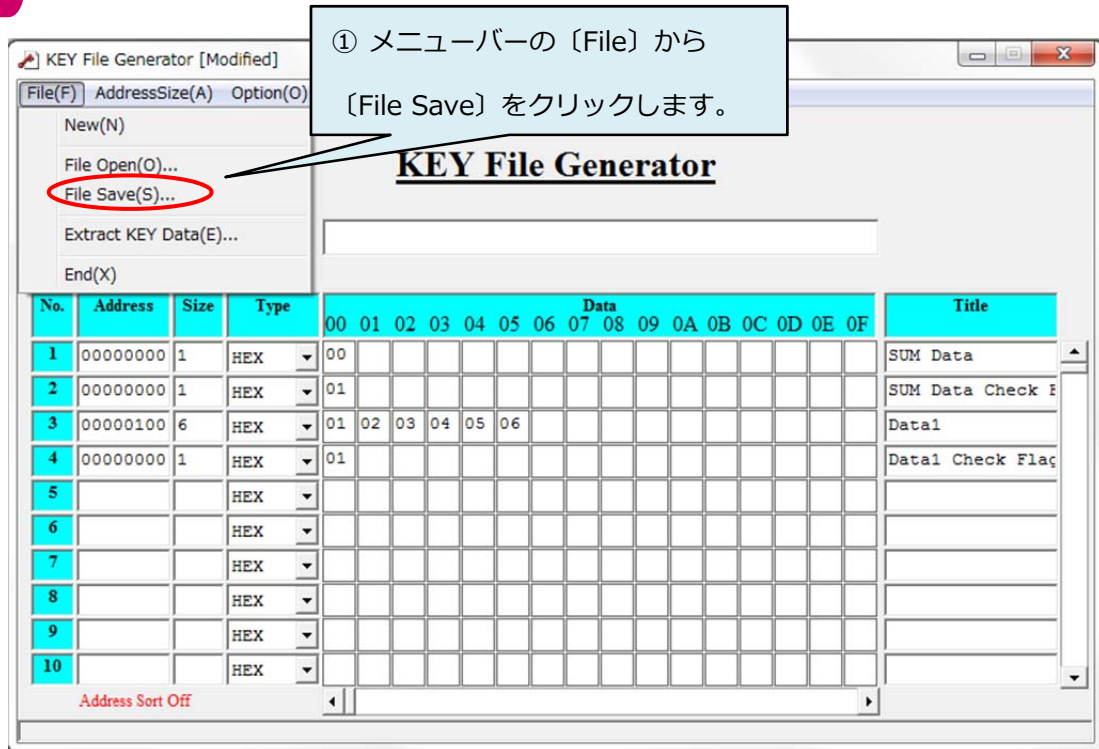
④チェックを行うデータのアドレスなどの入力を行います。  
No.3 の行に入力して下さい。  
Address = データの先頭アドレス  
Size = データのサイズ  
Data = データ

⑤No.3 のデータのチェックの実行・未実行チェックフラグの入力を行います。  
No.4 の行に入力して下さい。  
Address = 00000000 (固定)  
Size = 1 (固定)  
Data = "01" or "00"(データチェックする場合は 01、SUM 値チェックしない場合は 00 を入力して下さい)

No.3 以降はチェックを行うデータとチェックフラグを対にして追加を行います。  
最大 10 項目まで設定することができます。

- ③ YSM ファイルを保存します (メニューバーの[ファイル]メニュー - <File Save>をクリック)  
 ファイルの種類として“YSM file (\*.YSM)”を選択し、YSM ファイルを保存するパスを指定します。  
 YSM ファイルのファイル名を設定して、「保存」をクリックします。

**!** YSM ファイルのファイル名は、ユーザオブジェクトファイルと同じ名称にしてください。



### 8.1.3. 実行ログ

実行ログ機能が ON の設定の時、専用 SD カードの直下に LOG フォルダを作成してログファイルが作成されます。

- ログファイル

拡張子	<ul style="list-style-type: none"> <li>● .csv の形式で保存されます</li> </ul>
ファイル名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● LOG_YYYYMMDDXXX.csv</li> <li>● YYYY:年、MM:月、DD:日、XXX:ファイルが分割された場合のファイル番号</li> </ul>
データサイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 ファイルあたりは最大 512kbyte 保存できます</li> <li>● 1 ファイルごとにターゲットアクション実行ログを約 4000 回保存できます。</li> <li>● 512kbyte をオーバーする場合はファイルを新規に作成します</li> </ul>
保存可能なファイル数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最大 200 個</li> <li>● 200 個をオーバーする場合は、古い日付のファイルを削除して新規にログファイルを作成します</li> </ul>

### 8.1.4. ini ファイル

Wireless LAN 設定用のファイルになります。ini ファイルに Wireless LAN の設定を記述することで、本機の起動時に Wireless LAN の設定を ini ファイルの内容に変更をすることが可能です。

ini ファイルは専用 SD カードのルートディレクトリに 1 つだけ配置することが可能なファイルとなっています。



複数置いた場合は無効となります。

拡張子	● .ini の形式で保存されます
ファイル名	● 任意の名称.ini
記述方式	● 設定項目 = '設定値'

- ini ファイル記述例：

[HPARAM]

```
IP_ADDRESS = '192.168.1.50' // IP アドレス
SUBNET_MASK = '255.255.0.0' // サブネットマスク
GATEWAY = '192.168.0.254' // デフォルトゲートウェイ
PORT = '0x1000' // ポート番号
```

[WLAN]

```
WID_BSS_TYPE = 'BSS-STA' // BSS-STA、IBSS-STA
WID_CURRENT_CHANNEL = '1' // 1~13 で選択
WID_11I_MODE = 'NONE' // NONE / WEP-64 / WEP-128 / WPA-TKIP / WPA2-AES
WID_SSID = 'NKA_FINAL' // SSID
WID_WEP_KEY_VALUE = '' // WEP キー
WID_11I_PSK = '' // PSK
```

IP アドレス設定パラメータ：

設定項目	設定内容と設定値
[HPARAM]	● IP_ADDRESS 等の設定の先頭に必ず必要なパラメータ
IP_ADDRESS	● IP アドレスを指定します
SUBNET_MASK	● サブネットマスクを指定します
GATEWAY	● ゲートウェイを指定します
PORT	● 本機に設定するポート番号を指定します



## WLAN 設定パラメータ

設定項目	設定内容と設定値
[WLAN]	WLAN 設定の先頭に必ず必要なパラメータ
WID_BSS_TYPE	接続モードの設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>● BSS-STA(インフラストラクチャモード)</li> <li>● IBSS-STA(アドホックモード)</li> </ul>
WID_CURRENT_CHANNEL	接続チャンネル設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1～13 で指定</li> </ul>
WID_11I_MODE	暗号化モード <ul style="list-style-type: none"> <li>● NONE : 暗号化なし</li> <li>● WEP-64 : WEP64bit モード</li> <li>● WEP-128 : WEP128bit モード</li> <li>● WPA-TKIP : WPA-PSK(TKIP)モード</li> <li>● WPA2-AES : WPA2-PSK(AES)モード</li> </ul>
WID_SSID	任意の英数字(1～32 文字)指定
WID_WEP_KEY_VALUE	WEP-64, WEP128 指時に使用:任意の英数字指定 <ul style="list-style-type: none"> <li>● WEP-64 : 5 文字</li> <li>● WEP-128 : 13 文字</li> </ul>
WID_11I_PSK	WPA-TKIP, WPA2-AES 指定時に使用:任意の英数字指定 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 8～63 文字</li> </ul>

### 8.1.5. アップデートファイル

ファームアップデートファイル(\*.APD)、PLD アップデートファイル(\*.YHL)があります。ファームアップデートファイルは、AZ990 上でファームアップデートを実行する時に使用します。

PLD アップデートファイルは、専用 SD カードに置いて頂き、スタンドアロンから PLD アップデートを実行する時に使用します。

ファイルはそれぞれ、バイナリ形式でのファイルとなっています。

### 8.1.6. ライセンスファイル

専用 SD カードまたは本機への定義体ライセンス登録をする時に使用します。ライセンスファイルは、弊社ホームページより発行することが可能です。

## 8.2. エラーメッセージ一覧

### 8.2.1. 本体

エラーコード	内容	詳細
0x1002	NO LICENSE	ライセンスがない。
0x1003	GROUP CODE ERR	グループコードが違う。
0x1004	CM FILE NOT FOUND	CM ファイルが存在しない。
0x1006	COM ID VER UNEXPECTED ERR	共通部のバージョンが古い
0x1007	CM ID VER UNEXPECTED ERR	固有部のバージョンが古い
0x1008	FUNCTION NOT SUPPORT	サポートしていないファンクション。
0x1009	DEVICE FUNCTION NOT SUPPORT	サポートしていない T-ACT コマンド。
0x1010	HPARAM CONST ERR	ハードウェアパラメータが異常
0x1013	HPARAM INI FORMAT ERR XX	ini ファイルの XX 行目のパラメータ名または値が異常
0x1015	PARAMETER ERR XX	ソフトウェアパラメータが正常にダウンロードできなかった場合のエラー。
0x1016	ADDRESS WARNING	対象とするフラッシュの全領域より、書込みに指定されている領域が小さく設定されている
0x1020	S FILE FORMAT ERR	S フォーマットエラー(オブジェクトファイルが異常)
0x1021	HEX FILE FORMAT ERR	HEX フォーマットエラー(オブジェクトファイルが異常)
0x1022	FORMAT ERR(REC TYPE)	レコードタイプエラー(オブジェクトファイルが異常)
0x1023	FORMAT ERR(ADDERES)	アドレスフィールドエラー(オブジェクトファイルが異常)
0x1024	FORMAT ERR(CHECK SUM)	チェックサムエラー(オブジェクトファイルが異常)
0x1025	FORMAT ERR(CRLF)	改行コードエラー(オブジェクトファイルが異常)
0x1026	FORMAT ERR(SIZE)	レコードサイズエラー(オブジェクトファイルが異常)

0x1027	FORMAT ERR(S5)	S5レコードチェックエラー(オブジェクトファイルが異常)
0x1028	FORMAT ERR(ASCII)	バイナリに変換できないデータエラー(オブジェクトファイルが異常)
0x1029	DATA FORMAT ERR	通信データフォーマットエラー(通信異常)
0x102A	CM FORMAT ERR	定義体が正常にダウンロードできなかった場合のエラー。
0x102B	ADDRESS WARNING	カレント YIM 内のバッファへロードしているデータが、対象とするターゲット ROM の領域外のデータを含んでいます
0x1066	FULL PATH ERR	フォルダ・ファイル名が規定の長さを超えています。
0x1067	PATH LENGTH ERR	フォルダ・ファイル名が規定の長さを超えています。
0x106D	DOS FILE SIZE ERR	SD カード内に異常なファイルがあります。(フォーマットが必要です)
0x106E	FILE SYSTEM ERR	SD カードのファイルシステムが異常です(フォーマットが必要です)
0x1070	FILE READ ONLY ERR	リードオンリーのファイルへアクセスしました
0x1072	FILE NOT EXIST	指定されたファイルが見つからない場合に出力されるエラー。
0x1073	FILE EXIST	指定のファイル名は既に存在します(上書き不可)
0x1074	FOLDER NOT EXIST	ソフトウェア品番の情報から、カレントディレクトリに選択するYIMフォルダがSDカード内に存在しない場合に出力されるエラー
0x1075	FOLDER EXIST	指定されたフォルダが既に存在する場合のエラー。
0x1090	YSM CHECK ERR	YSM チェックサムエラー
0x1091	YSM CHECK ERR	YSM チェックバッファエラー
0x1092	YSM FILE FORMAT ERR	YSM ファイルのフォーマットが異常
0x1093	YSM NOT FOUND	YSM ファイルがない
0x10D0	CSB NOT FOUND	CSB ファイルがない
0x10D1	MORE 2 CSB FILES	CSB ファイルが2つ以上ある

0x10D2	CSB FILE FORMAT ERR xxxx	CSB ファイルフォーマットエラー
0x10A1	ETHER SEND TIMEOUT	WLAN 送信時にタイムアウトが発生しました。 (WLAN 通信時のエラー)
0x10A3	ETHER RECV TIMEOUT	WLAN 受信時にタイムアウトが発生しました。 (WLAN 通信時のエラー)
0x10A4	ETHER ERR	WLAN 通信中に切断されました。 (WLAN 通信時のエラー)
0x10A6	USB RECV ERR	USB 送信時にタイムアウトが発生しました。 (USB 通信時のエラー)
0x10A7	USB SEND ERR	USB 受信時にタイムアウトが発生しました。 (USB 通信時のエラー)
0x10A8	USB NOT CONNECT	USB が接続されていません。 (USB 通信時のエラー)
0x10A5	NEXT COMMAND NOT RECV	WLAN 通信で正常な応答を受信できませんでした。 (WLAN 通信時のエラー)
0x1108	DEVICE INITIALIZE COM ERR	起動時ターゲットケーブルチェックでのエラー。
0x1109	DEVICE ERR xx	T-ACT 実行中のエラー
0x110A	DEVICE ILLEGAL REPLY xx	ターゲットとの通信中に異常なデータを受信
0x110C	SUM VERIFY ERR	ターゲットとの通信中に異常なデータを受信
0x110E	BTP NOT FOUND	BTP ファイルが見つからない
0x 110F	MORE 2 BTP FILES	BTP ファイルが 2 つ以上存在する
0x 1110	BTP FORMAT ERR	BTP ファイルフォーマットエラー
0x 1111	KEY NOT FOUND	KEY ファイルが見つからない
0x 1112	MORE 2 KEY FILES	KEY ファイルが 2 つ以上存在する
0x 1113	KEY FORMAT ERR	KEY ファイルフォーマットエラー
0x 1114	KEY ERR	KEY エラー
0x1118	VBAT TOO LOW XXXX	ターゲット側の電源異常、または本体側 VB への入力電圧が低くなったため出力されるエラー。

0x 1120-113F	xxxxx	固有部定義のエラー
0x1151	YIM PROTECTED	YIM フォルダにプロテクトがかかっている
0x1180	YIM NOT REGISTER	YIM 未定義エラー。
0x1181	CM NOT REGIST	カレントディレクトリに設定された YIM フォルダに、定義体が登録されていない場合に出力されるエラー。
0x1182	BUF NOT REGISTER	カレントディレクトリに設定された YIM フォルダのバッファが異常な場合に出力されるエラー
0x141F	INI FILE ERR	Ini ファイルのフォーマットが異常
0x1420	INI FILE NOT EXIST	Ini ファイルが見つからない
0x1421	MORE 2 INI FILES	Ini ファイルが 2 つ以上ある
0x1422	INI FILE OPEN ERR	Ini ファイルが開けません
0x1603	ALC NOT FOUND	ライセンスファイルが見つかりません
0x1604	ALC FORMAT ERR	ライセンスファイルのフォーマットが異常

0xF000	FS_ERR_IO	起動中に現在挿入されている SD カードと別のカードを挿入した場合に出力されるエラー。
0xF001	FS_ERR_FHDL	ファイルが破損している、または SD カードが正しく認識できていない場合に出力されるエラー * 1
0xF002	FS_ERR_FS	
0xF003	FS_ERR_NOMEM	
0xF004	FS_ERR_NEED_CHECK	
0xF005	FS_ERR_BAD_DEV	
0xF006	FS_ERR_PERMIT	
0xF007	FS_ERR_BAD_FS_NAME	ファイルが破損している、または SD カードが正しく認識できていない場合に出力されるエラー * 1
0xF008	FS_ERR_TOO_MANY	
0xF009	FS_ERR_EXIST	
0xF010	FS_ERR_BUSY	ファイルアクセス異常 (0xF0xx エラー) が発生した後に、続けてファイルアクセスが発生した場合に出力されるエラー *2
0xF011	FS_ERR_TOO_LONG	ファイルが破損している、または SD カードが正しく認識できていない場合に出力されるエラー * 1
0xF012	FS_ERR_NOT_FOUND	
0xF013	FS_ERR_BAD_MODE	
0xF014	FS_ERR_SHOULD_CLOSE	
0xF015	GRP_FS_ERR_BAD_OFF	
0xF016	FS_ERR_NO_SPACE	SD カード容量不足エラー
0xF017	FS_ERR_BAD_NAME	ファイルが破損している、または SD カードが正しく認識できていない場合に出力されるエラー * 1
0xF018	FS_ERR_BAD_DIR	
0xF019	FS_ERR_BAD_TYPE	
0xF020	FS_ERR_XFS	
0xF021	FS_ERR_BAD_PARAM	

0xF022	FS_ERR_TOO_BIG	
0xF023	FS_ERR_SEM	ファイルが破損している、または
0xF024	FS_ERR_NOT_SUPPORT	SD カードが正しく認識できていない
0xF025	ERR_SD_READ_ERROR	場合に出力されるエラー
0xF026	ERR_SD_WRITE_ERROR	

\* 1 本エラーは、SD カード内のファイルが破損しているまたは SD カードへのアクセスに失敗した場合に出力されます。SD カードを挿抜するか、エラー発生時にアクセスをしていたファイルまたはフォルダを PC で消去していただき正常に動作するかご確認ください。

\* 2 本エラーを解除する場合は、unmount する必要があります。Unmount は SD カードを挿抜することで実行されます。

## 8.2.2. AZ990

エラーコード	内容	詳細
63:NEW FILE ERR	ログファイルの設定が正しくない	ユニバーサルコマンドのログファイルの設定が正しくありません。
100:File not found.	ファイルが存在しない	ファイルの存在を確認してください。
101:File access error.	ファイルにアクセスができない	ファイルが壊れている可能性があります。 専用 SD カード内のファイルが正常に保存されていることをご確認ください。
102:File format error.	ファイルフォーマット異常	ファイルフォーマットを確認してください。
103:Irregular parameters	パラメータ異常	パラメータファイルを確認してください。
104:Con not use double byte character to filename	2バイト文字使用エラー	ファイル名には2バイト文字を使用できません。ファイル名を確認してください。
110:Can not Connected to AF930. 01	接続異常	ホスト PC と本機の接続を確認してください。
111:AF930 Time Out. xx	通信タイムアウト	ホスト PC と本機の接続を確認してください。 本機とターゲットシステムの通信を確認してください。
112:Invalid data.	データ設定エラー	正しい値を設定してください。
113:Can not Communication Break	Ether 強制切断エラー	Ether 接続の強制切断に失敗しました。
114:Not IP Address	IP アドレス入力エラー	IP アドレスを設定してください。
115:The search name is not defined	検索ファイルエラー	検索するファイル名を入力してください。
116:File Name Error	ファイル名エラー	ファイル名が正しくありません。 ファイル名を確認してください。
117:Folder Name Error	フォルダ名エラー	フォルダ名が正しくありません。 フォルダ名を確認してください。
118:Folder not found.	フォルダエラー	フォルダが存在しません。 フォルダの存在を確認してください。
119:YIM Folder Load Error.	YIM フォルダロードエラー	YIM フォルダのロード時にエラーが発生しました



120:Device function error.	ターゲットアクション実行エラー	ターゲットアクション実行時にエラーが発生しました。
121:Command Not Support	コマンド非対応	コマンドに対応していません。
122:YIM Folder System Error	YIM フォルダ体系エラー	YIM フォルダの体系が正しくありません。
123:Folder Path Error	セーブ先フォルダパスエラー	セーブ先のフォルダが存在しません。
124:YIM Folder Name Error.	YIM フォルダ名エラー	YIM フォルダが選択されていません。 正しいYIM フォルダを選択してください。
125:YIM Folder Save Error.	YIM フォルダセーブエラー	YIM フォルダのセーブ時にエラーが発生しました。
126:Log file access error.	LOG ファイルアクセスエラー	ログファイルのアクセス時にエラーが発生しました。
127:Time Set Error	時間設定エラー	本機への時間設定時にエラーが発生しました。
128:Log Function Set Error	ログ条件設定エラー	ログ条件の設定時にエラーが発生しました。
131:Time Parameter Error	本機への時間設定パラメータエラー	本機へ設定する時間が正しくありません。
133:Format error.	送信データフォーマットエラー	本機からホスト PC に送信されたデータのフォーマットが正常ではありません。弊社サポートセンタへご連絡下さい。
140:Remote2.ini File Format Error	Remote2.ini ファイルエラー	Remote2.ini ファイルのフォーマットが正しくありません。 弊社サポートセンタへご連絡下さい。
150:WLAN set Error	Wireless LAN 設定エラー	本機への Wireless LAN 設定に失敗しました。
151:WLAN get Error	Wireless LAN 設定取得エラー	本機からの Wireless LAN 設定の取得に失敗しました。
160:Folder Name Error	Batch Download フォルダ名エラー	Batch Download 対象に指定したフォルダ名が不正です。
161:Folder Not Found.	Batch Download フォルダ指定エラー	Batch Download 対象に指定したフォルダが存在しません。
162:Folder Format Error.	Batch Download フォルダフォーマットエラー	Batch Download 対象に指定したフォルダ内のフォルダ構成が不正です。
163:File Not Found.	Batch Download ファイル配置エラー	Batch Download 対象に指定したフォルダ内の規定の位置に定義体ファイルもしくはパラメータファイルがありません。

164:File Count Error.	Batch Download ファイル配置エラー	Batch Download 対象に指定したフォルダ内の規定の位置に定義体ファイルもしくはパラメータファイルが複数個存在します。
165:File Name Error.	Batch Download ファイル名エラー	Batch Download 対象に指定したフォルダ内にあるファイルのファイル名が不正です。
181:File Drop Error.	ファイルドロップエラー	フォルダ・ファイルリスト画面にファイルがドラッグ & ドロップされました。
182:Folder Name Error.	フォルダ名エラー	フォルダ・ファイルリスト画面にドラッグ&ドロップされたフォルダがYIM フォルダではありません。
200:Current Module Undefined.	カレントフォルダ設定エラー	カレントフォルダが設定されていないか、カレントフォルダに定義体がダウンロードされていません。カレントフォルダを選択されていることと、カレントフォルダに定義体がダウンロードされていることを確認してください。
201:Module not found.	YIM フォルダ選択エラー	YIM フォルダが存在しません。
202:Download File Unmatching.	パラメータファイルエラー	ロードするパラメータファイルが正しくありません。パラメータファイルを確認してください。
203:Module Name is too long.	ファイル名エラー	ファイル名が長すぎます。 ファイル名を確認して下さい。
204:YIM Folder Full	YIM フォルダフル	YIM フォルダをこれ以上作成できません。不要な YIM フォルダを専用 SD カードから削除してください。
205:Control File Full	ファイルフル	専用 SD カードのルートにファイルをこれ以上作成できません。必要のないファイルを削除してください。
206:Current Module File Full	カレントフォルダファイルフル	カレントフォルダにこれ以上ファイルを作成することができません。必要のないファイルを削除してください。
207:YIM folder is not selected.	YIM フォルダ未選択エラー	YIM フォルダが選択されていません。 YIM フォルダを選択してください。
900:This function is not support.	実行ファンクションエラー	このファンクションには対応していません。
901:Folder is not selected.	YIM フォルダが選択されてない	YIM フォルダを選択してから実行して下さい。
1066:Full Path Error!	フルパスエラー	ファイル・フォルダのフルパス入力が正しくないか、そのパス上にファイル・フォルダが存在しません。

1202:The number of files is over!	ファイル数エラー	ファイル数が規定数を超過しています。
1203:The number of files and folders is over!	ファイル・フォルダ数エラー	ファイル・フォルダが規定数を超過しています。
Not Execute	YIM フォルダ選択未実行エラー	YIM フォルダ選択を実行していないのに YIM フォルダ選択のステータスを取得しようとしています。
Busy	他コマンド実行中	他のコマンドが実行中です。 現在実行中のコマンドが終了してから、次のコマンドを実行してください。
xxx:FILE CLOSE ERR	ファイルクローズエラー(S2)	ファイルのクローズ時にエラーが発生しました。
xxx:S FORMAT ERR	モトローラ S フォーマットエラー(S2)	モトローラ S フォーマットのファイルでフォーマットが正しくありません。
xxx:HEX FORMAT ERR	インテル HEX フォーマットエラー(S2)	インテル HEX フォーマットのファイルでフォーマットが正しくありません。
xxx:FORMAT ERR	フォーマットエラー(S2)	ファイルのフォーマットが正しくありません。
xxx:ERR UNKOWN	予期せぬエラー(S2)	予期せぬエラーが発生しました。
Other command executing	コマンド実行中	他のコマンドが実行中です。
Parameters are not set into AF930	パラメータ変更未登録	変更したパラメータがありますが、本機に転送されていません。 変更したパラメータを本機に転送する場合、Set Parameter ボタンをクリックしてください。
Buffer Area(FUNC F5) Data Error	設定エラー	バッファメモリ範囲の設定が正しくありません。
Target Action Address Data Error	設定エラー	ターゲットアクション実行範囲の設定が正しくありません。
Flash ROM First Address Data Error	設定エラー	フラッシュメモリ開始アドレスの設定が正しくありません。
Flash ROM Last Address Data Error	設定エラー	フラッシュメモリ終了アドレスの設定が正しくありません。
ROM Block Address Data Error	設定エラー	ブロックコンフィギュレーションに設定したアドレスが正しくありません。

ROM Block Size Data Error	設定エラー	ブロックコンフィギュレーションのブロックサイズの設定が正しくありません。
~ is access error!	ファイルアクセスエラー	ファイルへのアクセスが失敗しました
This file is NOT Motorola S recode file or Intel HEX file	ファイルフォーマットエラー	モトローラ S フォーマットでもインテル HEX フォーマットでもありません。
~ is not accessible	ファイルアクセスエラー	ファイルへのアクセスに失敗しました。
Wrong File	パラメータエラー	パラメータファイルのフォーマットが正しくありません。
FOLDER IS EXIST	ファイル名エラー	同じ名前のフォルダが存在します。
Invalid Password, try again	パスワードエラー	パスワードが正しくありません。
U1:COMMAND FILE NOT FOUND	ファイル名エラー	ファイル名が正しくありません。
Writer Time Error	本機に設定されている時間の取得エラー	<p>本機に設定されている時間の取得時にエラーが発生しました。</p> <p>本機との通信に問題があるか、本機に設定された時間に問題があります。</p> <p>本機に設定された時間に問題がある場合は、弊社サポートセンターへご連絡ください。</p>



---

## NET IMPRESS air 操作マニュアル(プログラマ編)

株式会社D T S インサイト

URL : [https://www.dts-insight.co.jp/support/support\\_netimpress\\_air/](https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress_air/)

2015年7月16日 第2版発行